

「生涯学習に関する意識調査」

報 告 書

令和8年2月

岡山県生涯学習センター

はじめに

2020年以降、我が国の教育・学習を取り巻く環境は大きく変化しました。新型コロナウイルス感染症の拡大は、人と人が集う学びの在り方を見直す契機となり、オンライン学習やデジタル技術を活用した新たな学習形態が急速に広がりました。こうした中、国においては、GIGAスクール構想の推進や、デジタル人材の育成、リカレント教育の充実などを通じて、誰もが学び直しに取り組める環境整備が進められています。これらは、学校教育のみならず、生涯学習全体の質的転換を促す重要な動きであるといえます。

岡山県教育委員会においても、「岡山県教育振興基本計画」をはじめとする各種施策のもと、地域と連携した学習機会の創出や、デジタル技術を活用した学びの充実、多様な主体が参画する学習環境の構築に取り組んできました。少子高齢化の進行や地域コミュニティの変容が進む中で、生涯学習は、個人の生きがいや自己実現を支えるだけでなく、地域課題の解決や持続可能な地域づくりを支える基盤として、ますます重要性を増しています。

そのため、本県では、県民一人ひとりが生涯にわたり主体的に学び続け、その成果を地域や社会に生かしていくことを目指し、生涯学習の推進に取り組んでいるところです。

今回の「生涯学習に関する意識調査」は、県民の皆様の学習に対する意識や実態、課題を的確に把握し、今後の施策の充実につなげることを目的として実施したものです。

調査結果からは、学びへの関心の高まりとともに、時間的制約や情報不足など、学習参加を阻む課題も明らかになりました。これらの声を真摯に受け止め、岡山県生涯学習センターとして、誰一人取り残されることのない学習環境の整備に努めてまいります。また、学習成果が地域や社会に還元され、県民同士がつながり合う好循環を生み出せるよう、関係機関・団体との連携を一層強化していきたいと考えています。

最後に、調査結果の考察等に御尽力いただいた岡山大学大学院教育学研究科 副研究科長 教授 熊谷慎之輔様をはじめ、本調査に御協力いただいた多くの皆様にご心より感謝申し上げますとともに、本報告書が、県民の皆様、関係者の方々にとって、生涯学習の意義を改めて考え、今後の取組を進める上での一助となることを願っています。

令和8年2月

岡山県生涯学習センター所長
栗原 宏之

目次

I 調査概要	1
1 調査目的	
2 調査地域	
3 調査対象	
4 調査方法	
5 回収結果	
6 特記事項	
II 属性について（性別・年齢・職業・居住地について）	3
III 調査結果	5
1 学習の必要性について	5
2 過去の学習について	9
3 自主的な学習について	31
4 公民館について	46
5 地域とのつながりについて	59
6 これからの学習について	77
IV 考察	97
1 本調査研究における3つの視点～現在・過去・未来～	97
2 学習経験のふくらみ～公民館の利用と地域活動への参加～	98
3 学習経験のちぢみと無関心層への支援 ～公民館を利用したことがない人々への注目～	98
（岡山大学大学院 教育学研究科 副研究科長 教授 熊谷 慎之輔）	
V 資料	100
○ 調査票	100

I 調査概要

1 調査目的

岡山県民への調査を行うことで、県民の生涯学習や今日的な課題に関する意識などについて、基礎データを蓄積して、全県的な傾向を把握するとともに、その結果を県の生涯学習施策に反映させ、より一層の生涯学習社会の推進と充実を図るために実施するものである。

2 調査地域

岡山県全 27 市町村

3 調査対象

岡山県内在住の 18 歳以上の一般県民 2,000 人

4 調査方法

住民基本台帳に記載のある県民を対象に、県内市町村の人口比に応じて配分した人数を抽出した。調査票の印刷・発送・回収、調査結果の集計業務は、岡山県生涯学習センターにより実施した。

- ・調査票の発送 令和 7 年 1 月 28 日
- ・回答期限 令和 7 年 2 月 28 日

5 回収結果

- 回答数 (率) : 702 (35.1%)
- ・郵送での回答 : 550 (27.5%)
 - ・インターネットでの回答 : 152 (7.6%)

6 特記事項

- ① グラフに書かれている「n=」は、設問に関する回答者数を表している。
- ② 調査内のパーセンテージは原則、小数第 2 位を四捨五入し小数第 1 位で表しているが、都合上整数表記としたものがあり、その場合は、グラフに明記している。また、その合計が 100%にならない場合がある。
- ③ 県内全市町村から回答を集めているが、地域ごとに傾向を判断するために、市町村ごとの結果を備前地域・備中地域・美作地域の 3 つの地域に分けた。
 - 備前地域 (岡山市・玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町・吉備中央町)
 - 備中地域 (倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・早島町・里庄町・矢掛町)
 - 美作地域 (津山市・真庭市・美作市・新庄村・鏡野町・勝央町・奈義町・西粟倉村・久米南町・美咲町)
- ④ 「学習」とは、一般には人々が生涯に行うあらゆる学習の中で、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行うことを言う。ただし、今回の調査では、この部分の「学習」については学校教育を除いて考える。



出典：岡山県ホームページ（市町村課）
 ※岡山県市町村課の白地図をもとに境界を作成

II 属性

図1 性別 (n=702)

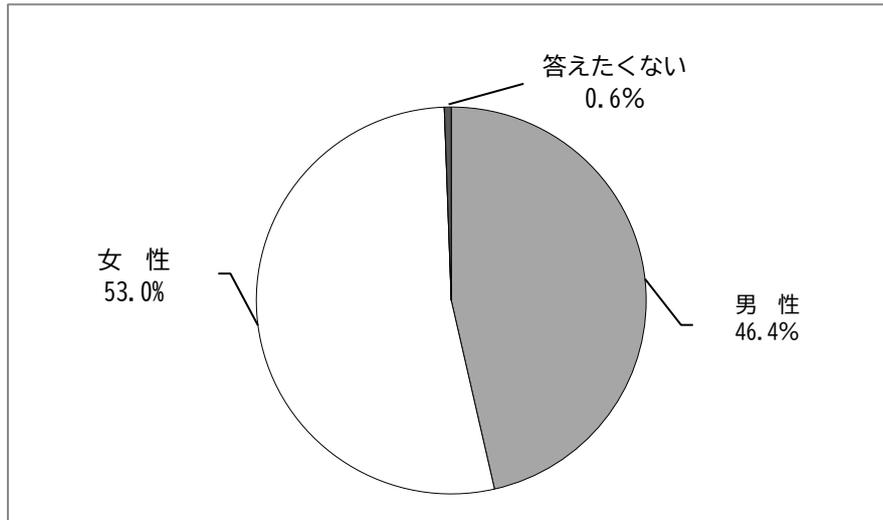


図2 年齢 (n=702)

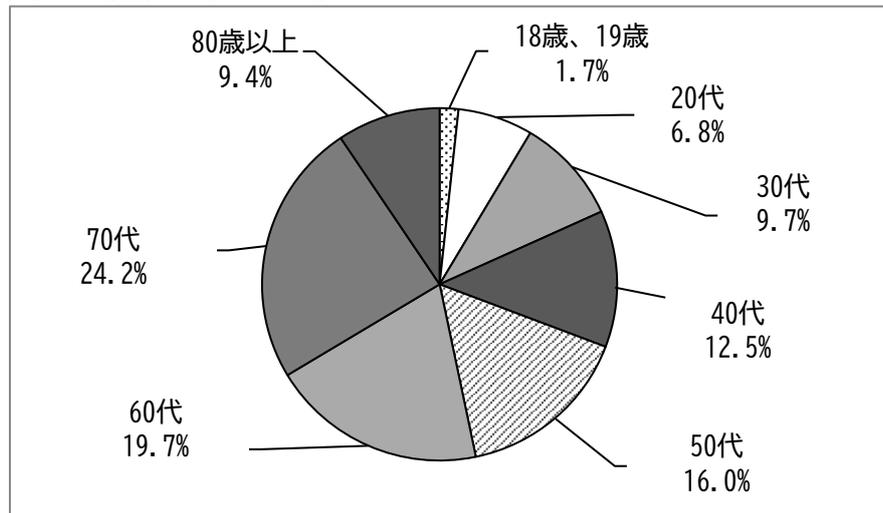


図3 職業 (n=702)

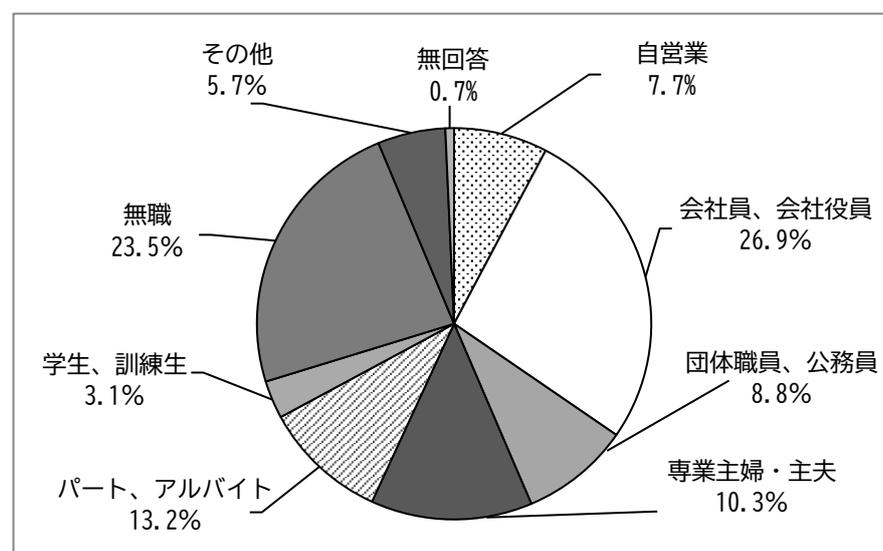
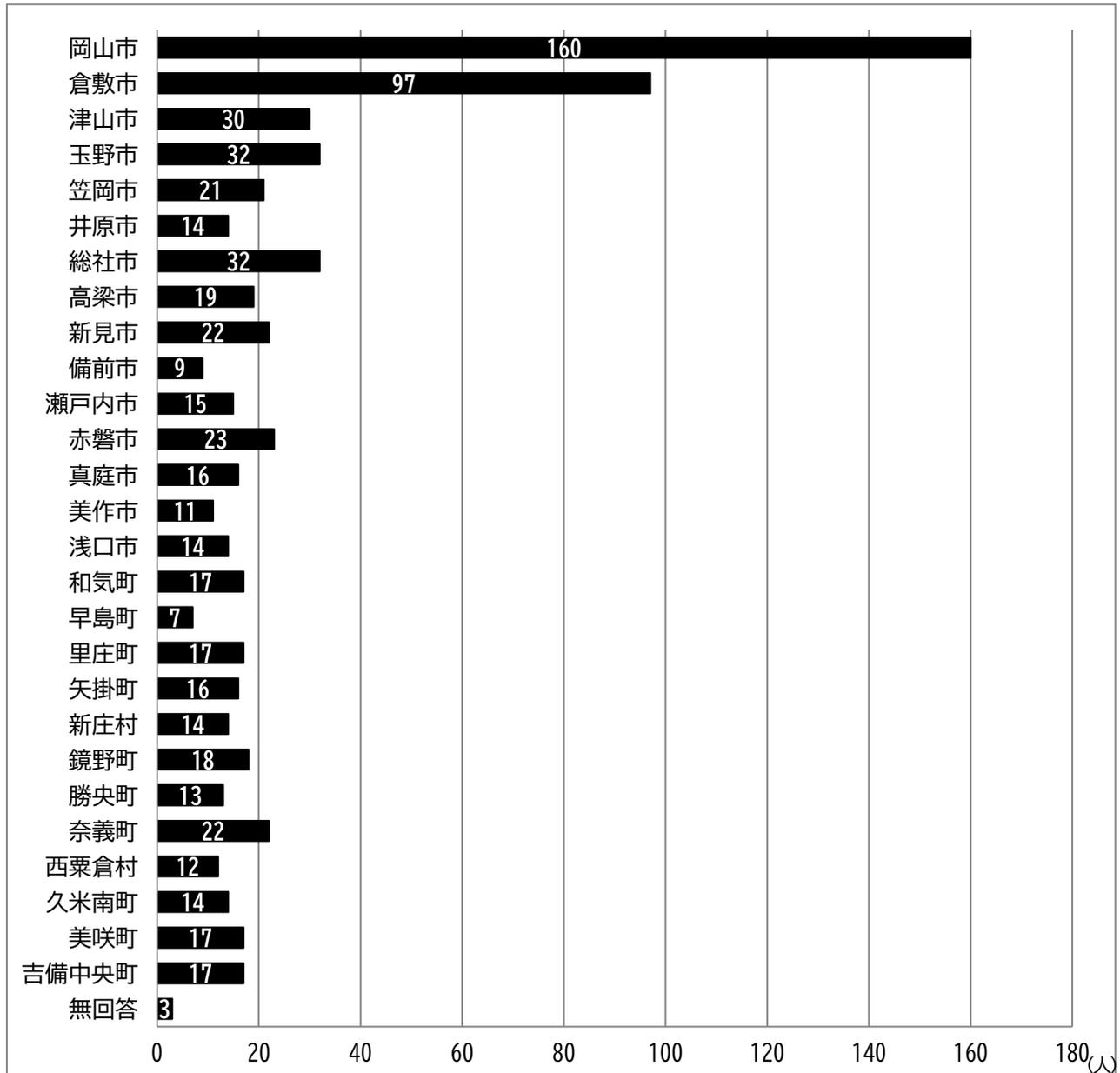


図4 市町村別の分布 (n=702)



<属性について>

性別ごとの回答率 男性：326人(46.4%) 女性：372人(53.0%) 無回答4人(0.6%)

年齢別の回答率は、70歳代24.2%、60歳代19.7%、50歳代16.0%となっており、50歳代以上の回答率が高かった。

職業別では、「会社員、会社役員」が26.9%で最も高く、ついで「無職」が23.5%、「パート、アルバイト」が13.2%であった。

Ⅲ 調査結果・分析

1 学習の必要性について

問2 あなたは「学習」が必要だと思いますか。

図5 学習が必要だと思うか (n=702)

「学習が必要であるかないか」についての回答をまとめたグラフである。「必要である」と回答したのは約87%、「必要ではない」と回答したのは、約11%であった。

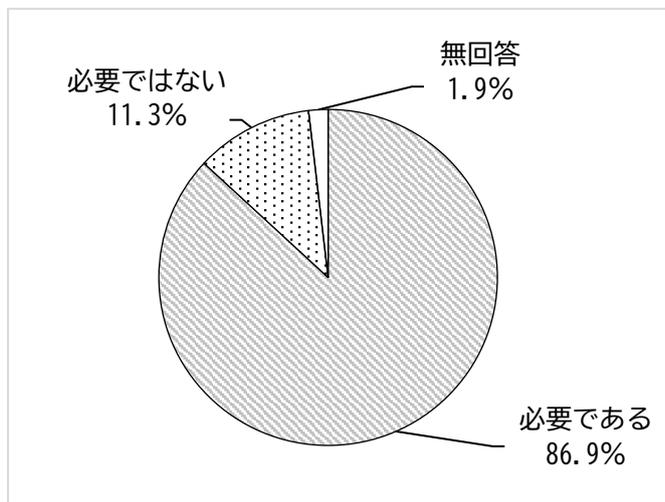


図6 学習の必要性と実際

問2「学習の必要性」について回答した人が、問4(1)「最近1年間に学習を行ったことがあるか」についてどのように回答したかを集計した。

問2で「学習が必要である」と回答したうちの約63%が「最近1年間に学習を行ったことがある」と回答している。「学習が必要である」としたものの、約37%が「最近1年間に学習を行ったことがない」と回答している。

学習が必要であると考えている人のうち、約37%の人が学習を行っておらず、「学習が必要でない」と回答したうちの約89%は「最近1年間に学習を行ったことがない」と回答している。

最近1年間に学習を行ったか

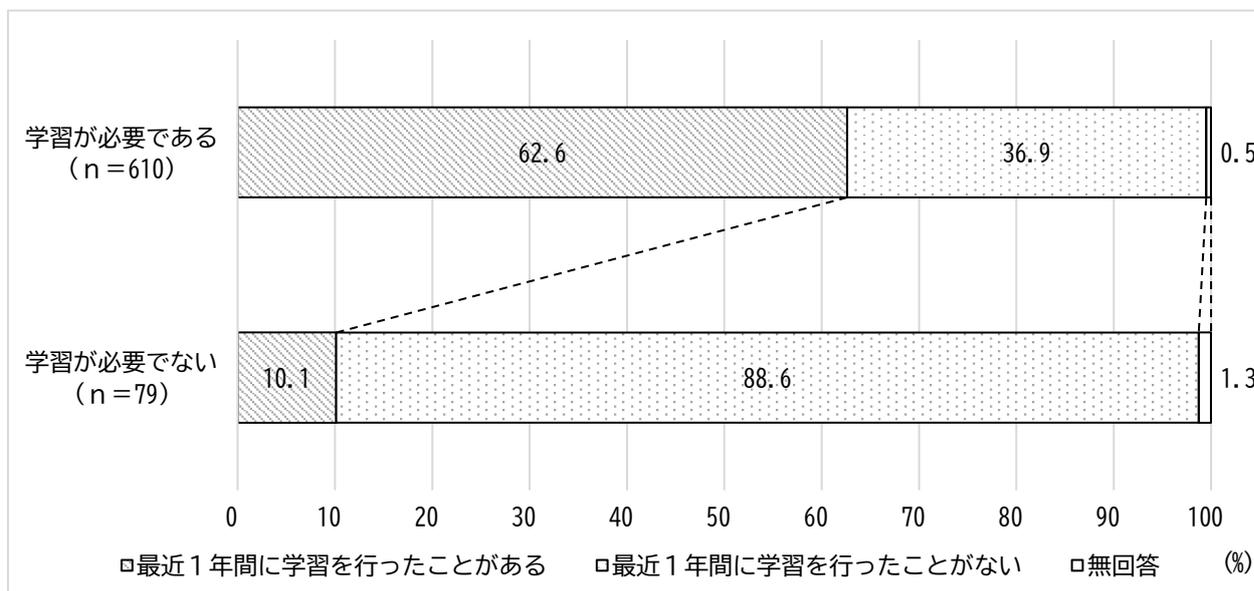


図7 学習の必要性と年代

問2「学習の必要性」についての回答を、年代別に集計した。どの年代も80%以上の方が「学習が必要である」と回答しているが、「学習が必要でない」との回答も全年代に一定数いる。

学習が必要だと思うか

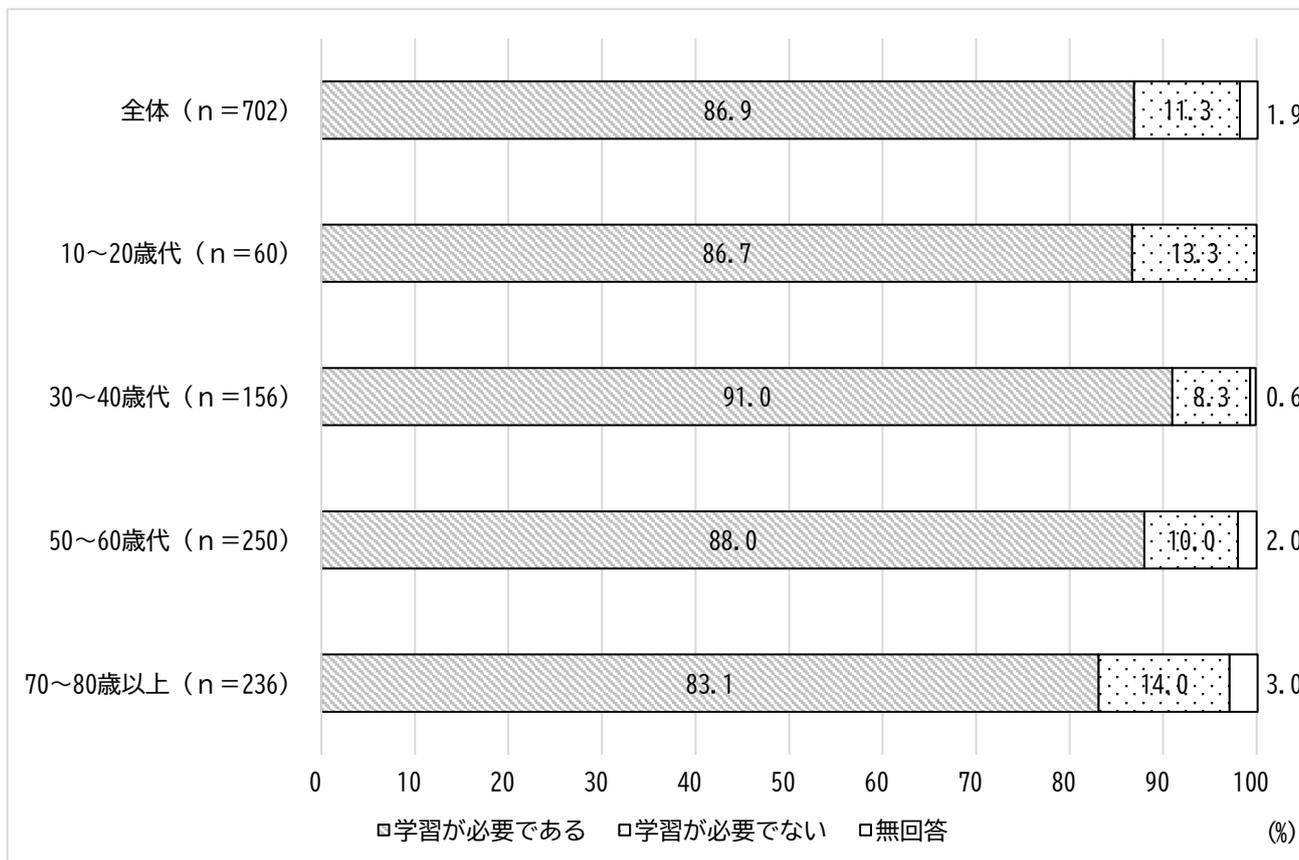
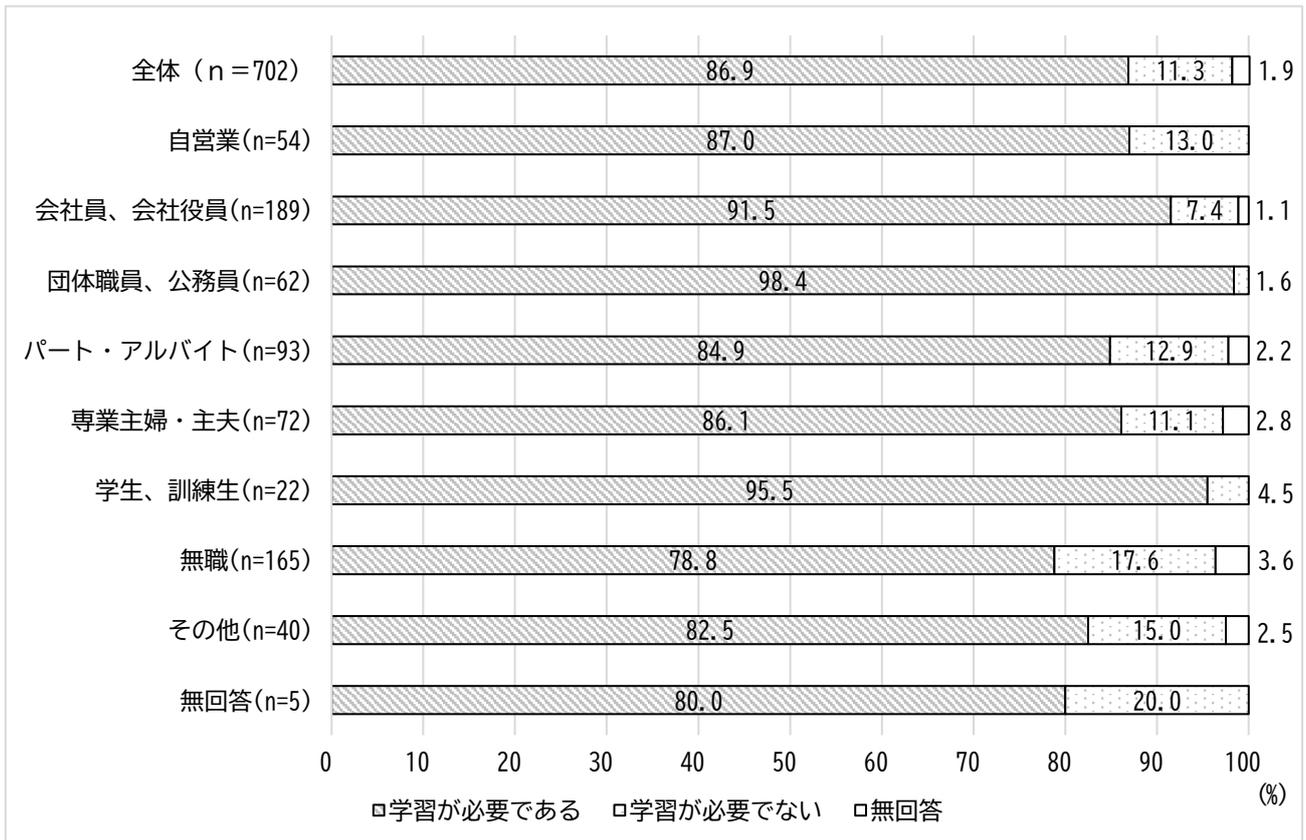


図8 学習の必要性和職業

問2「学習の必要性」についての回答を、職業別に集計した。「無職」以外の職業で、80%以上が「学習が必要である」と回答し、特に高かったのは「団体職員・公務員」約98%、次いで「学生、訓練生」約96%であった。「無職」は約79%と最も低かった。

学習が必要だと思うか

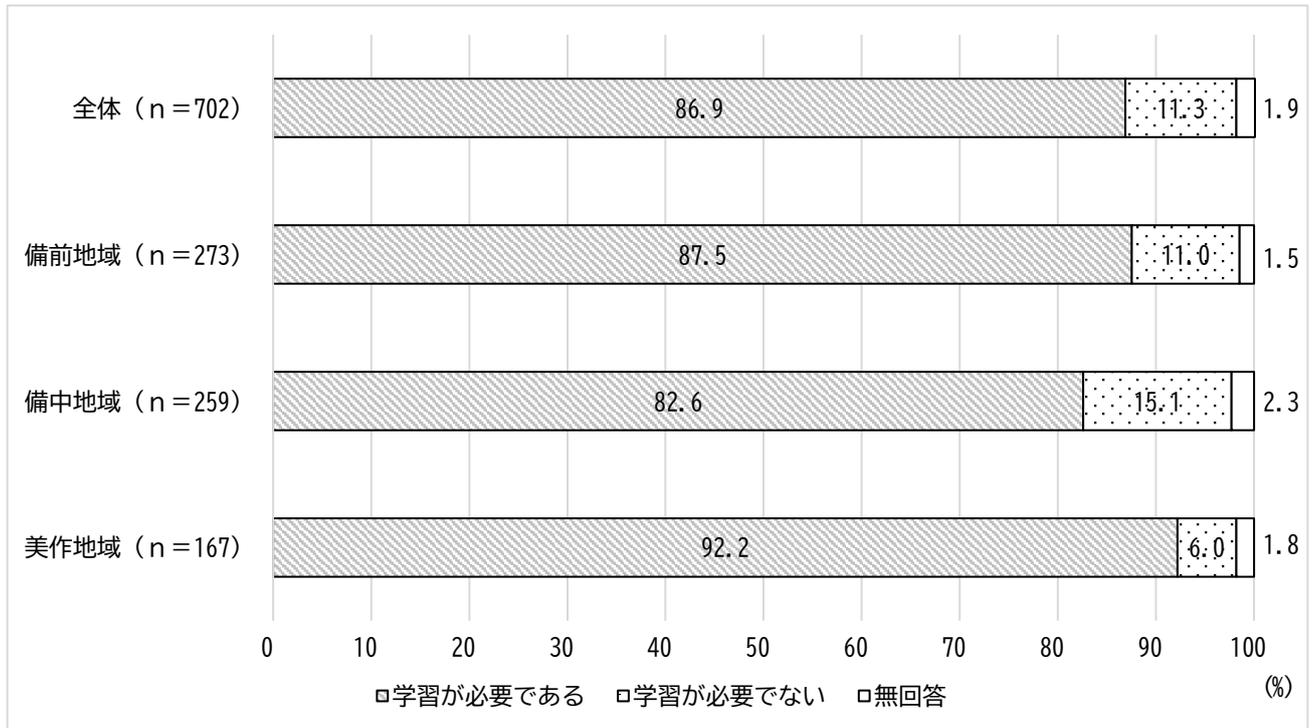


その他…○医師 ○看護師 ○内職 ○農業 ○非常勤講師 他

図9 学習の必要性和地域

問2「学習の必要性」についての回答を、地域別に集計した。※地域はP. 1に掲載
どの地域でも80%以上が「学習が必要である」と回答し、特に「美作地区」は約92%と最も高かった。

学習が必要だと思うか



2 過去の学習について

問4 (1) あなたは最近1年間に学習を行ったことがありますか。

図10 最近1年間の学習経験の有無 (n=702)

「最近1年間に学習を行ったことがある」と回答したのは約56%、「行ったことがない」と回答したのは約43%であった。

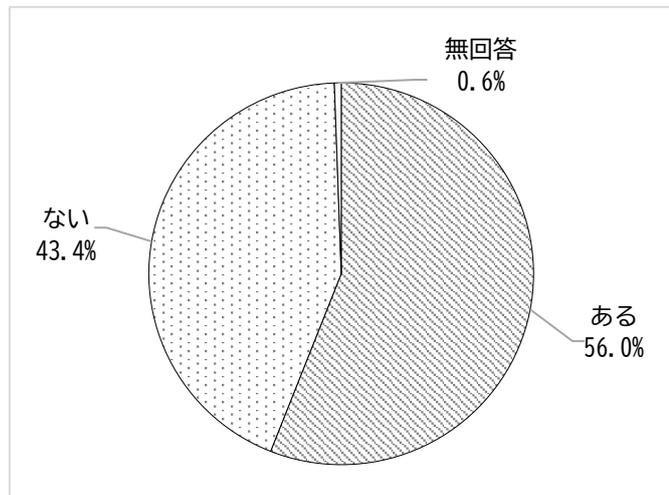


図11 最近1年間の学習経験と学習の必要性

問4(1)「最近1年間の学習経験の有無」についての回答結果と、問2「学習の必要性」についての回答結果を比較した。「最近1年間に学習を行ったことがある」と回答したなかでは、「学習が必要である」が約97%だった。「最近1年間に学習を行ったことがない」と回答したなかでは、「学習が必要である」が約74%であった。

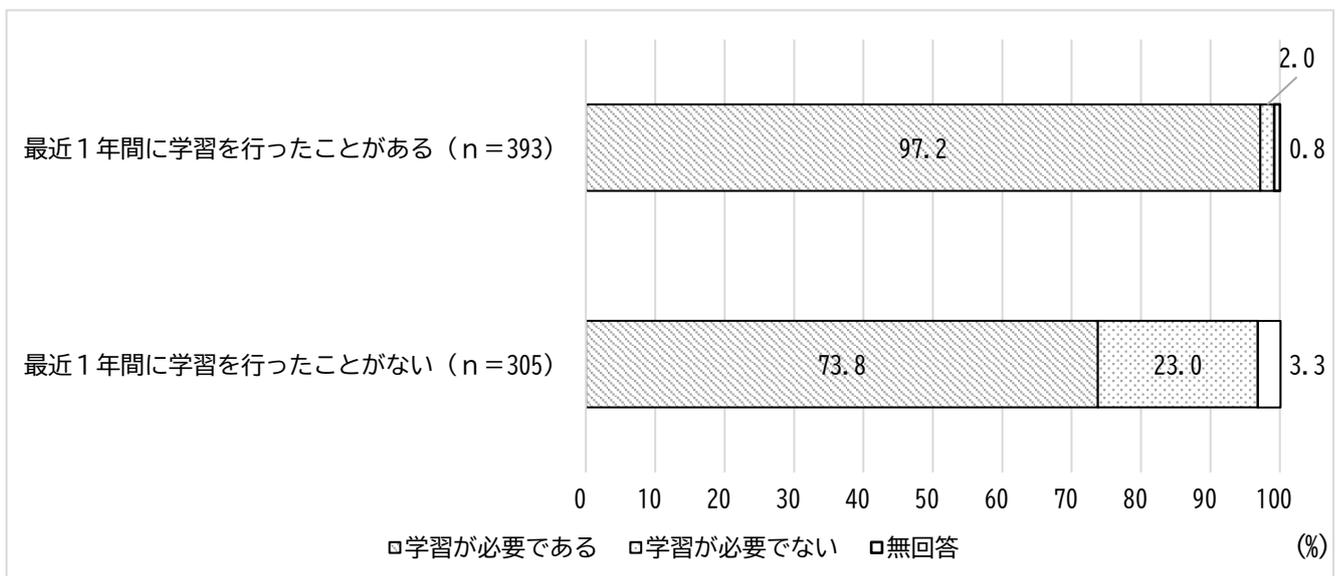


図 12 最近1年間の学習経験の有無と年代

問4(1)「最近1年間の学習経験の有無」の回答を、年代別に集計した。「最近1年間に学習を行ったことがない」との回答が10～20歳代では約28%だが、30～40歳代約42%、50～60歳代約49%、70～80歳以上約42%と30歳代以上の半数近くが、最近1年間に学習を行ったことがない。しかし、図7「学習の必要性と年代」(P.6)では全年代で約80%以上が「学習が必要である」と回答している。

最近1年間の学習経験の有無

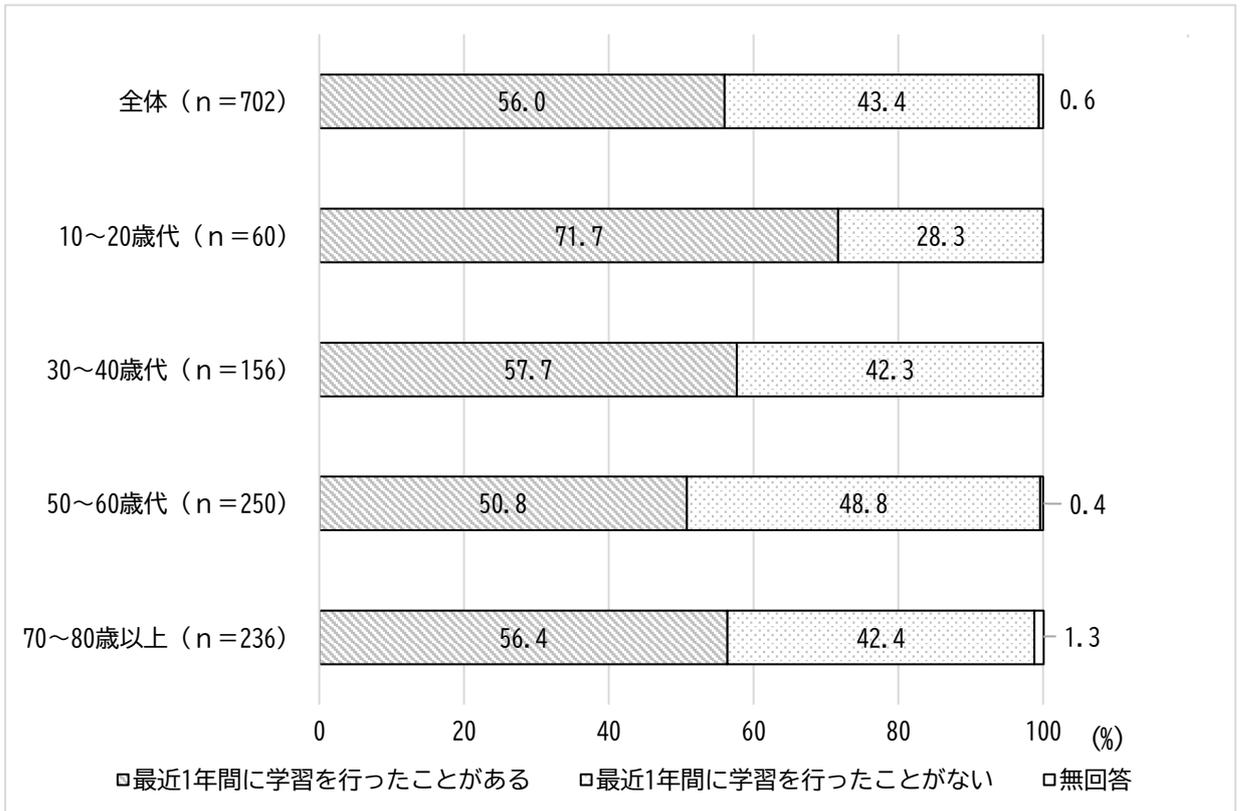
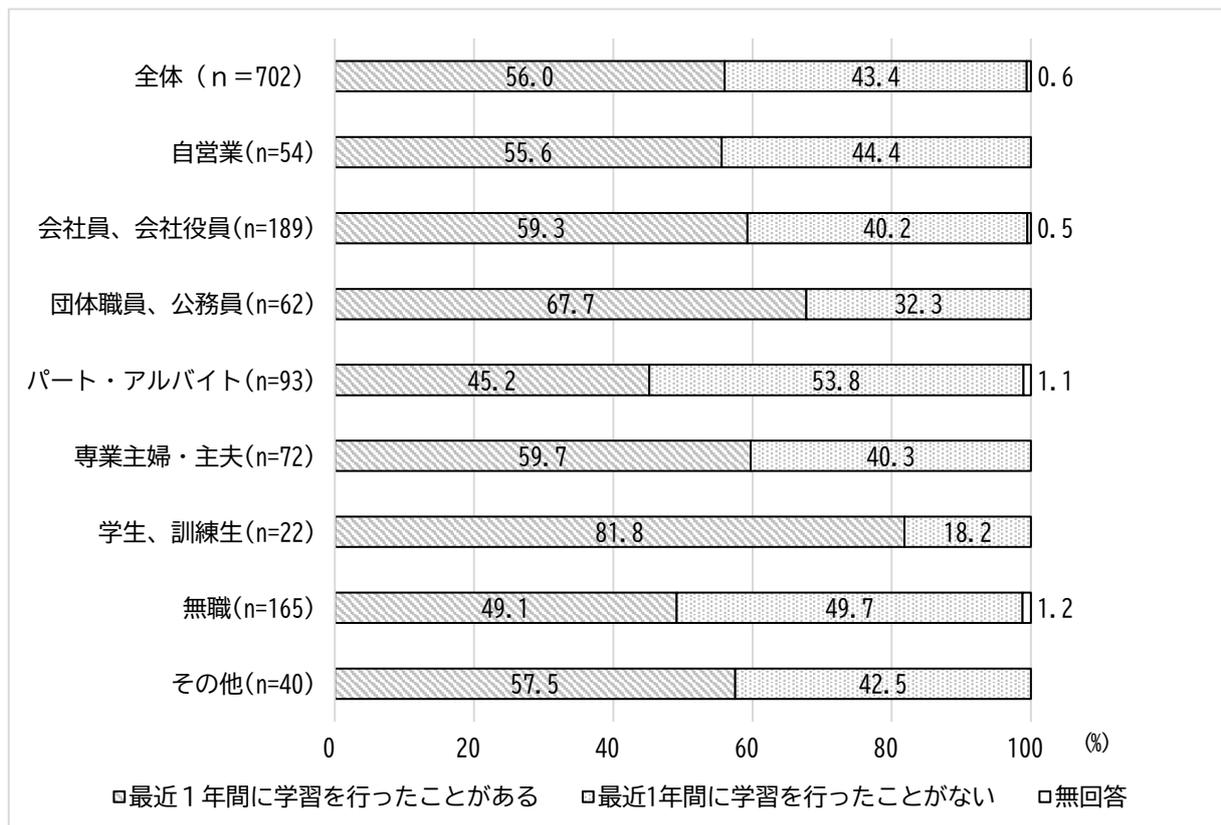


図13 最近1年間の学習経験の有無と職業

問4(1)「最近1年間の学習経験の有無」の回答を、職業別に集計した。「学生、訓練生」は、「最近1年間に学習を行ったことがある」との回答が約82%と最も高く、「パート・アルバイト」「無職」は半数よりも低くなっており、それ以外の職業でも約56%～約68%にとどまっている。しかし、図8「学習の必要性と職業」(P.7)では「無職」以外の全ての職業で80%以上が「学習が必要である」と回答している。

最近1年間の学習経験の有無



その他・・・○医師 ○看護師 ○内職 ○農業 ○非常勤講師 他

図14 最近1年間の学習経験の有無と地域

問4(1)「最近1年間の学習経験の有無」の回答を、地域別に集計した。※地域はP.1に掲載
 図9「学習の必要性と地域」(P.8)では、どの地域も「学習が必要である」との回答が80%を超えたが、「最近1年間に学習を行ったことがある」との回答は約49%~約67%といずれの地域でも低くなっている。

最近1年間の学習経験の有無

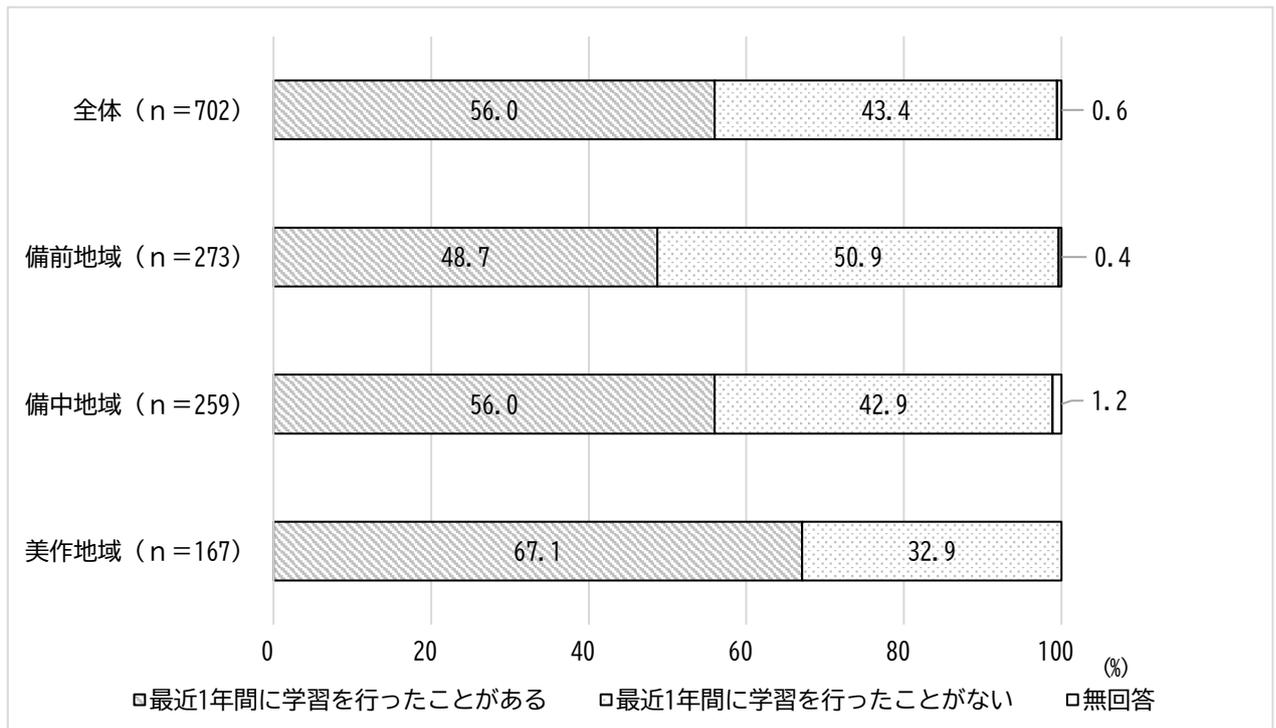
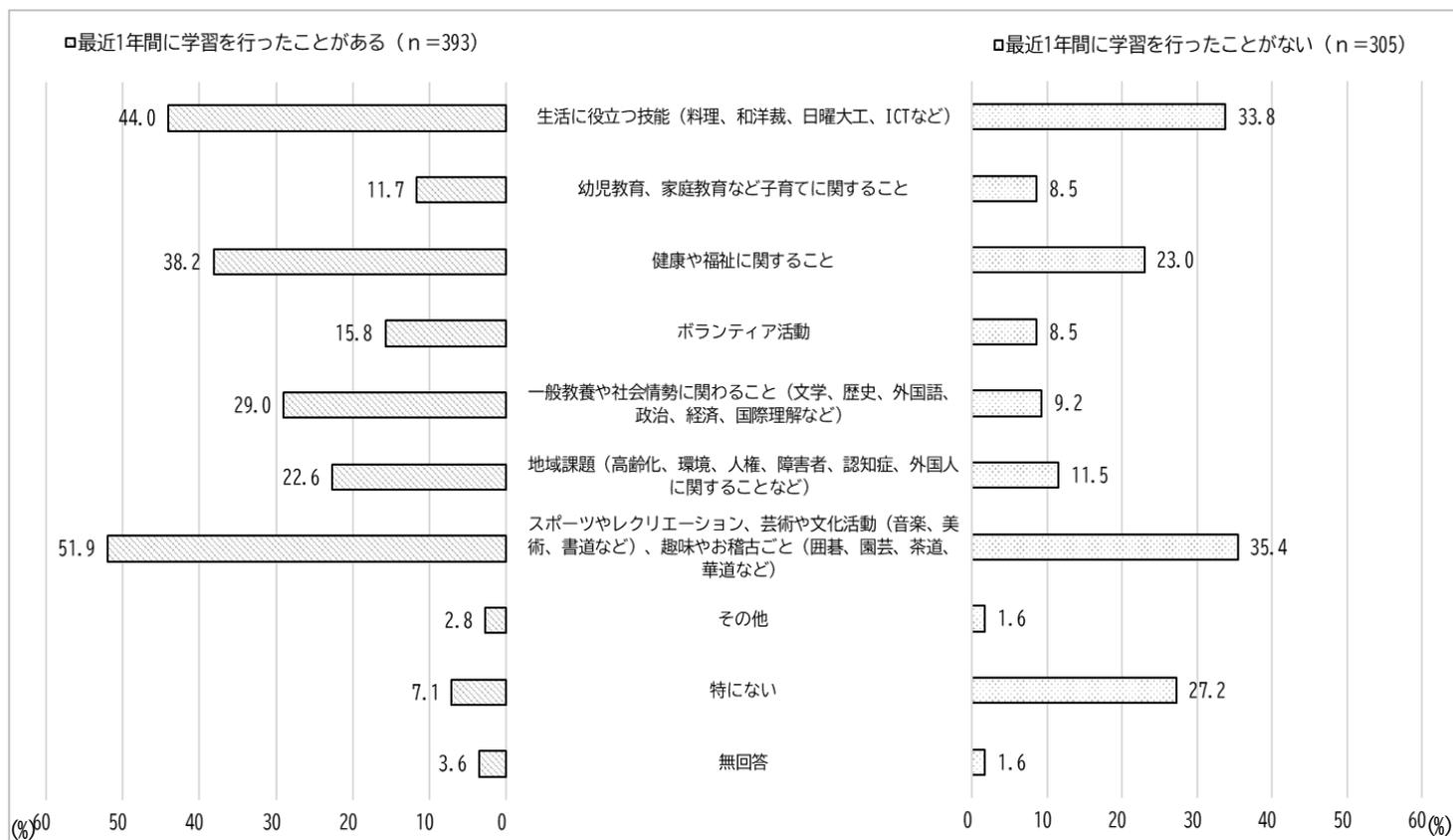


図 15 最近1年間の学習経験の有無と今後したい学習

問4(1)「最近1年間の学習経験の有無」と問7(1)「今後したいと思う学習」について集計した。「最近1年間に学習を行ったことがある」と回答したなかでは、「スポーツやレクリエーション、芸術や文化活動、趣味やお稽古ごと」が約52%と最も高く、次いで「生活に役立つ技能」約44%、「健康や福祉に関すること」約38%と続く。

「最近1年間に学習を行ったことがない」と回答したなかでも、「スポーツやレクリエーション、芸術や文化活動、趣味やお稽古ごと」が約35%と最も高く、次いで「生活に役立つ技能」約34%となっているが、「特にない」の回答が約27%と高くなっている。

今後したいと思う学習（複数回答可）



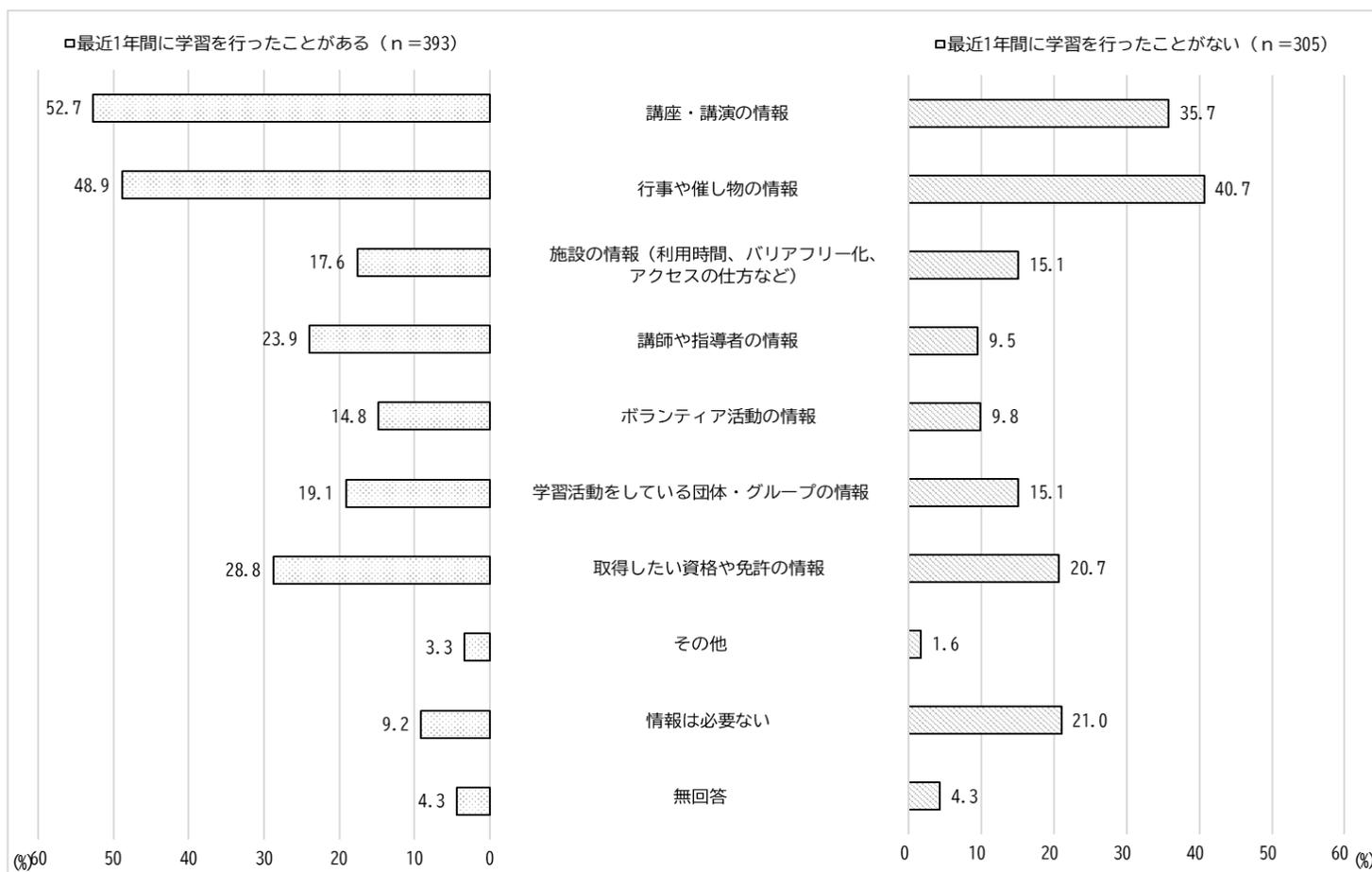
その他…○自然科学 ○スマートフォンの使い方 ○動物について
○学び直し (夜間中学校) 他

図 16 最近1年間の学習経験の有無と学習を進める上で欲しい情報

問4(1)「最近1年間の学習経験の有無」と問7(2)「学習を進める上で、欲しい情報」について集計した。「最近1年間に学習を行ったことがある」と回答したなかでは、「講座・講演の情報」が約53%と最も高く、次いで「行事や催し物の情報」約49%、「取得したい資格や免許の情報」約29%と続く。

「最近1年間に学習を行ったことがない」と回答したなかでは、「行事や催し物の情報」が約41%と最も高く、次いで「講座・講演の情報」約36%、「資格や免許の情報」約21%であったが、「情報は必要ない」が約21%と高くなっている。

学習を進める上で、欲しい情報（複数回答可）



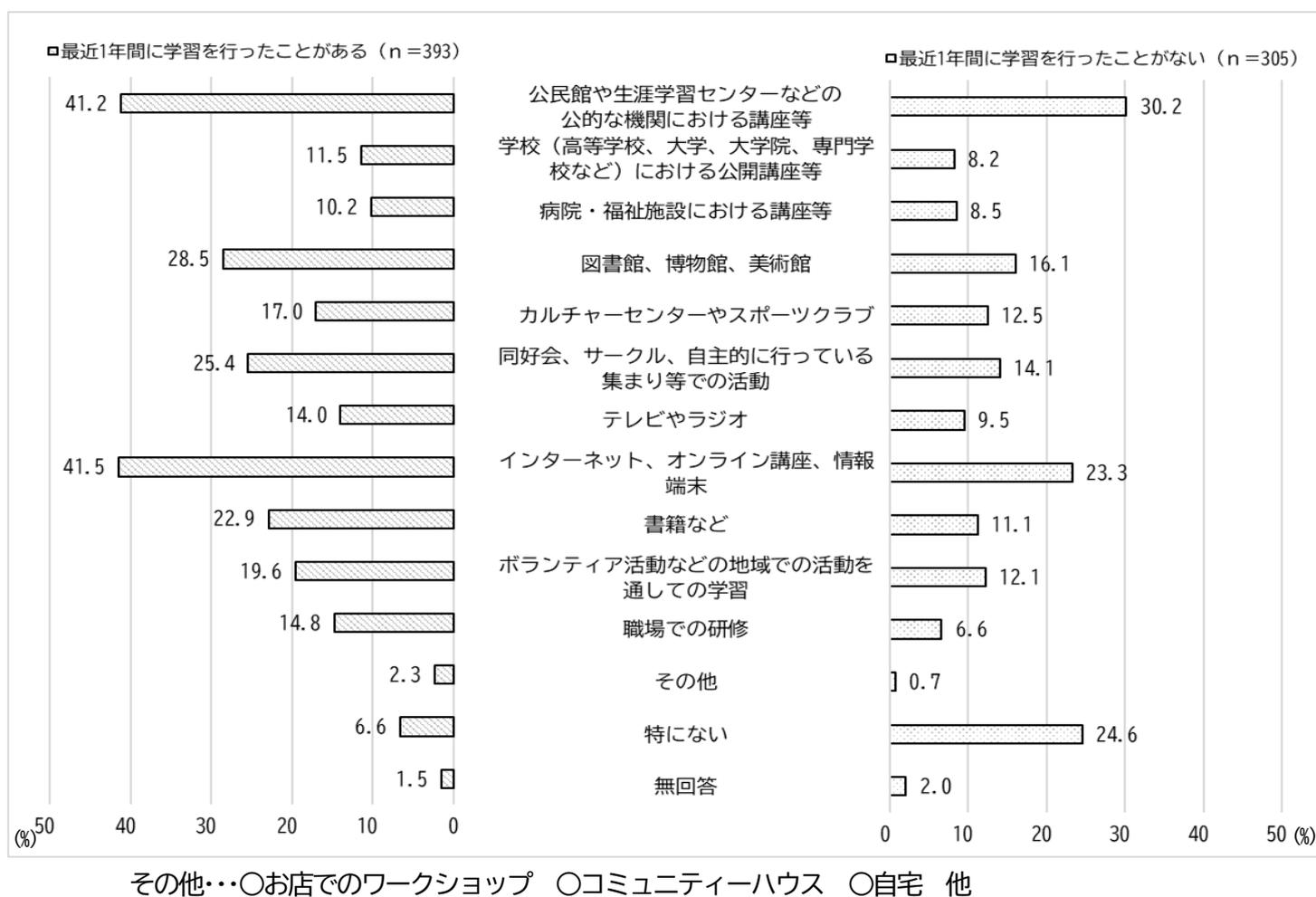
その他・・・○高齢者に向けての学習の情報 ○病気やけがについての講座の情報
○学び直しの情報 他

図 17 最近1年間の学習経験の有無と今後学習したい場所・学習形態

問4(1)「最近1年間の学習経験の有無」と問7(3)「今後学習したい場所・学習形態」について集計した。「最近1年間に学習を行ったことがある」と回答したなかでは、「インターネット、オンライン講座、情報端末」が約42%と最も高く、次いで「公民館や生涯学習センターなどの公的な機関における講座等」約41%、「図書館、博物館、美術館」約29%と続く。

「最近1年間に学習を行ったことがない」と回答したなかでは、「公民館や生涯学習センターなどの公的な機関における講座等」約30%、「インターネット、オンライン講座、情報端末」約23%、「図書館、博物館、美術館」約16%であったが、「特にない」の回答が約25%と高くなっている。

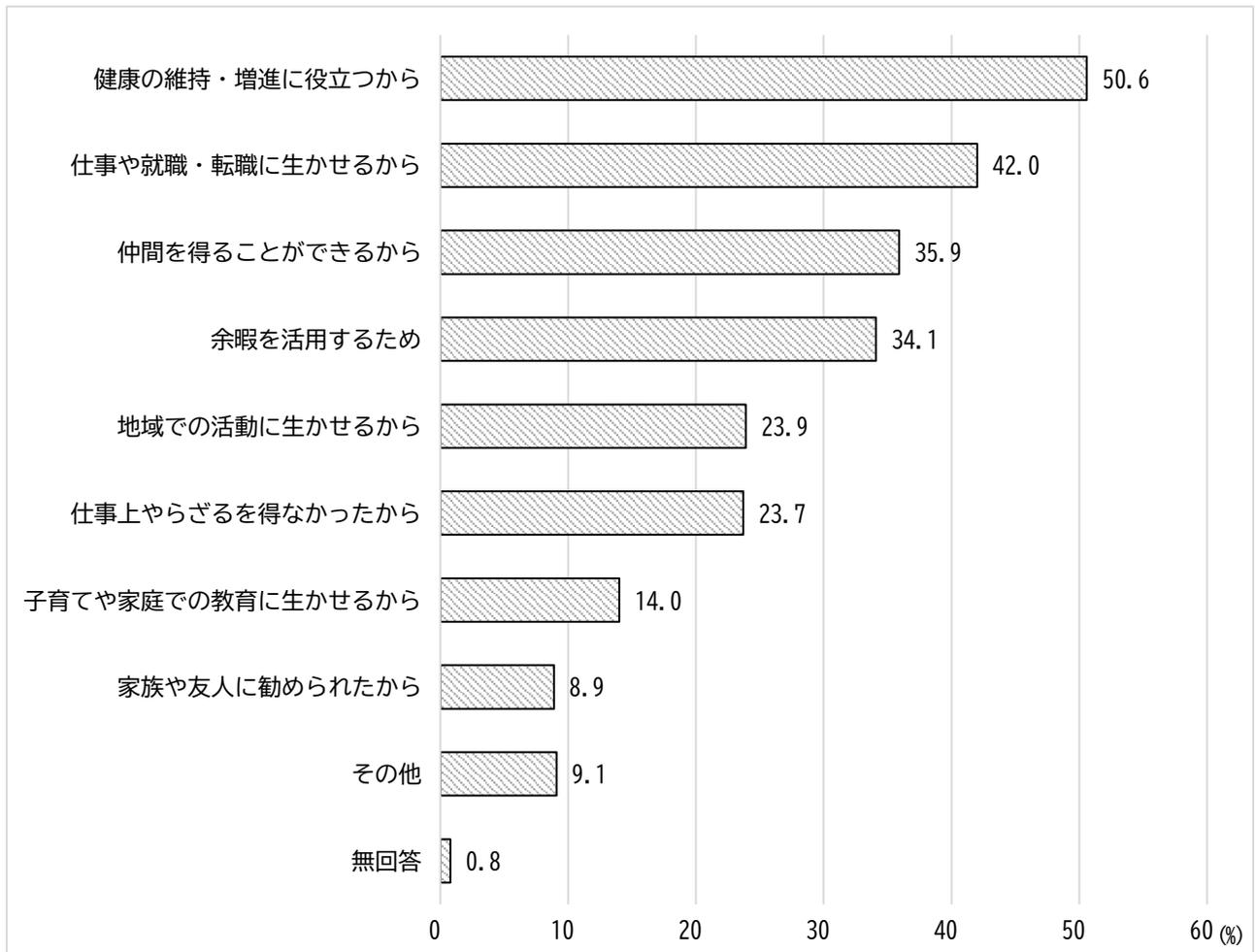
今後学習をしたい場所・学習形態（複数回答可）



問4（2）あなたが学習を行った目的や動機は何ですか。あてはまるものすべてを選んでください。
 （問4－（1）で「ある」と答えた方におたずねします。）

図18 学習を行った目的や動機（n=393）（複数回答可）

「学習を行った目的や動機」についての回答をまとめたグラフである。「健康の維持増進に役立つから」が約51%と最も高く、次いで「仕事や就職・転職に生かせるから」約42%、「仲間を得ることができるから」約36%であった。

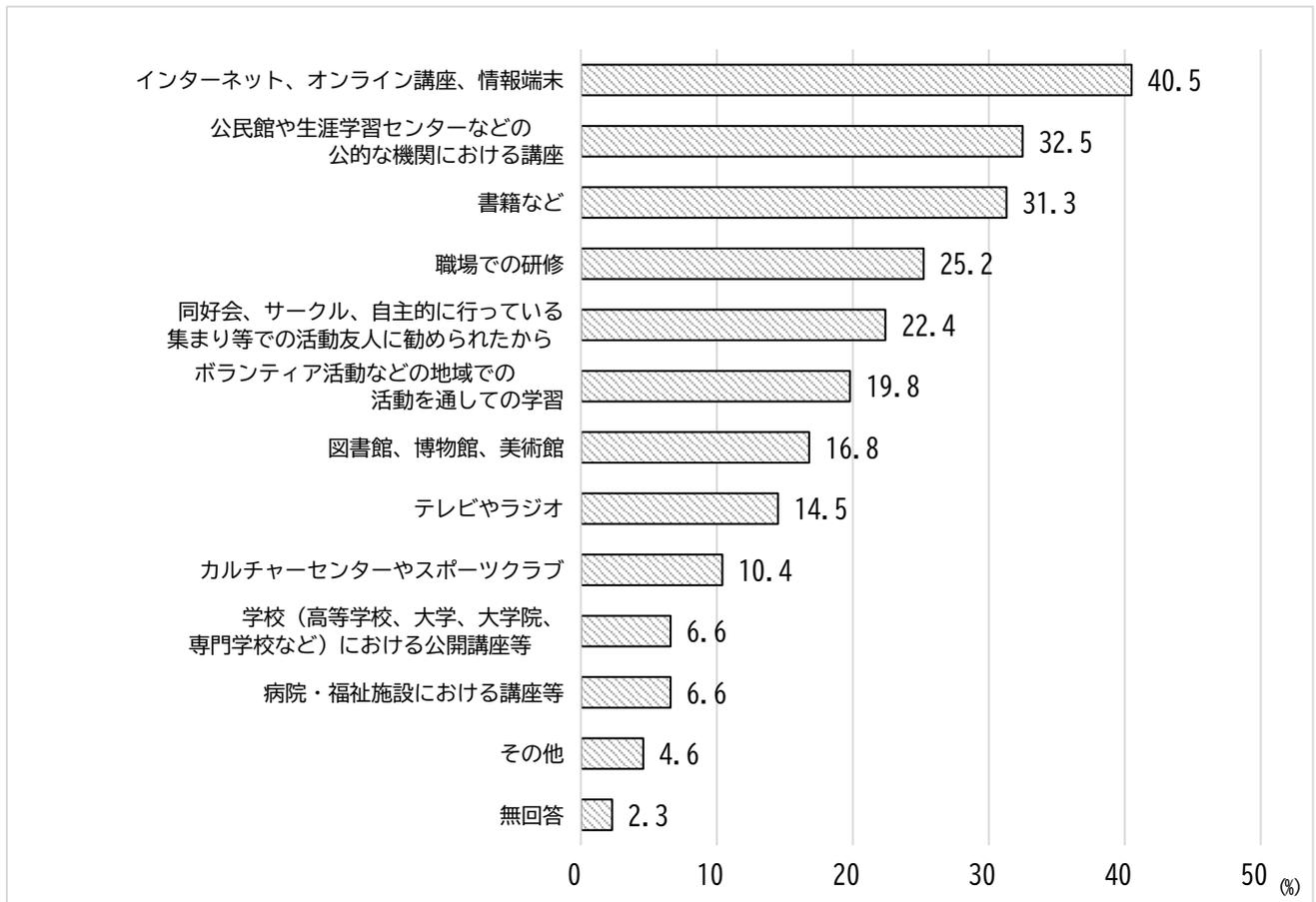


その他・・・○新しい発見がある ○興味があるから ○趣味 ○地域の活性化、絆作り 他

問4 (3) あなたは学習を行ったときにどのような場所や形態で学びましたか。また、学んでいますか。あてはまるものすべてを選んでください。
 (問4- (1) で「ある」と答えた方に引き続きおたずねします。)

図19 学習を行った場所・学習形態 (n=393) (複数回答可)

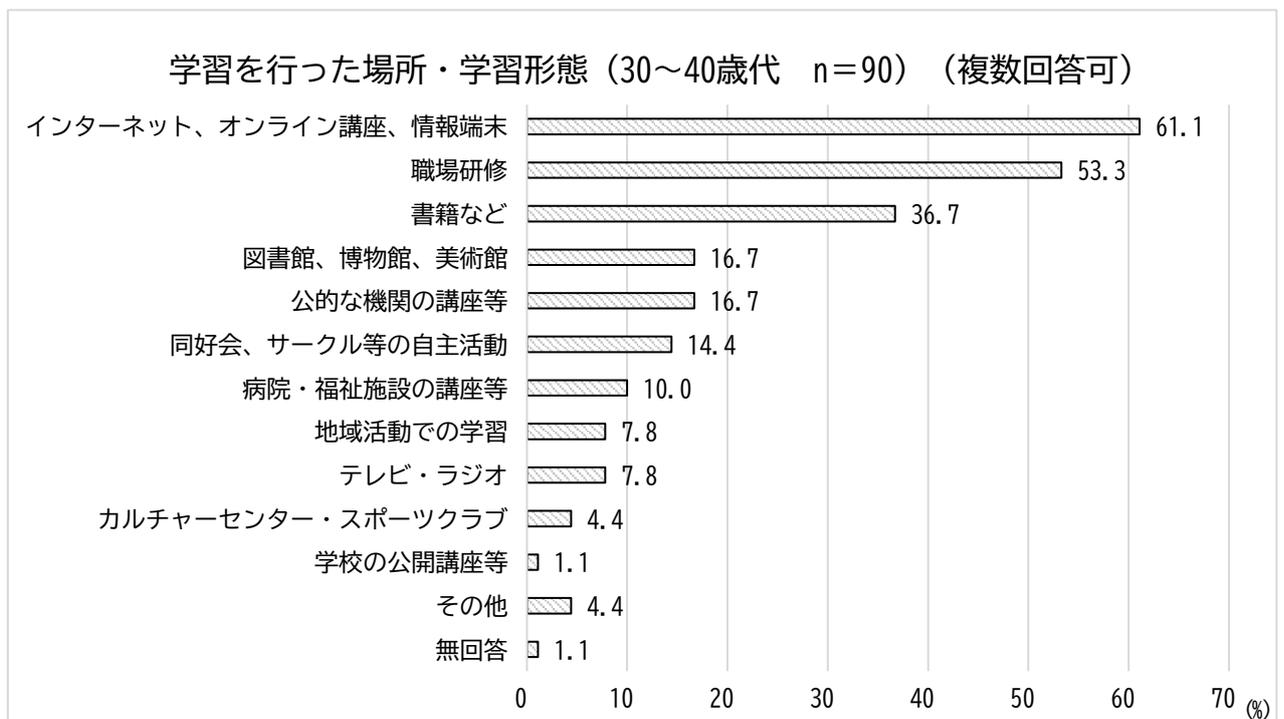
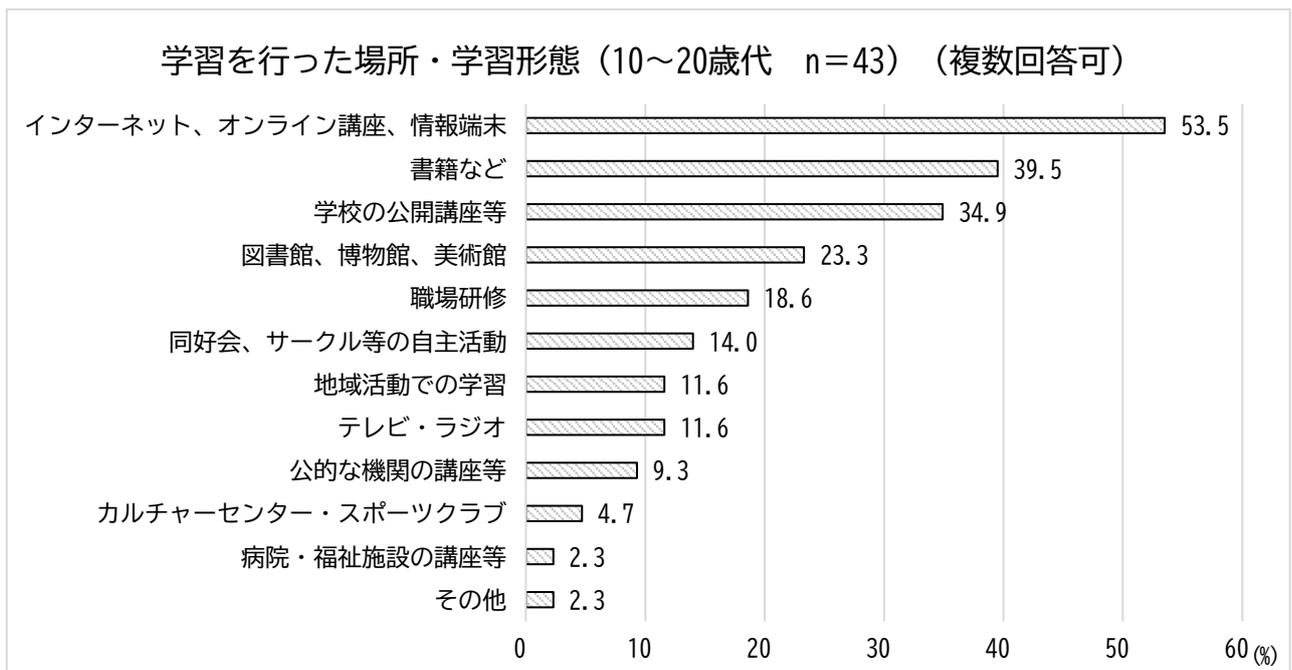
「学習を行った場所・学習形態」についてまとめたグラフである。「インターネット、オンライン講座、情報端末」が約41%と最も高く、次いで「公民館や生涯学習センターなどの公的な機関における講座」約33%、「書籍など」約31%であった。



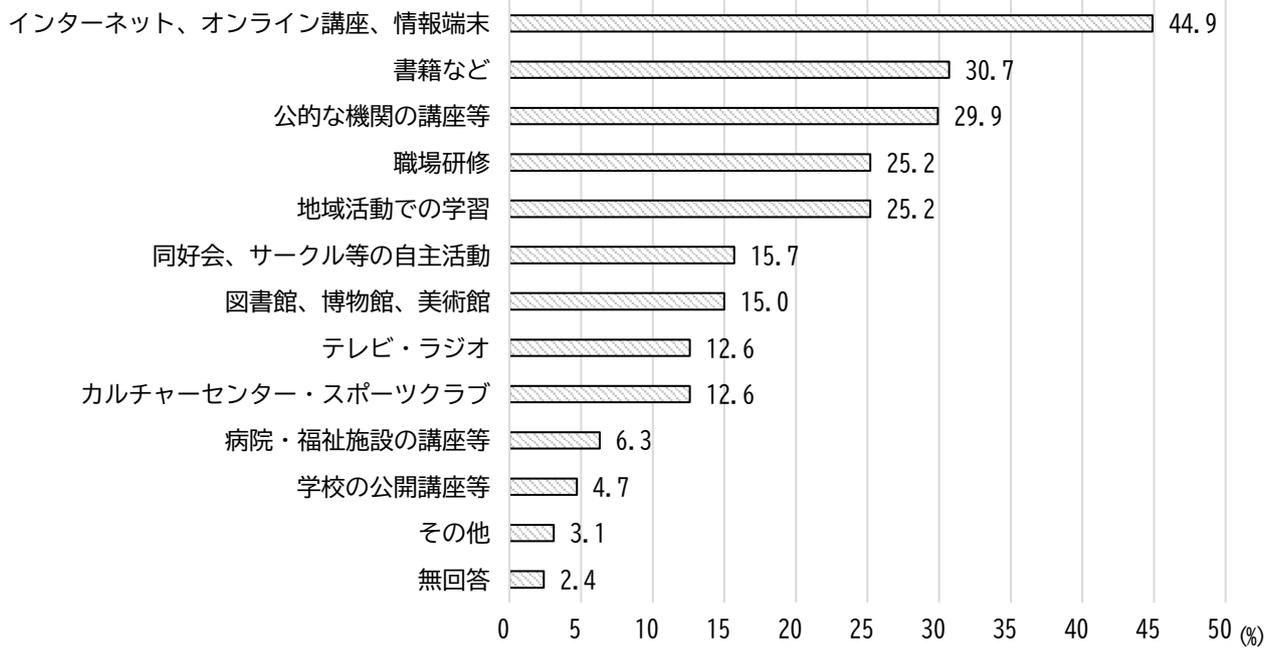
その他…○スマホ教室 ○通信教育 ○プライベートレッスン ○山 他

図 20 学習を行った場所・学習形態と年代

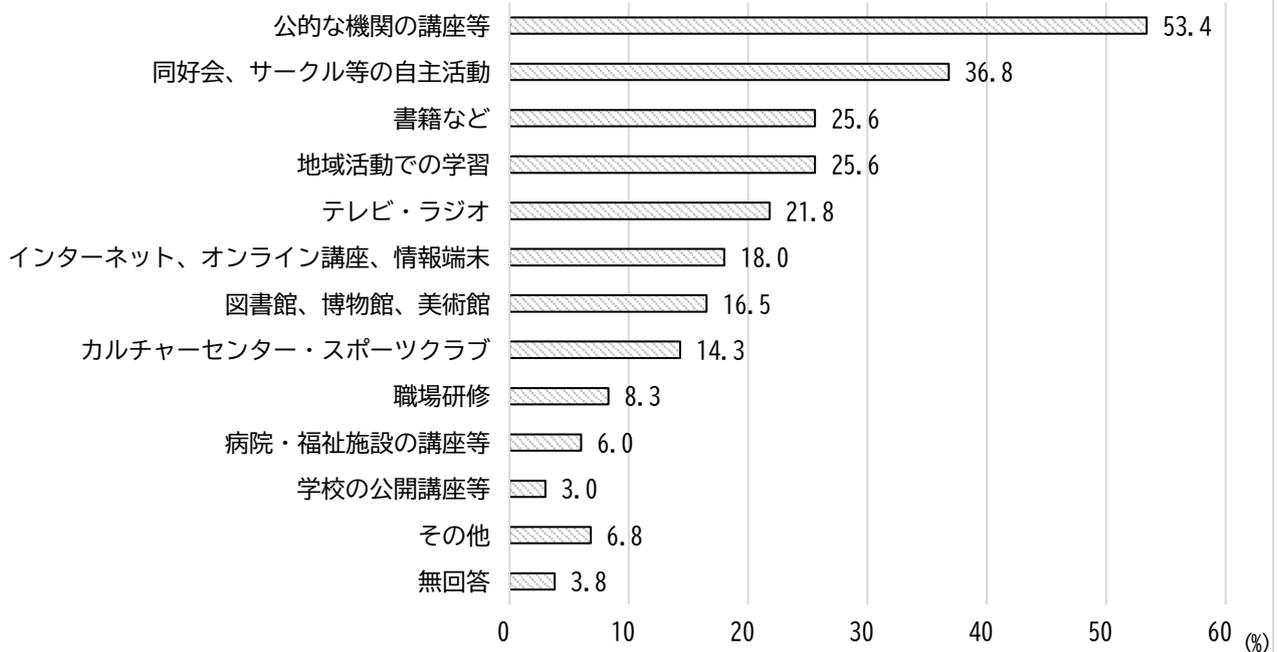
問 4 (3) 「学習を行った場所・学習形態」の回答を、年代別で集計した。10～60 歳代では、「インターネット、オンライン講座、情報端末」の回答が約 45～61%と最も高く、70～80 歳代以上では、「公民館や生涯学習センターなどの公的な機関における講座等」が約 53%で最も高かった。30～40 歳代は、「職場研修」の回答が約 53%と、他の年代より高かった。また、70～80 歳代以上は、「同好会、サークル等の自主的な活動」の回答が約 37%と、他の年代より高かった。



学習を行った場所・学習形態（50～60歳代 n=127）（複数回答可）



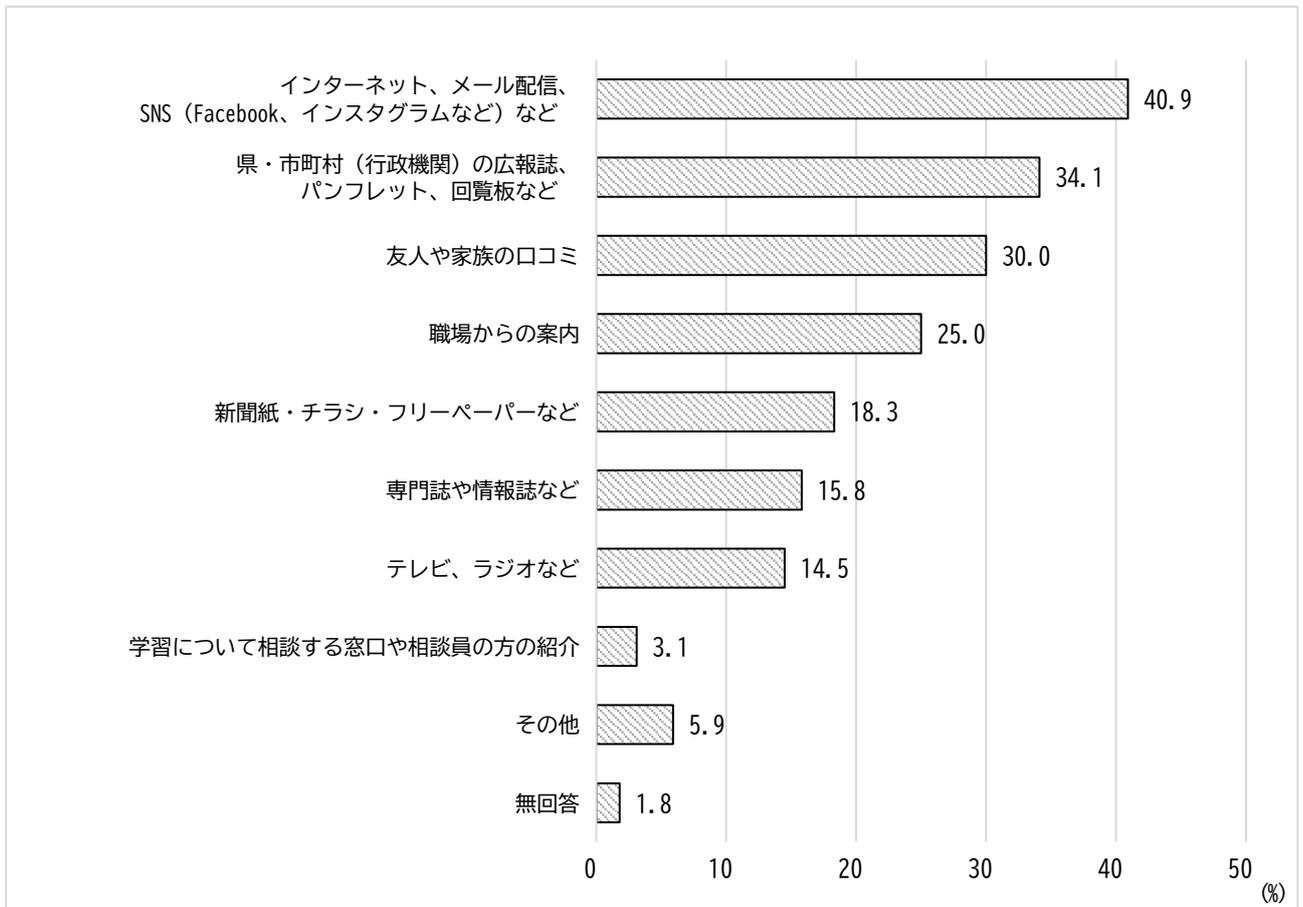
学習を行った場所・学習形態（70～80歳代以上 n=133）（複数回答可）



問4（4）あなたが行った学習の情報は何かから得ましたか。あてはまるものすべてを選んでください。
 （問4－（1）で「ある」と答えた方に引き続きおたずねします。）

図21 最近1年間に行った学習の情報の入手方法（n=393）（複数回答可）

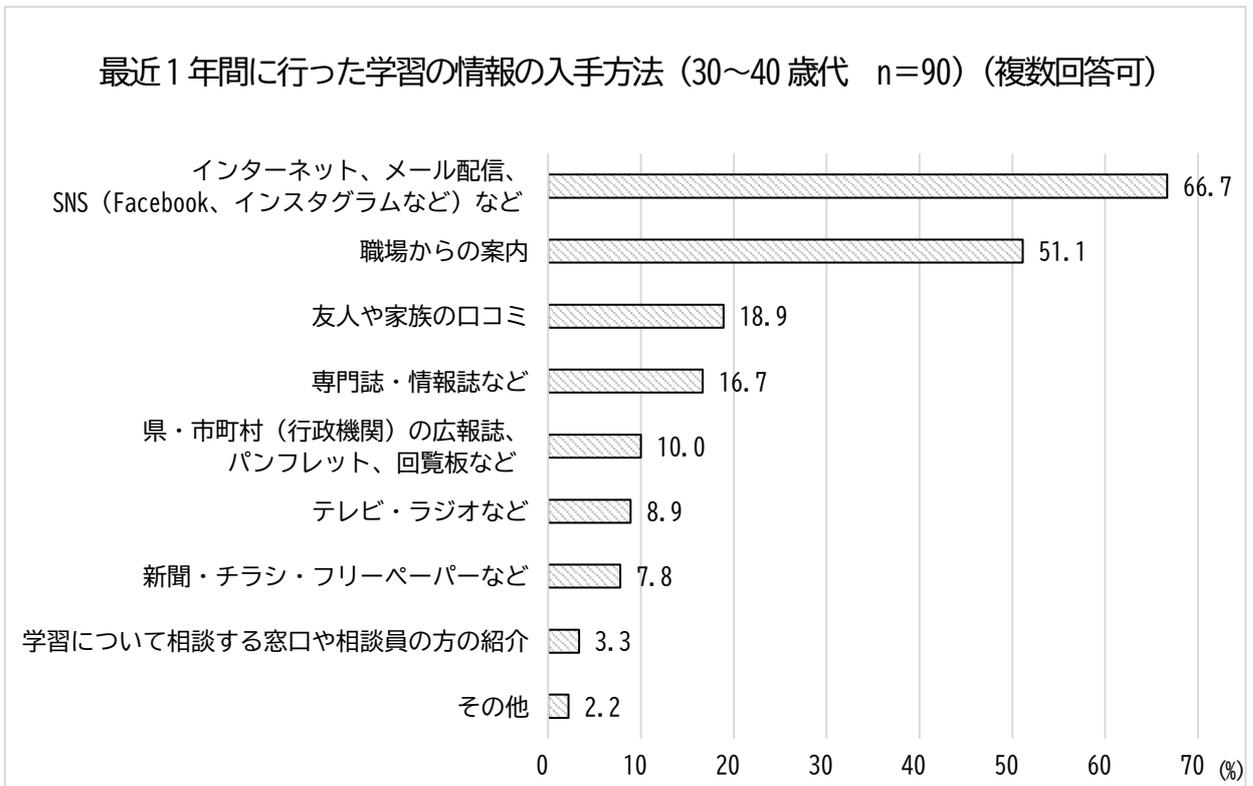
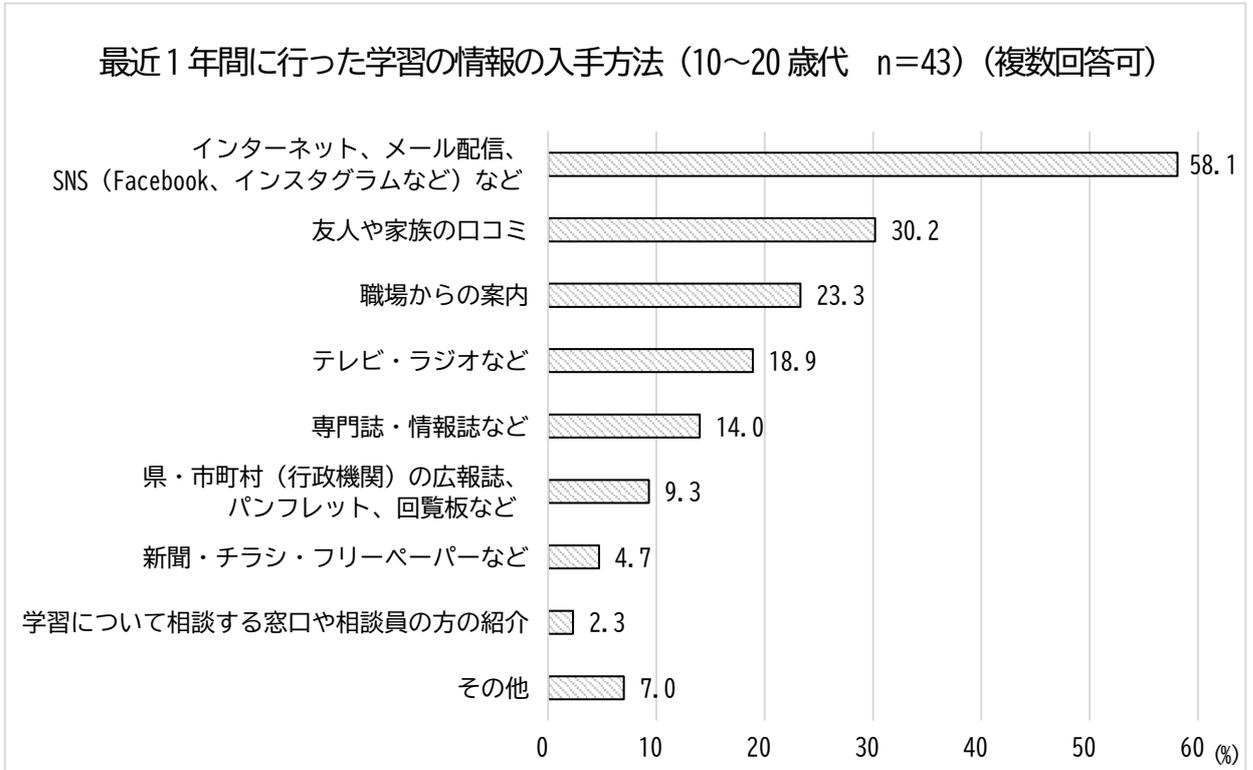
「最近1年間に行った学習の情報の入手方法」についてまとめたグラフである。「インターネット、メール配信、SNS（Facebook、インスタグラムなど）など」が約41%と最も多く、次いで「県・市町村（行政機関）の広報誌、パンフレット、回覧板など」約34%、「友人や家族の口コミ」約30%の順であった。



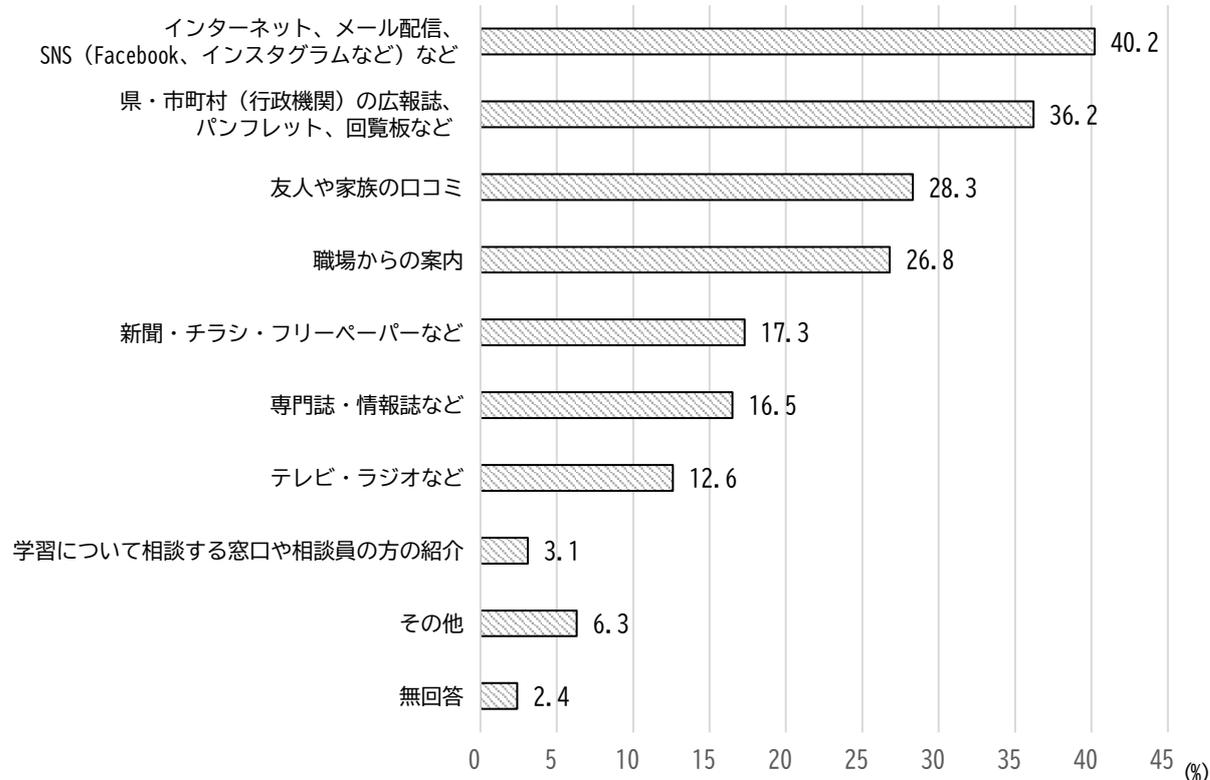
その他・・・○自身で開催 ○サークルでイベントに参加して ○プライベートレッスン
 ○友人の誘い 他

図22 学習情報の入手方法と年代

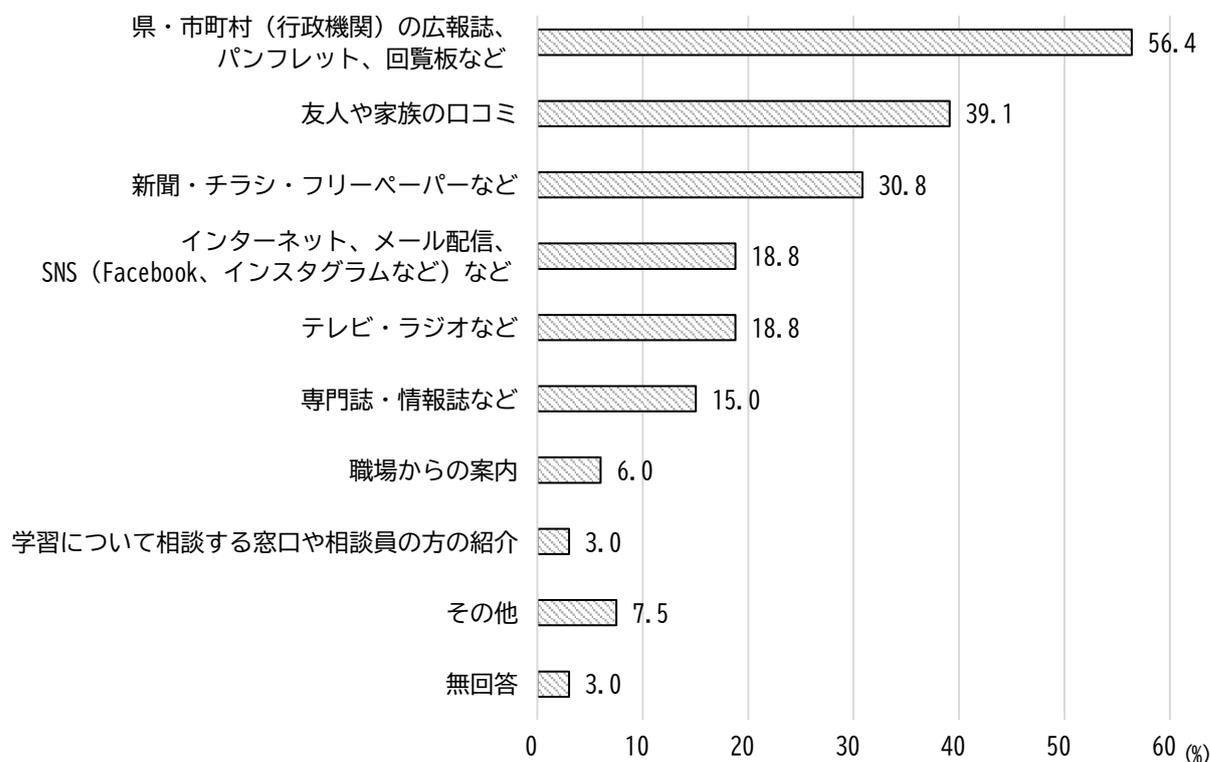
問4(4)「最近1年間に行った学習の情報の入手方法」の回答を、年代別に集計した。10～60歳代では、「インターネット、メール配信、SNS (Facebook、インスタグラムなど) など」が約40～67%と最も高く、70～80歳代以上では、「県・市町村 (行政機関) の広報誌、パンフレット、回覧板など」が約56%で最も高かった。また、どの年代でも「友人や家族の口コミ」も約19%～約39%と高かった。



最近1年間に行った学習の情報の入手方法（50～60歳代 n=127）（複数回答可）



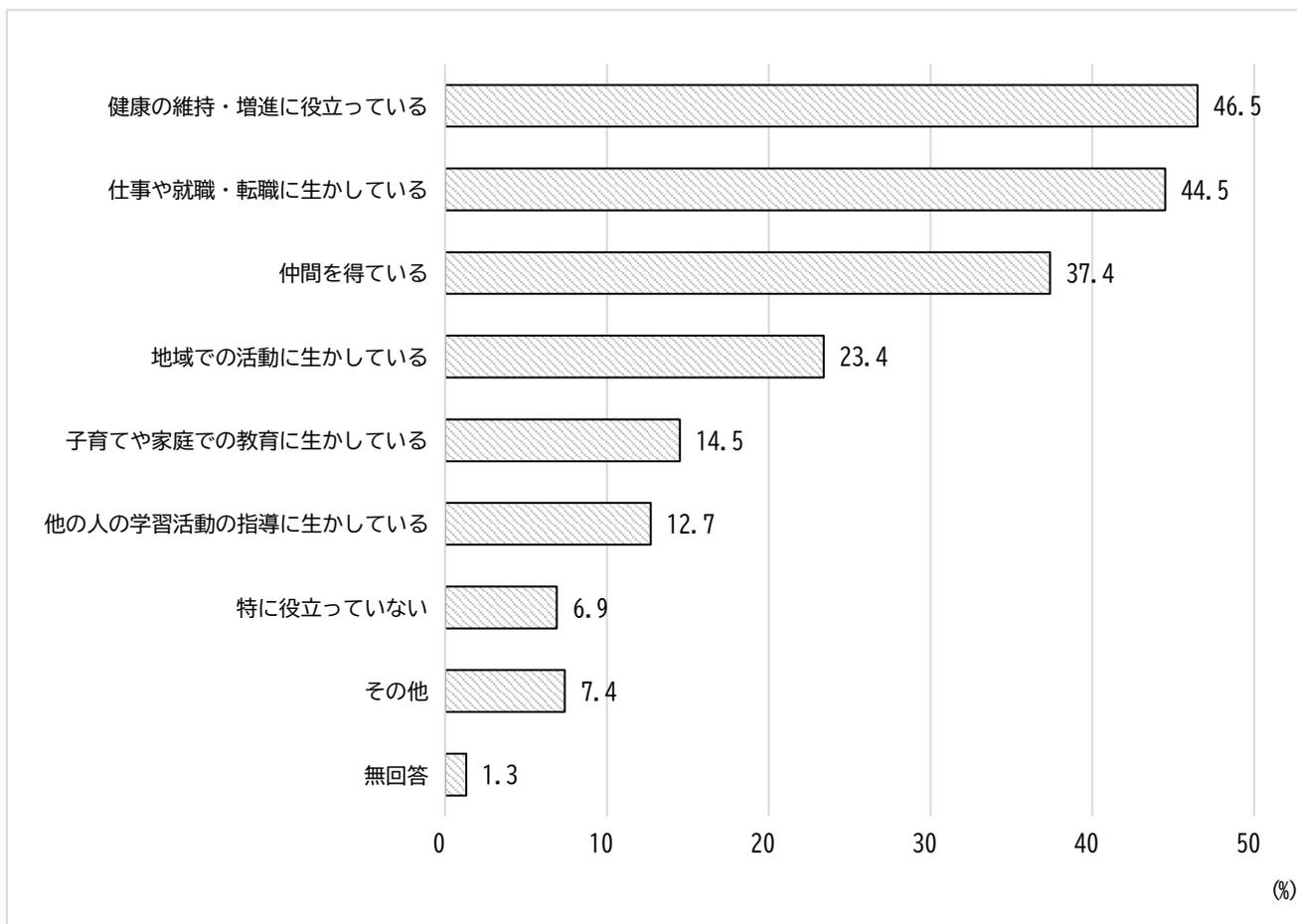
最近1年間に行った学習の情報の入手方法（70～80歳代以上 n=133）（複数回答可）



問4 (5) 学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験はあなたの生活にどのように役立っていますか。あてはまるものすべてを選んでください。
 (問4- (1) で「ある」と答えた方に引き続きおたずねします。)

図23 学習の生活への役立ち (n=393) (複数回答可)

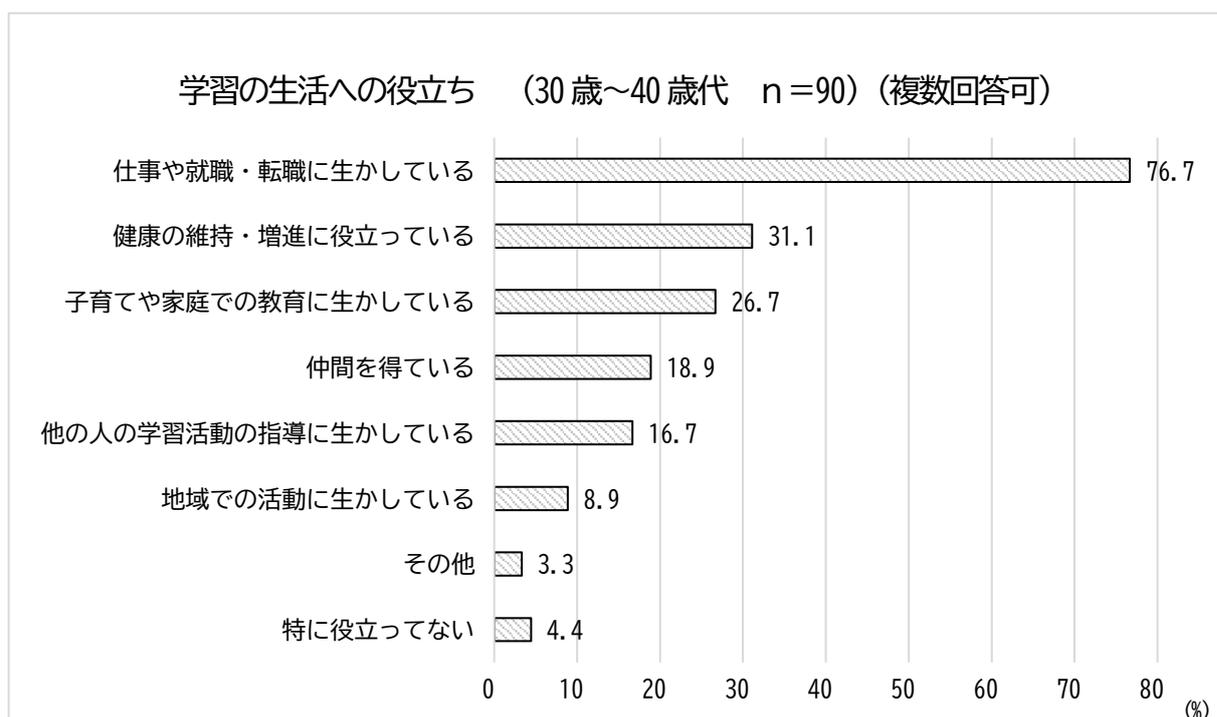
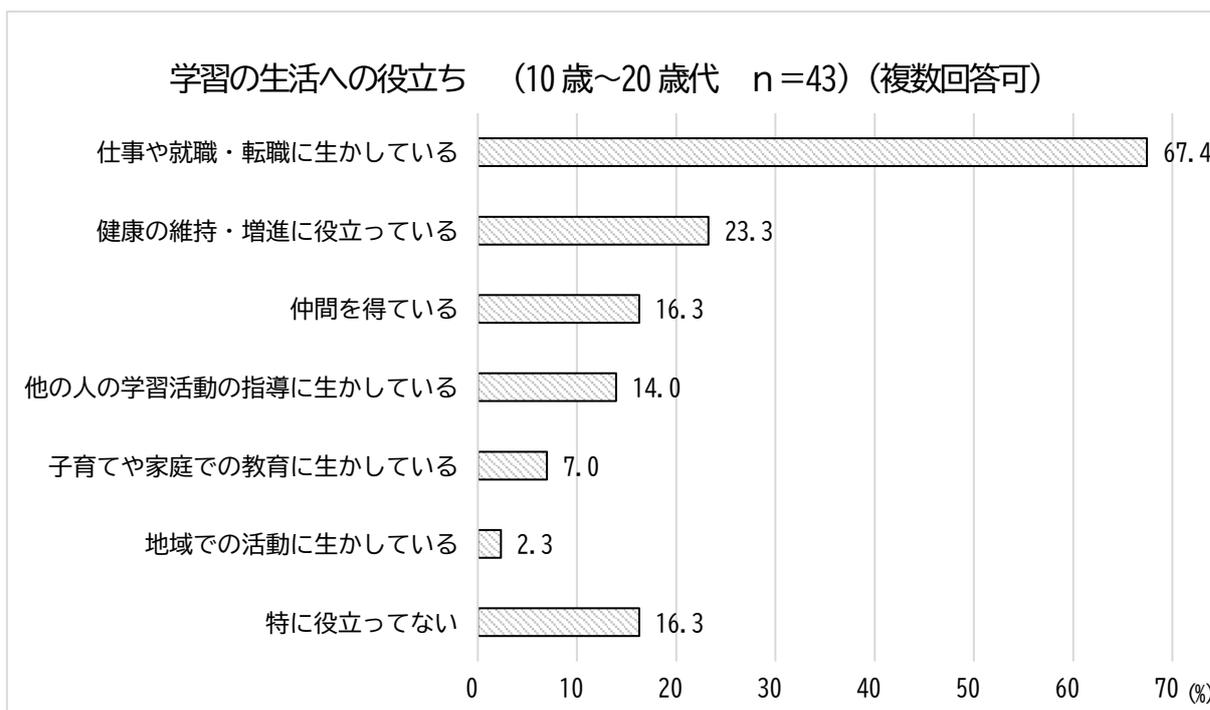
「学習の生活への役立ち」についてまとめたグラフである。「健康の維持・増進に役立っている」が約47%と最も高く、次いで「仕事や就職・転職に生かしている」約45%、「仲間を得ている」約37%であった。



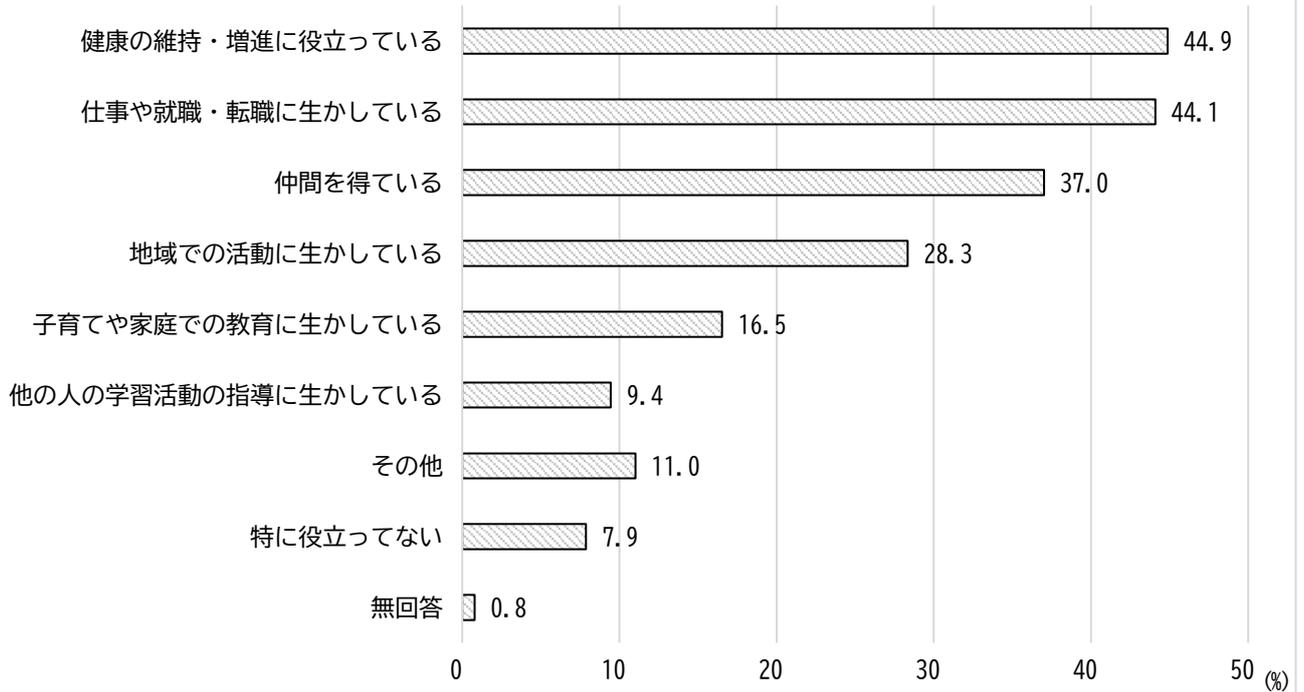
その他…○新しい発見がある ○グループの活動計画をたてる時 ○日常生活の充実
 ○旅行に行ったとき 他

図 24 学習の生活への役立ちと年代

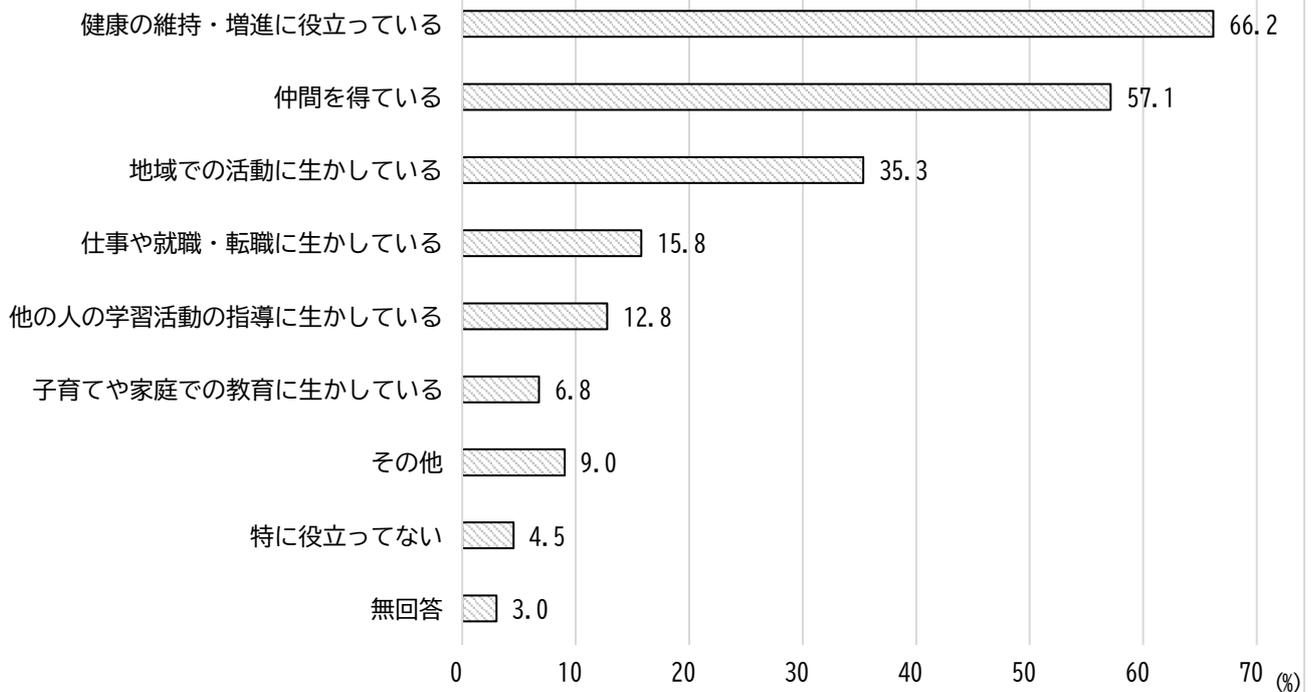
問 4 (5) 「学習の生活への役立ち」の回答を、年代別で集計した。「仕事や就職・転職に生かしている」の回答が10～20歳代で約67%、30～40歳代で約77%と最も高かった。「健康の維持・増進に役立っている」の回答が50～60歳代で約45%、70～80歳代以上で約66%となり最も高かった。また、「仲間を得ている」の回答が50～60歳代で約37%、70～80歳代以上で約57%、「地域での活動に生かしている」の回答が50～60歳代で約28%、70～80歳代以上で約35%と、10～40歳代に比べて回答が高かった。



学習の生活への役立ち (50歳~60歳代 n=127) (複数回答可)



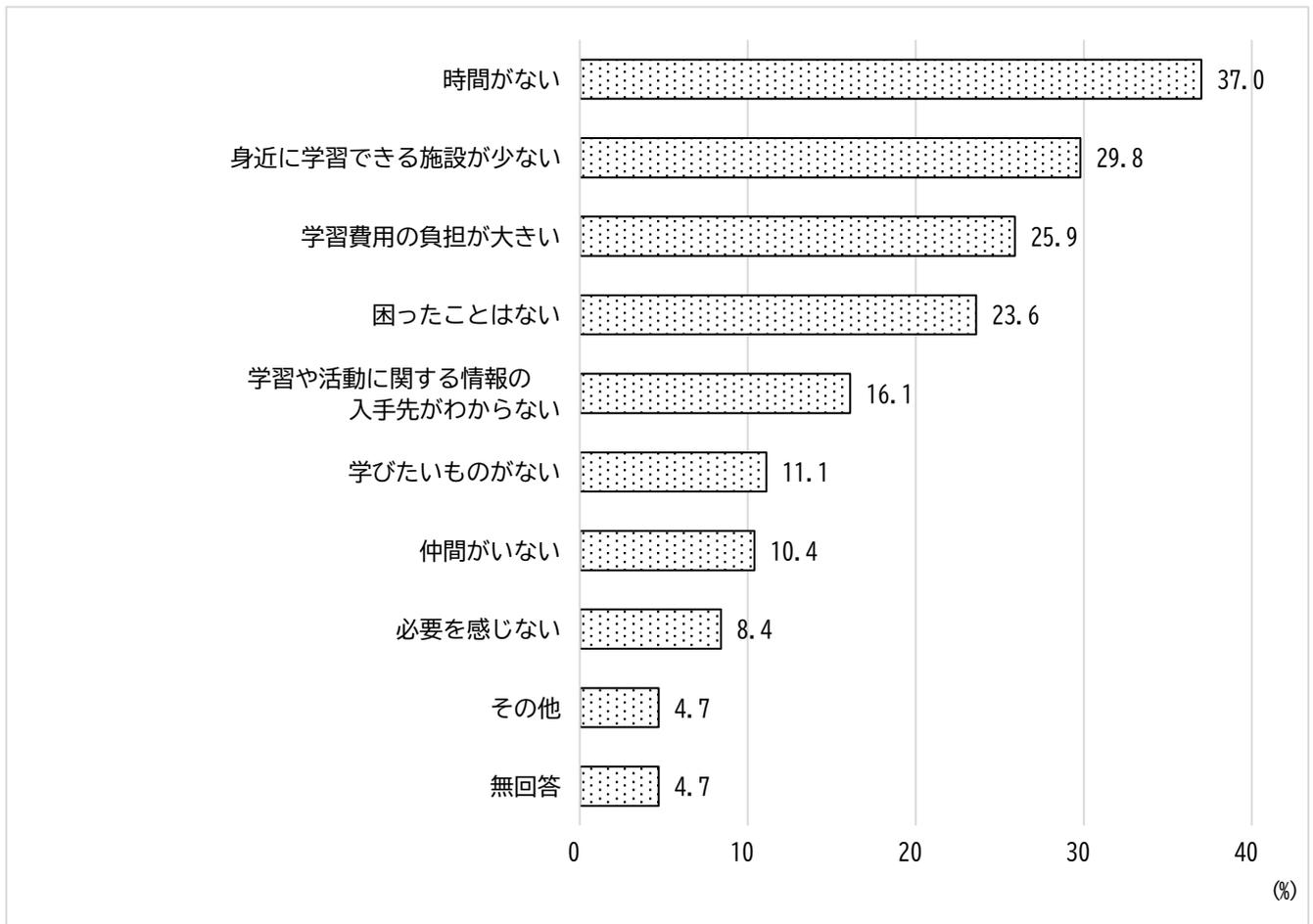
学習の生活への役立ち (70歳~80歳代 n=133) (複数回答可)



問4 (6) あなたが学習を行うにあたって、困ったことがありましたか。あてはまるものすべてを選んでください。
(全員の方におたずねします。)

図25 学習を行うにあたり困ったこと (複数回答可)

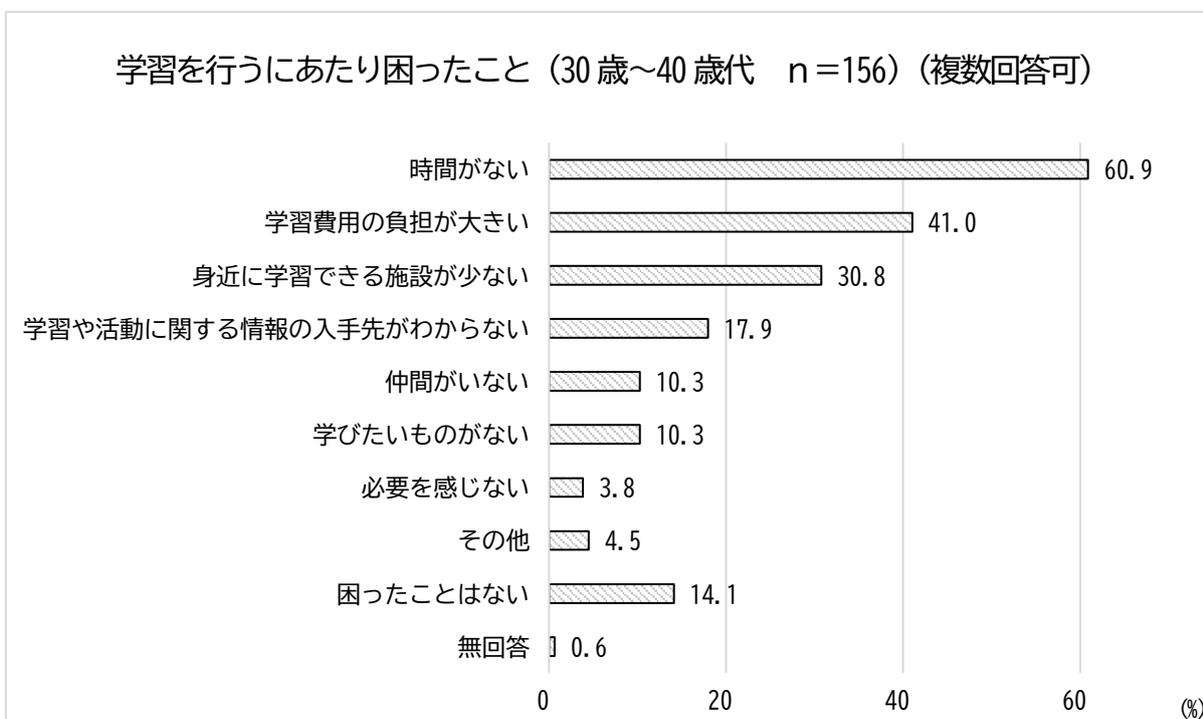
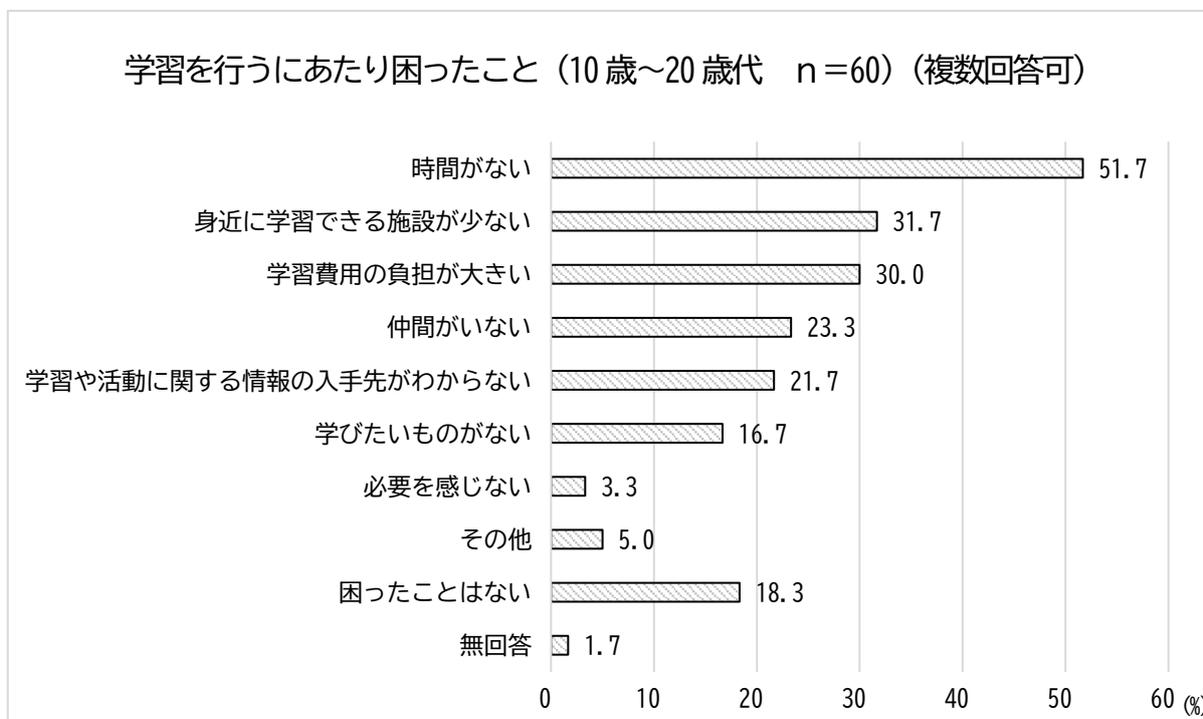
「学習を行うにあたり、困ったこと」についてまとめたグラフである。「時間がない」が約37%で最も高く、次いで「身近に学習できる施設が少ない」約30%、「学習費用の負担が大きい」約26%の順であった。



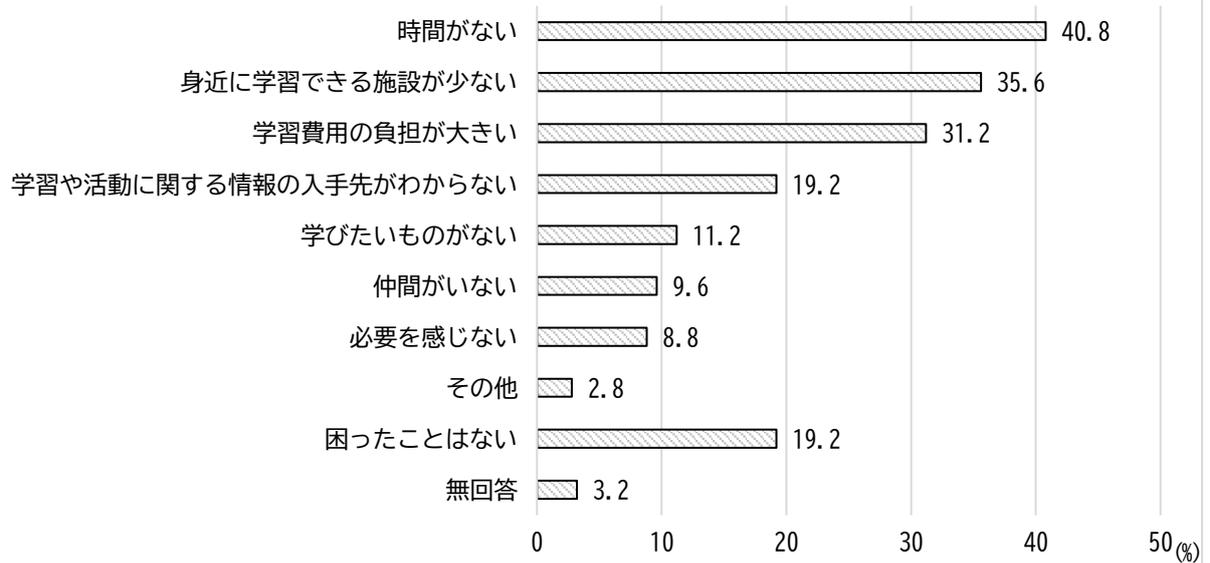
その他…○高齢である ○セミナーの日にちが合わない ○必要な情報が集まらない 他

図 26 学習を行うにあたり困ったことと年代

問 4 (6) 「学習を行うにあたり困ったこと」の回答を、年代別で集計した。10～60 歳代では、「時間がない」の回答が約 41～61%と最も高く、70～80 歳代以上では、「身近に学習できる施設が少ない」が約 22%で最も高かった。10～60 歳代も、「身近に学習できる施設が少ない」が約 30～36%と高い結果となった。また、70～80 歳代以上は、「困ったことはない」が 36%と高いことがわかった。



学習を行うにあたり困ったこと (50歳~60歳代 n=250) (複数回答可)



学習を行うにあたり困ったこと (70歳~80歳代以上 n=236) (複数回答可)

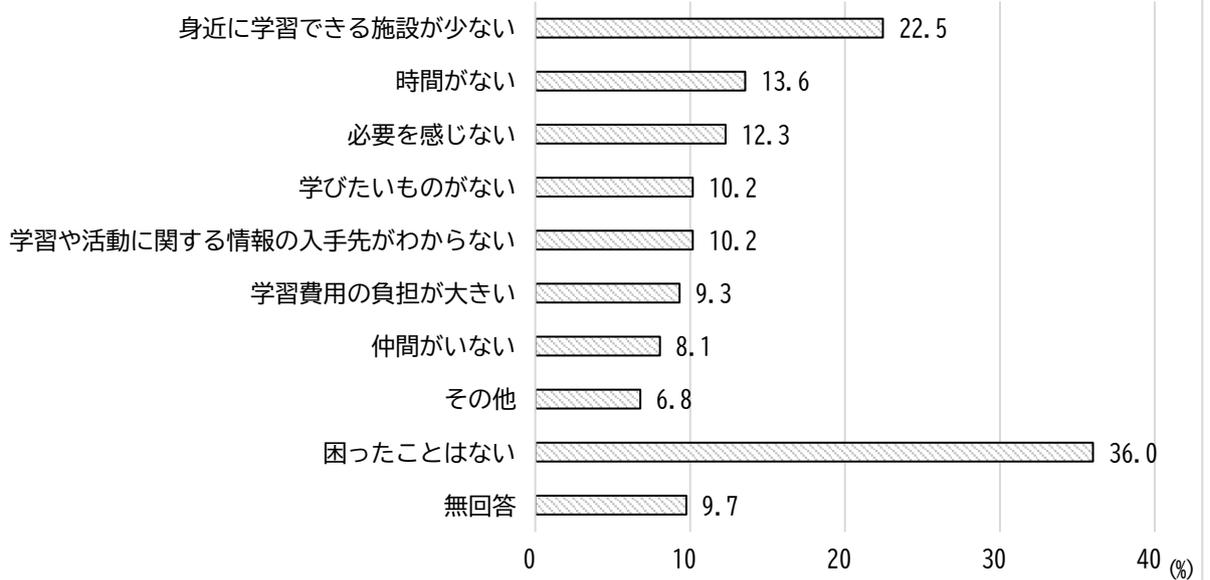
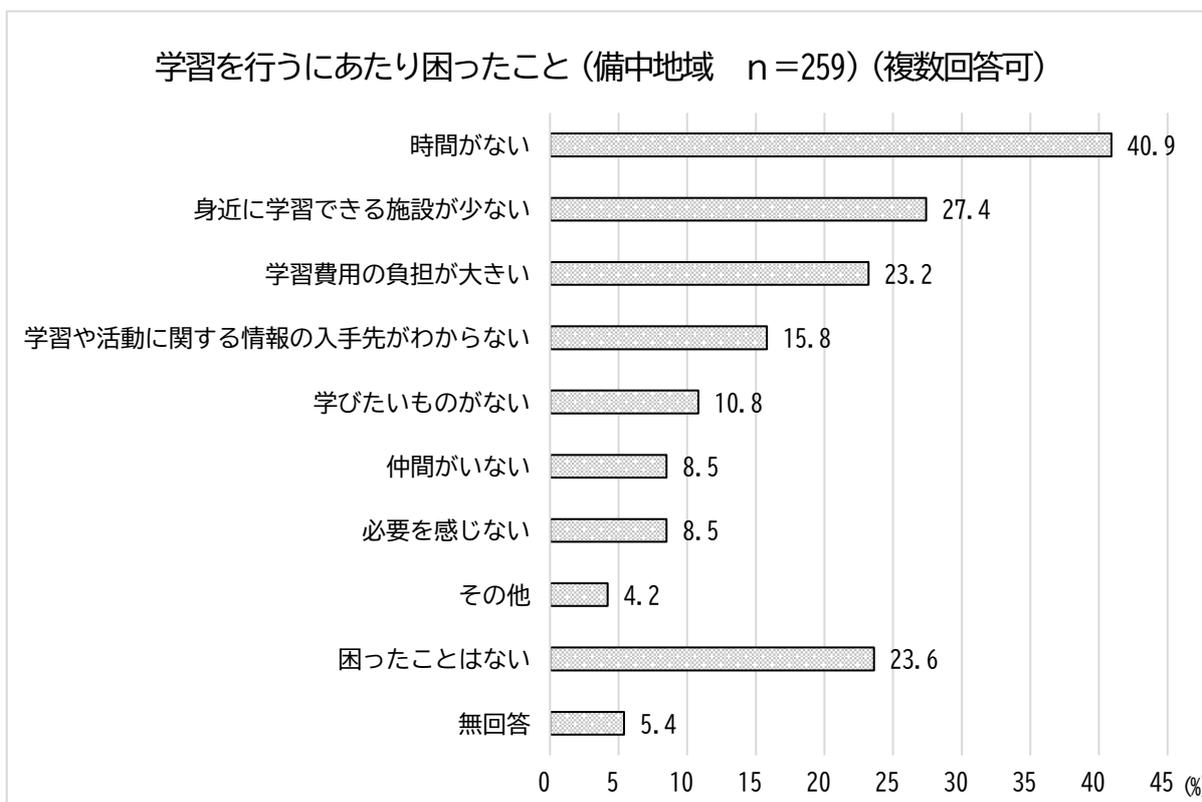
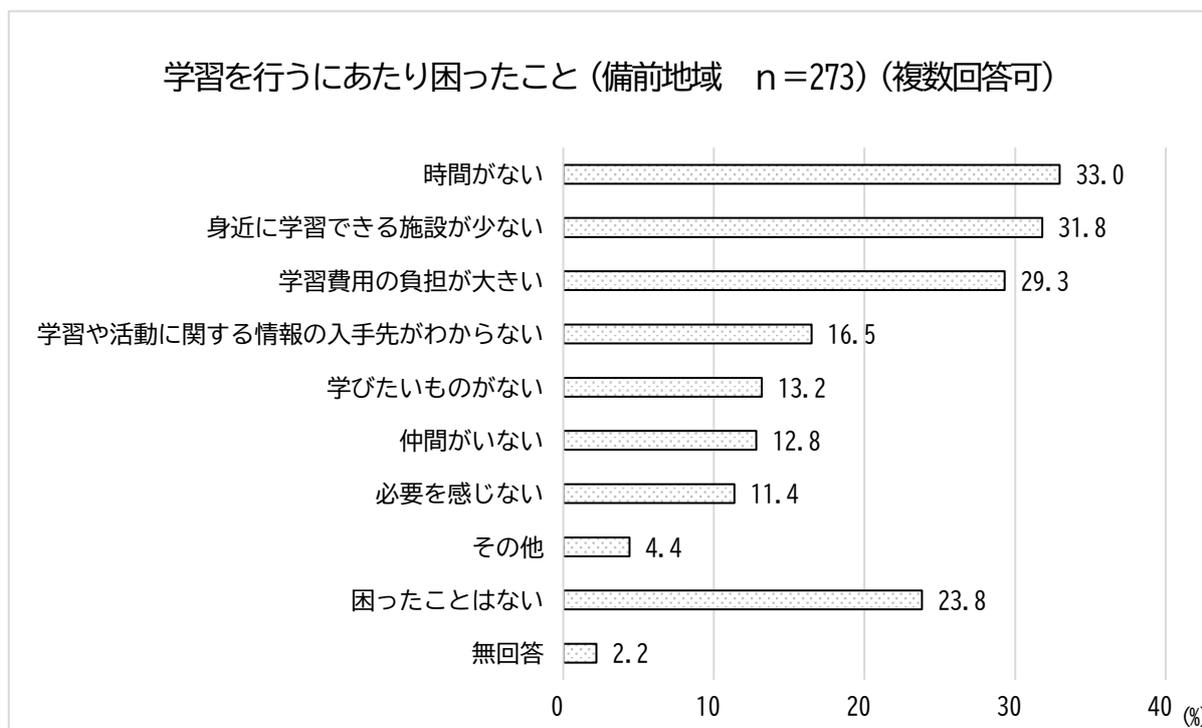
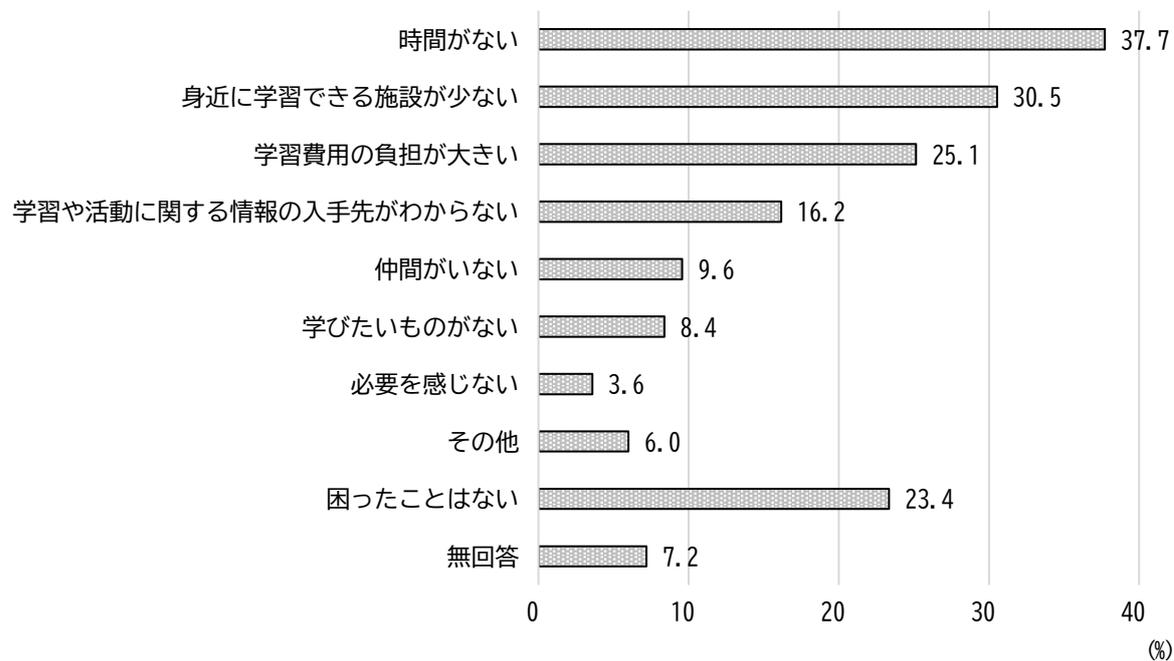


図 27 学習を行うにあたり困ったことと地域

問4(6)「学習を行うにあたり困ったこと」の回答を、地域別に集計した。※地域は P.1 に掲載
どの地域でも、「時間がない」の回答が約33~41%と最も高く、次いで「身近に学習できる施設が少ない」
が約27~32%で高かった。



学習を行うにあたり困ったこと（美作地域 n=167）（複数回答可）



3 自主的な学習について

問3 (1) あなたは自ら進んで学習を行いたいと思いますか。

図28 自主的に学習したいか (n=702)

「自ら進んで学習を行いたいか」についての回答をまとめたグラフである。「進んで学習を行いたいと思う」と回答したのは約74%、「思わない」と回答したのは約25%であった。

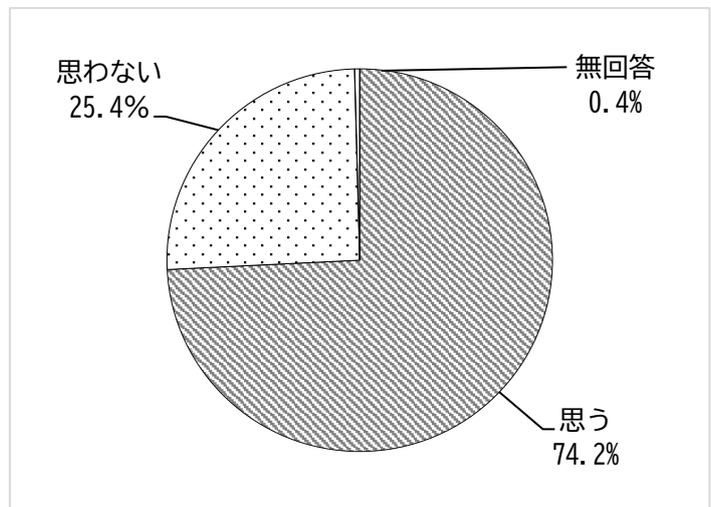


図29 学習意欲と年代 (n=702)

問3 (1) 「自主的に学習したいか」の回答を、年代別で集計した。どの年代も70%以上の人々が、「自ら進んで学習を行いたいと思う」と回答しているが、「自ら進んで学習を行いたいと思わない」との回答も全世代に一定数いる。

自主的に学習したいか

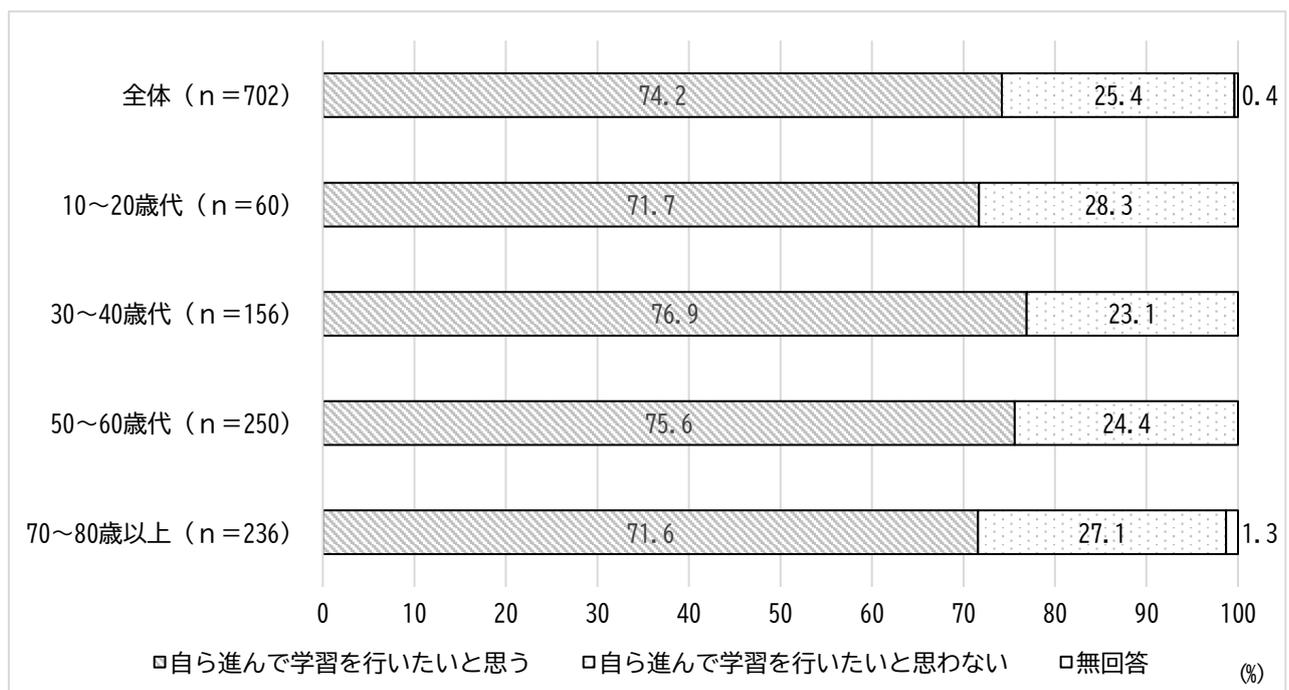
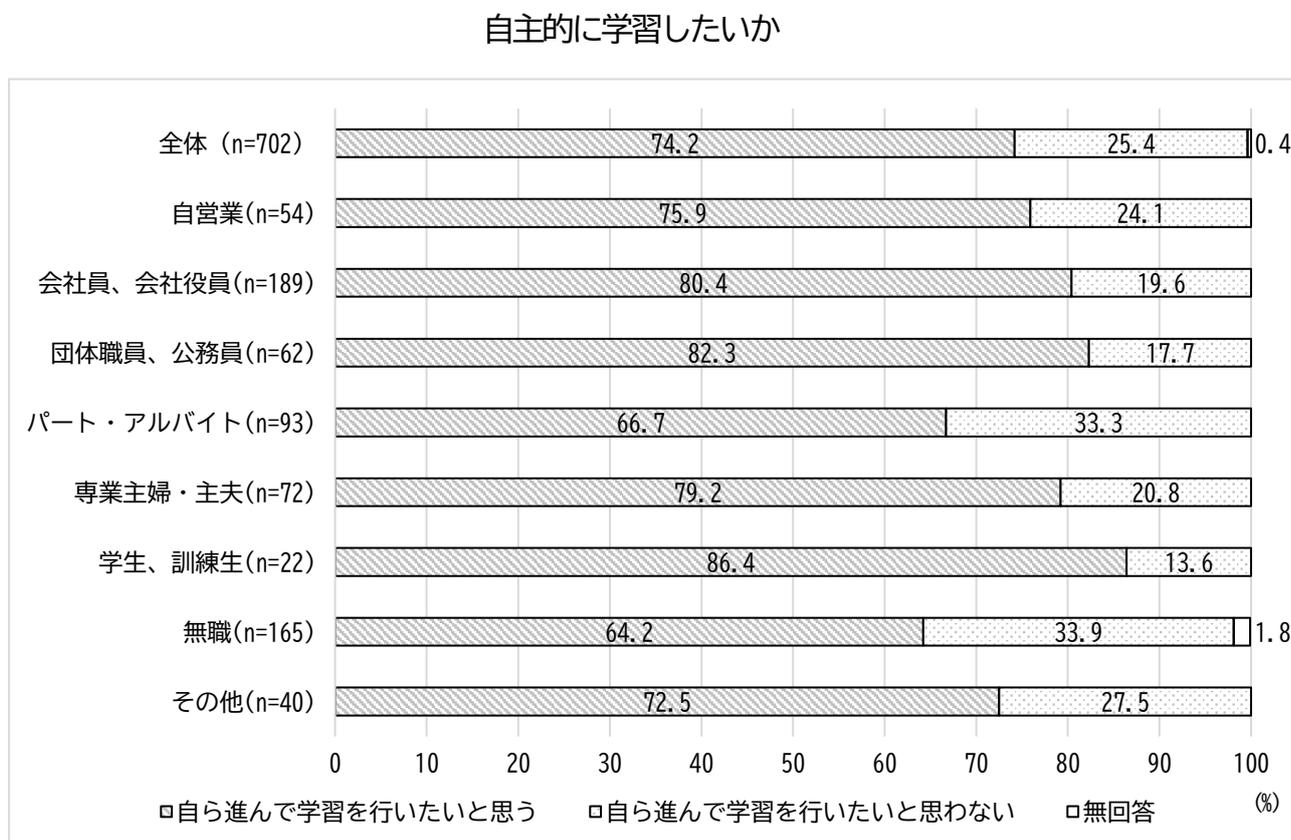


図 30 学習意欲と職業

問3 (1)「自主的に学習したいか」の回答を、職業別に集計した。「パート・アルバイト」「無職」以外の職業で70%以上が「自ら進んで学習を行いたいと思う」と回答し、特に高かったのは「学生、訓練生」約86%、次いで「団体職員・公務員」約82%であった。「無職」は約64%と最も低かった。



その他・・・○医師 ○看護師 ○内職 ○農業 ○非常勤講師 他

図 31 学習意欲と地域

問3 (1)「自主的に学習したいか」についての回答を、地域別に集計した。※地域はP. 1に掲載
どの地域でも70%以上が「自ら進んで学習を行いたいと思う」と回答し、特に「美作地域」は約83%と
最も高かった。

自主的に学習したいか

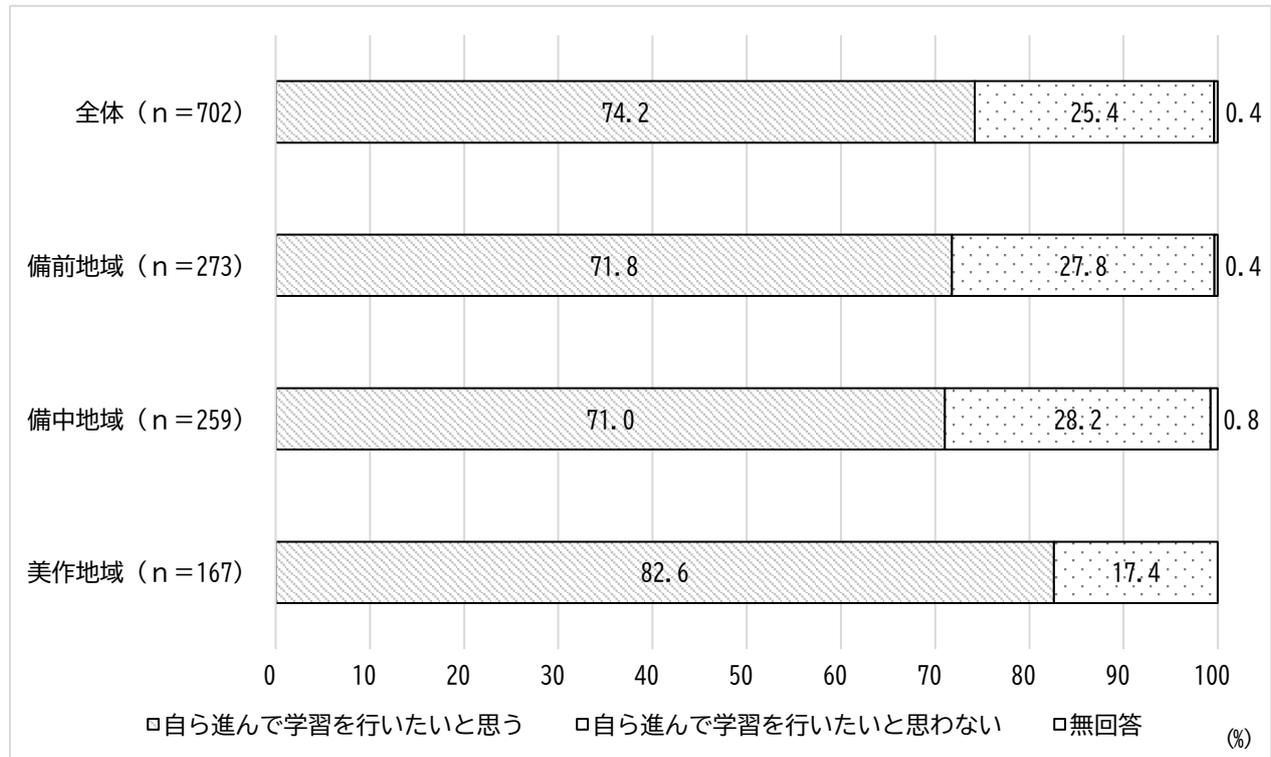
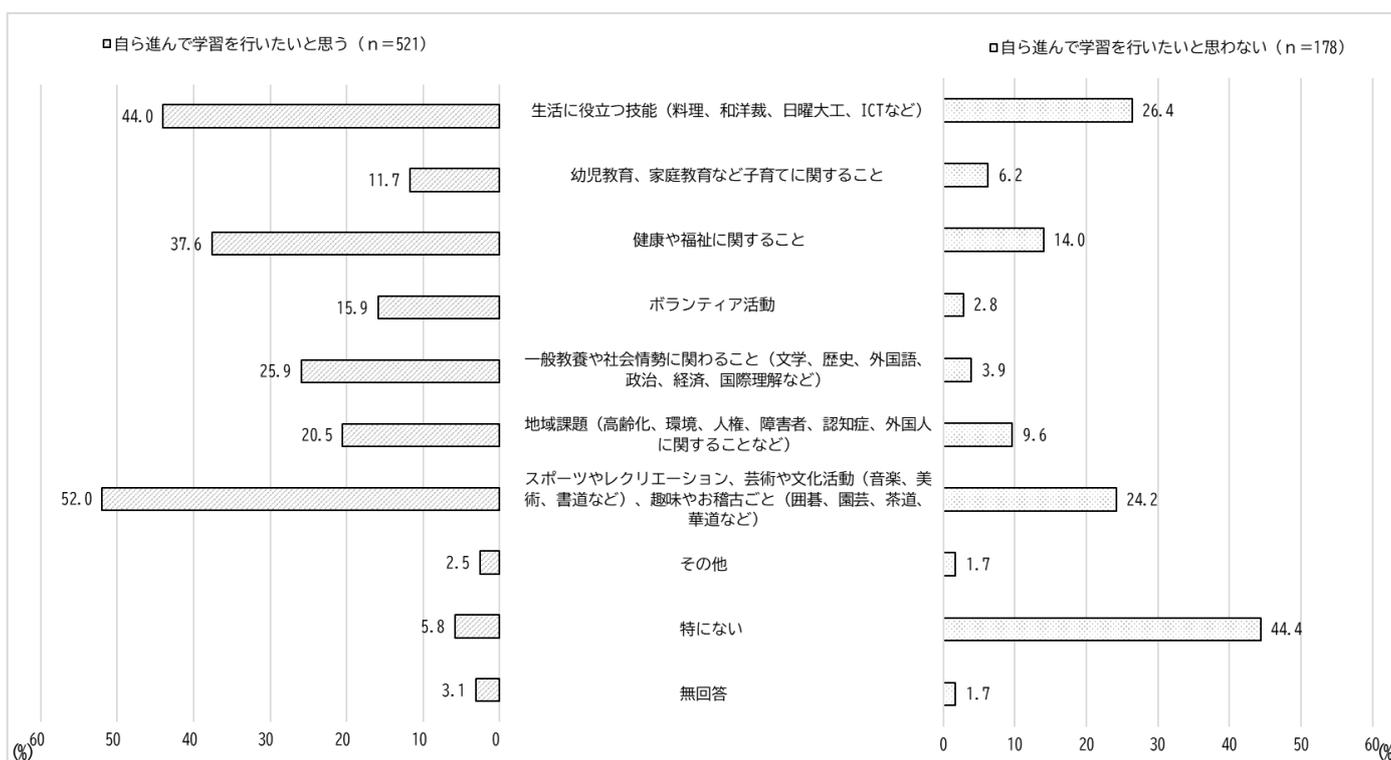


図 32 学習意欲と今後したいと思う学習

問3 (1)「自主的に学習したいか」と問7 (1)「今後したいと思う学習」について集計した。「自ら進んで学習を行いたいと思う」と回答したなかでは、「スポーツやレクリエーション、芸術や文化活動、趣味やお稽古ごと」が約52%と最も高く、次いで「生活に役立つ技能」約44%、「健康や福祉に関すること」約37%と続く。

「自ら進んで学習を行いたくない」と回答したなかでも、「生活に役立つ技能」が約27%と最も高く、次いで「スポーツやレクリエーション、芸術や文化活動、趣味やお稽古ごと」約25%、「健康や福祉に関すること」約15%となっているが、「特にない」の回答が約44%と高くなっている。

今後したいと思う学習（複数回答可）



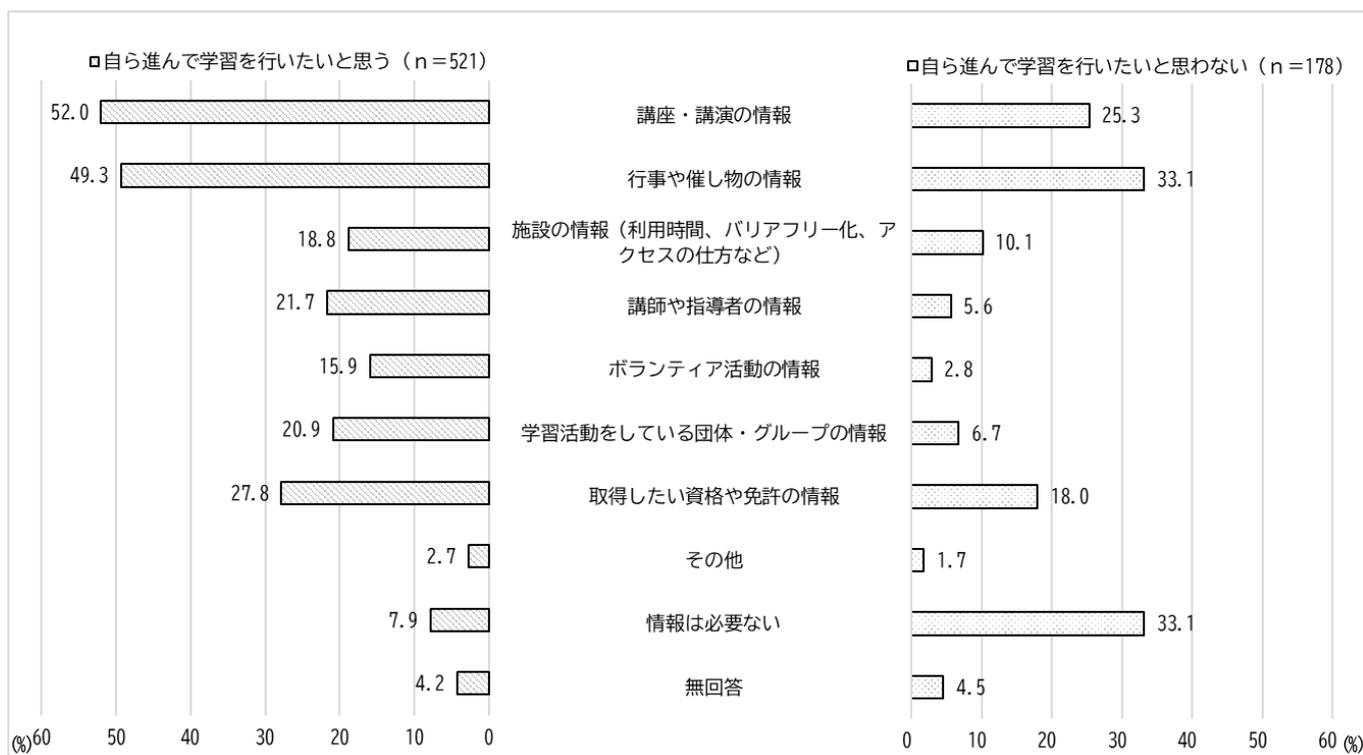
その他・・・○自然科学 ○スマートフォンの使い方 ○動物について
○学び直し (夜間中学校) 他

図 33 学習意欲と学習を進める上で欲しい情報

問3 (1)「自主的に学習したいか」と問7 (2)「今後の学習のために欲しい情報」について集計した。「自ら進んで学習を行いたいと思う」と回答したなかでは、「講座・講演の情報」が約 52%と最も高く、次いで「行事や催し物の情報」約 49%、「取得したい資格や免許の情報」約 28%と続く。

「自ら進んで学習を行いたくない」と回答したなかでも、「行事や催し物の情報」約 33%と最も高く、次いで「講座・講演の情報」約 25%となっているが、「情報は必要ない」の回答が約 33%と高くなっている。

学習を進める上で、欲しい情報（複数回答可）



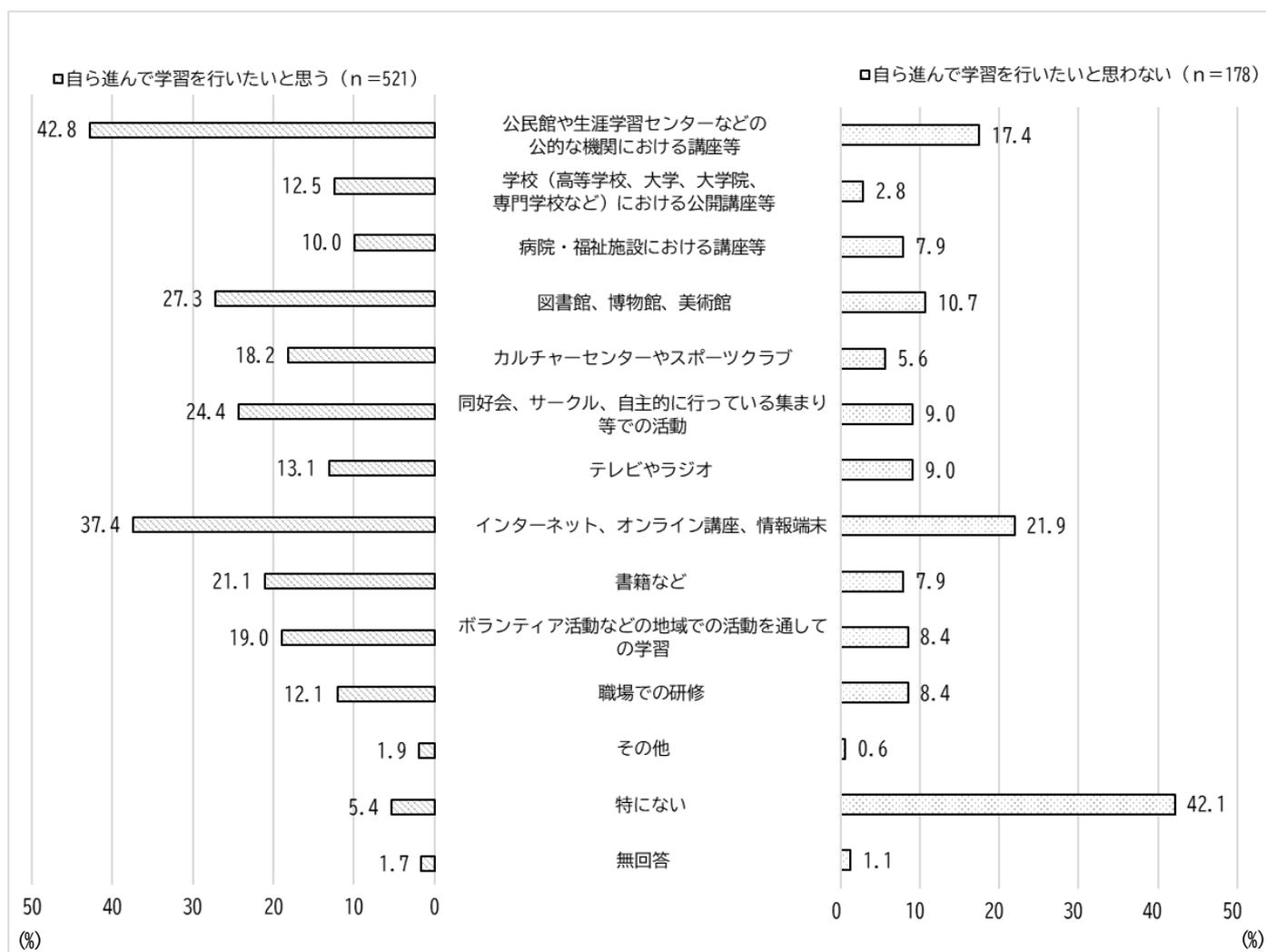
その他・・・○高齢者に向けての学習の情報 ○病気やけがについての講座の情報
○学び直しの情報 他

図 34 学習意欲と学習したい場所・学習形態

問3 (1)「自主的に学習したいか」と問7 (3)「今後学習したい場所・学習形態」について集計した。「自ら進んで学習を行いたいと思う」と回答したなかでは、「公民館や生涯学習センターなどの公的な機関における講座等」が約43%と最も高く、次いで「インターネット、オンライン講座、情報端末」約37%、「図書館、博物館、美術館」約27%と続く。

「自ら進んで学習を行いたくない」と回答したなかでも、「インターネット、オンライン講座、情報端末」が約22%と最も高く、次いで「公民館や生涯学習センターなどの公的な機関における講座等」約17%、「図書館、博物館、美術館」約11%となっているが、「特にない」の回答が約42%と高くなっている。

今後学習をしたい場所や学習形態（複数回答可）

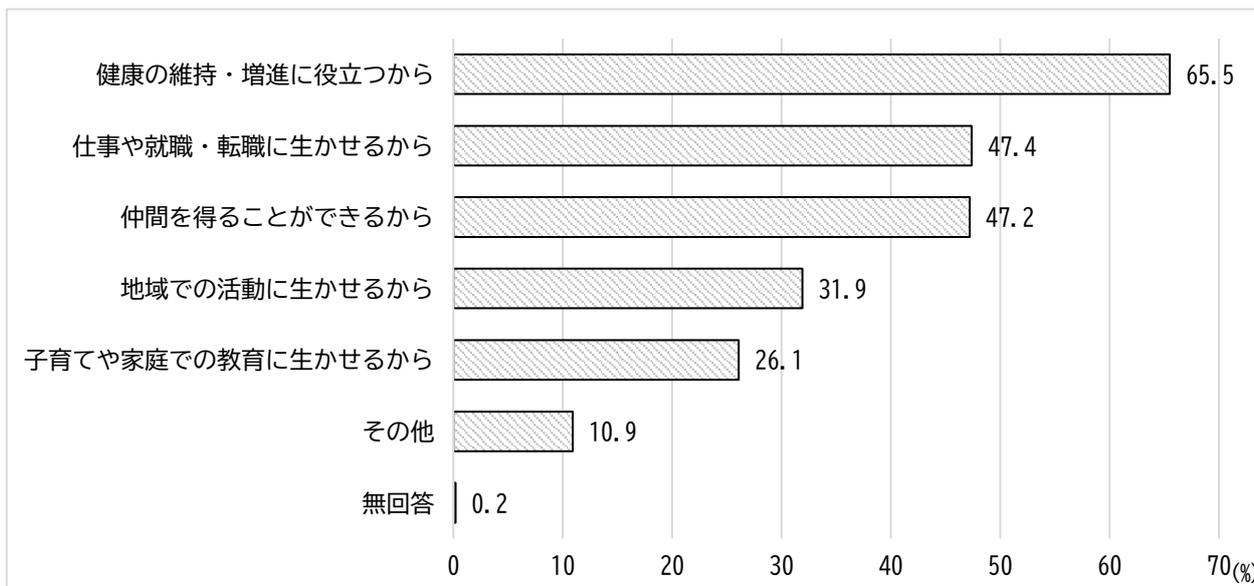


その他・・・○お店でのワークショップ ○コミュニティハウス ○自宅 他

問3 (2) 自ら進んで学習を行いたいと思う理由について、あてはまるものすべてを選んでください。(問3- (1) で「思う」と答えた方におたずねします。)

図 35 自主的に学習したい理由 (n=521) (複数回答可)

「自主的に学習したい理由」についての回答をまとめたグラフである。「健康の維持・増進に役立つから」が約66%と最も高く、次いで「仕事や就職・転職に生かせるから」約48%、「仲間を得ることができるから」約47%の順であった。



その他・・・○新たな知識を得ることができるから ○人生を豊かにするため
○達成感・満足感をえられるから ○学ぶことが好きだから 他

図 36 自主的に学習したい理由と過去の学習

問3 (2)「自主的に学習したい理由」と問4 (1)「最近1年間の学習経験の有無」について集計した。自主的に学習したい理由で「地域での活動に生かせる」と回答したなかでは、「最近1年間に学習を行ったことがある」のは約74%で回答の約四分之三であった。また、「仲間を得ることができるから」と回答したなかでも、「最近1年間に学習を行ったことがある」のは約74%と回答の約四分之三であった。

一方、「子育てや家庭での教育に生かせるから」と回答したなかでは、「最近1年間に学習を行ったことがない」のは約33%で回答の約三分の一であった。

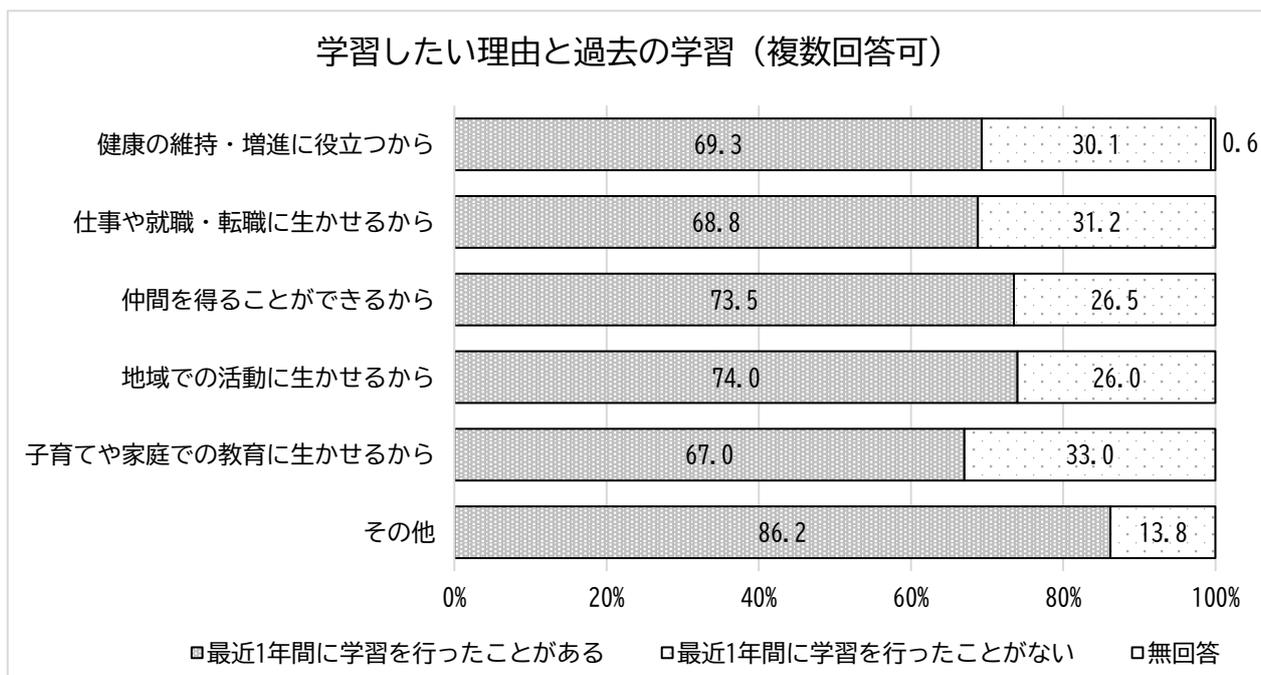
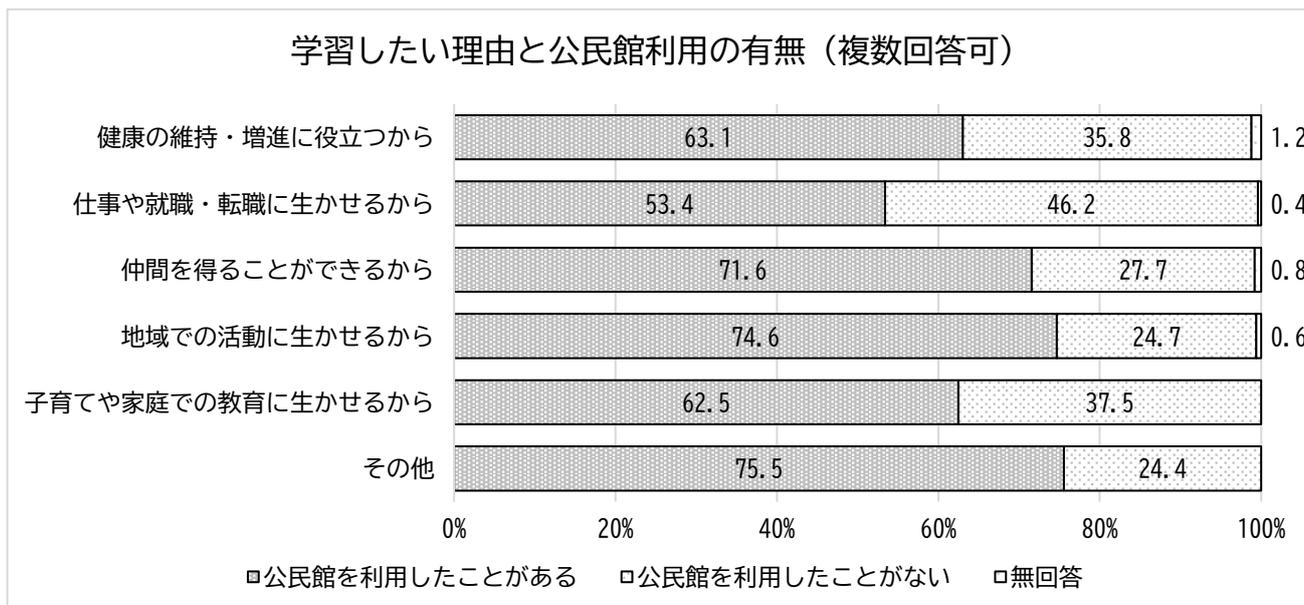


図 37 自主的に学習したい理由と公民館利用の有無

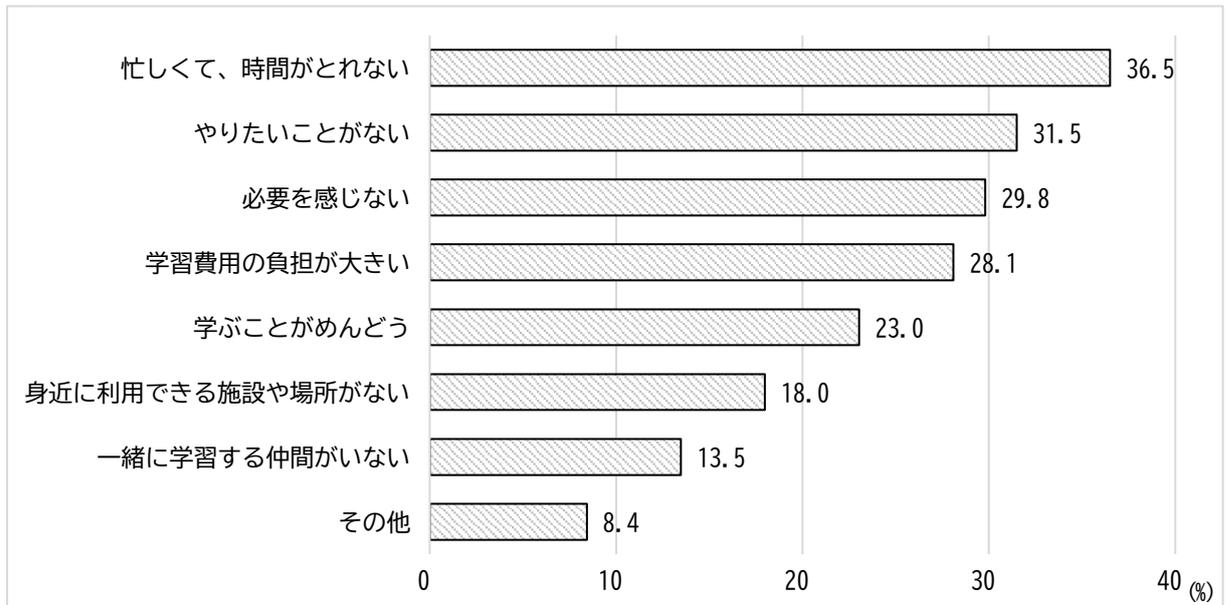
問3 (2)「自主的に学習したい理由」と問5 (1)「公民館利用の有無」について集計した。自主的に学習したい理由で「地域での活動に生かせるから」と回答したなかでは、「公民館を利用したことがある」のは約75%と回答の約四分の三と高かった。また、「仲間を得ることができるから」との回答したなかでも、「公民館を利用したことがある」は約72%と高くなっている。一方、「仕事や就職・転職に生かせるから」との回答したなかでは、「公民館を利用したことがある」のは約53%と回答の約半数であった。



問3 (3) 学習を行いたくないと思う理由について、あてはまるものすべてを選んでください。
 (問3- (1) で「思わない」と答えた方におたずねします。)

図 38 学習を行いたくないと思う理由 (n=178) (複数回答可)

「学習を行いたくないと思う理由」についての回答をまとめたグラフである。「忙しくて、時間がとれない」が約37%と最も高く、次いで「やりたいことがない」約32%、「必要を感じない」約30%の順であった。

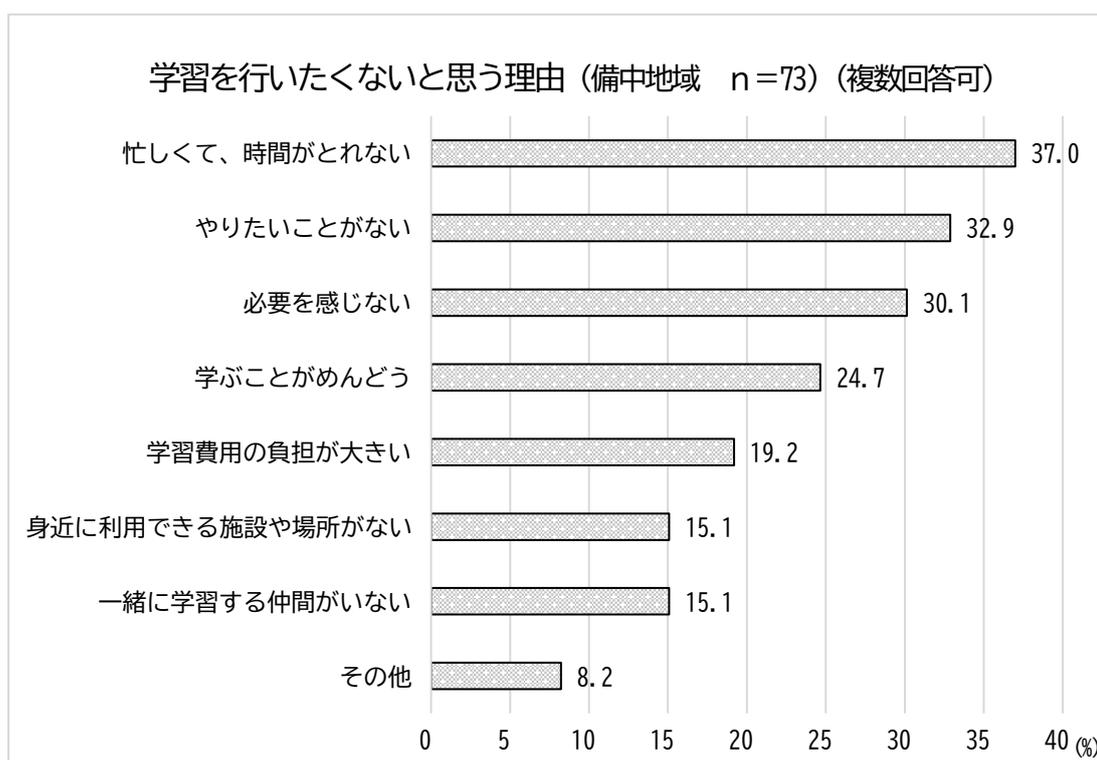
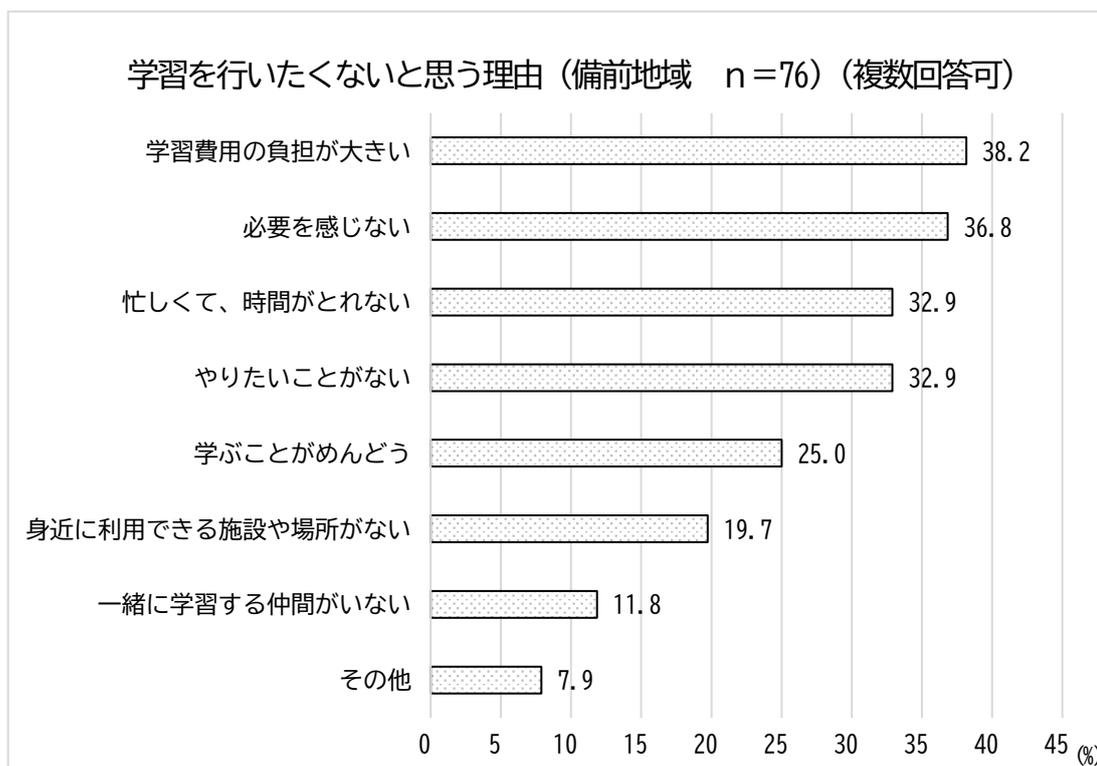


その他・・・○高齢なのでできない ○外に出るのが億劫である ○体力的に難しい
 ○遠くへ行くのが難しい 他

図 39 学習を行いたくないと思う理由と地域

問3 (3)「学習を行いたくないと思う理由」を、地域別に集計した。※地域はP.1に掲載

備前地域は「学習費用の負担が大きい」が約38%と最も高く、次いで「必要を感じない」が約37%であった。備中地域は「忙しくて、時間がとれない」が約37%と最も高く、次いで「やりたいことがない」が約33%であった。また、美作地域は「忙しくて時間がとれない」が約45%と最も高く、次いで「学習費用の負担が大きい」「やりたいことがない」が約24%であった。



学習を行いたくないと思う理由（美作地域 n=29）（複数回答可）

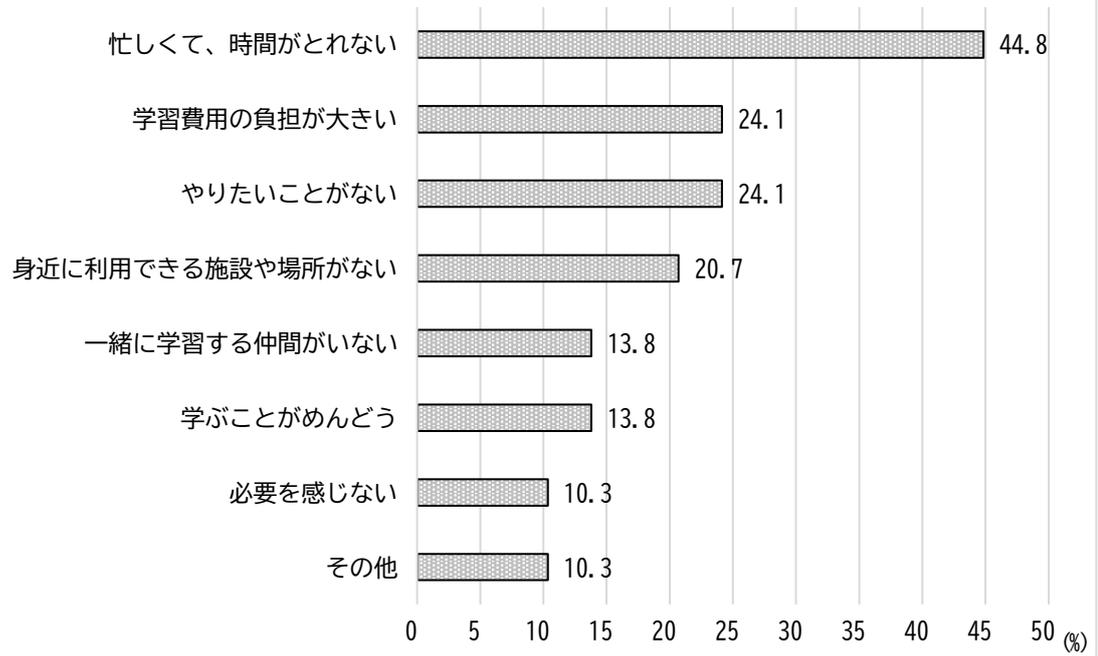


図 40 学習を行いたくないと思う理由と学習の必要性

問3 (3)「学習を行いたくないと思う理由」と問2 (1)「学習の必要性」について集計した。学習を行いたくないと思う理由で「身近に利用できる施設や場所がない」と回答したなかでは、「学習が必要である」は約81%、「学習費用の負担が大きい」と回答したなかでも、「学習が必要である」は約80%と回答の約四分の三以上であった。

一方、「必要生を感じない」との回答したなかでは、「学習が必要ではない」は約72%と回答の約7割であった。また、「学ぶことがめんどろ」と回答したなかでは、「学習が必要ではない」は約49%、「やりたいことがない」と回答したなかでも、「学習が必要ではない」は約47%と回答の約半数であった。

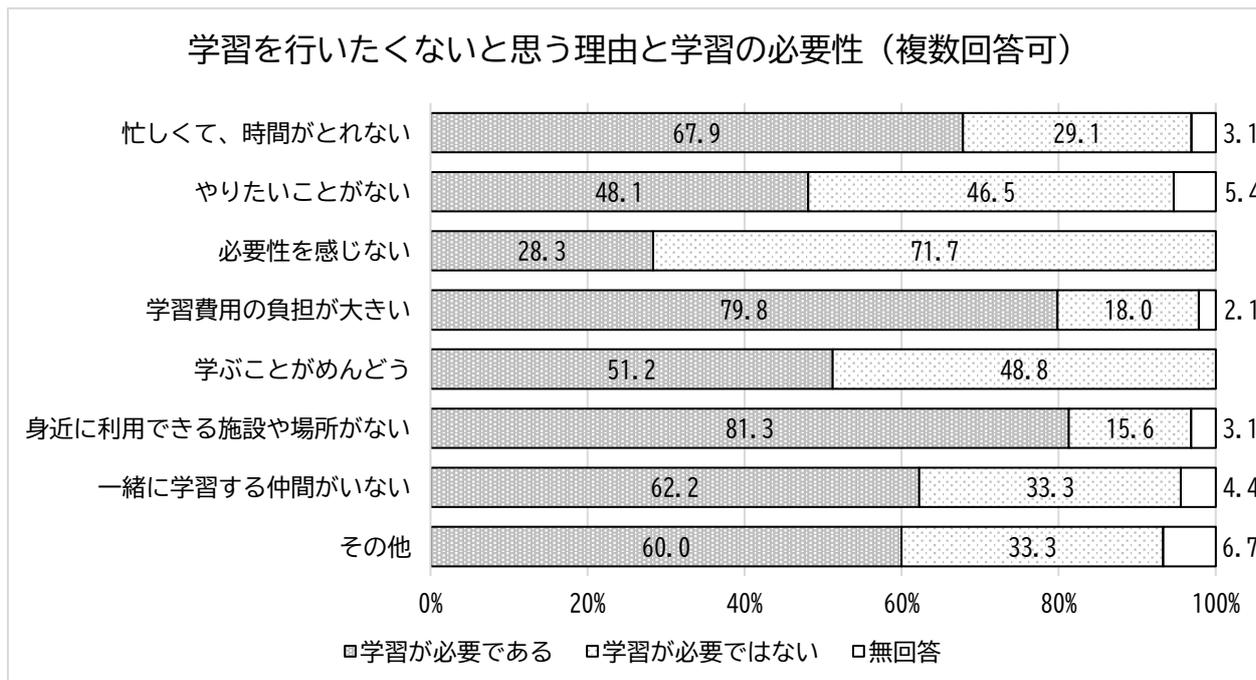


図41 学習を行いたくないと思う理由と過去の学習

問3 (3)「学習を行いたくないと思う理由」と問4 (1)「最近1年間の学習経験の有無」について集計した。学習を行いたくないと思う理由で、「必要性を感じない」と回答したなかでは、「最近1年間に学習を行ったことがない」は約93%、「一緒に学習する仲間がない」と回答したなかでも、「最近1年間に学習を行ったことがない」は約92%と90%を超えている。

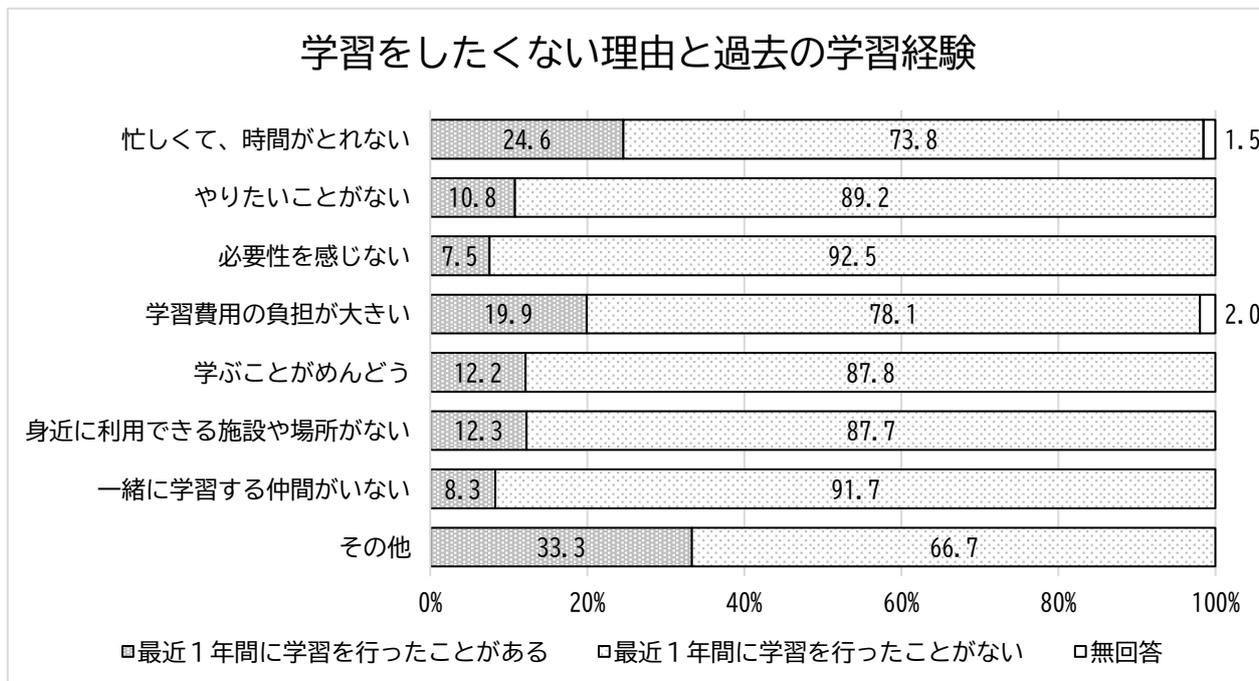
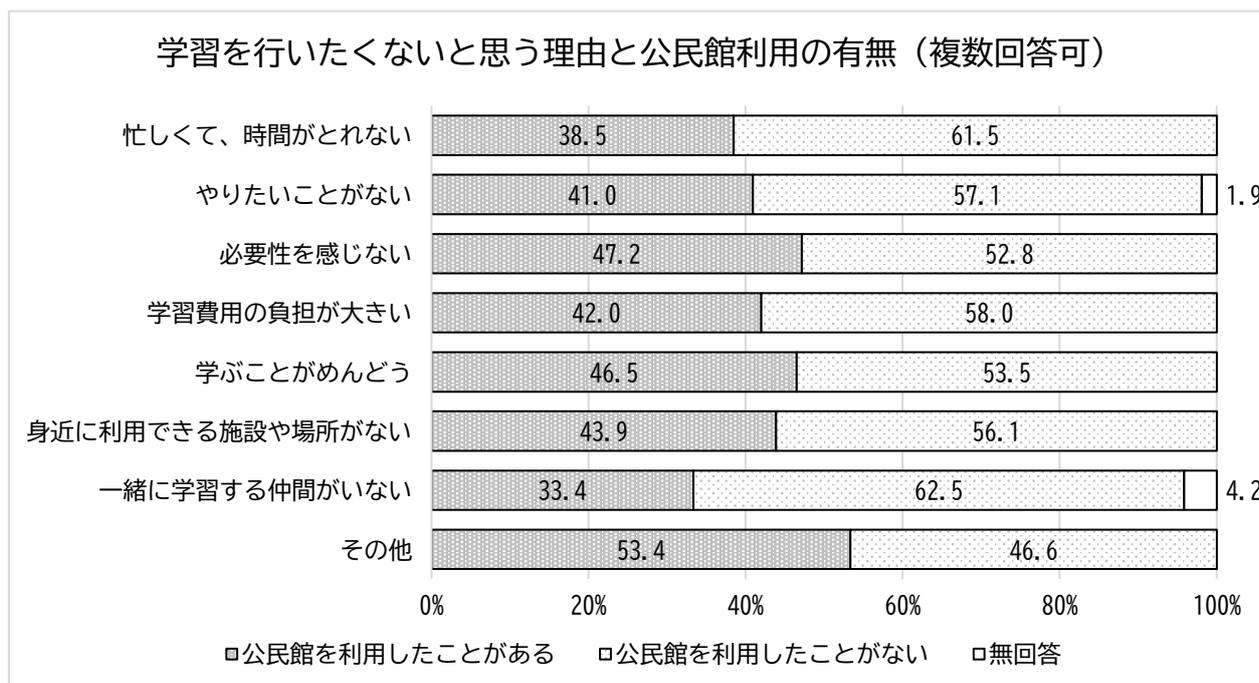


図 42 学習を行いたくないと思う理由と公民館利用の有無

問3 (3)「学習を行いたくないと思う理由」と問5 (1)「公民館利用の有無」について集計した。学習を行いたくないと思う理由で「必要性を感じない」と回答したなかでは、「公民館を利用したことがある」は約47%と回答の約半数であった。

一方、「一緒に学習する仲間がいない」と回答したなかでは、「公民館を利用したことがない」は約63%、「忙しくて、時間がとれない」と回答したなかでも、「公民館を利用したことがない」は約62%と回答の60%を超えている。



4 公民館について

問5 (1) あなたは公民館を利用したことがありますか。あてはまる方を選んでください。

図43 公民館利用の有無 (n=702)

「公民館利用の有無」についての回答をまとめたグラフである。「公民館を利用したことがある」と回答したのは約58%、「公民館を利用したことがない」と回答したのは約42%であった。

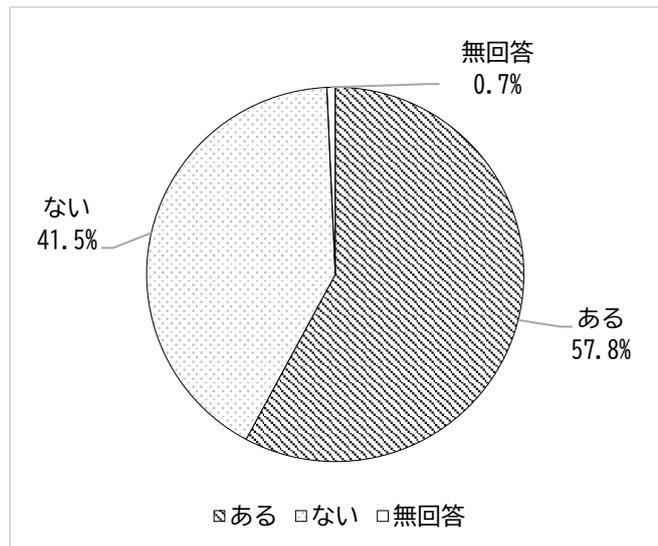


図44 公民館利用の有無と年代

問5 (1) 「公民館利用の有無」の回答を、年代別に集計した。「公民館を利用したことがある」と回答したなかでは、70~80歳以上が約67%と最も高く、次いで、50~60歳代が約58%であった。10~40歳代は、約45%~約48%であった。

公民館利用の有無

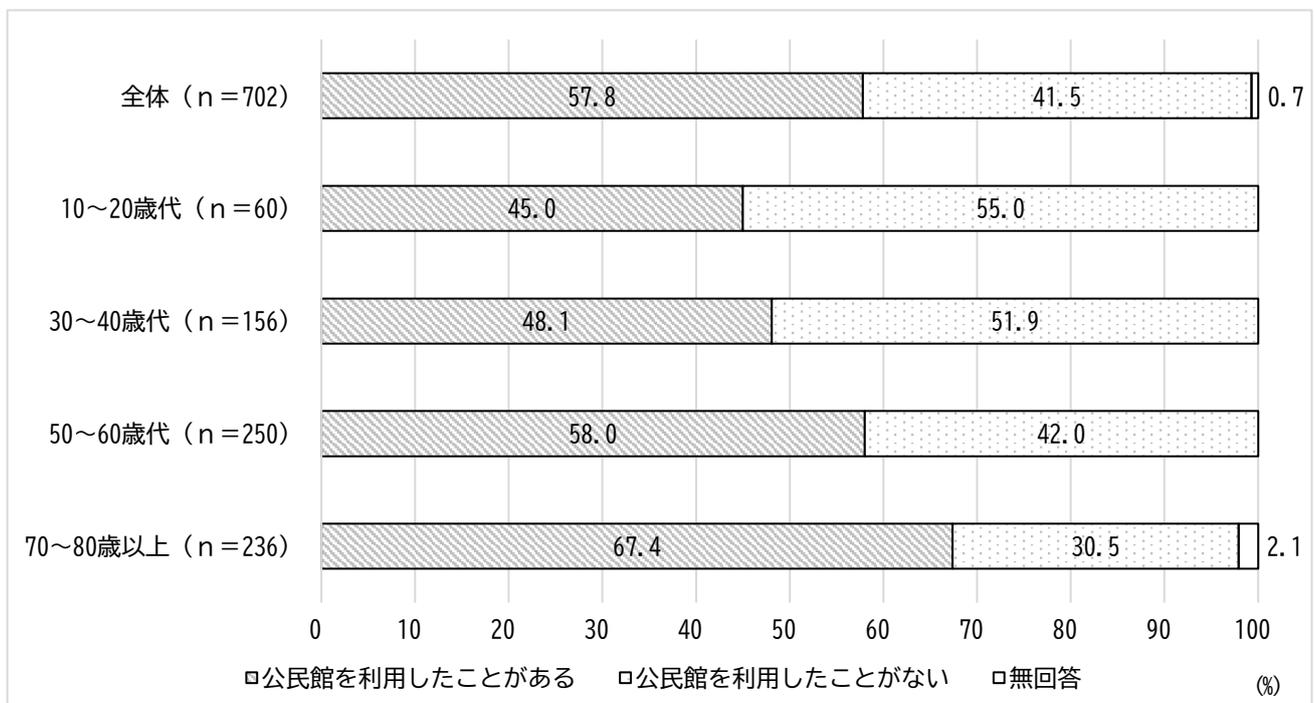
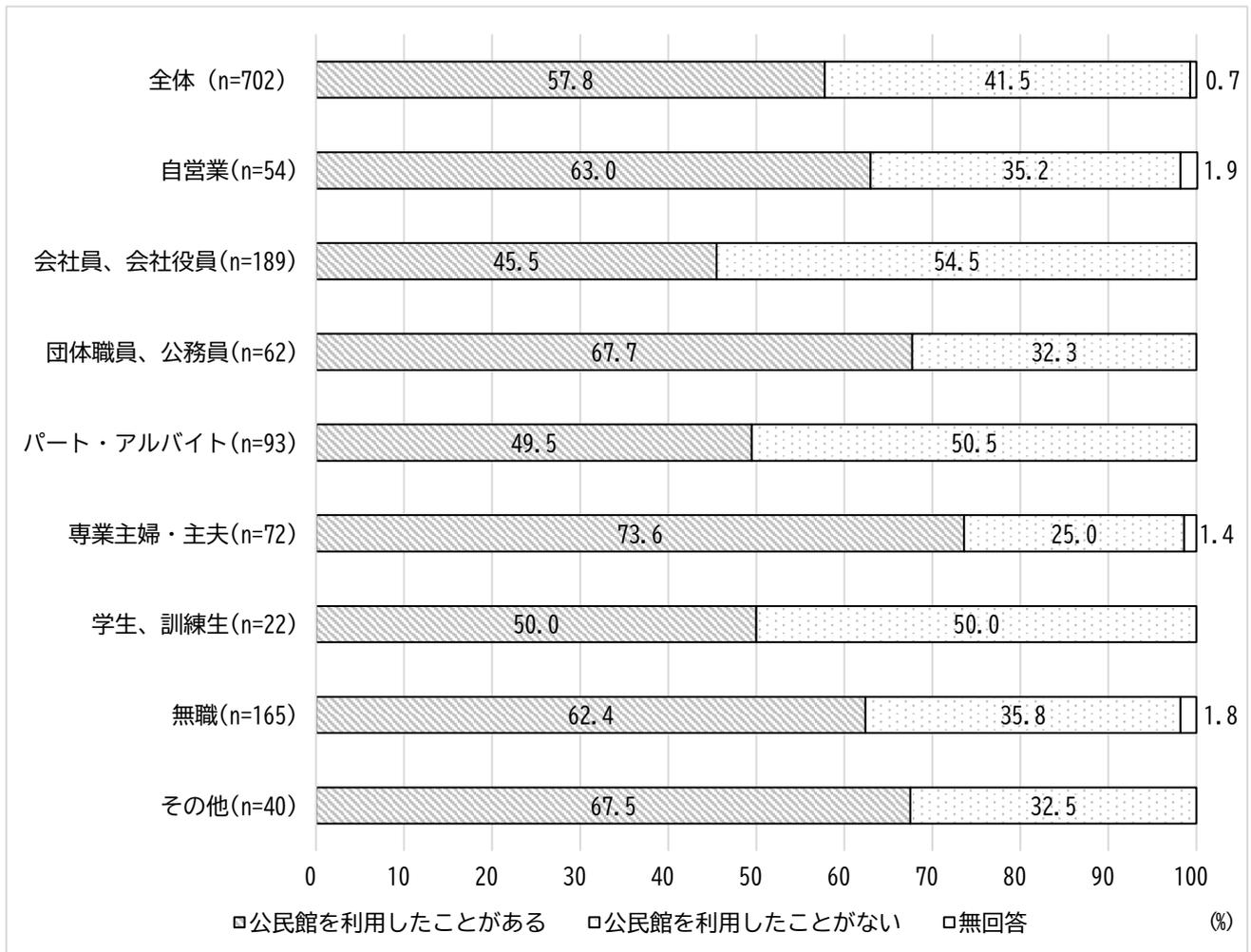


図 45 公民館利用の有無と職業

問5 (1)「公民館利用の有無」の回答を、職業別に集計した。「公民館を利用したことがある」と回答したのは、「専業主婦・主夫」が約74%と最も高く、次いで、「団体職員、公務員」約68%、「自営業」約63%であった。「会社員、会社役員」が約46%と最も低かった。

公民館利用の有無



その他…○医師 ○看護師 ○内職 ○農業 ○非常勤講師 他

図 46 公民館利用の有無と地域

問5 (1)「公民館利用の有無」の回答を、地域別に集計した。※地域はP.1に掲載
 「公民館を利用したことがある」と回答したなかでは、「美作地域」が約67%と最も高く、「備中地域」約57%、「備前地域」約54%であった。

公民館利用の有無

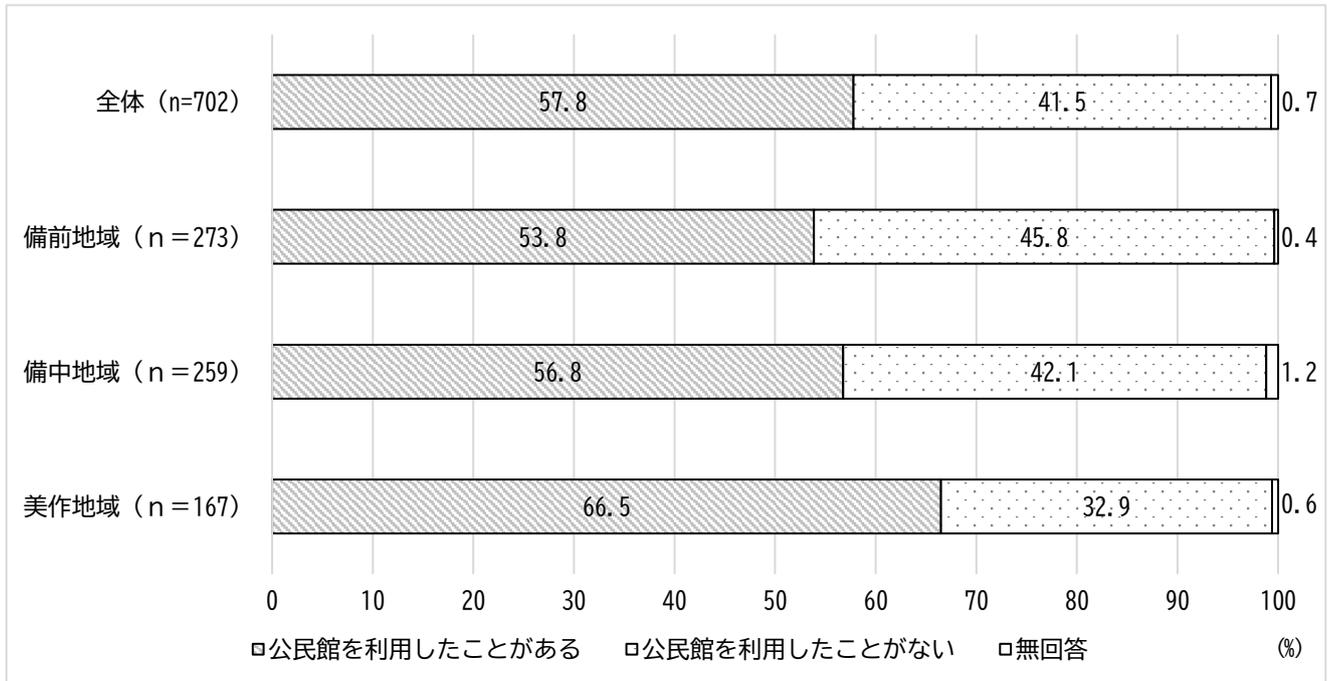


図 47 公民館利用の有無と学習の必要性

問5 (1)「公民館利用の有無」と問2 (1)「学習の必要性」について集計した。「公民館を利用したことがある」と回答したなかでは、「学習が必要である」が約91%だった。「公民館を利用したことがない」と回答したなかでは、「学習が必要である」が約81%であった。

公民館利用の有無と学習の必要性

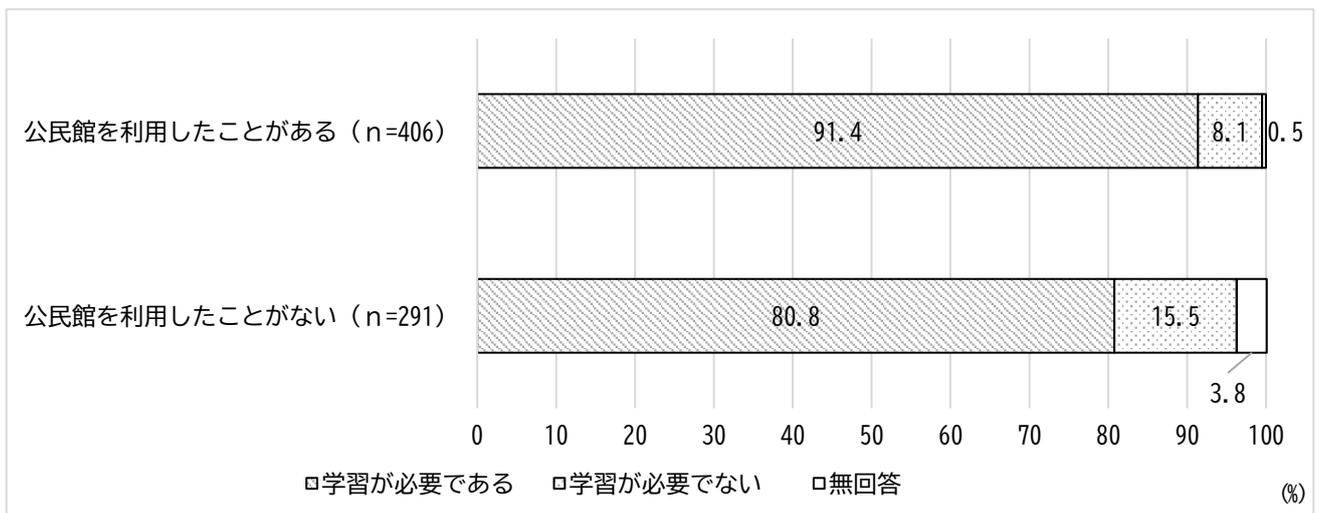


図 48 公民館利用の有無と過去の学習

問5(1)「公民館利用の有無」と問4(1)「最近1年間の学習経験の有無」について集計した。「公民館を利用したことがある」と回答したなかでは、「最近1年間に学習を行ったことがある」が約65%だった。「公民館を利用したことがない」と回答したなかでは、「最近1年間に学習を行ったことがない」が約43%であった。

公民館利用の有無と過去の学習

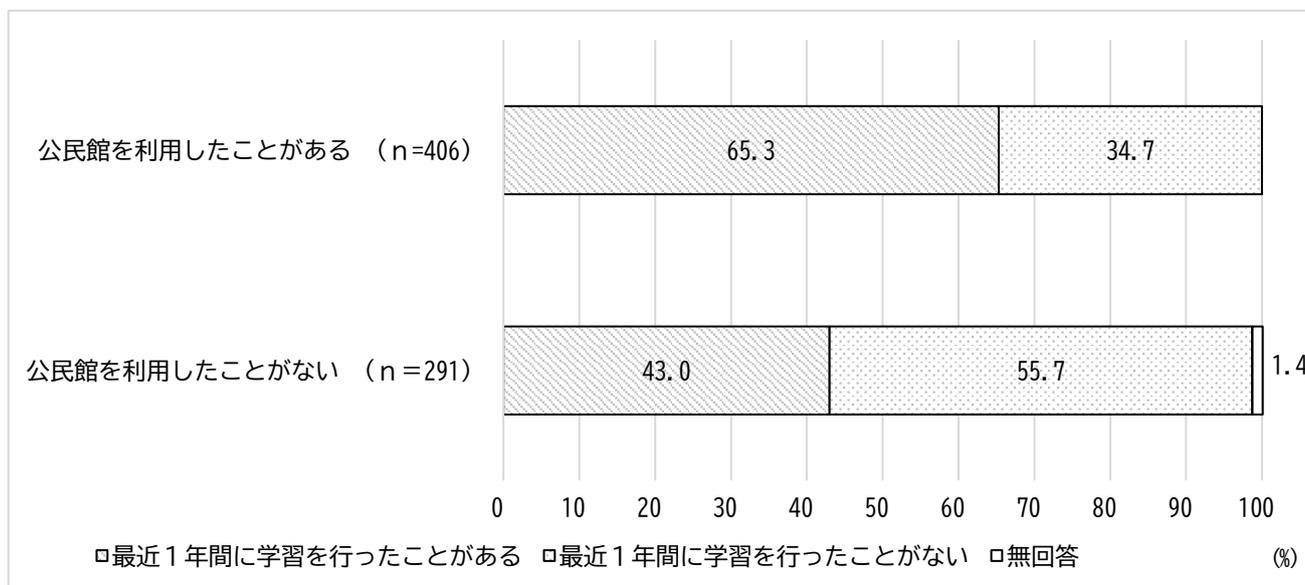


図 49 公民館利用の有無と学習意欲

問5(1)「公民館利用の有無」と問3(1)「自主的に学習したいか」について集計した。「公民館を利用したことがある」と回答したなかでは、「自ら進んで学習を行いたい」が約82%だった。「公民館を利用したことがない」と回答したなかでは、「自ら進んで学習を行いたい」が約63%であった。

公民館利用の有無と学習意欲

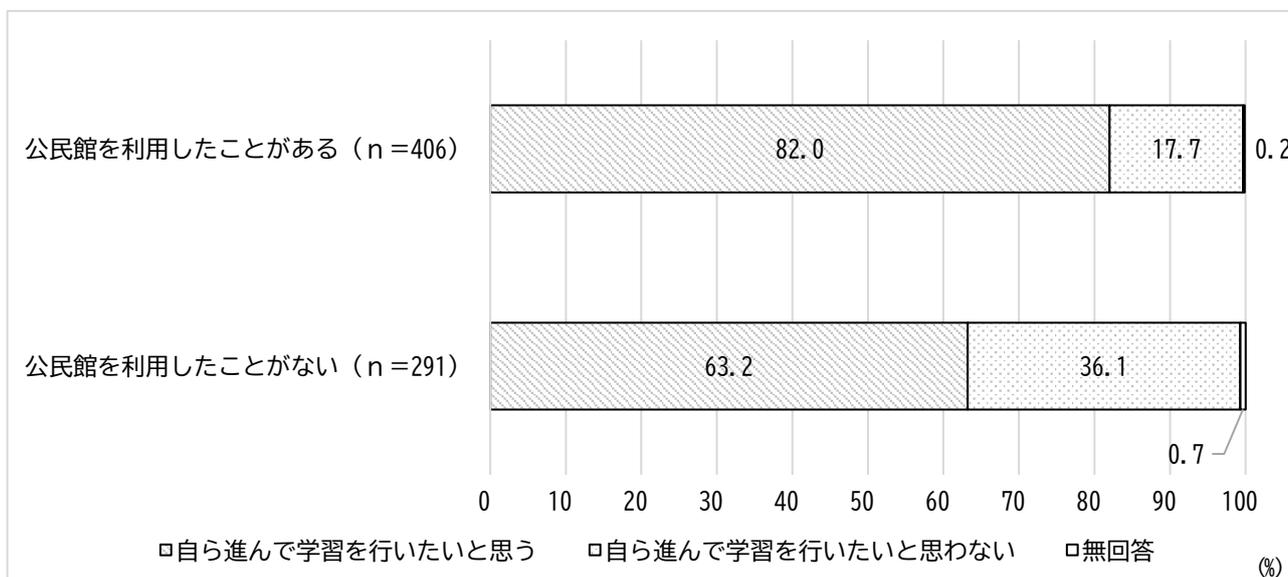
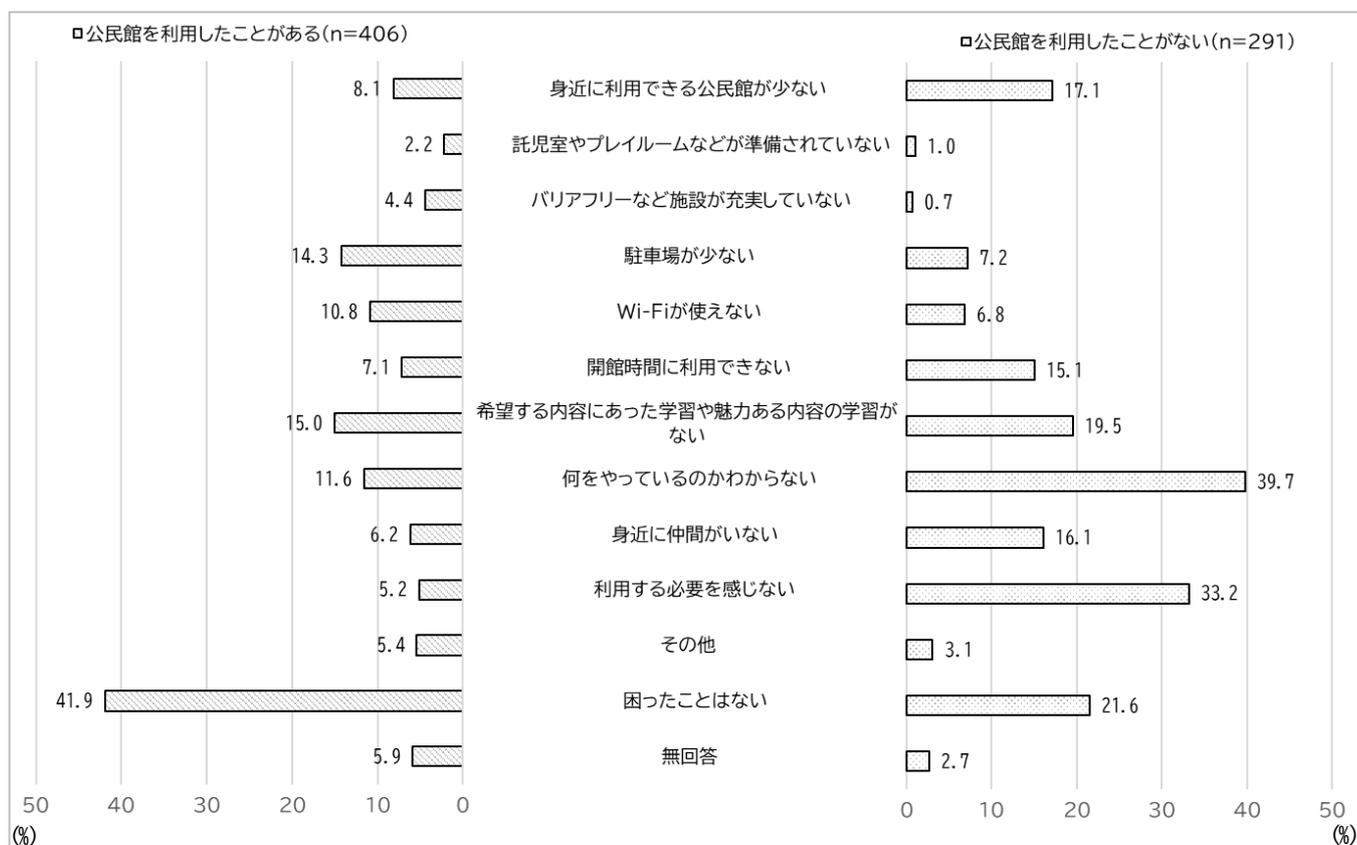


図 50 公民館利用者が公民館利用で困ったこと

問5 (1)「公民館利用の有無」と問5 (3)「公民館利用で困ったこと」について集計を行った。「公民館の利用をしたことがある」と回答したなかでは、困りごととしては、「希望する内容や魅力ある学習がない」が約15%と最も高く、次いで「駐車場が少ない」約14%、「何をやっているのかわからない」約12%と続く。

また、「公民館を利用したことがない」と回答したなかでは、「何をやっているのかわからない」が約40%と最も高く、「利用する必要を感じない」約33%、「希望する内容や魅力ある学習がない」で20%の順で高かった。

公民館利用者が公民館利用で困ったこと（複数回答可）



その他・・・○エレベーターがない ○場所が分かりづらい ○もっと情報がほしい
○休みの日と開館日が合わない 他

図 51 公民館利用者が公民館利用で困ったことと地域

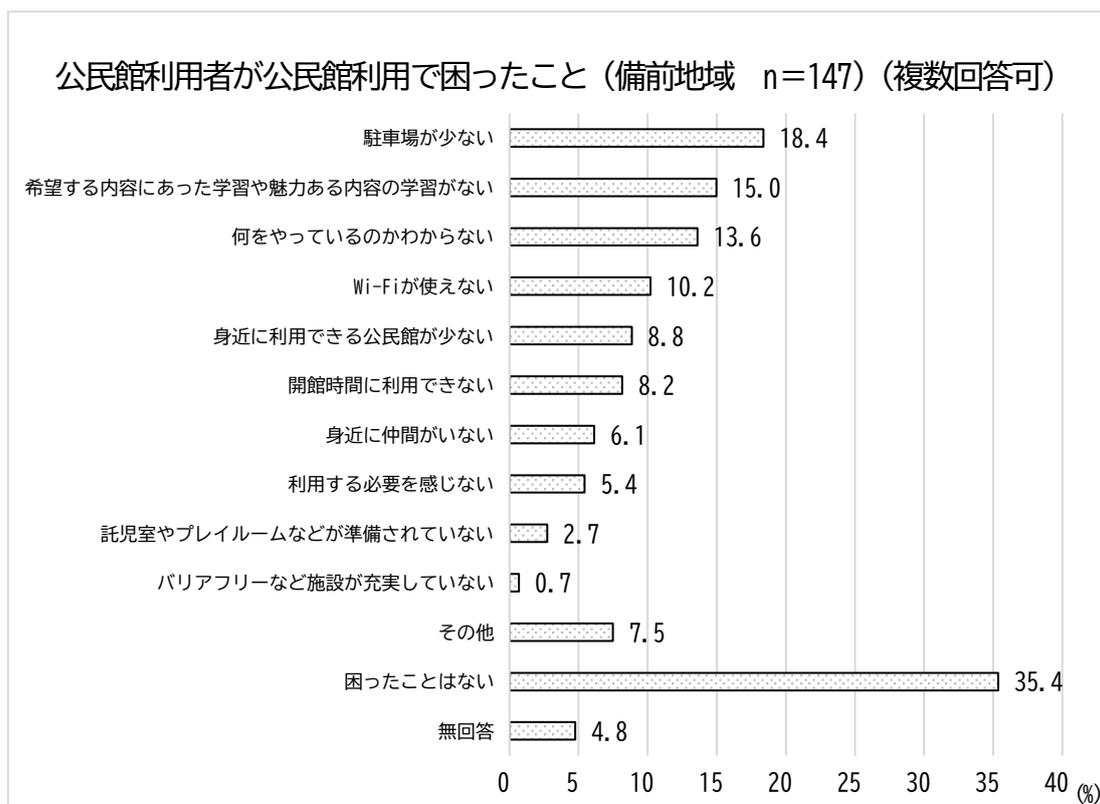
問 5 (1)「公民館利用の有無」で「公民館を利用したことがある」と回答した人が、問 5 (3)「公民館利用で困ったこと」について回答した内容を、地域別に集計した。※地域は P.1 に掲載

備前地域は、「駐車場が少ない」約 18%と最も高く、次いで「希望する内容にあった学習や魅力ある内容の学習がない」約 15%、「何をやっているのかわからない」約 14%と続く。

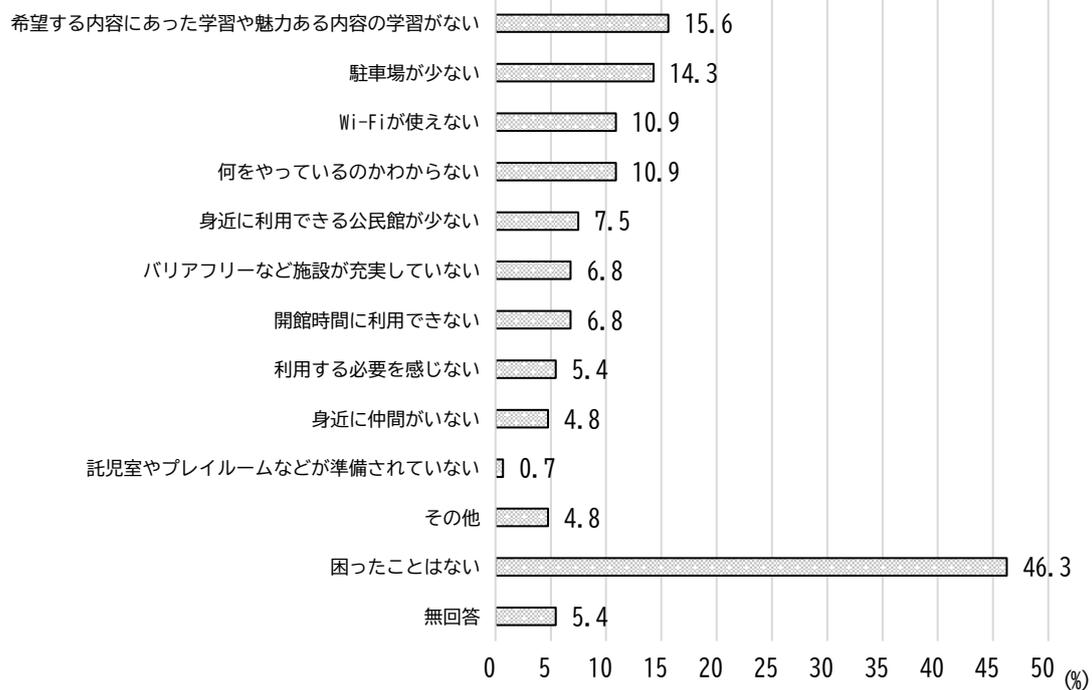
備中地域は、「希望する内容にあった学習や魅力ある内容の学習がない」約 16%と最も高く、次いで「駐車場が少ない」約 14%、「Wi-Fi が使えない」約 11%と続く。

美作地域は、「希望する内容にあった学習や魅力ある内容の学習がない」約 14%と最も高く、次いで「Wi-Fi が使えない」約 12%、「何をやっているのかわからない」約 10%と続く。

どの地域でも、「希望する内容にあった学習や魅力ある内容の学習がない」が上位に入っていた。



公民館利用者が公民館利用で困ったこと（備中地域 n=147）（複数回答可）



公民館利用者が公民館利用で困ったこと（美作地域 n=111）（複数回答可）

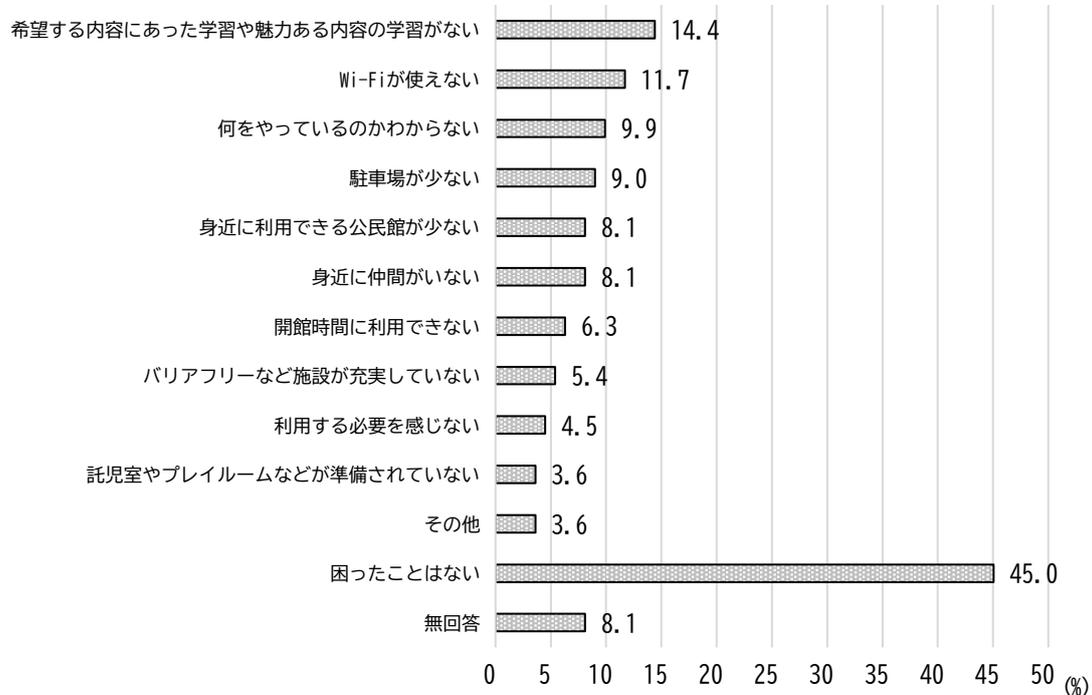


図 52 公民館を利用したことがない人が公民館利用で困ったことと地域

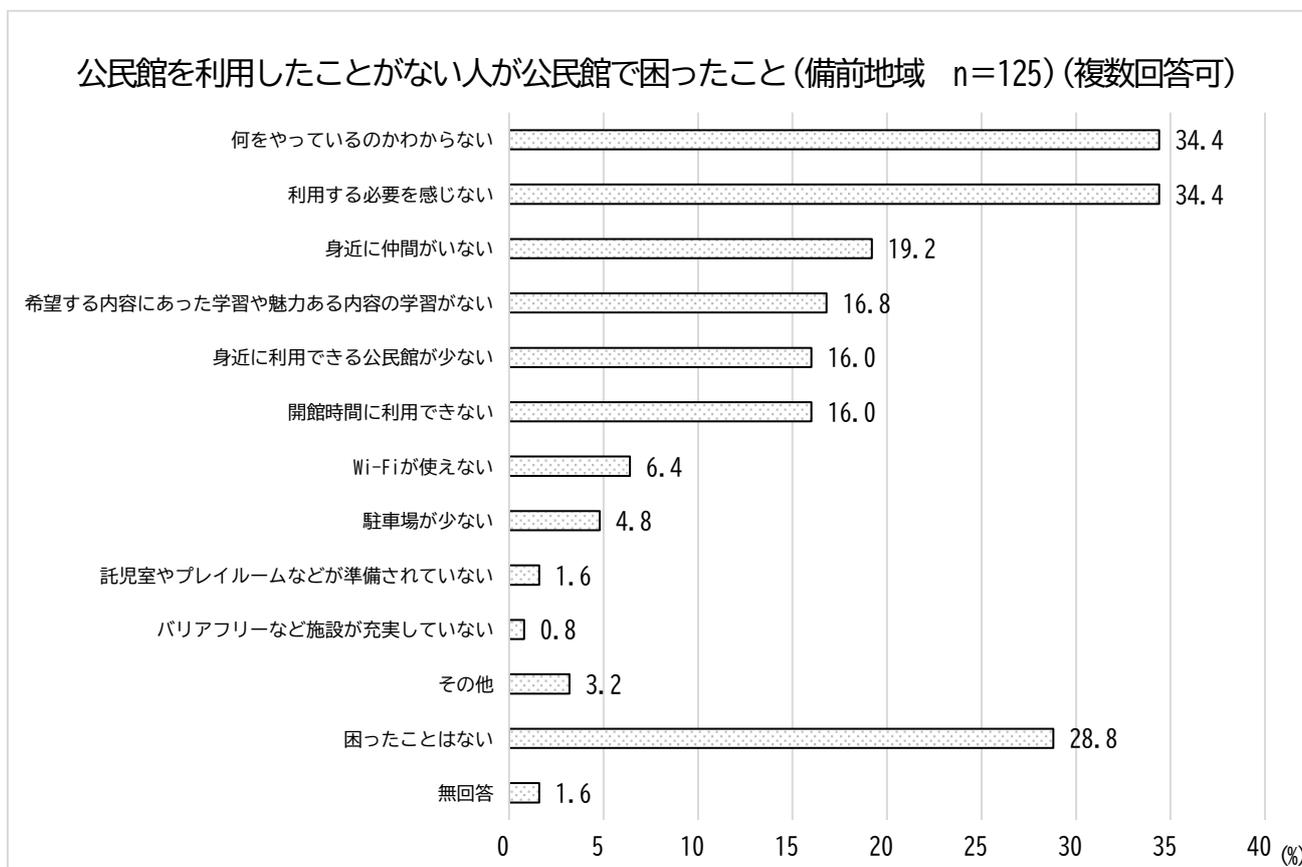
問 5 (1)「公民館利用の有無」で「公民館を利用したことがない」と回答した人が、問 5 (3)「公民館利用で困ったこと」について回答した内容を、地域別に集計した。※地域は P.1 に掲載

備前地域は、「何をやっているかわからない」「利用する必要を感じない」が約 34%と最も高く、次いで、「身近に仲間がいない」約 19%「希望する内容にあった学習や魅力ある内容の学習がない」約 17%と続く。

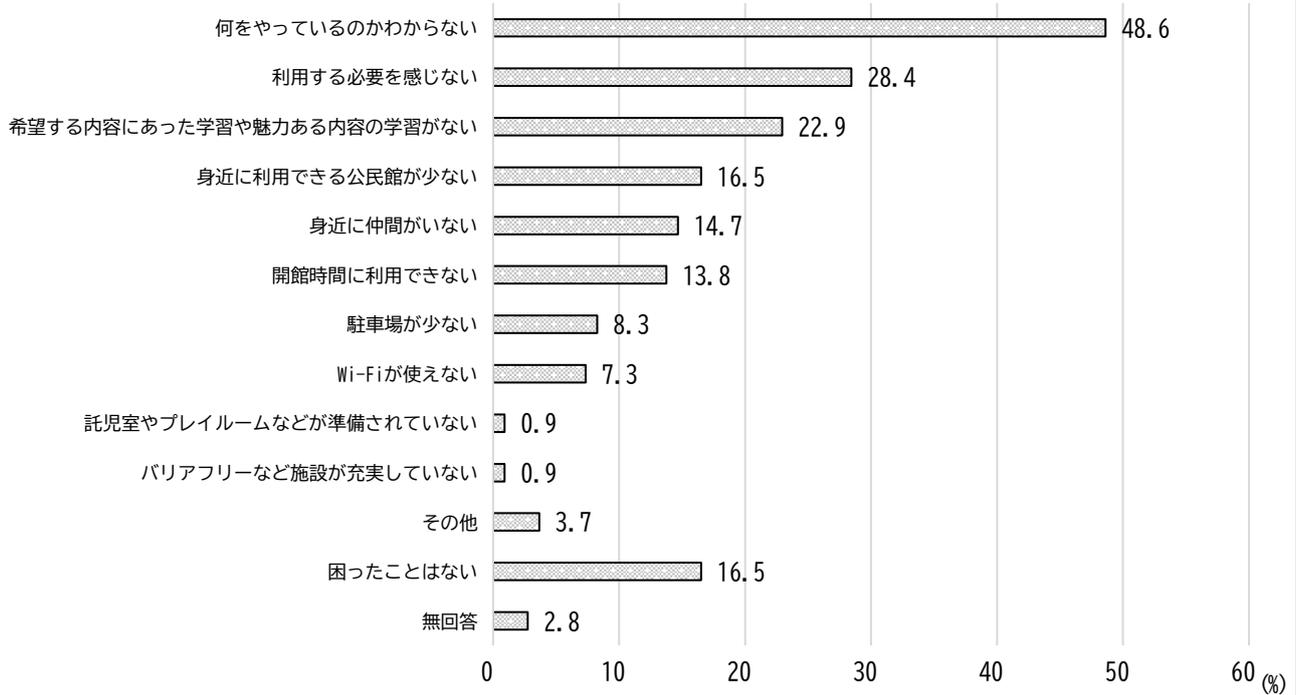
備中地域は、「何をやっているかわからない」約 49%と最も高く、次いで「利用する必要を感じない」約 28%、「希望する内容にあった学習や魅力ある内容の学習がない」約 23%と続く。

美作地域は、「利用する必要を感じない」約 38%と最も高く、次いで「何をやっているかわからない」約 36%、「身近に利用できる公民館が少ない」約 22%と続く。

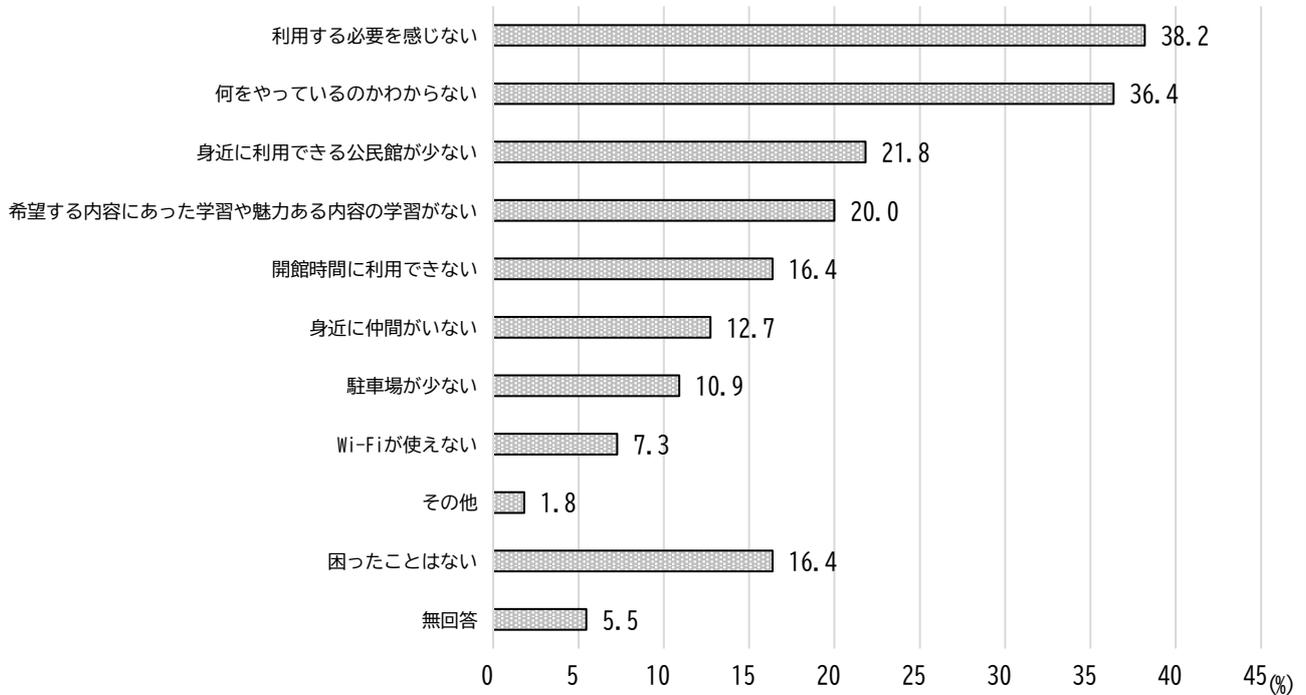
どの地域でも、「何をやっているかわからない」が上位に入っていた。



公民館を利用したことがない人が公民館で困ったこと（備中地域 n=109）（複数回答可）



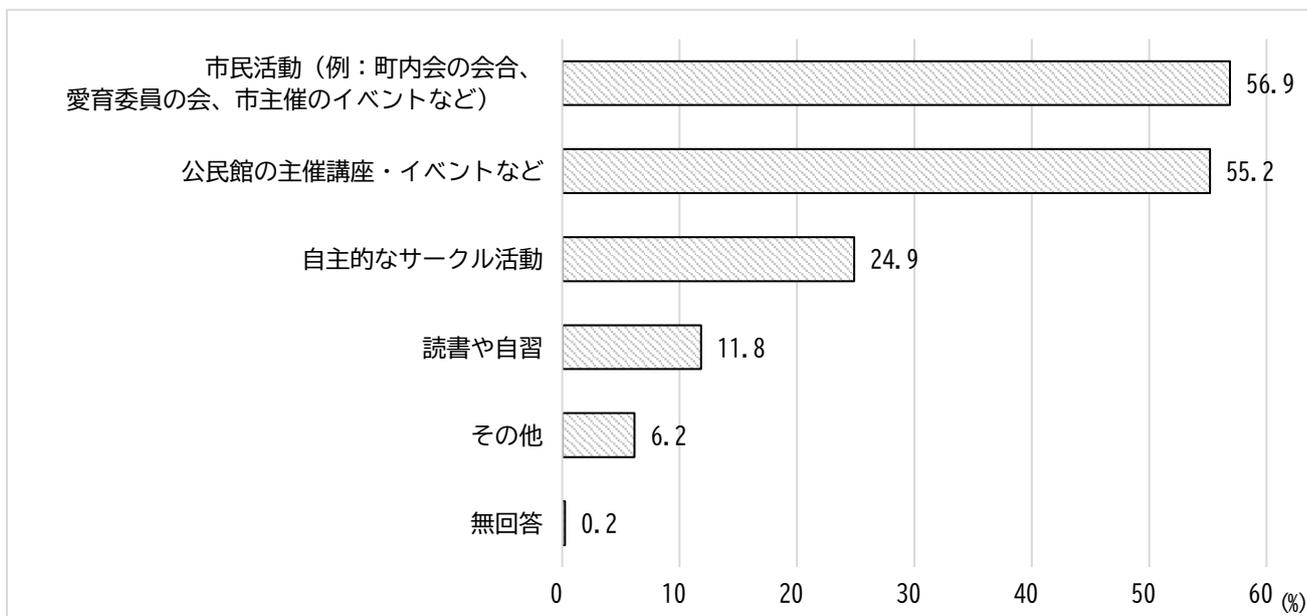
公民館を利用したことがない人が公民館で困ったこと（美作地域 n=55）（複数回答可）



問5（2）あなたは公民館をどのようなときに利用しましたか。あてはまるものすべてを選んでください。
 （問5－（1）で「ある」と答えた方におたずねします。）

図 53 公民館利用者の利用目的（n=406）（複数回答可）

「公民館利用者の利用目的」についての回答をまとめたグラフである。「市民活動」が約57%と最も高く、次いで「公民館の主催講座・イベントなど」約55%、「自主的なサークル活動」が約25%であった。



その他・・・○子ども会活動 ○スポーツ少年団活動 ○ボランティア活動 ○祭り 他

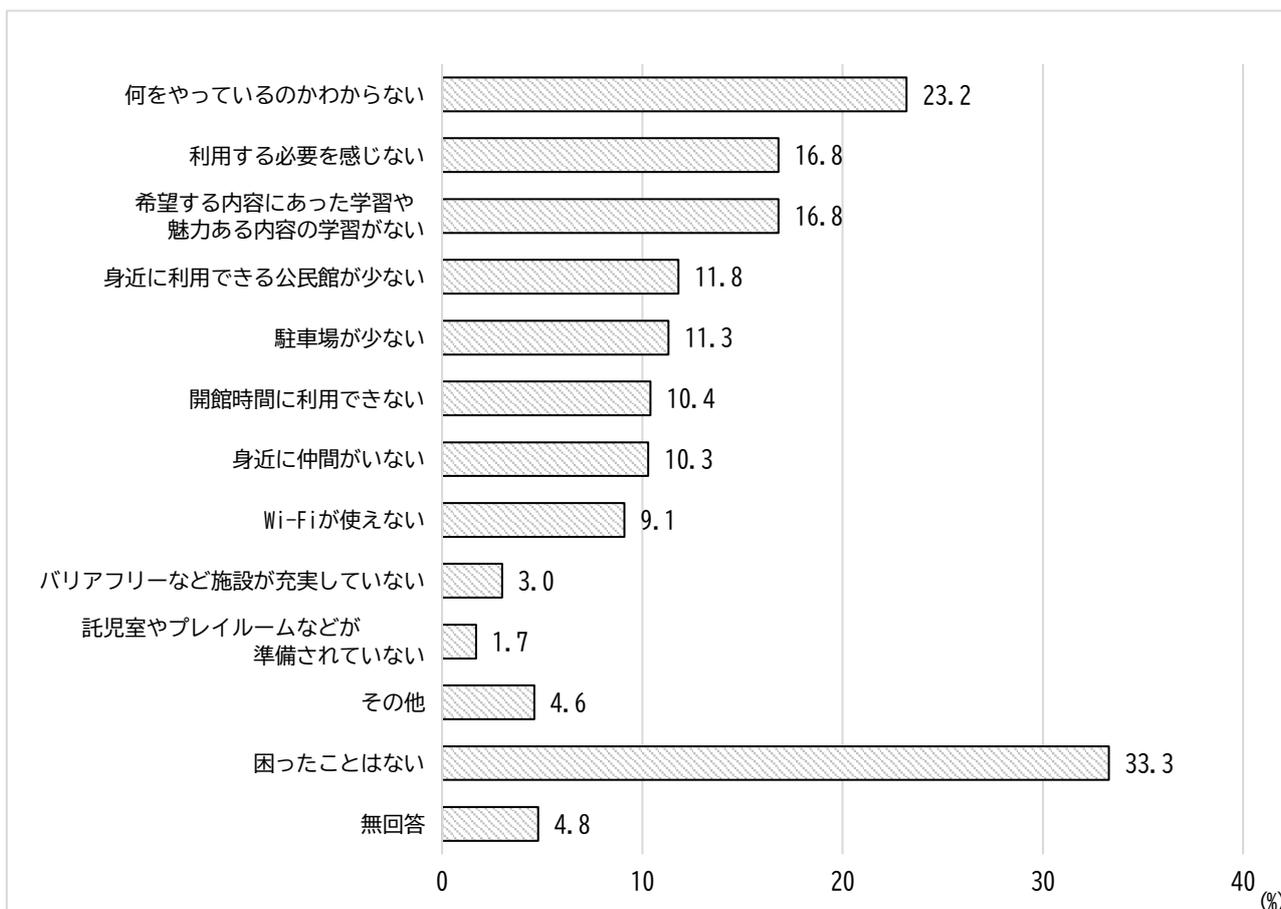
問5 (3) あなたが公民館を利用するにあたって、困ったことがありますか。

あてはまるものすべてを選んでください。

(全員の方におたずねします。)

図 54 公民館利用で困ったこと (n=702) (複数回答可)

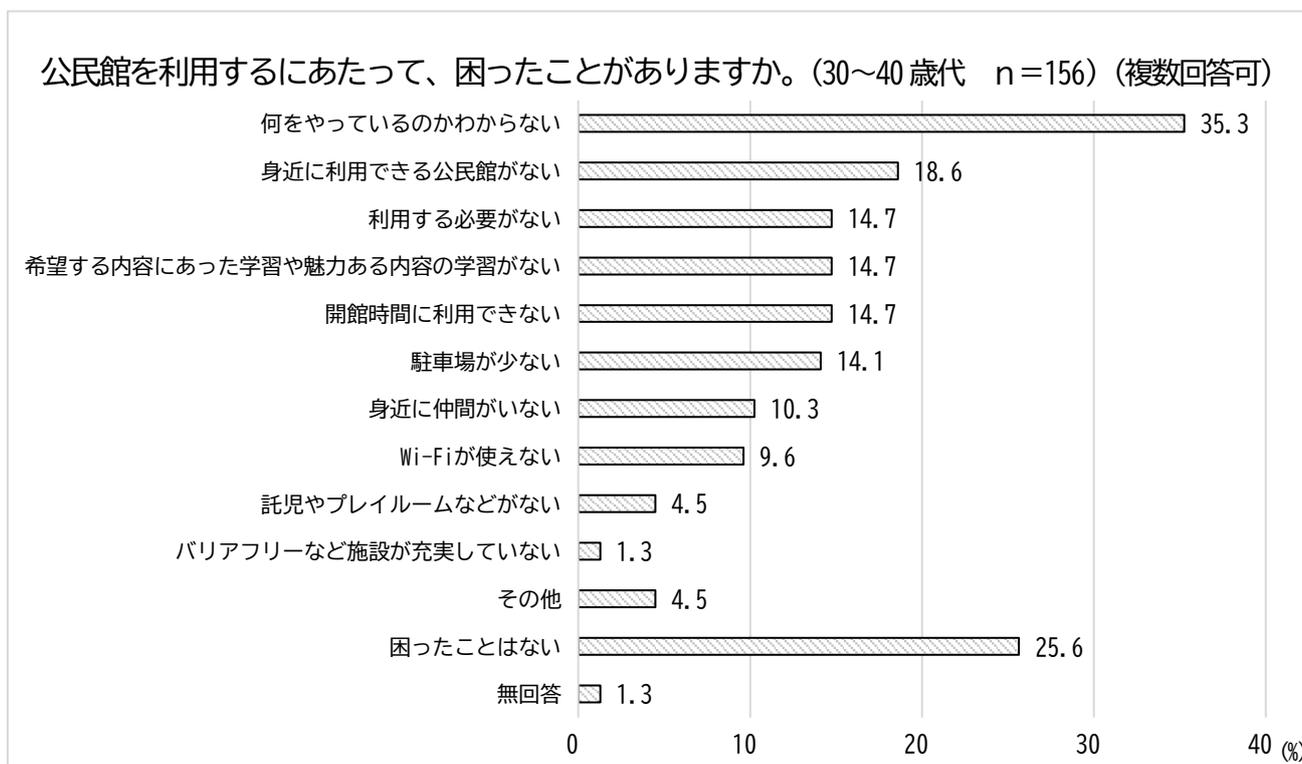
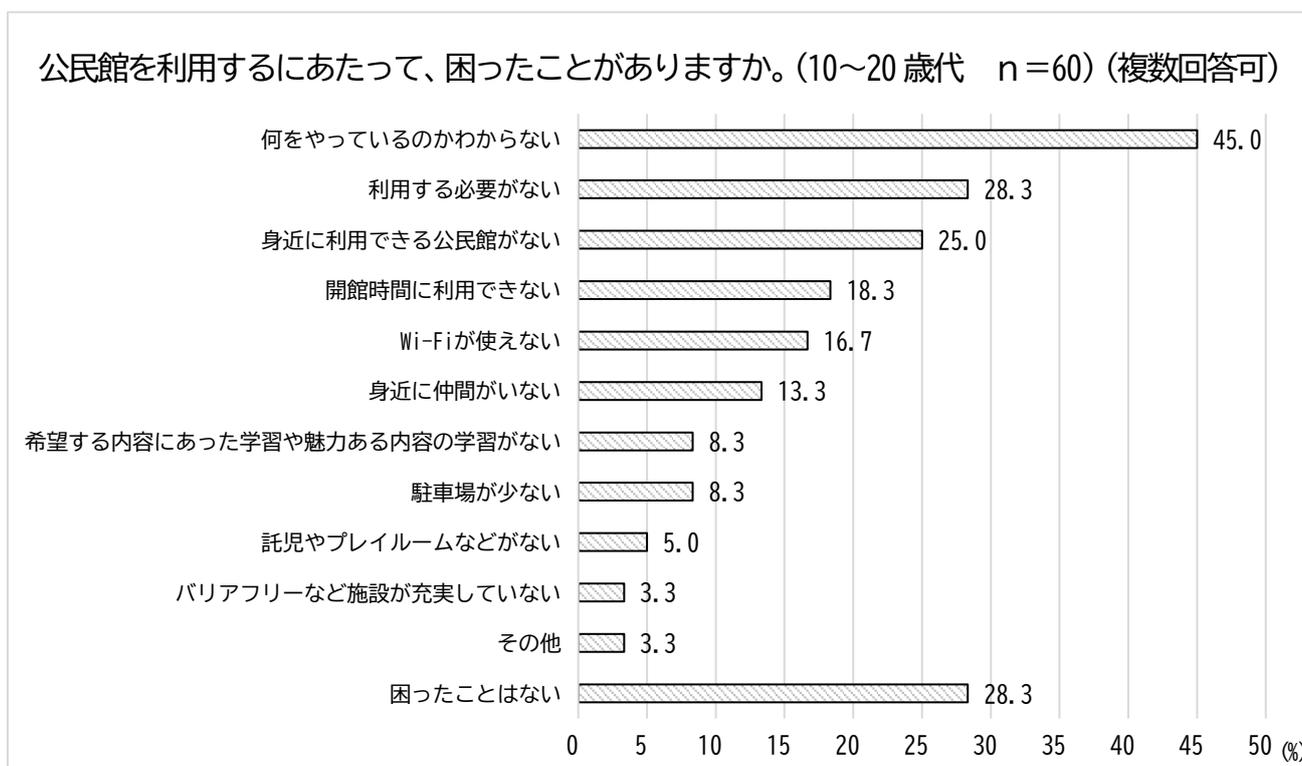
「公民館利用で困ったこと」についての回答をまとめたグラフである。「何をやっているのかわからない」が約23%と最も高く、次いで「利用する必要を感じない」「希望する内容にあった学習や魅力ある内容の学習がない」が約17%であったが、「困ったことはない」が約33%と高くなっている。



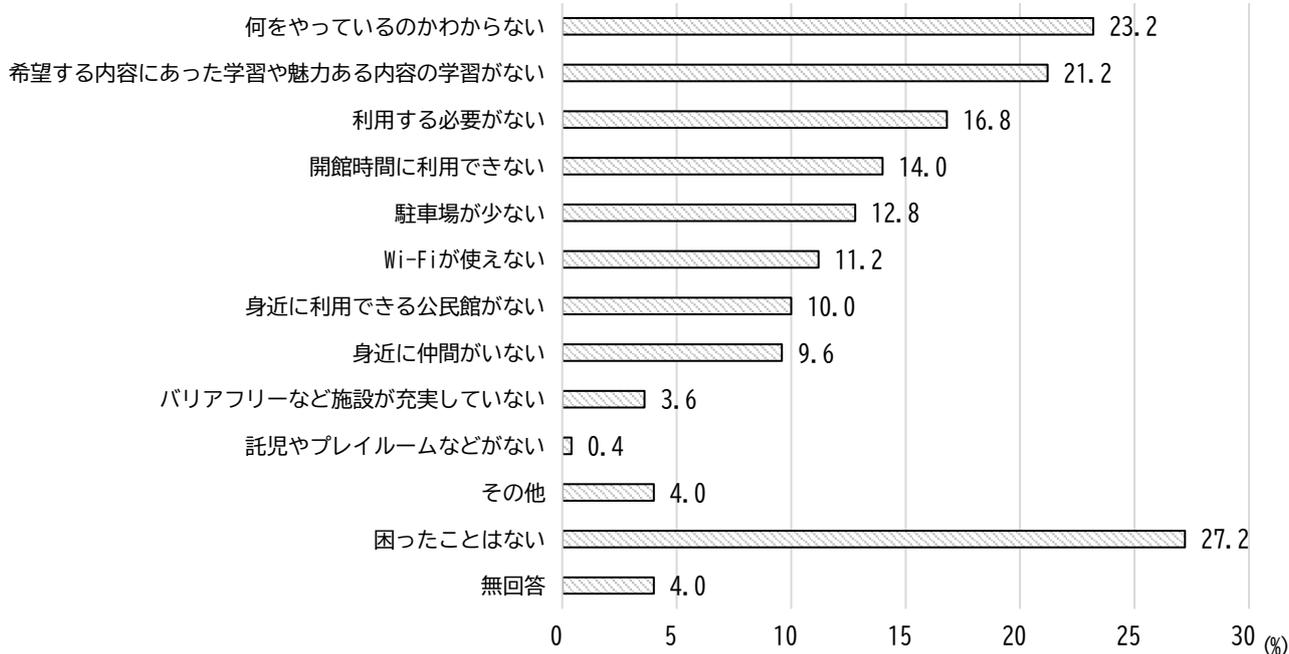
その他・・・○エレベーターがない ○場所が分かりづらい ○もっと情報がほしい
○休みの日と開館日が合わない 他

図 55 公民館利用で困ったことと年代

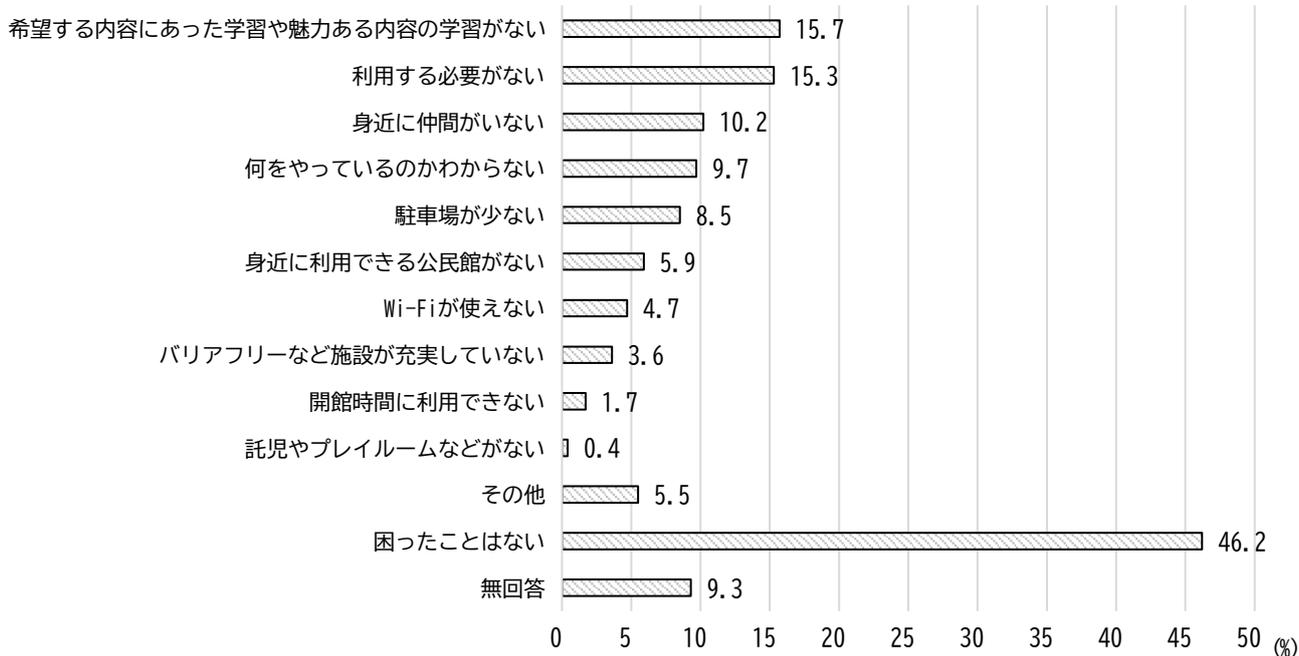
問 5 (3) 「公民館利用で困ったこと」の回答を、年代別で集計した。「困ったことはない」を除くと、10～60 歳代で「何をやっているのかわからない」が約 23%～約 45%で最も高くなっている。70～80 歳代以上では、「希望する内容にあった学習や魅力ある内容の学習がない」が約 16%で最も高くなっている。どの年代でも「利用する必要がない」も上位に入っている。



公民館を利用するにあたって、困ったことがありますか。(50~60歳代 n=250) (複数回答可)



公民館を利用するにあたって、困ったことがありますか。(70~80歳代以上 n=236) (複数回答可)



5 地域とのつながりについて

問6 (1) あなた自身との地域とのつながりは、10年前と比べてどのようになっているとお考えですか。

図56 10年前の地域とのつながりを比較

「10年前の地域とのつながりを比較」についてまとめたグラフである。「強くなっている」約7%、「やや強くなっている」約20%、「やや弱くなっている」約33%、「弱くなっている」約37%であった。

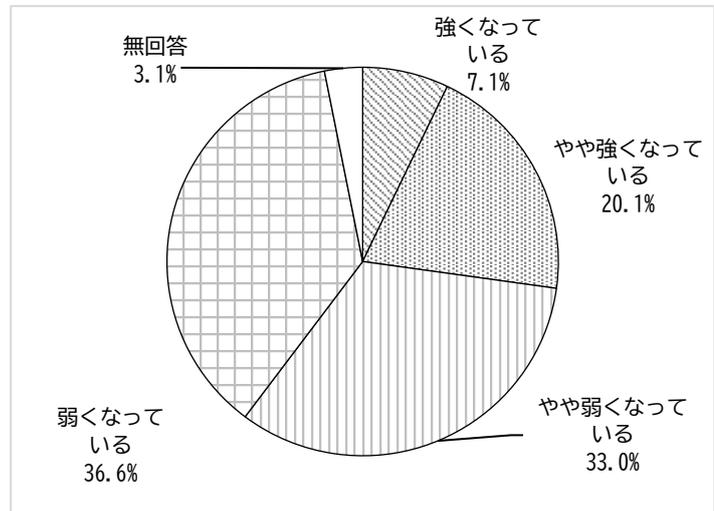


図57 10年前の地域とのつながりと年代

問6 (1) 「10年前の地域とのつながりを比較」についての回答を、年代別に集計した。10~20代は「やや弱くなっている」「弱くなっている」を合わせると約88%であった。30~40代は「強くなっている」「やや強くなっている」を合わせると約38%であった。

10年前の地域とのつながりを比較

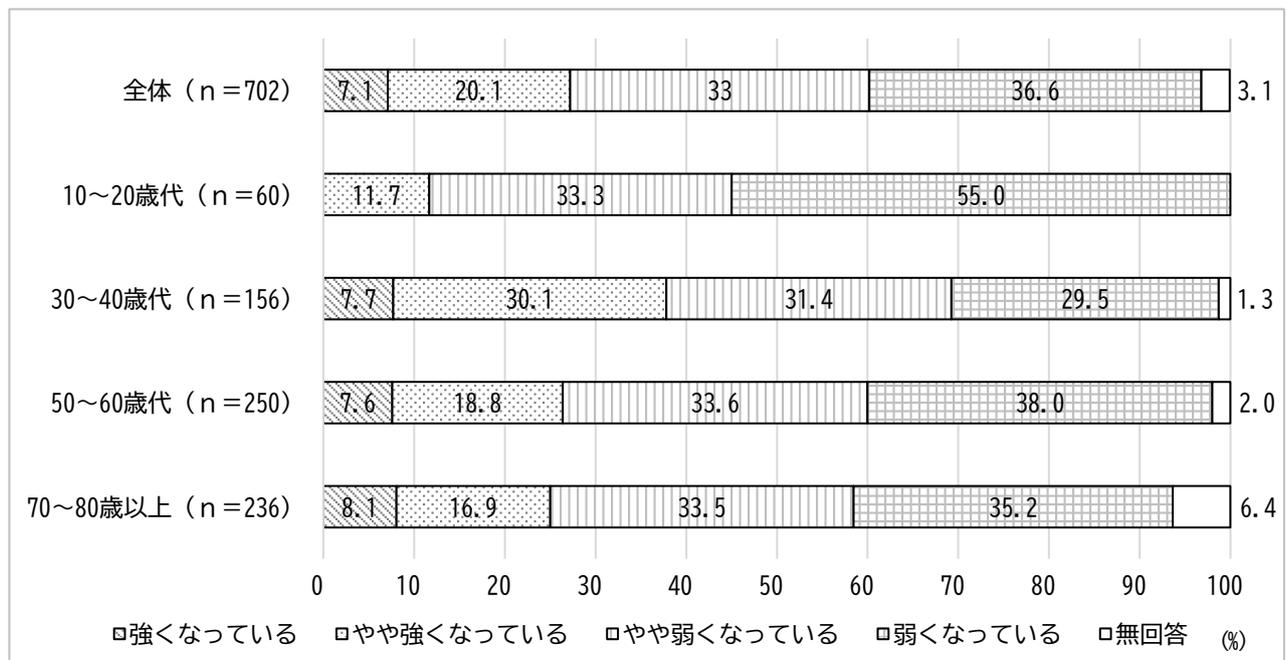
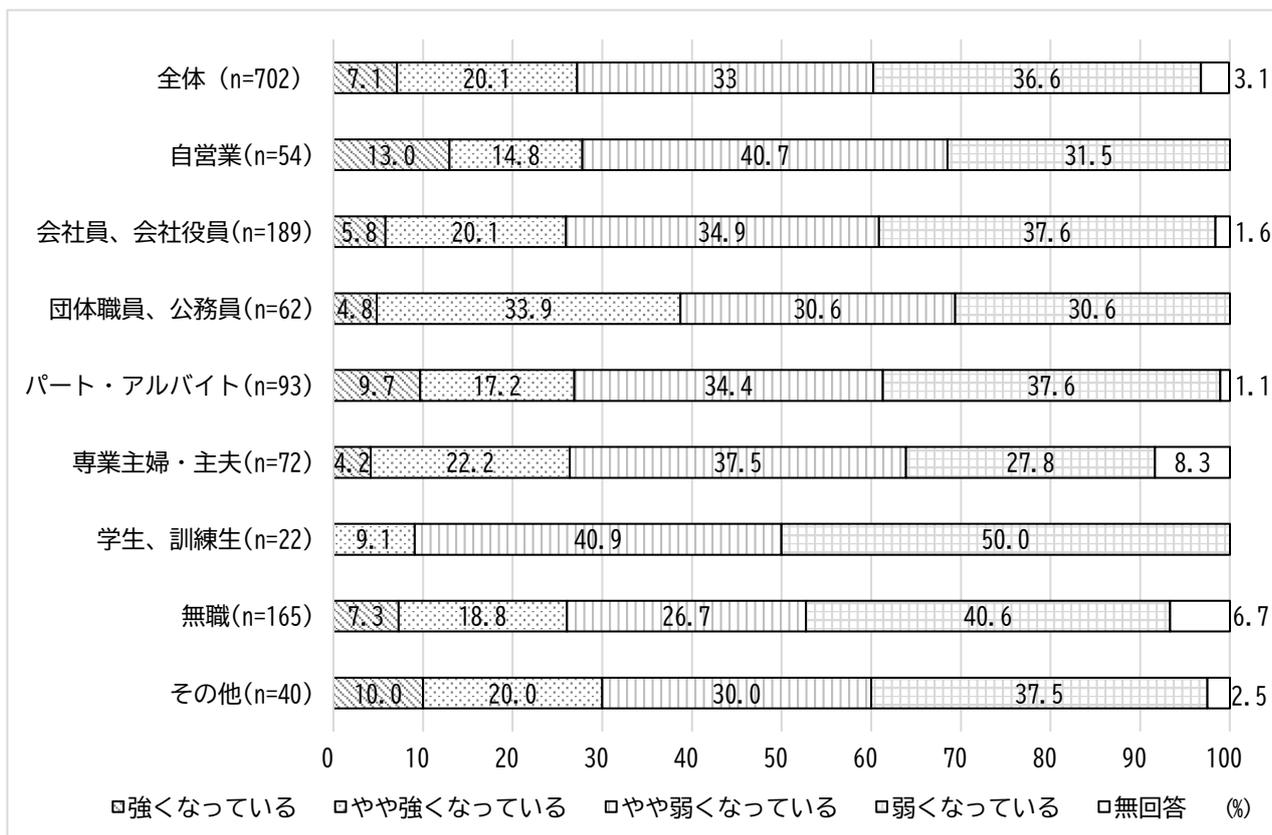


図 58 10 年前の地域とのつながりと職業

問 6 (1) 「10 年前の地域とのつながりを比較」についての回答を、職業別に集計した。自営業、会社員、会社役員、パート・アルバイト、学生、訓練生は「やや弱くなっている」「弱くなっている」を合わせると 72%以上であった。一方で、団体職員、公務員の「強くなっている」「やや強くなっている」を合わせると約 39%であった。

10 年前の地域とのつながりを比較



その他・・・○医師 ○看護師 ○内職 ○農業 ○非常勤講師 他

図 59 10年前の地域とのつながりと地域

問6(1)「10年前の地域とのつながりを比較」についての回答を、地域別に集計した。※地域はP.1に掲載

備前地域は「やや弱くなっている」「弱くなっている」を合わせると約75%であった。備中地域、美作地域は、「強くなっている」「やや強くなっている」の回答をそれぞれ合わせるとどちらも27%以上であった。

10年前の地域とのつながりを比較

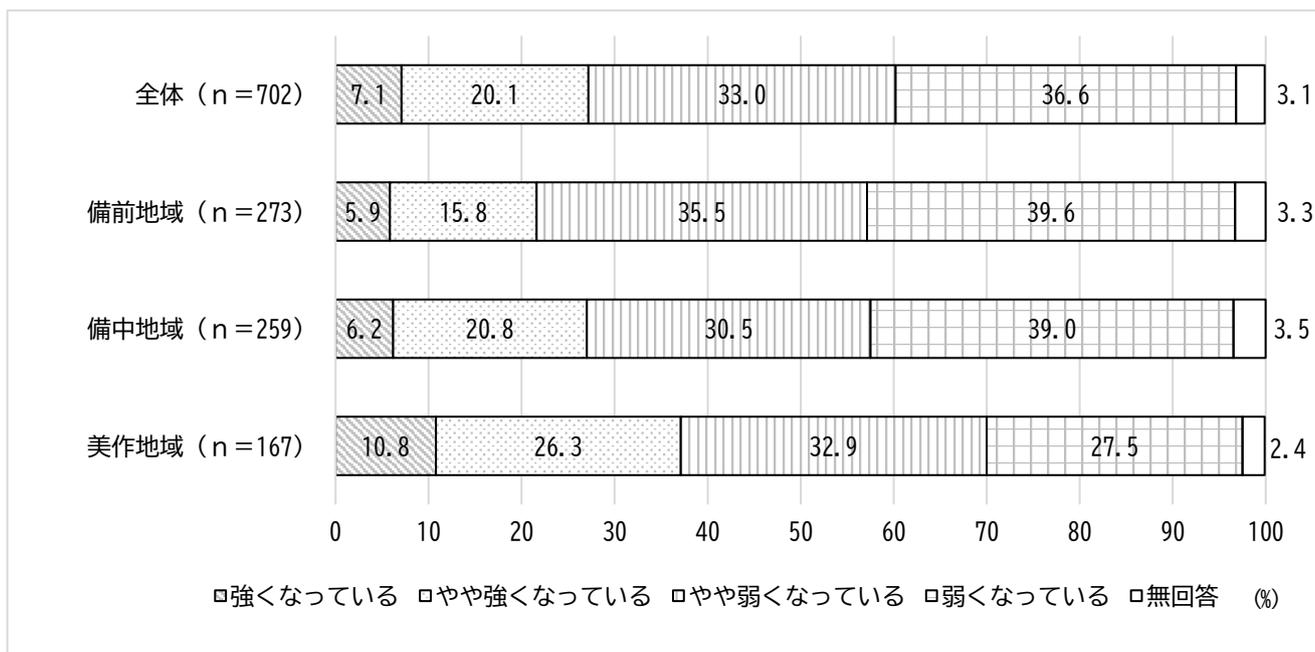


図 60 10年前の地域とのつながりと学習の必要性

問2(1)「学習の必要性」と問6(1)「10年前の地域とのつながりを比較」について集計した。「学習が必要である」と回答したなかでは、「やや弱くなっている」「弱くなっている」を合わせると約69%の回答であった。「学習が必要ではない」と回答したなかでも、「やや弱くなっている」「弱くなっている」を合わせると約77%の回答であった。

10年前の地域とのつながりを比較

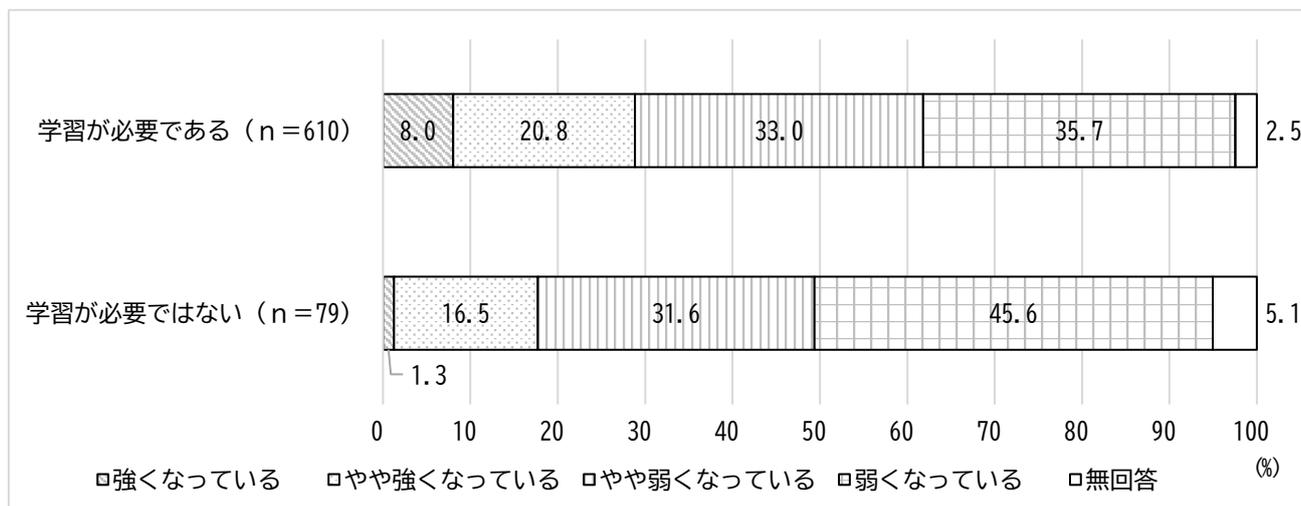


図 61 10年前の地域とのつながりと過去の学習

問4(1)「最近1年間の学習経験の有無」と問6(1)「10年前の地域とのつながりを比較」について集計した。「最近1年間学習を行ったことがある」と回答したなかでは、「やや弱くなっている」「弱くなっている」を合わせると約65%であった。「最近1年間学習を行ったことがない」と回答したなかでは、「やや弱くなっている」「弱くなっている」を合わせると約76%の回答であった。

10年前の地域とのつながりを比較

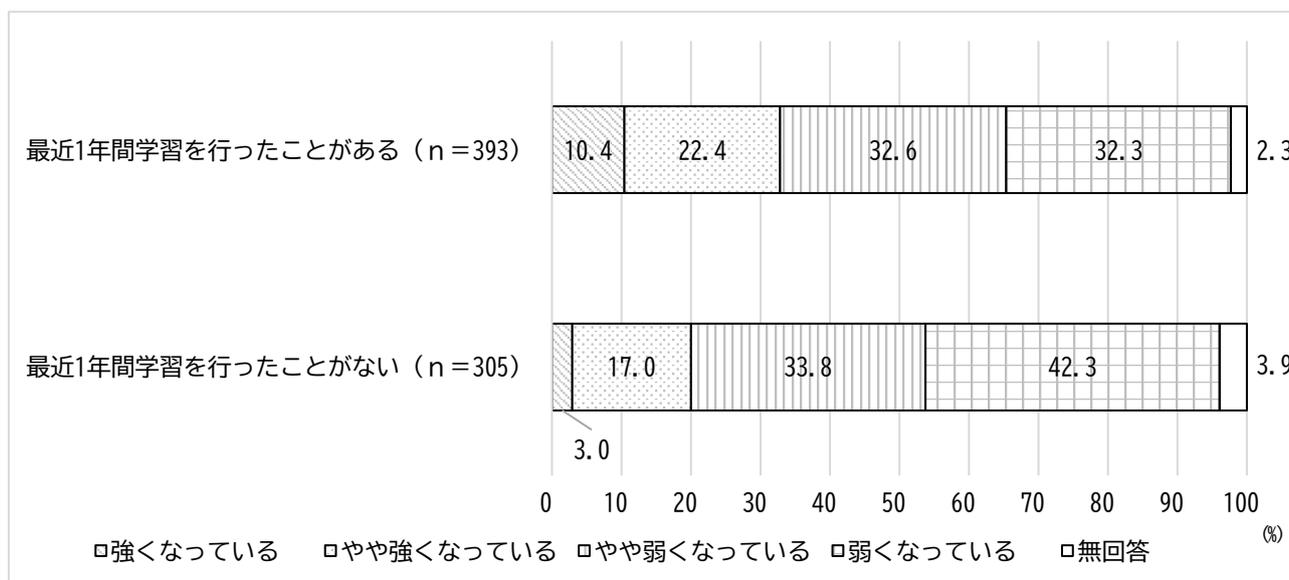


図 62 10年前の地域とのつながりと自主的な学習

問3(1)「自主的に学習したいか」と問6(1)「10年前との地域とのつながりを比較」について集計した。「自主的に学習したいと思う」と回答したなかでは、「やや弱くなっている」「弱くなっている」を合わせると約67%であった。「自主的に学習したいと思わない」と回答したなかでは、「やや弱くなっている」「弱くなっている」を合わせると約78%だった。

10年前の地域とのつながりを比較

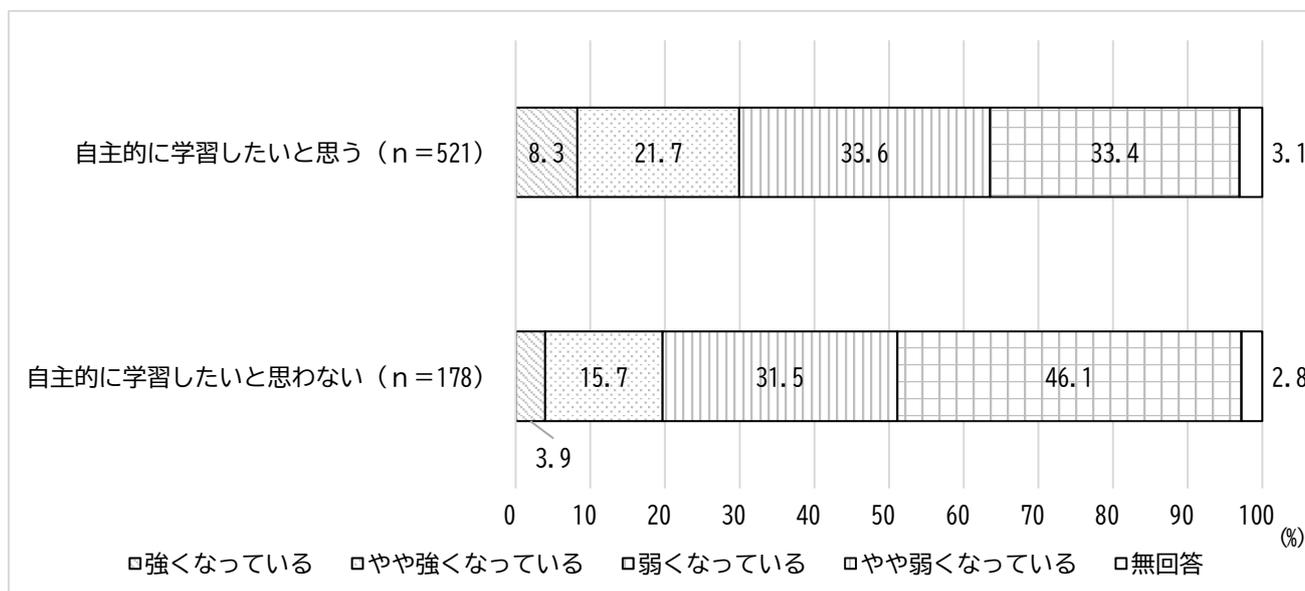
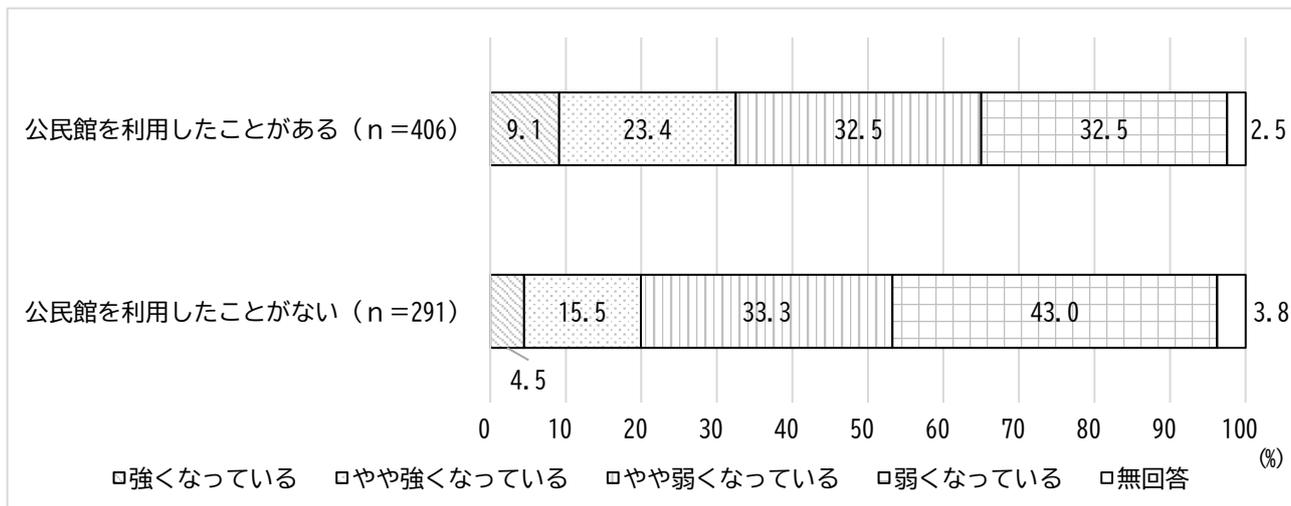


図 63 10 年前の地域とのつながりと公民館の利用の有無

問5 (1)「公民館利用の有無」と問6 (1)「10 年前の地域とのつながりを比較」について集計した。「公民館を利用したことがある」と回答したなかでは、「やや弱くなっている」「弱くなっている」を合わせると約 65%であった。「公民館を利用したことがない」と回答したなかでは、「やや弱くなっている」「弱くなっている」を合わせると約 76%であった。

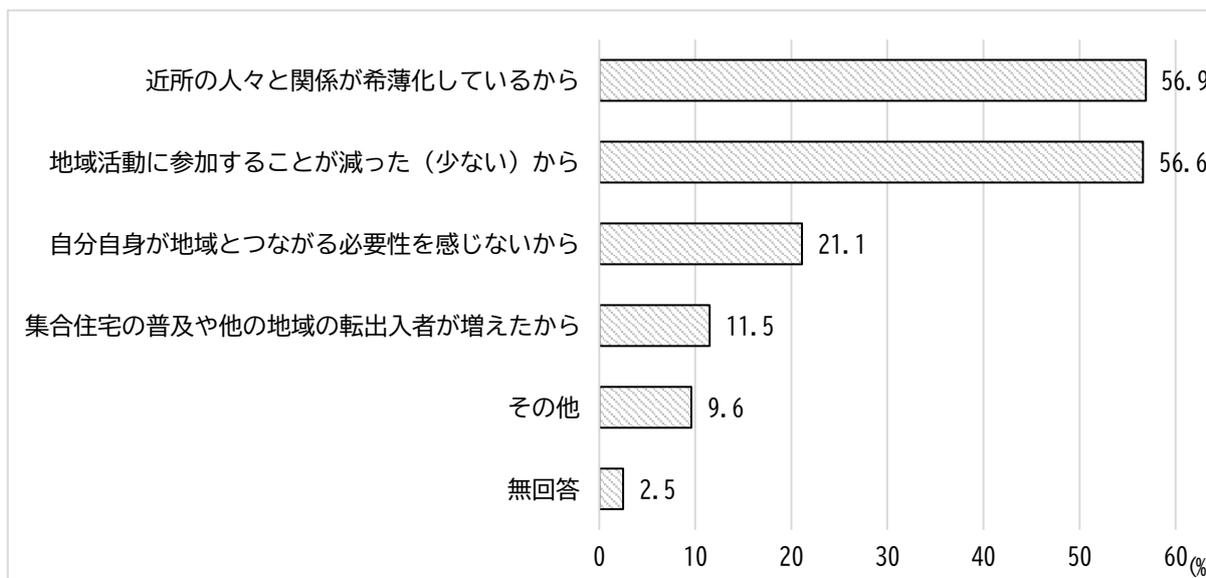
10 年前の地域とのつながりを比較



問6 (2) あなた自身との地域のつながりが弱くなっていると思う理由はなんですか。
 (問6-(1)で「やや弱くなっている」「弱くなっている」と答えた方におたずねします。)

図64 地域のつながりが弱くなっていると思う理由 (n=489) (複数回答可)

「地域のつながりが弱くなっていると思う理由」についての回答をまとめたグラフである。「近所の人々と関係が希薄化しているから」「地域の活動に参加することが減った(少ない)から」が約57%と最も高く、次いで、「自分自身が地域とつながる必要性を感じないから」が約21%の順で高かった。



その他・・・○高齢者が多くなった ○子どもが大きくなり、一緒に参加することがなくなった
 ○コロナ禍で弱くなった ○仕事があり、近くの人と会う頻度が減った 他

図 65 地域のつながりが弱くなっていると思う理由と年代

問6 (2)「地域のつながりが弱くなっていると思う理由」についての回答を、年代別に集計した。

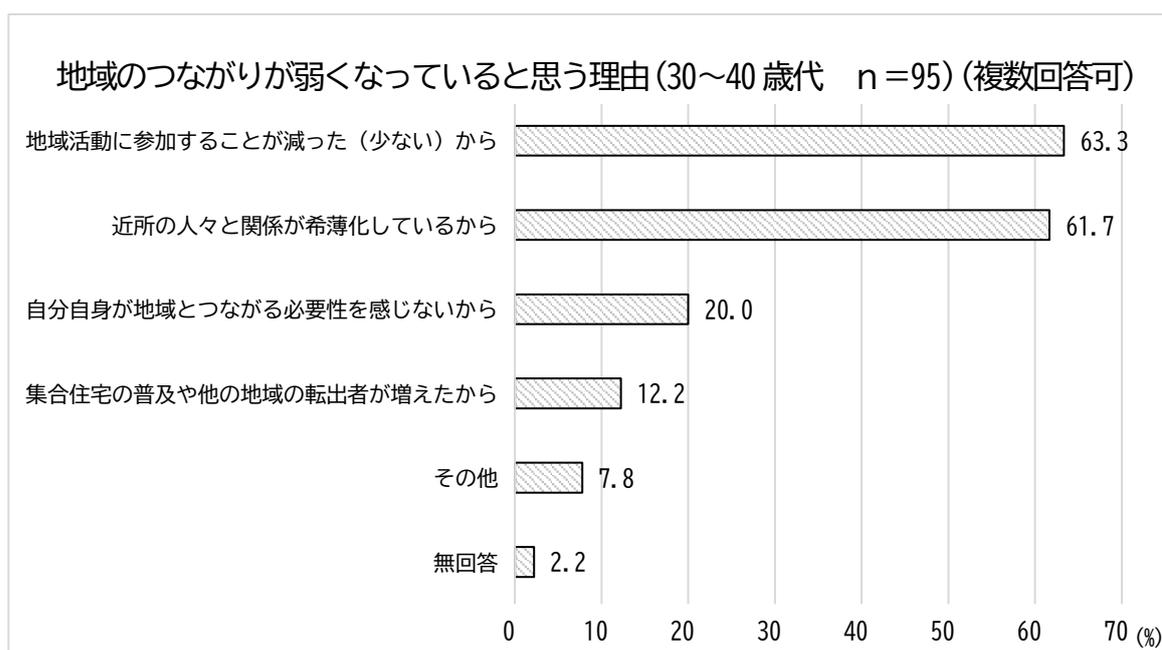
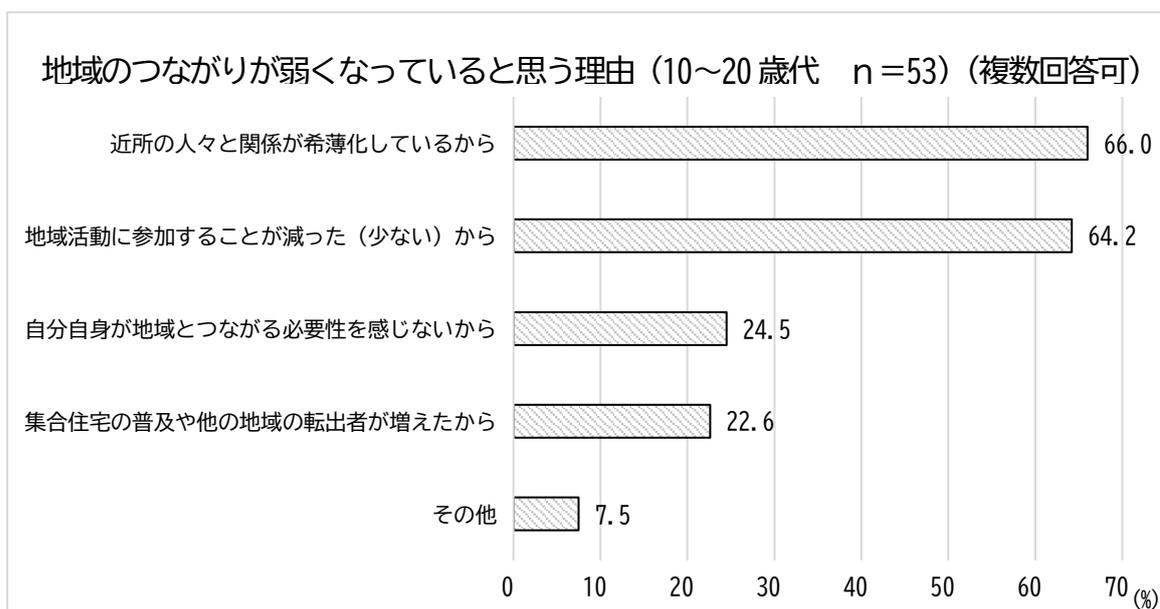
10～20 歳代は、「近所の人々と関係が希薄化しているから」が約 66%と最も高く、次いで「地域の活動に参加することが減った(少ない)から」約 64%と続く。

30～40 歳代は、「地域の活動に参加することが減った(少ない)から」が約 62%と最も高く、次いで「近所の人々と関係が希薄化しているから」約 58%と続く。

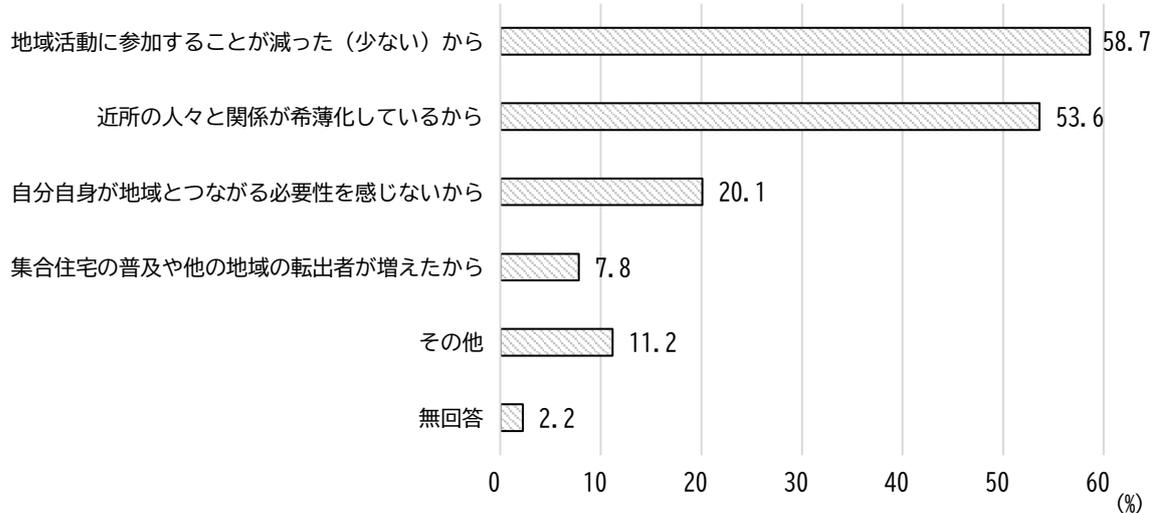
50～60 歳代は、「地域の活動に参加することが減った(少ない)から」が約 59%と最も高く、次いで「近所の人々と関係が希薄化しているから」約 54%と続く。

70～80 歳代以上は、「近所の人々と関係が希薄化しているから」が約 57%と最も高く、次いで「地域の活動に参加することが減った(少ない)から」約 49%と続く。

どの年代でも、「近所の人々と関係が希薄化しているから」「地域の活動に参加することが減った(少ない)から」が上位であった。



地域のつながりが弱くなっていると思う理由 (50~60 歳代 n=179) (複数回答可)



地域のつながりが弱くなっていると思う理由 (70~80 歳代以上 n=162) (複数回答可)

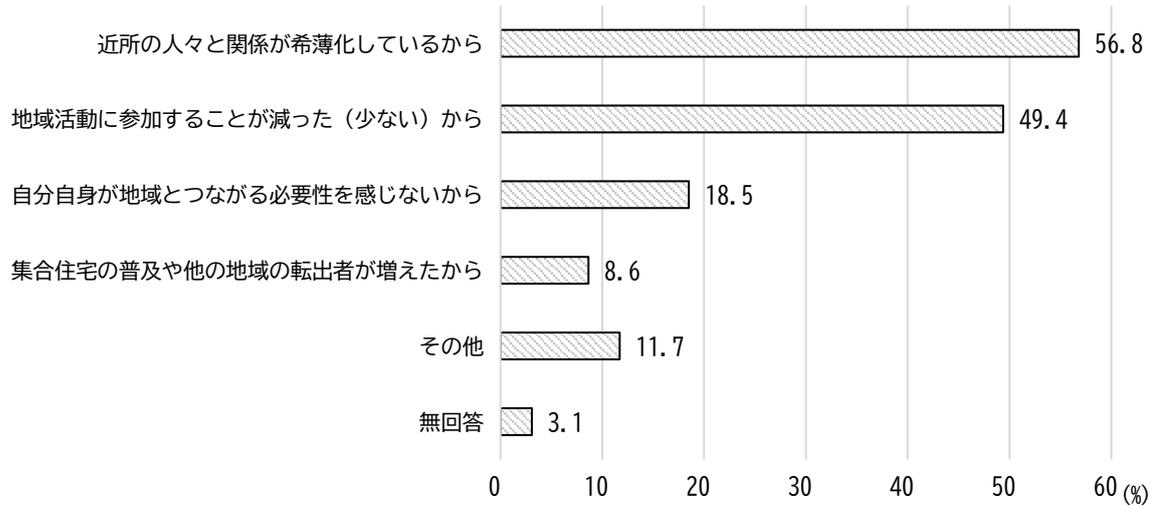


図 66 地域のつながりが弱くなっていると思う理由と地域

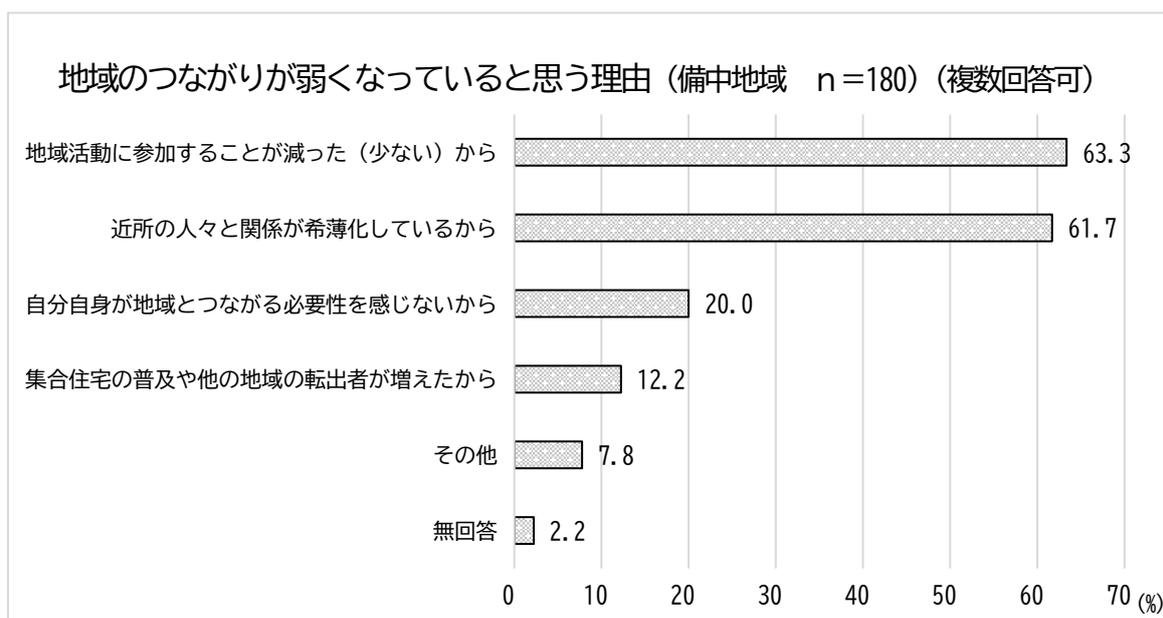
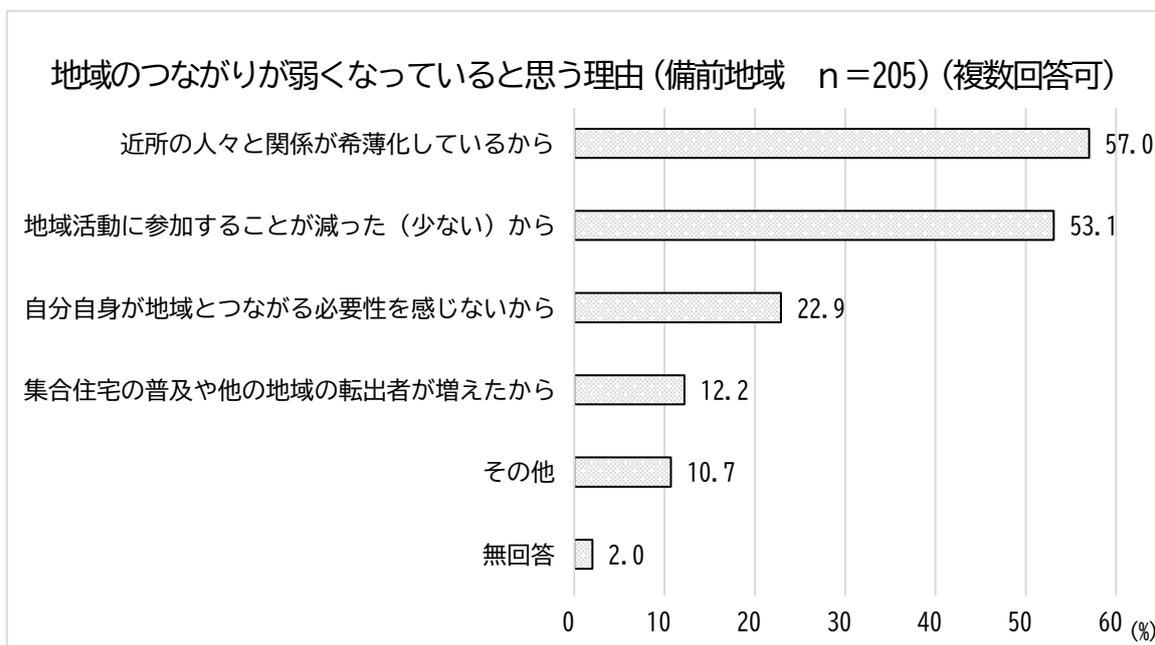
問 6 (2) 「地域のつながりが弱くなっていると思う理由」についての回答を、地域別に集計した。※地域は P. 1 に掲載

備前地域は「近所の人々と関係が希薄化しているから」が約 57% と最も高く、次いで「地域の活動に参加することが減った (少ない) から」約 54% と続く。

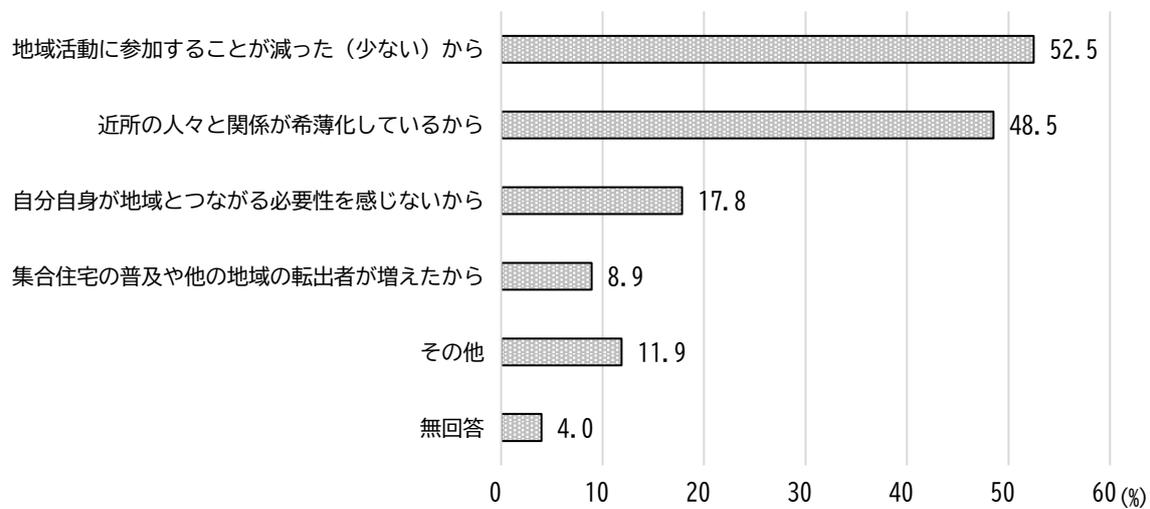
備中地域は、「地域の活動に参加することが減った (少ない) から」が約 63% と最も高く、次いで「近所の人々と関係が希薄化しているから」約 62% と続く。

美作地域は、「地域の活動に参加することが減った (少ない) から」が約 53% と最も高く、次いで「近所の人々と関係が希薄化しているから」約 49% と続く。

地域別に比べても、「近所の人々と関係が希薄化しているから」「地域の活動に参加することが減った (少ない) から」が上位であった。



地域のつながりが弱くなっていると思う理由（美作地域 n=101）（複数回答可）



問6 (3) あなたは地域活動に参加していますか。(全員の方におたずねします。)

図 67 地域活動参加の有無 (n=702)

「地域活動参加の有無」についての回答をまとめたグラフである。「参加している」と回答したのは約57%、「参加していない」と回答は約42%であった。

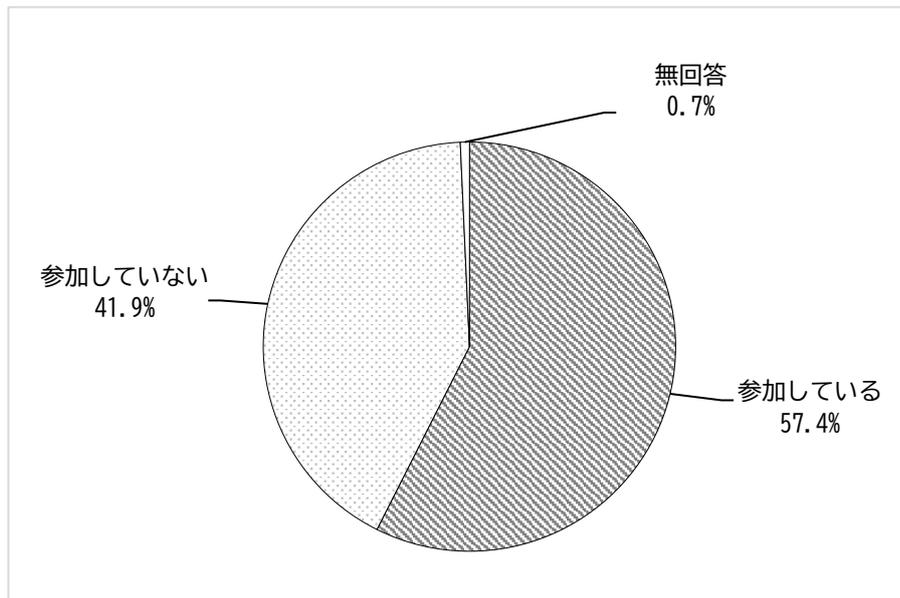


図 68 地域活動参加の有無と学習の必要性

問6 (3)「地域活動参加の有無」と問2 (1)「学習の必要性」について集計した。「地域活動に参加している」と回答したなかでは、「学習が必要である」が約90%であった。また、「地域活動に参加していない」と回答したなかでは、「学習が必要である」が約83%であった。

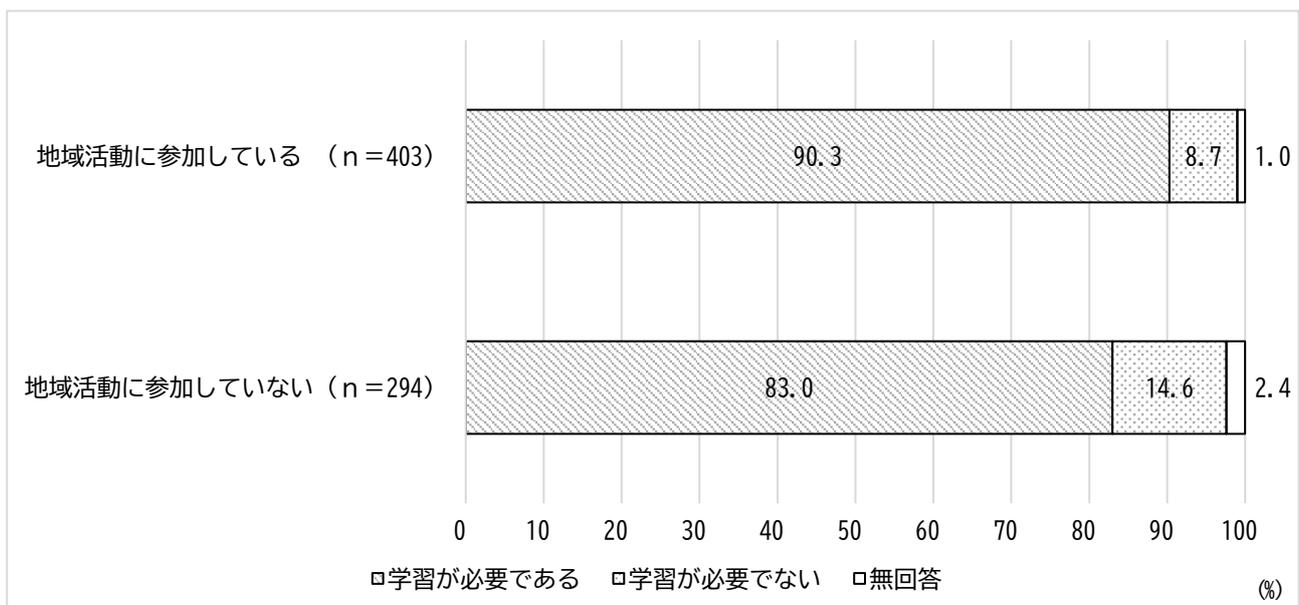


図 69 地域活動参加の有無と過去の学習

問 6 (3) 「地域活動参加の有無」と問 4 (1) 「最近 1 年間の学習経験の有無」について集計した。「地域活動に参加している」と回答したなかでは、「最近 1 年間に学習を行ったことがある」が約 63%であった。一方で「地域活動に参加していない」と回答したなかでは、「最近 1 年間に学習を行ったことがある」が約 47%であった。

地域活動参加の有無と過去の学習

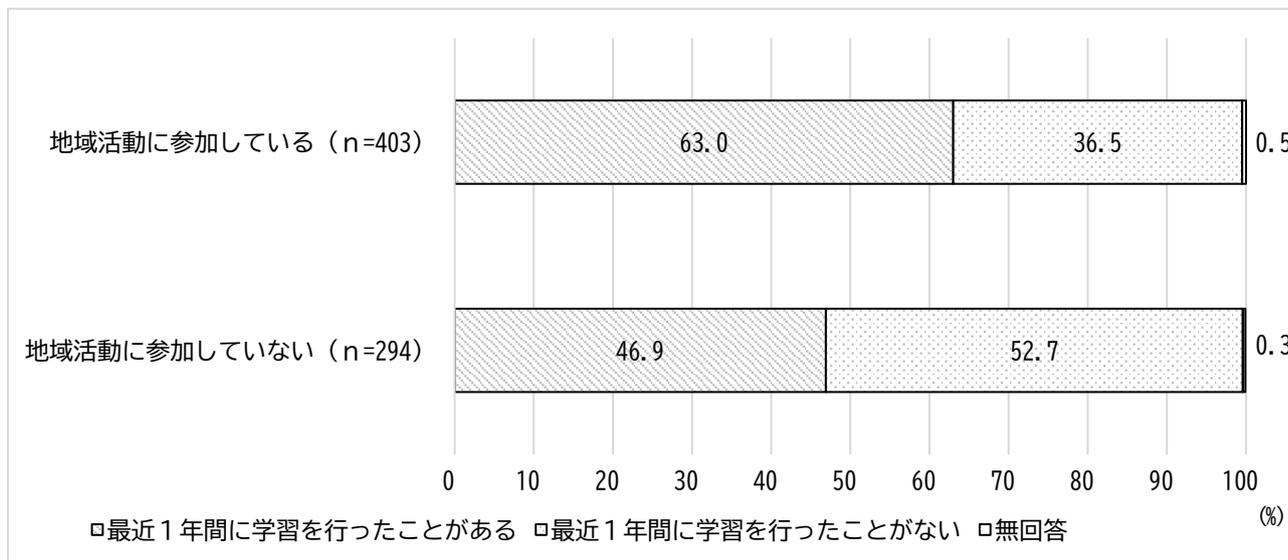


図 70 地域活動参加の有無と自主的な学習

問 6 (3) 「地域活動参加の有無」と問 3 (1) 「自主的に学習したいか」について集計した。「地域活動に参加している」と回答したなかでは、「自ら進んで学習を行いたいと思う」は約 81%であった。「地域活動に参加していない」と回答したなかでは、「自ら進んで学習を行いたいと思う」は約 65%であった。

地域活動参加の有無と自主的な学習

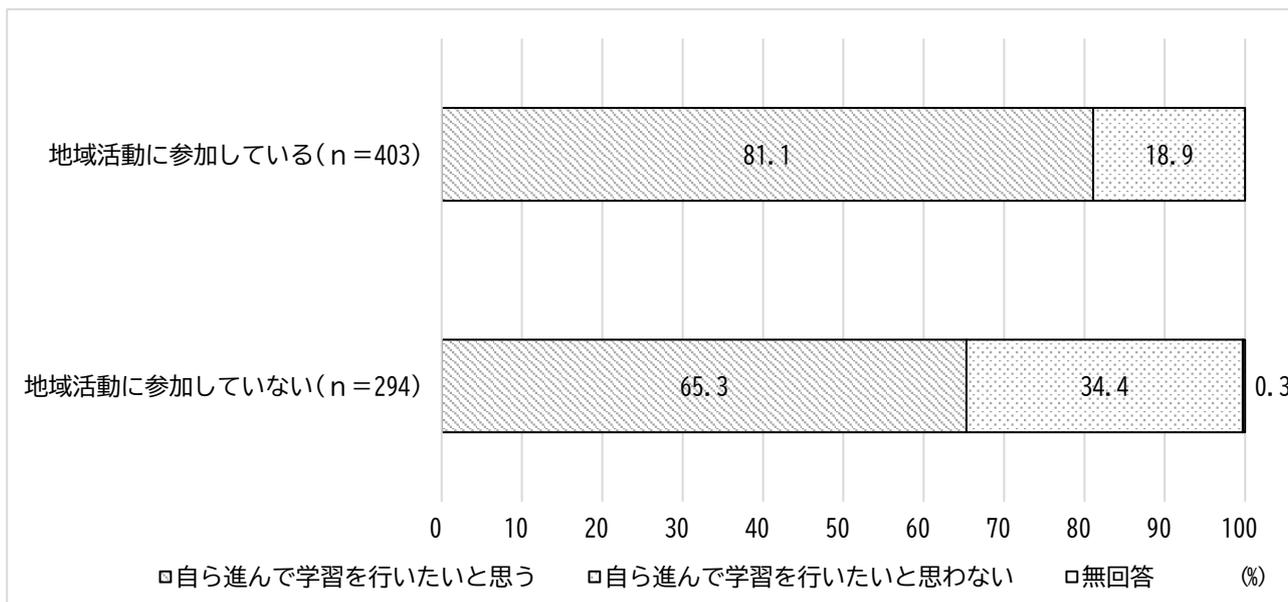


図 71 地域活動参加の有無と公民館の利用の有無

問5 (1)「公民館利用の有無」と問6 (3)「地域活動参加の有無」について集計した。「公民館を利用したことがある」と回答したなかでは、「地域活動に参加していない」が約30%であった。「公民館を利用したことがない」と回答したなかでは、「地域の活動に参加していない」が約59%であった。

地域活動参加の有無と公民館の利用の有無

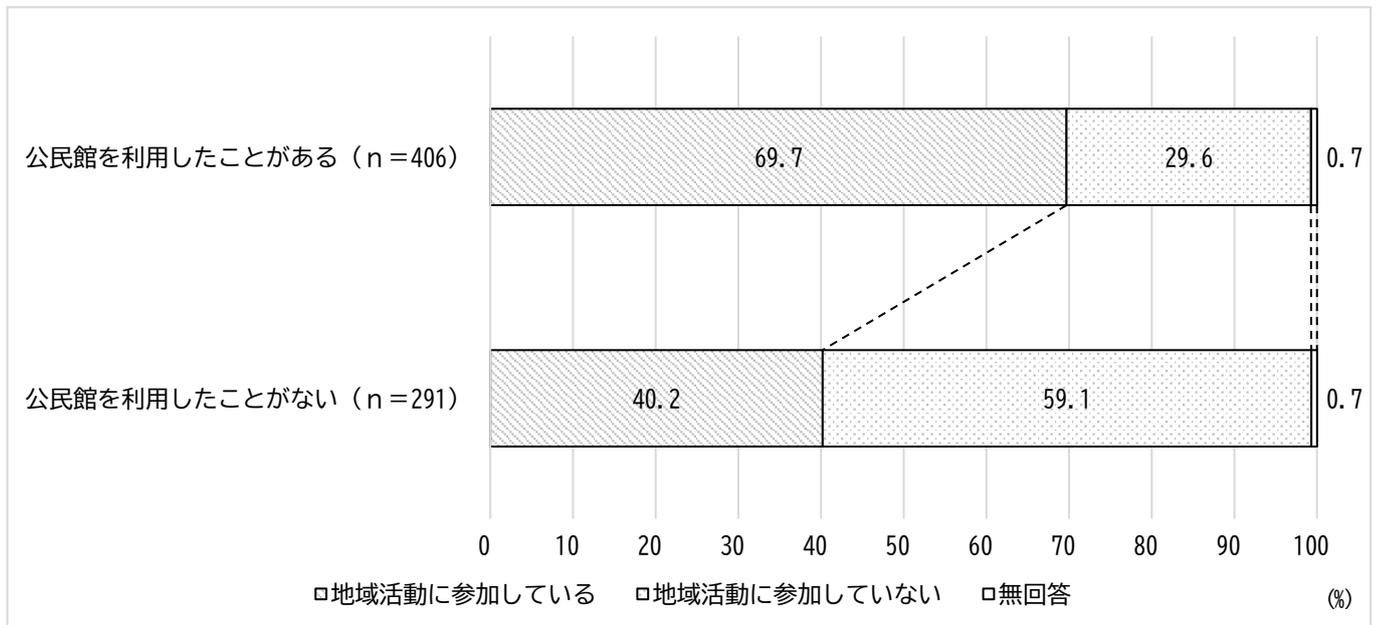
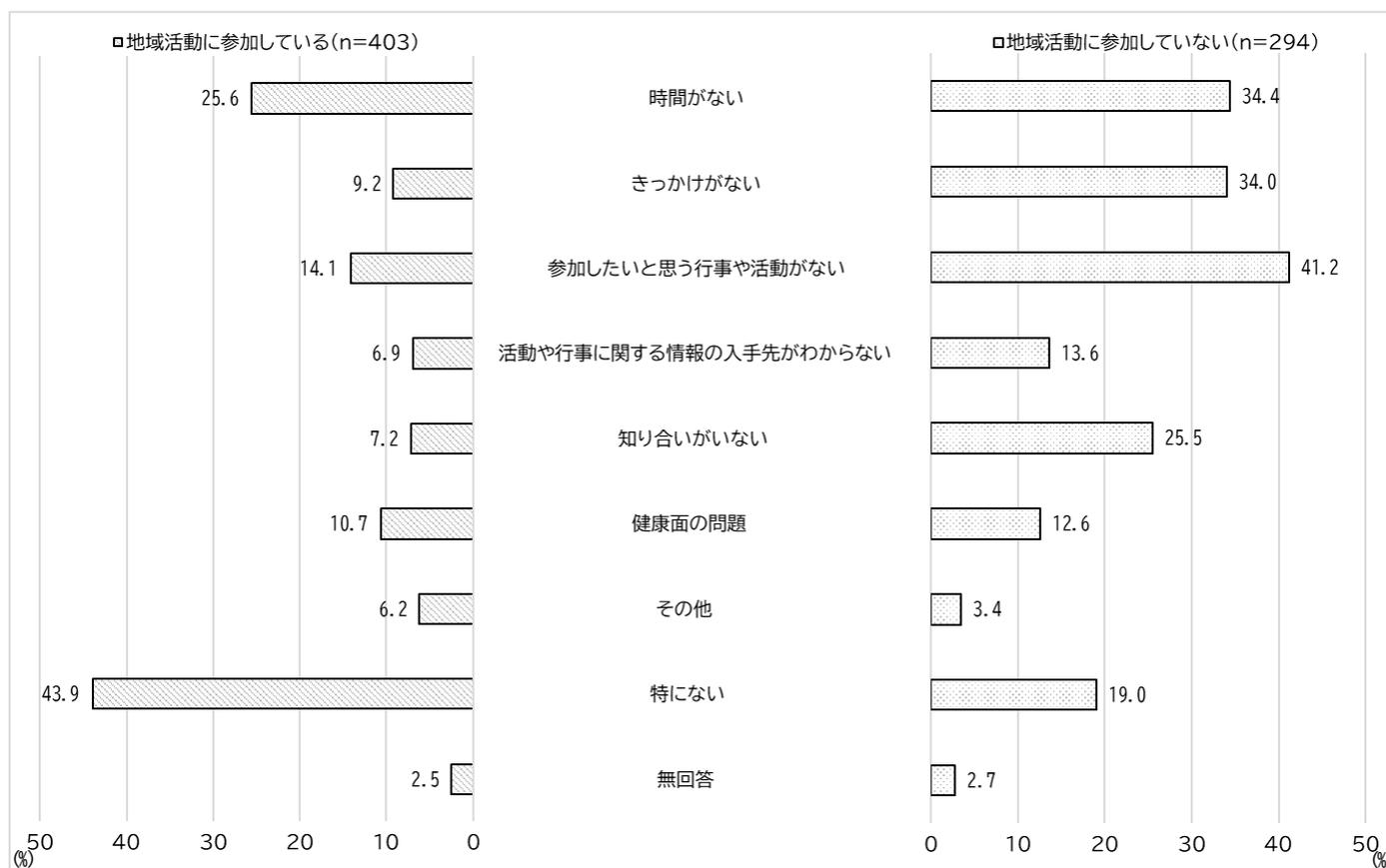


図 72 地域活動参加の有無と地域活動参加の困りごと

問 6 (3) 「地域活動参加の有無」と問 6 (5) 「地域活動参加の困りごと」について集計をした。「地域活動に参加している」と回答したなかでは、困りごととしては、「時間がない」が約 26%と最も多く、次いで「参加したいと思う行事や活動がない」約 14%、「健康面の問題」約 11%と高かった。

「地域活動に参加していない」と回答したなかでは、困りごととしては、「参加したいと思う行事や活動がない」が約 41%と最も高く、次いで「時間がない」「きっかけがない」が約 34%の順で高かった。また、「知り合いがいない」は約 26%以上あり、「地域活動に参加している」していると回答しているなかの「知り合いがいない」より約 18%高い。

地域活動参加の有無と地域活動参加の困りごと（複数回答可）



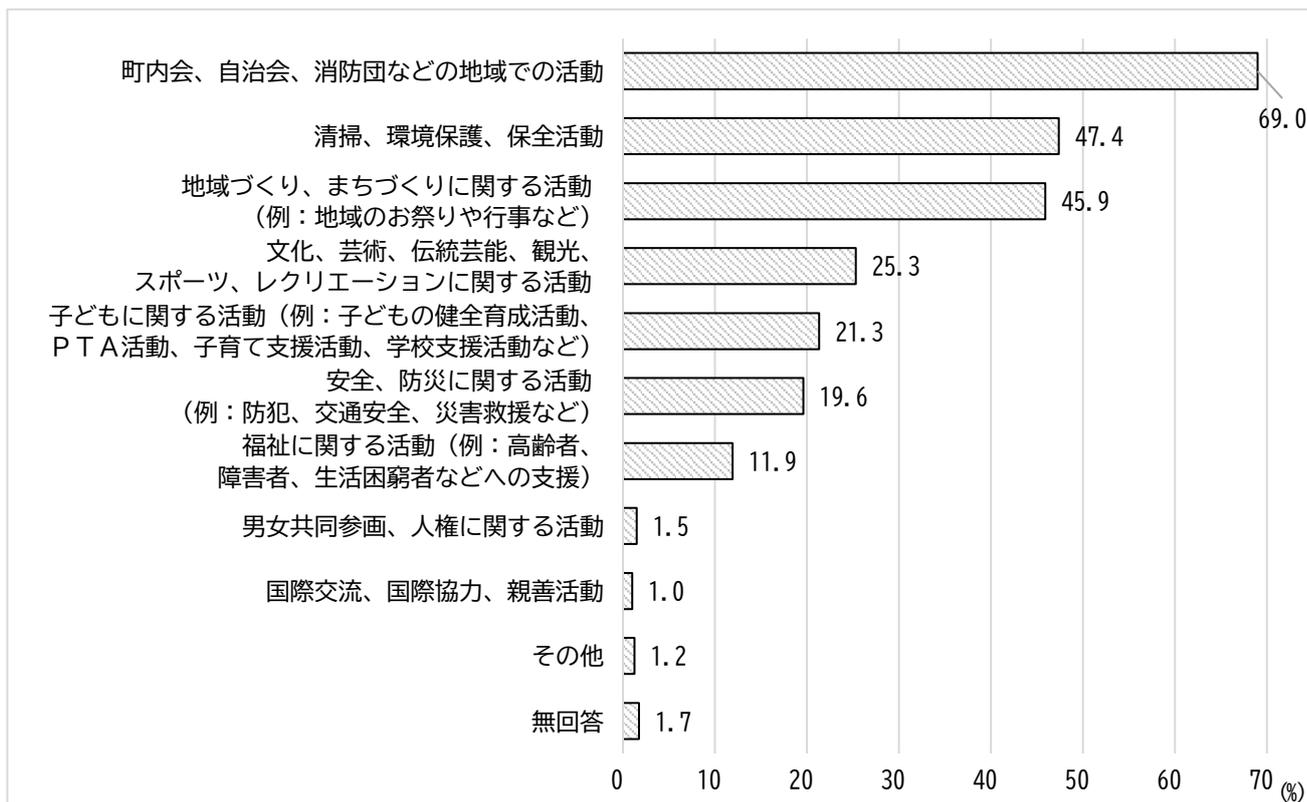
その他・・・○家族の理解が少ない ○参加者が高齢者となり、参加者が減った ○地元の役が多すぎる
○若者の参加が少ない 他

問6 (4) あなたは、地域のどのような活動に参加していますか。

(問6 - (3) で「参加している」と答えた方におたずねします。)

図73 地域活動参加の内容 (n=403) (複数回答可)

「地域活動参加の内容」についての回答をまとめたグラフである。「町内会、自治会、消防団などの地域での活動」が約69%で最も高く、次いで、「清掃、環境保護、保全活動」約47%、「地域づくり、まちづくりに関する活動」約46%の順であった。



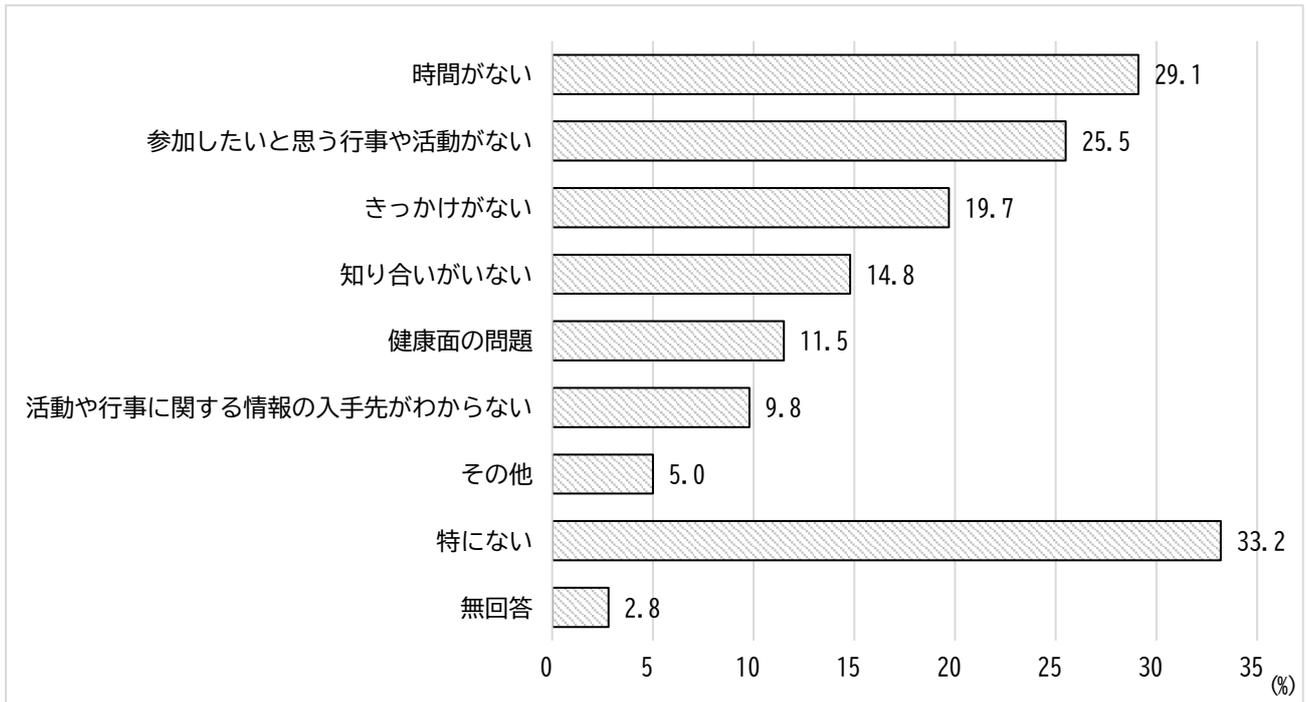
その他・・・○近所の方との話を通じて困っていることを助けるようにしている

○地域のサロンで月1回食事作り、かんたん運動 他

問6 (5) あなたが地域活動に参加するにあたって、困ったことがありましたか。あてはまるものすべてを選んでください。
(全員の方におたずねします。)

図74 地域活動参加の困りごと (n=702) (複数回答可)

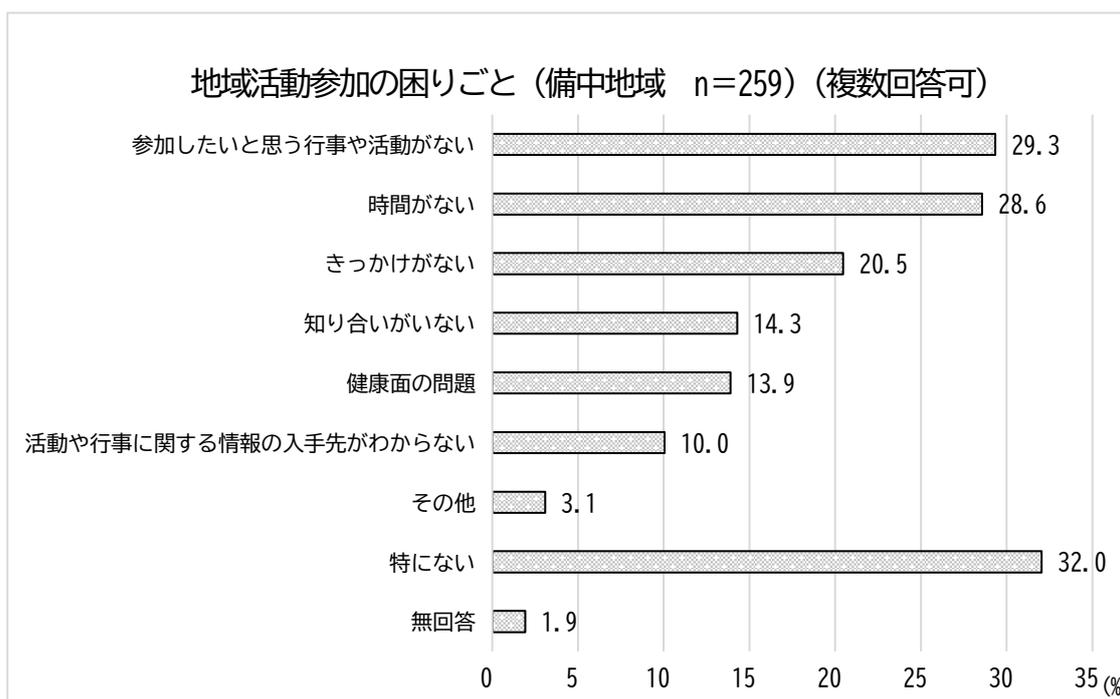
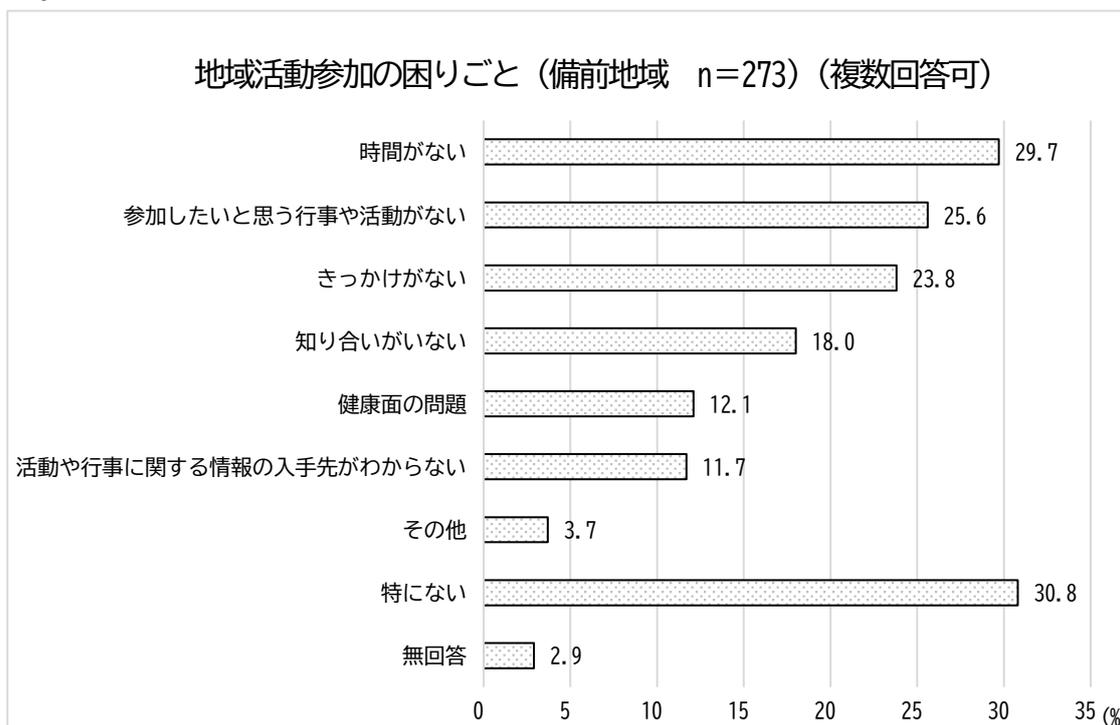
「地域活動参加の困りごと」についての回答をまとめたグラフである。困りごととしては、「時間がない」が約29%で最も高く、次いで、「参加したいと思う行事や活動がない」約26%、「きっかけがない」約20%と高かった。



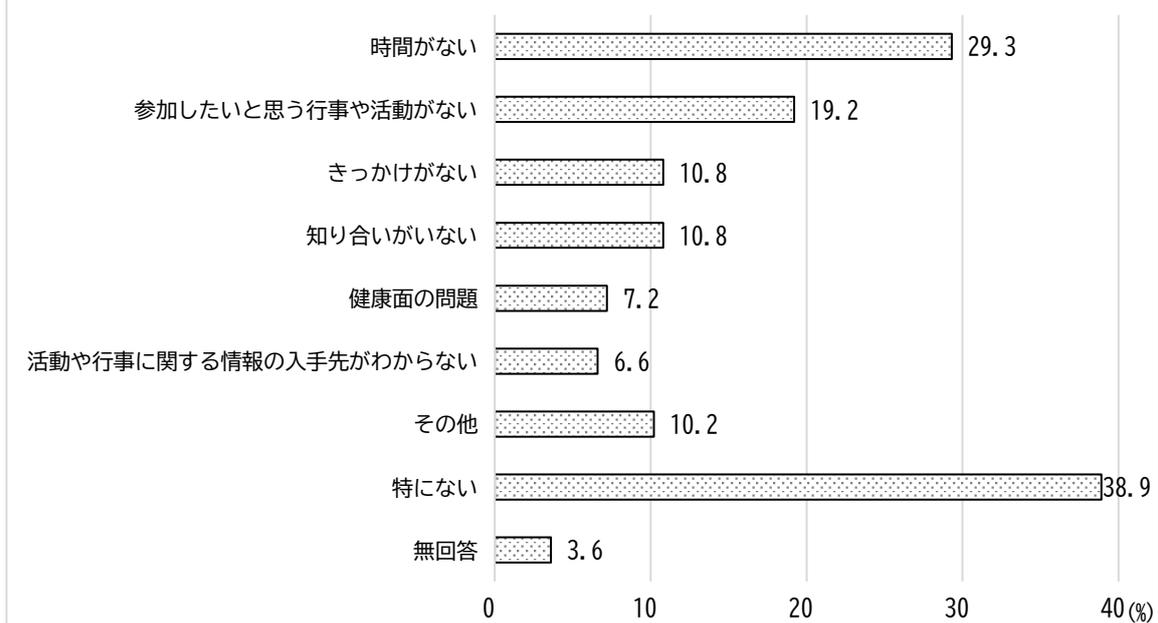
その他・・・○家族の理解が少ない ○参加者が高齢者となり、参加者が減った
○地元の役が多すぎる ○若者の参加が少ない 他

図 75 地域活動参加の困りごとと地域

問6 (5)「地域活動参加の困りごと」についての回答を、地域別に集計した。※地域はP.1に掲載
 備前地域は、困りごととしては、「時間がない」が約30%と最も高く、次いで「参加したいと思う行事や活動がない」約26%、「きっかけがない」約24%と続く。
 備中地域は、困りごととしては、「参加したいと思う行事や活動がない」が約29%と最も高く、次いで「時間がない」約29%、「きっかけがない」約21%と続く。
 美作地域は、困りごととしては、「時間がない」が約29%と最も高く、次いで「参加したいと思う行事や活動がない」約19%、「きっかけがない」約11%と続く。
 どの地域でも、「時間がない」「参加したいと思う行事や活動がない」「きっかけがない」が上位に入っていた。



地域活動参加の困りごと（美作地域 n=167）（複数回答可）

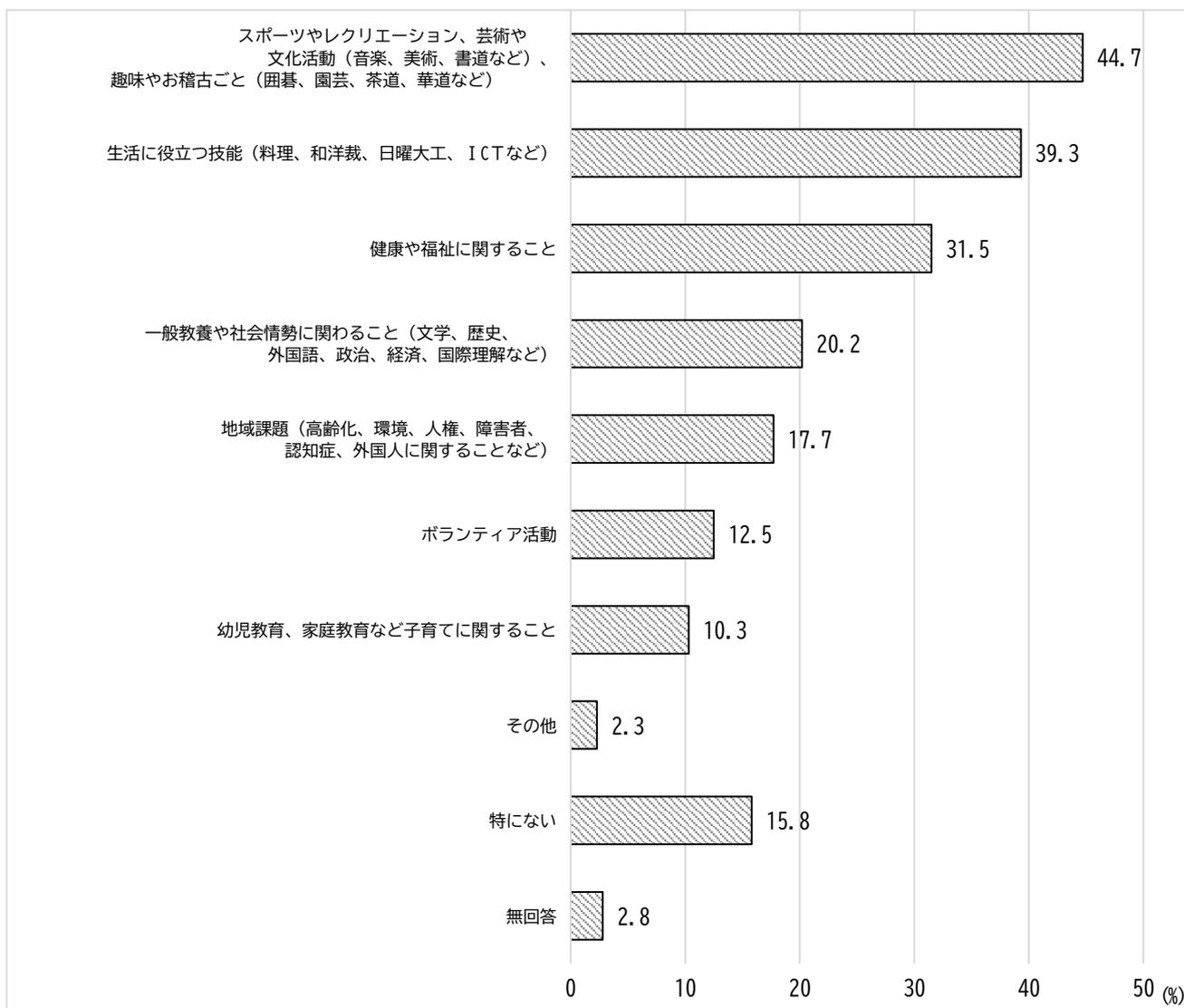


6 これからの学習について

問 7 (1) あなたが今後したいと思う学習は何ですか。あてはまるものすべてを選んでください。

図 76 今後したいと思う学習（複数回答可）

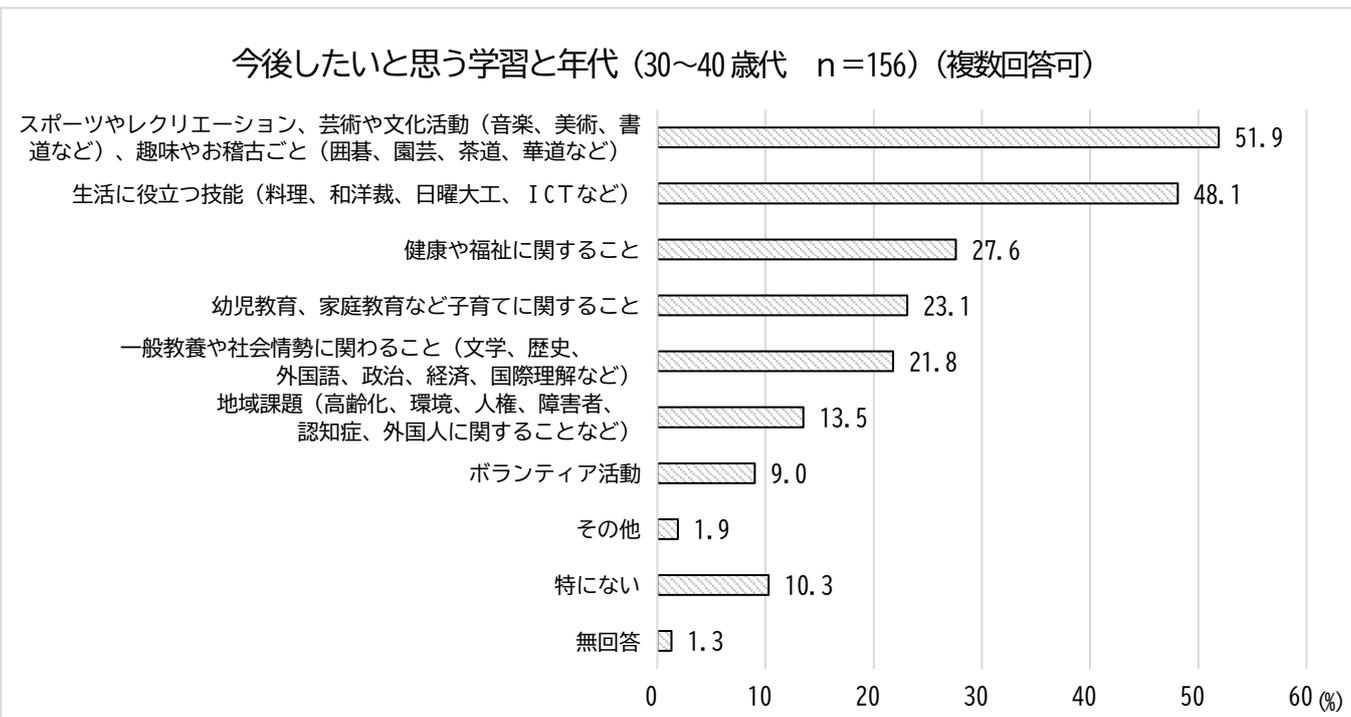
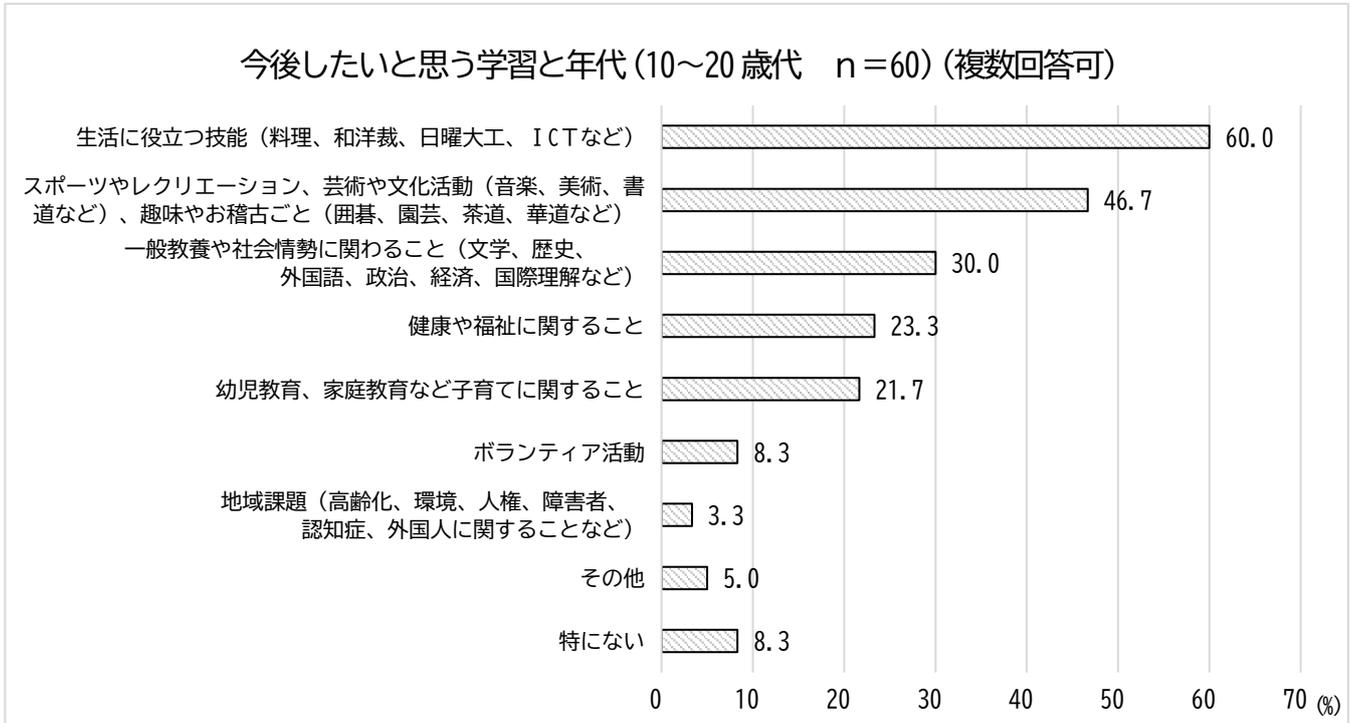
「今後したいと思う学習」についての回答をまとめたグラフである。「スポーツやレクリエーション、芸術や文化活動（音楽、美術、書道など）、趣味やお稽古ごと（囲碁、園芸、茶道、華道など）」が約45%と最も多く、次いで「生活に役立つ技能（料理、和洋裁、日曜大工、ICTなど）」約40%、「健康や福祉に関すること」約32%となっているが、「特にない」との回答が約16%と高くなっている。



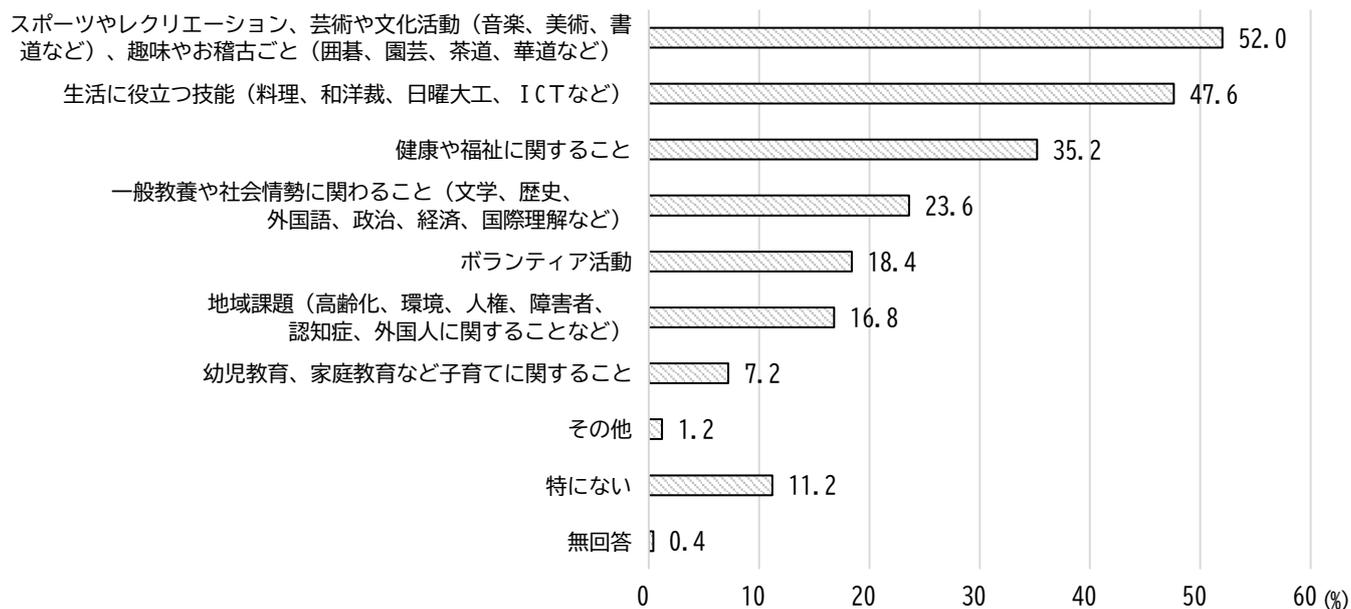
その他・・・○自然科学 ○スマートフォンの使い方 ○動物について
○学び直し（夜間中学校） 他

図 77 今後したいと思う学習と年代

問 7 (1)「今後したいと思う学習」についての回答を、年代別に集計した。70～80 歳以上の回答では、「健康や福祉」が約 32%で最も高く、「地域課題」が約 25%と他の年代よりも高かった。他の年代では、「スポーツやレクリエーション、芸術や文化活動（音楽、美術、書道など）、趣味やお稽古ごと（囲碁、園芸、茶道、華道など）」「生活に役立つ技能（料理、和洋裁、日曜大工、ICTなど）」が最も高いが、10～40 歳代では、「幼児教育、家庭教育など子育てに関すること」に約 22%以上の回答があった。



今後したいと思う学習と年代 (50~60 歳代 n=250) (複数回答可)



今後したいと思う学習と年代 (70~80 歳以上 n=236) (複数回答可)

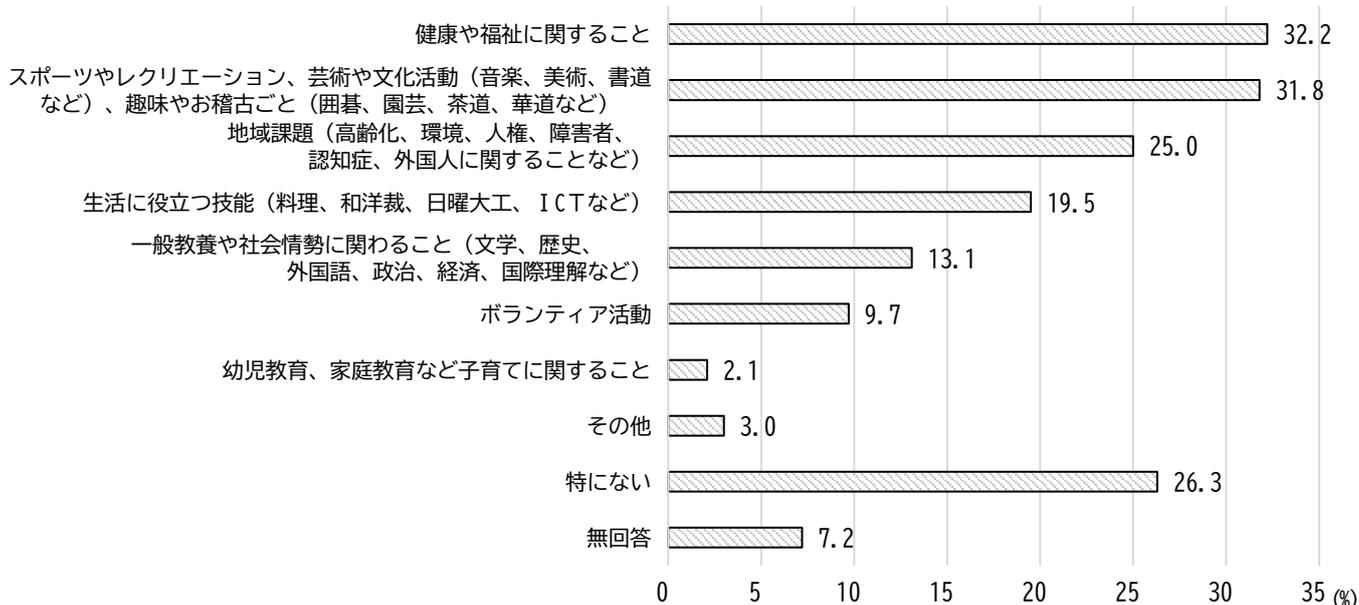


図 78 今後したいと思う学習と職業（複数回答可）

問7 (1)「今後したいと思う学習」についての回答を、職業別に集計した。ほとんどの職業で今後したいと思う学習の上位3項目は「スポーツやレクリエーション、芸術や文化活動（音楽、美術、書道など）、趣味やお稽古ごと（囲碁、園芸、茶道、華道など）」「生活に役立つ技能（料理、和洋裁、日曜大工、ICTなど）」「健康や福祉に関すること」であった。「無職」では、「特にない」が約29%と高かった。

	生活に役立つ技能	幼児教育、家庭教育など子育てに関すること	健康や福祉に関すること	ボランティア活動	一般教養や社会情勢に関わること	地域課題	スポーツ、芸術や文化活動、趣味やお稽古ごと	特にない	その他	無回答
自営業(n=54)	40.7	5.6	29.6	14.8	14.8	27.8	25.9	18.5	3.7	1.9
会社員、会社役員(n=189)	48.7	12.7	28.6	11.6	24.9	13.2	46.6	10.6	1.1	1.1
団体職員、公務員(n=62)	43.5	22.6	33.9	14.5	25.8	17.7	58.1	8.1	1.6	1.6
パート・アルバイト(n=93)	50.5	16.1	36.6	16.1	17.2	14.0	50.5	11.8	3.2	2.2
専業主婦・主夫(n=72)	30.6	5.6	37.5	12.5	9.7	15.3	52.8	11.1	1.4	6.9
学生、訓練生(n=22)	77.3	4.5	13.6	9.1	36.4	4.5	50.0	4.5	4.5	0.0
無職(n=165)	23.0	4.2	32.1	9.1	16.4	22.4	35.2	29.1	3.0	4.2
その他(n=40)	22.5	7.5	27.5	20.0	30.0	27.5	50.0	20.0	2.5	2.5

その他・・・○自然科学 ○スマートフォンの使い方 ○動物について
○学び直し（夜間中学校） 他

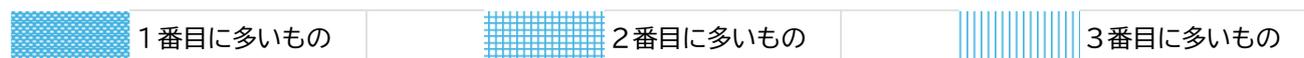
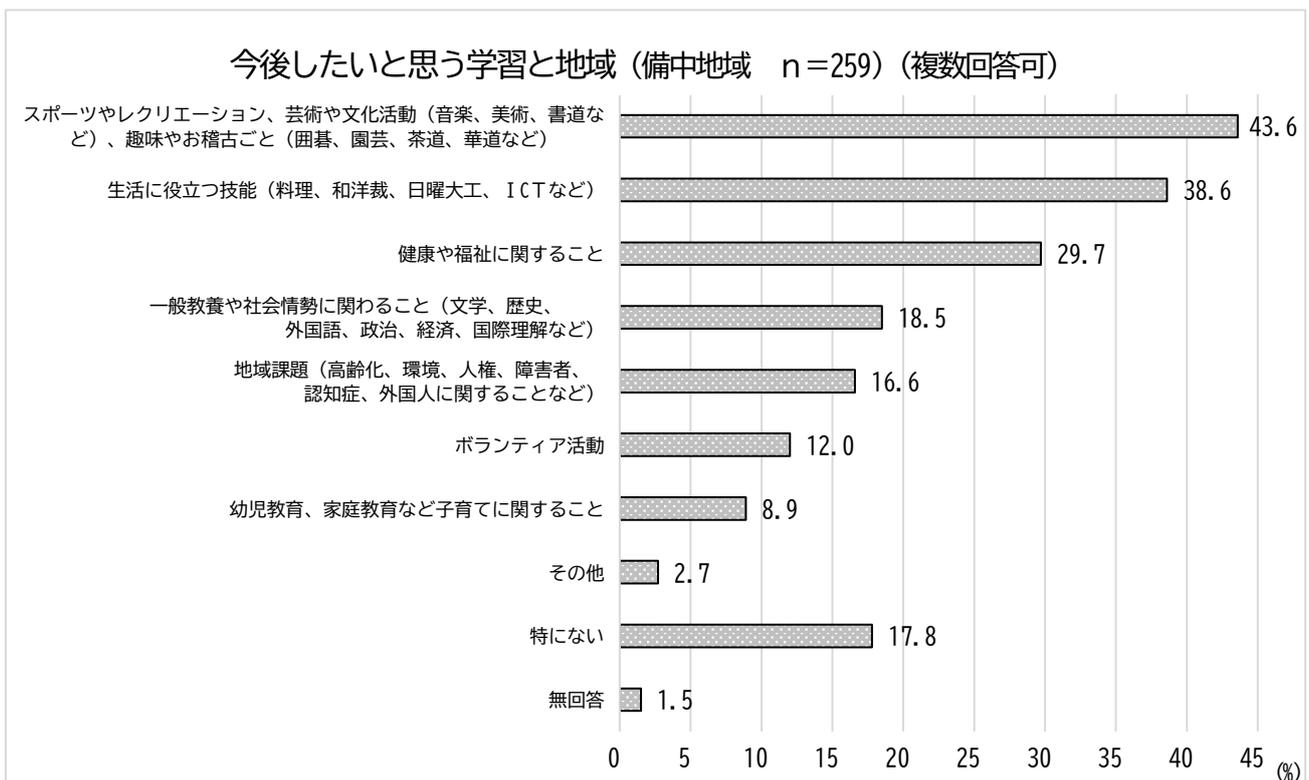
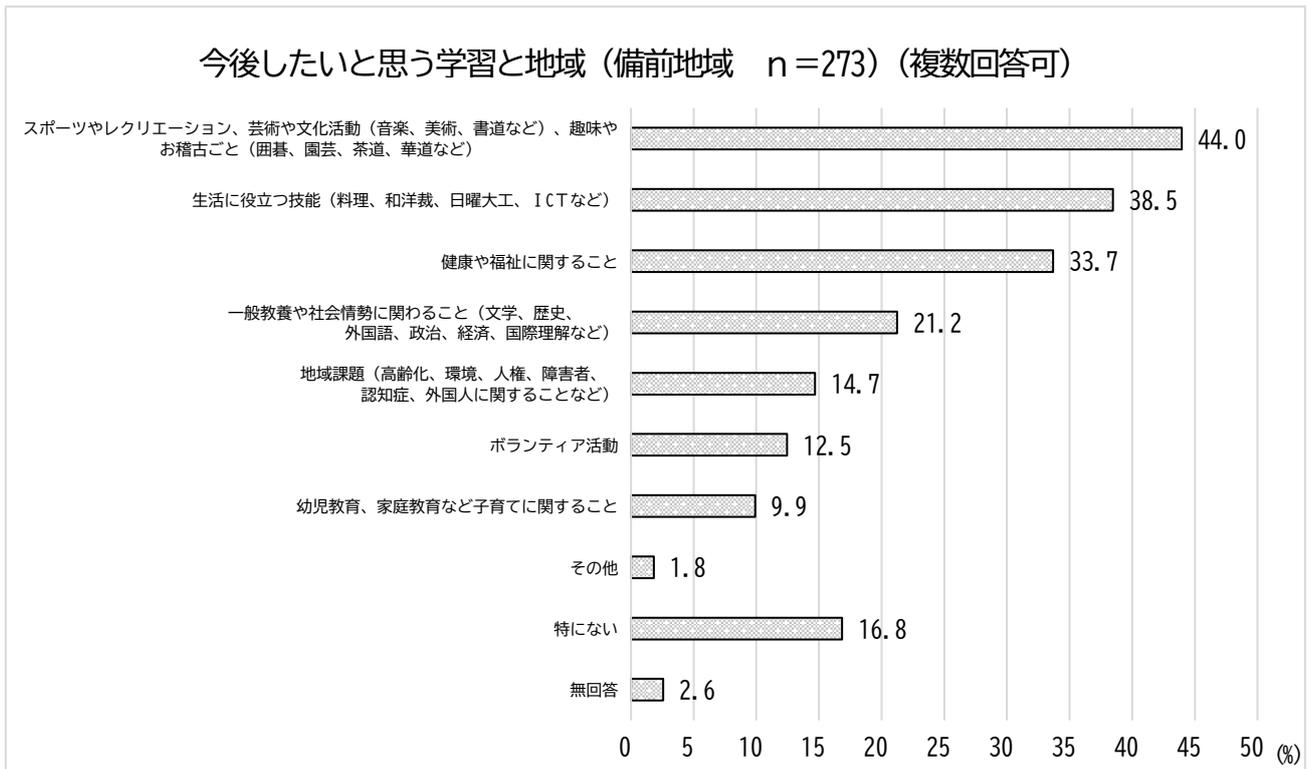
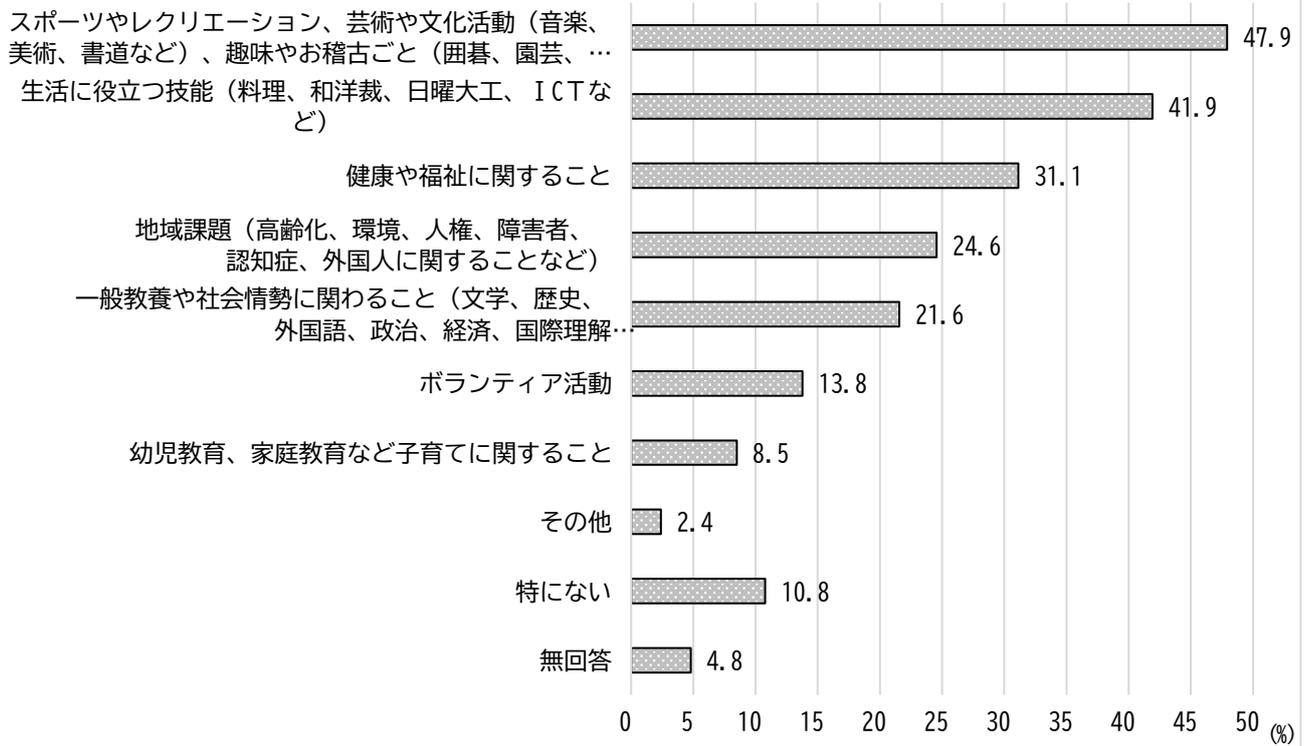


図 79 今後したいと思う学習と地域

問7 (1) 「今後したいと思う学習」についての回答を、地域別に集計した。※地域はP.1に掲載
どの地域でも今後したいと思う学習の上位3項目は「スポーツやレクリエーション、芸術や文化活動
(音楽、美術、書道など)、趣味やお稽古ごと(囲碁、園芸、茶道、華道など)」「生活に役立つ技能
(料理、和洋裁、日曜大工、ICTなど)」「健康や福祉に関すること」であった。どの地域も下位2
項目は「幼児教育、家庭教育など子育てに関すること」「ボランティア活動」であった。



今後したいと思う学習と地域 (美作地域 n=167) (複数回答可)



問7(2) これからあなたが学習を進めていくとしたら、どのような情報が欲しいと思いますか。
あなたが欲しいと思う情報であてはまるものすべてを選んでください。
(全員の方におたずねします。)

図80 学習を進める上で、欲しい情報 (n=702) (複数回答可)

「学習を進める上で、欲しい情報」についての回答をまとめたグラフである。「講座・講演の情報」「行事や催し者の情報」が約45%と最も高く、次いで「取得したい資格や免許の情報」約25%、「講師や指導者の情報」約18%となっている。「情報は必要ない」は約14%であった。

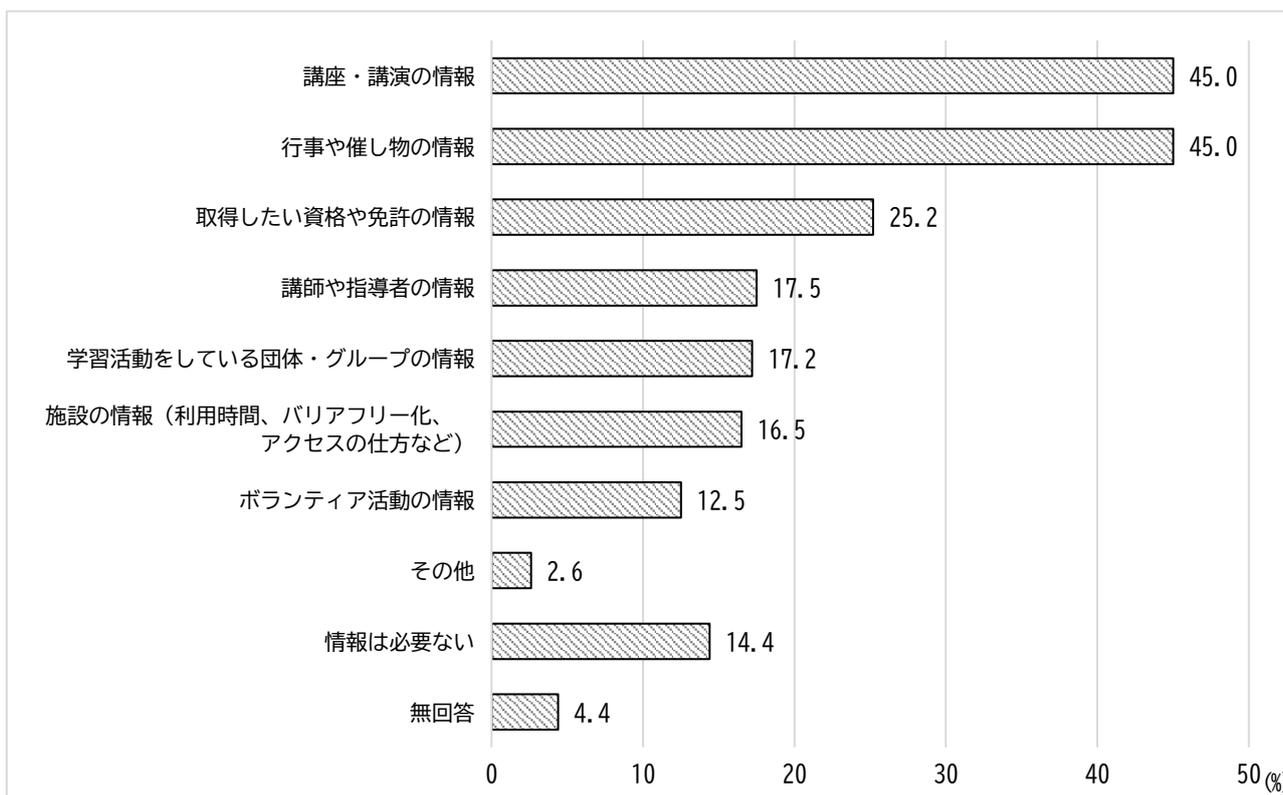
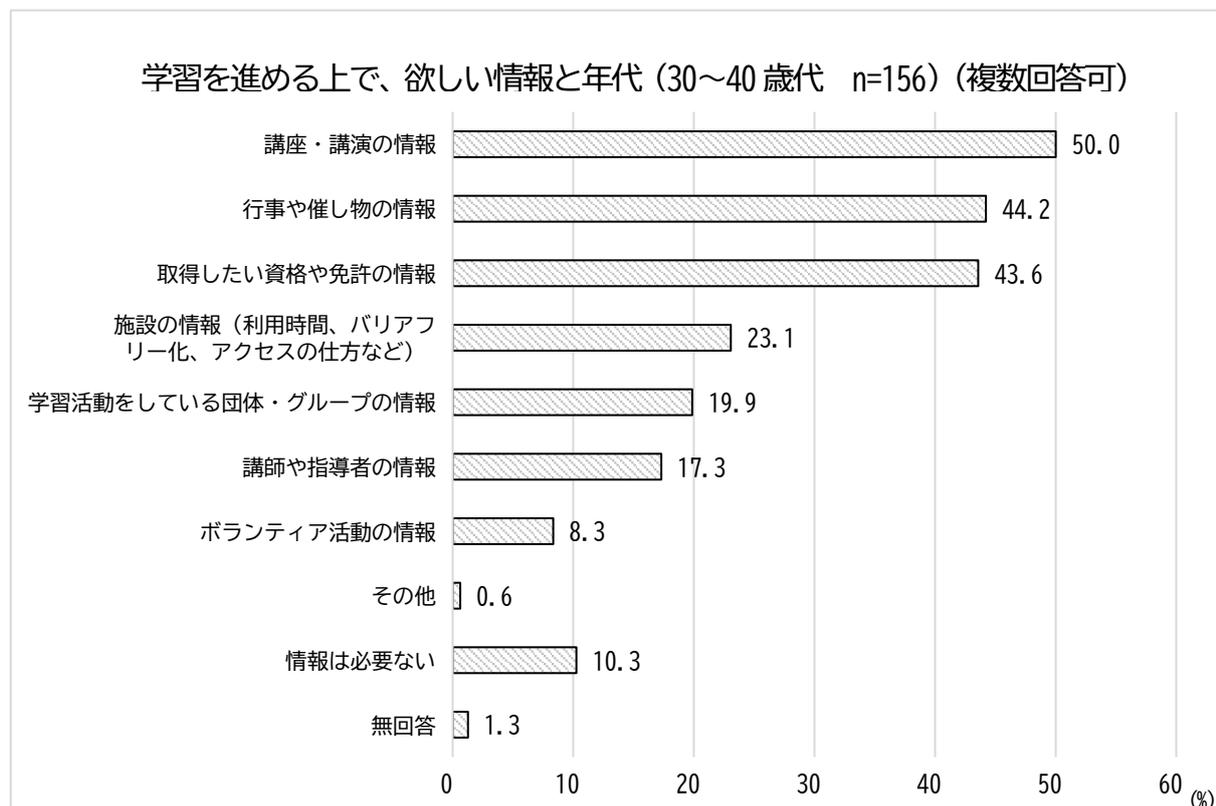
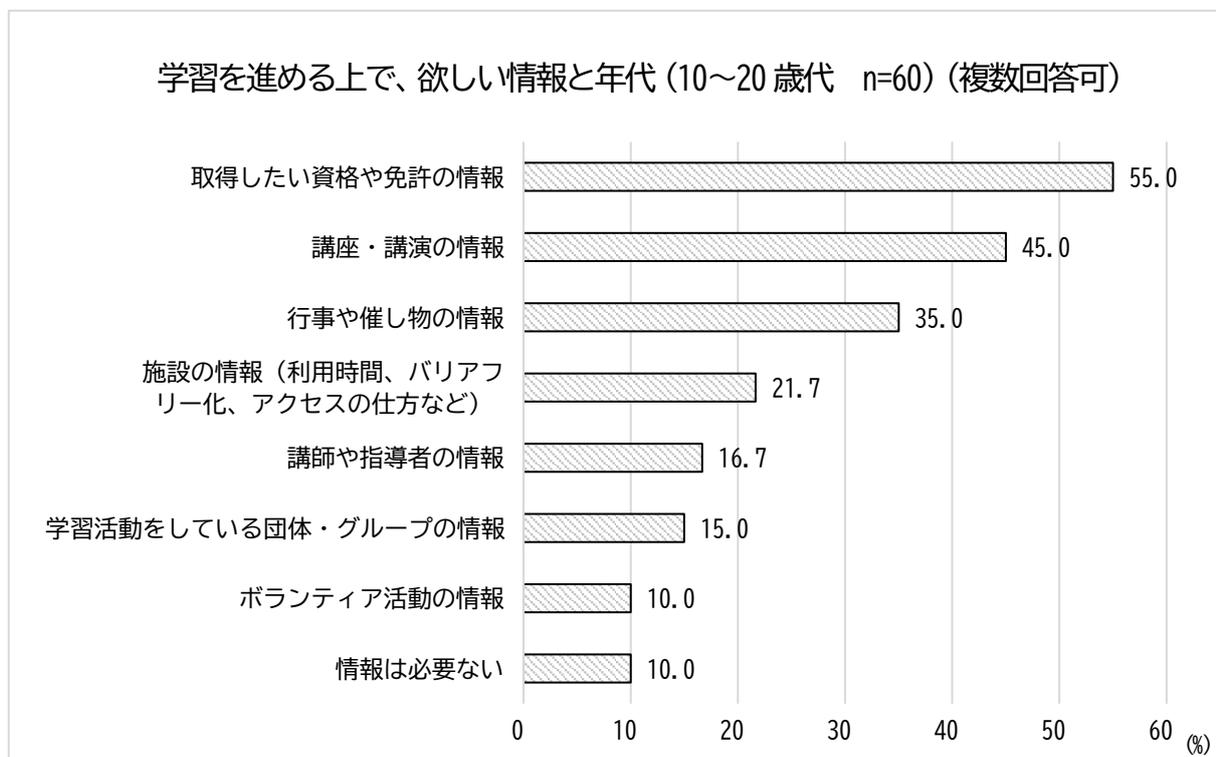
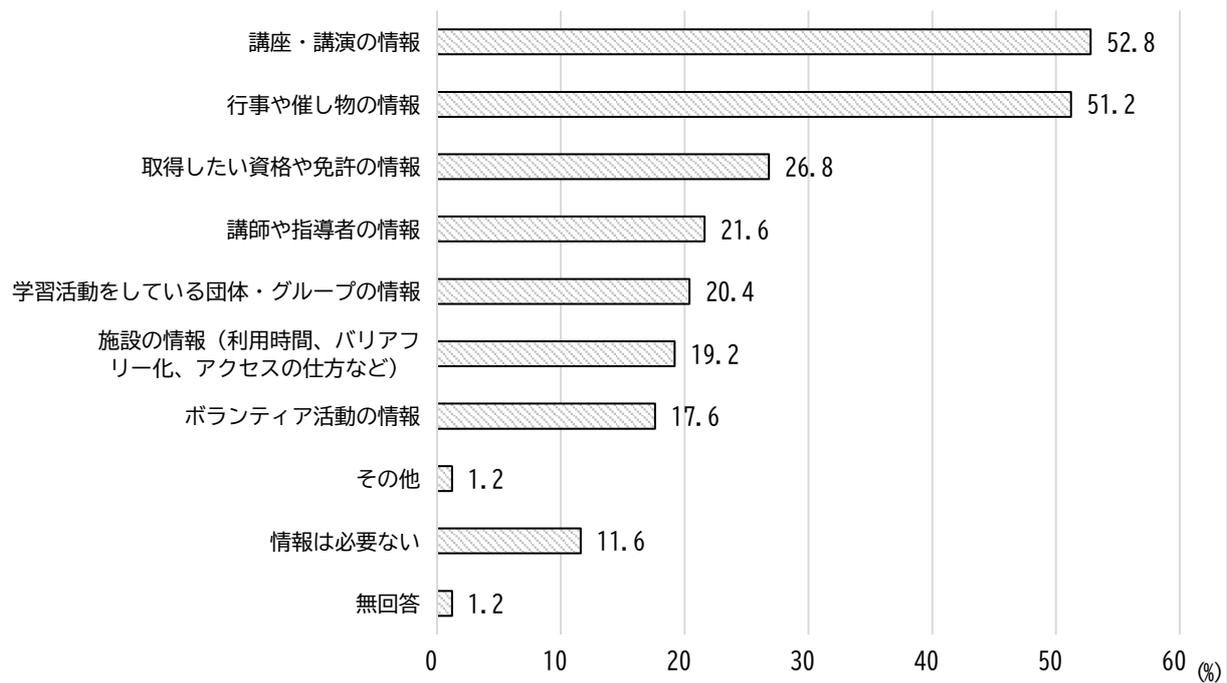


図 81 学習を進める上で、欲しい情報と年代

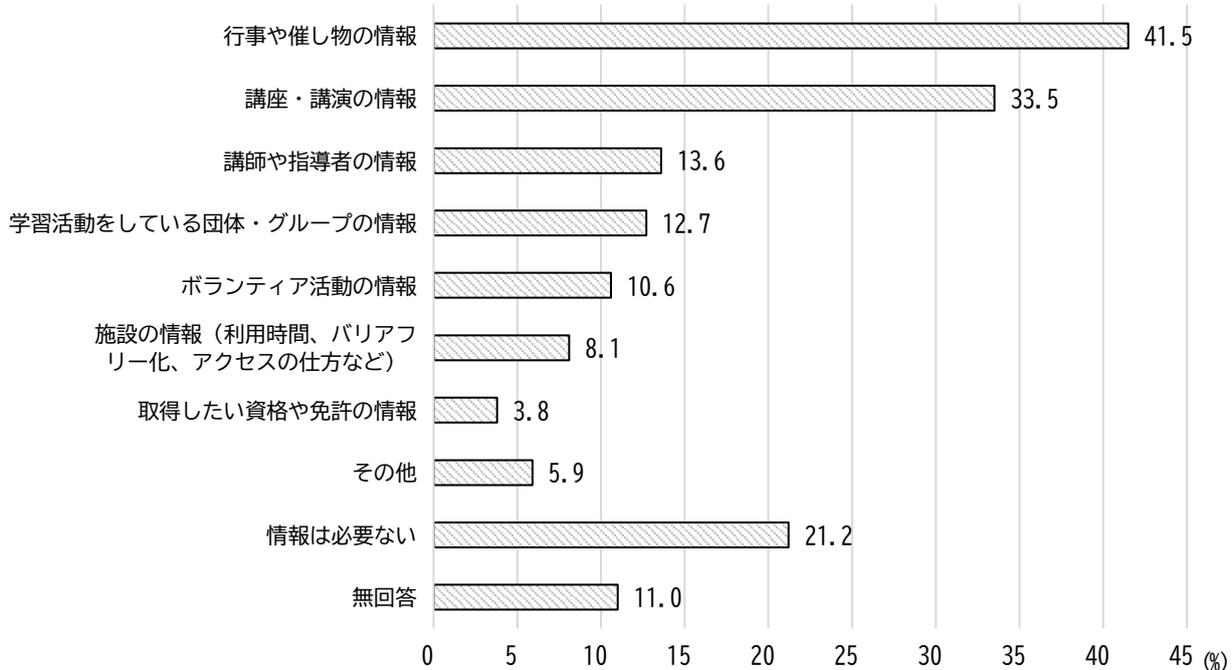
問7(2)「学習を進める上で、欲しい情報」についての回答を、年代別に集計した。全年代で「講座・講演の情報」が34%以上、「行事や催し物の情報」が35%以上と高かった。「取得したい資格や免許の情報」については、10～60歳代の回答割合が高く27%以上であったが、70～80歳以上は約4%とかなり低かった。また、70～80歳以上は、「情報は必要ない」が約21%と他の年代より高かった。



学習を進める上で、欲しい情報と年代 (50~60歳代 n=250) (複数回答可)



学習を進める上で、欲しい情報と年代 (70~80歳以上 n=236) (複数回答可)



問7 (3) あなたは今後どういう場所や形態で学習をしたいと思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。
(全員の方におたずねします。)

図 82 今後学習をしたい場所・形態 (複数回答可)

「今後学習をしたい場所・形態」についての回答をまとめたグラフである。「公民館や生涯学習センターなどの公的な機関における講座等」が約36%と最も高く、次いで「インターネット、オンライン講座、情報端末、書籍など」約33%、「図書館、博物館、美術館」約23%の順であった。また、「同好会、サークル、自主的に行っている集まり等での活動」「書籍など」「ボランティア活動などの地域での活動を通しての学習」「カルチャーセンターやスポーツクラブ」は、15%以上であった。

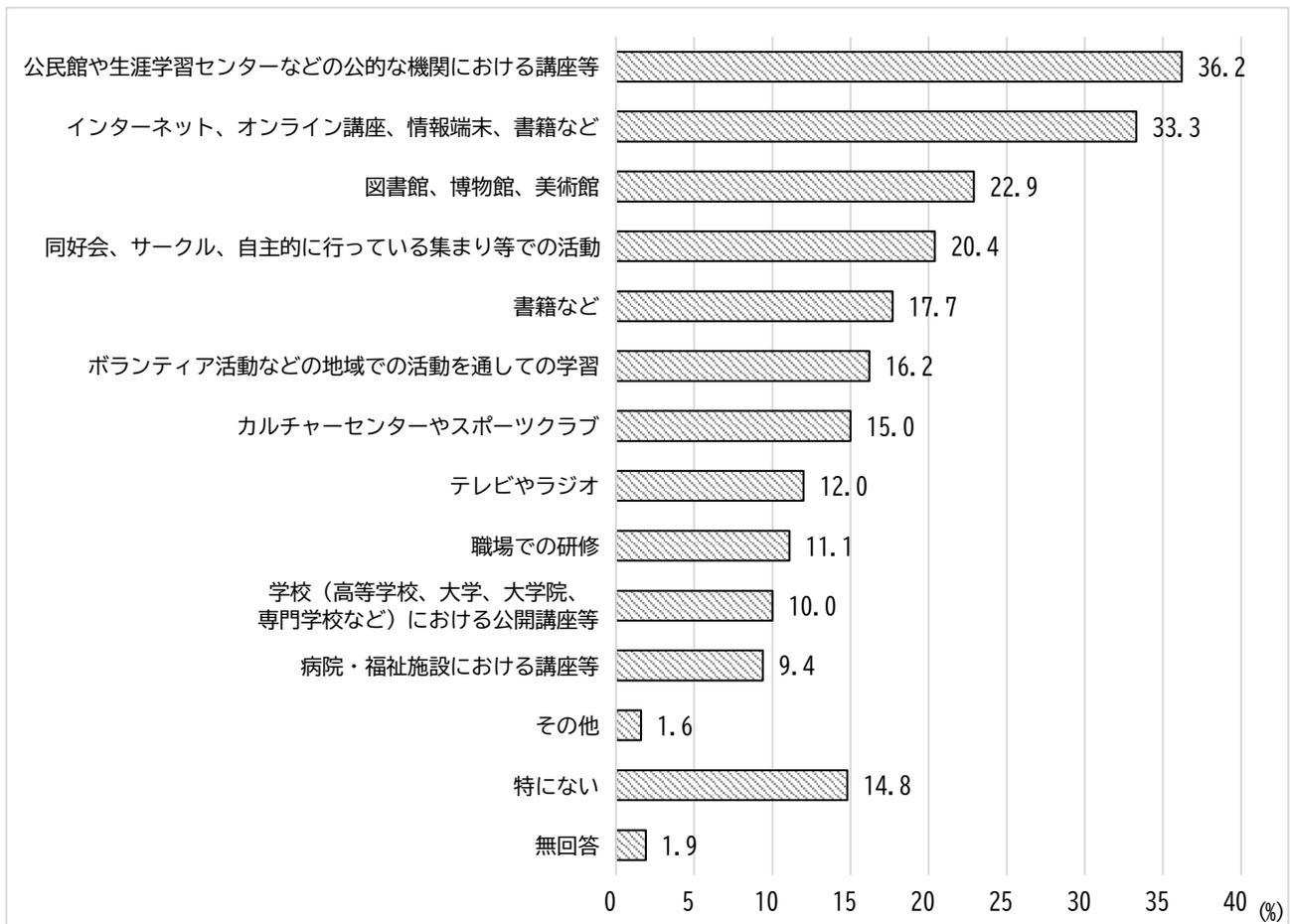
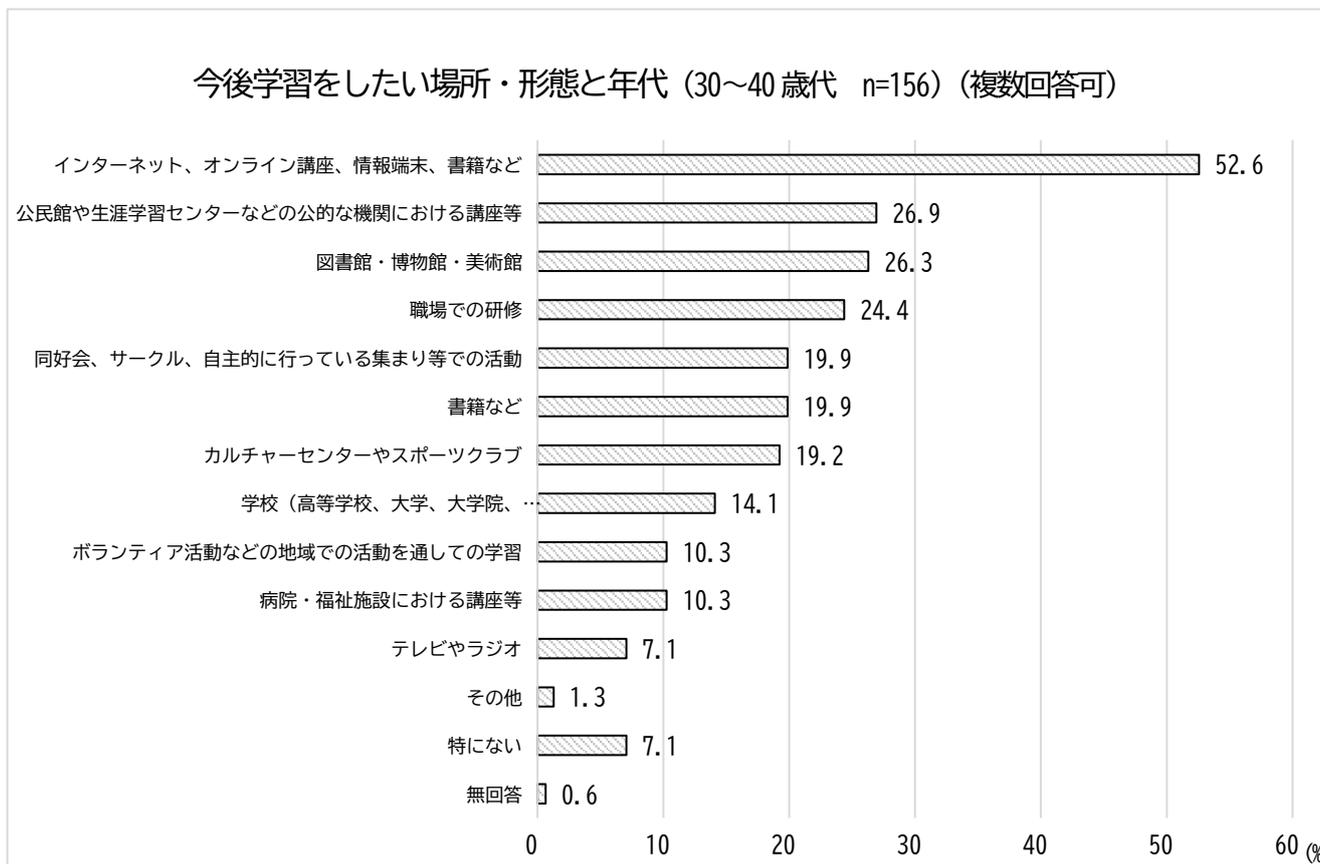
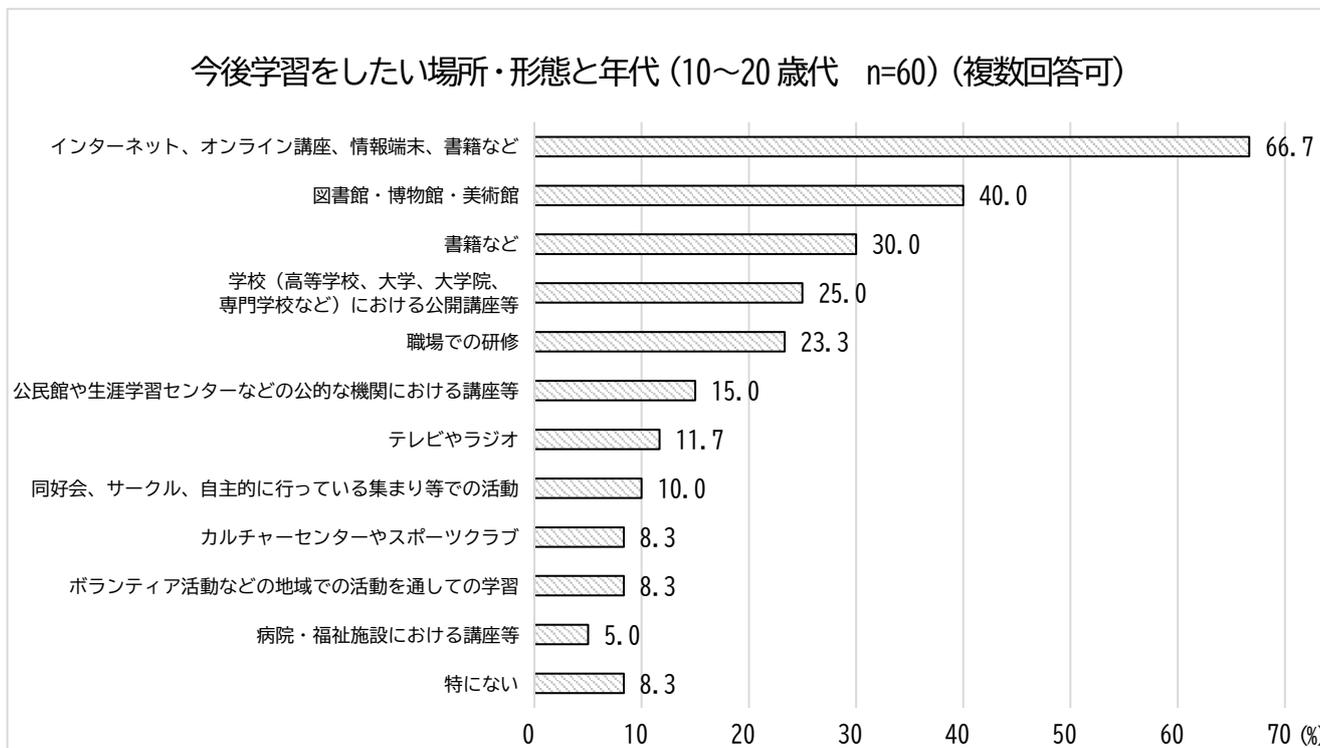
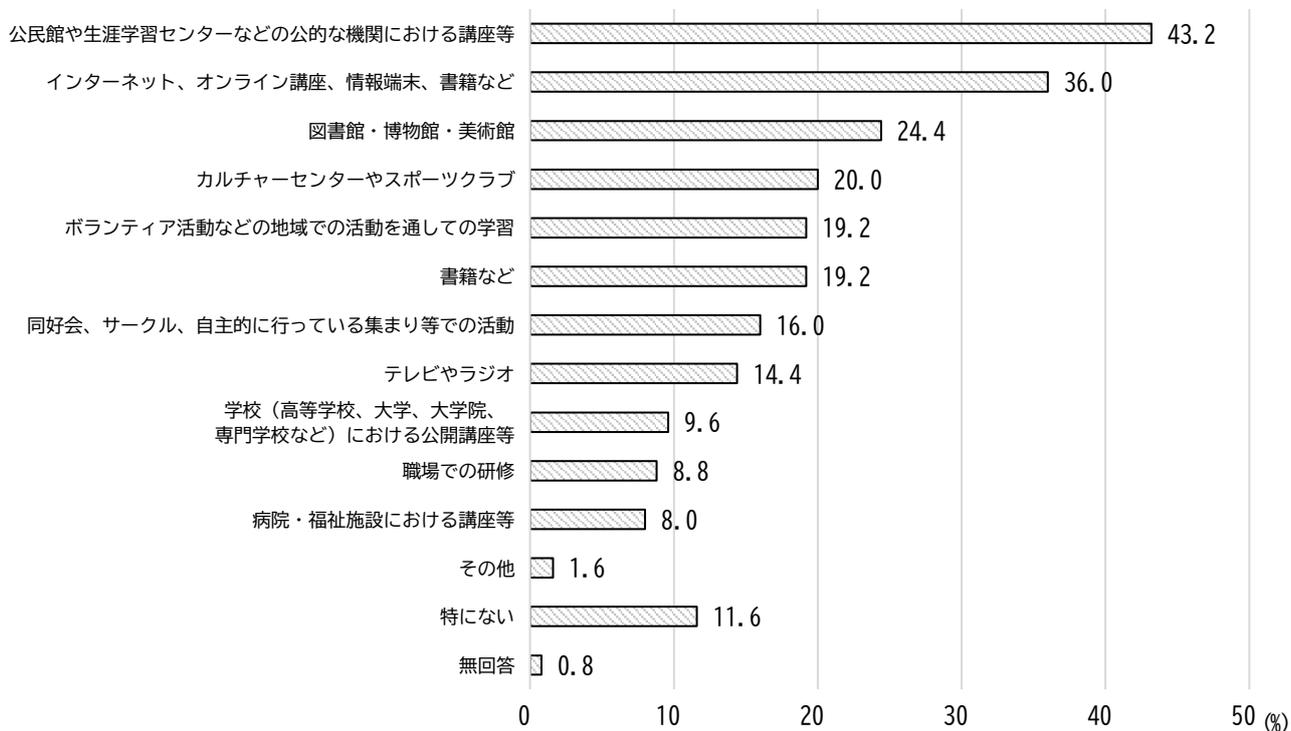


図 83 今後学習をしたい場所・形態と年代

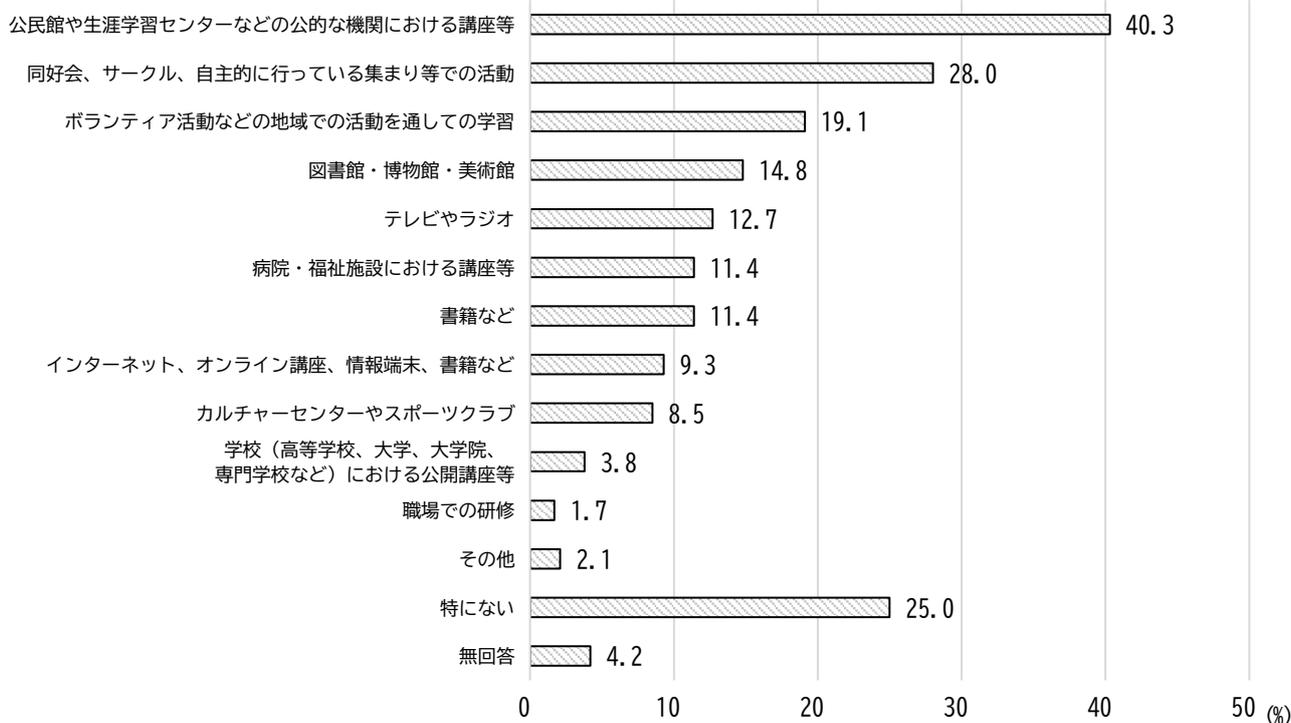
問7 (3)「今後学習をしたい場所・形態」についての回答を、年代別に集計した。「インターネット、オンライン講座、情報端末」が、10～40歳代では最も高く、50～60歳代でも約36%となっているが70～80歳以上では、約9%と低い。一方で、70～80歳以上は、「同好会、サークル、自主的に行っている集まり等での活動」が約28%と、どの年代よりも高い。また、「公民館や生涯学習センターなどの公的な機関における講座等」は、50～60歳代は約43%、70～80歳以上は約40%と高かった。



今後学習をしたい場所・形態と年代 (50～60 歳代 n=250) (複数回答可)



今後学習をしたい場所・形態と年代 (70～80 歳以上 n=236) (複数回答可)



問7(4) あなたは岡山県生涯学習センターを知っていますか。あてはまる方を選んでください。
(全員の方におたずねします。)

図84 岡山県生涯学習センターを知っているか (n=702)

「岡山県生涯学習センターを知っているか」についての回答をまとめたグラフである。「知っている」と回答したのは約33%、「知らない」と回答したのは約66%という結果であった。

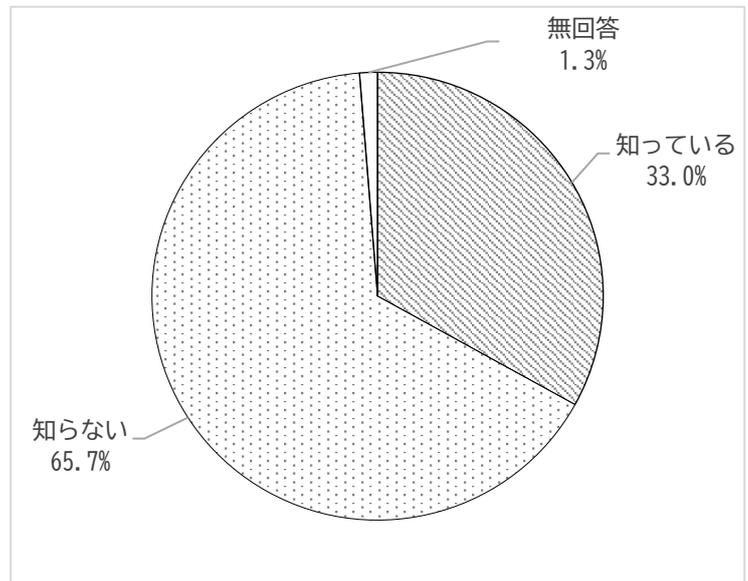
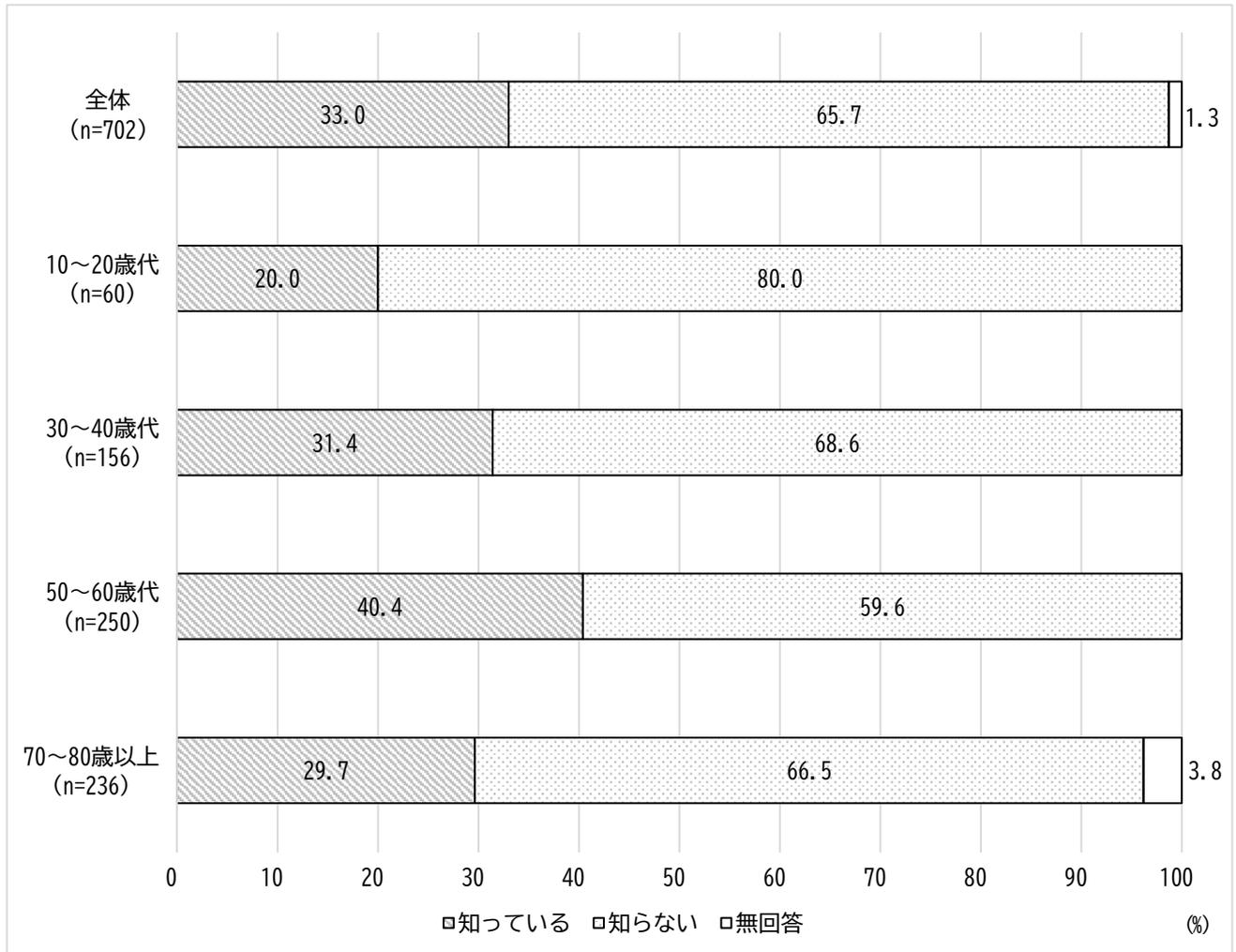


図 85 岡山県生涯学習センターの認知度と年代

問7 (4)「岡山県生涯学習センターを知っているか」についての回答を、年代別に集計をした。「岡山県生涯学習センターを知っている」と回答したのは、50～60歳代が約40%と最も高く、次いで30～40歳代が約31%、70～80歳以上が約30%となっているが、10～20歳代は「知らない」の回答が約80%となっている。

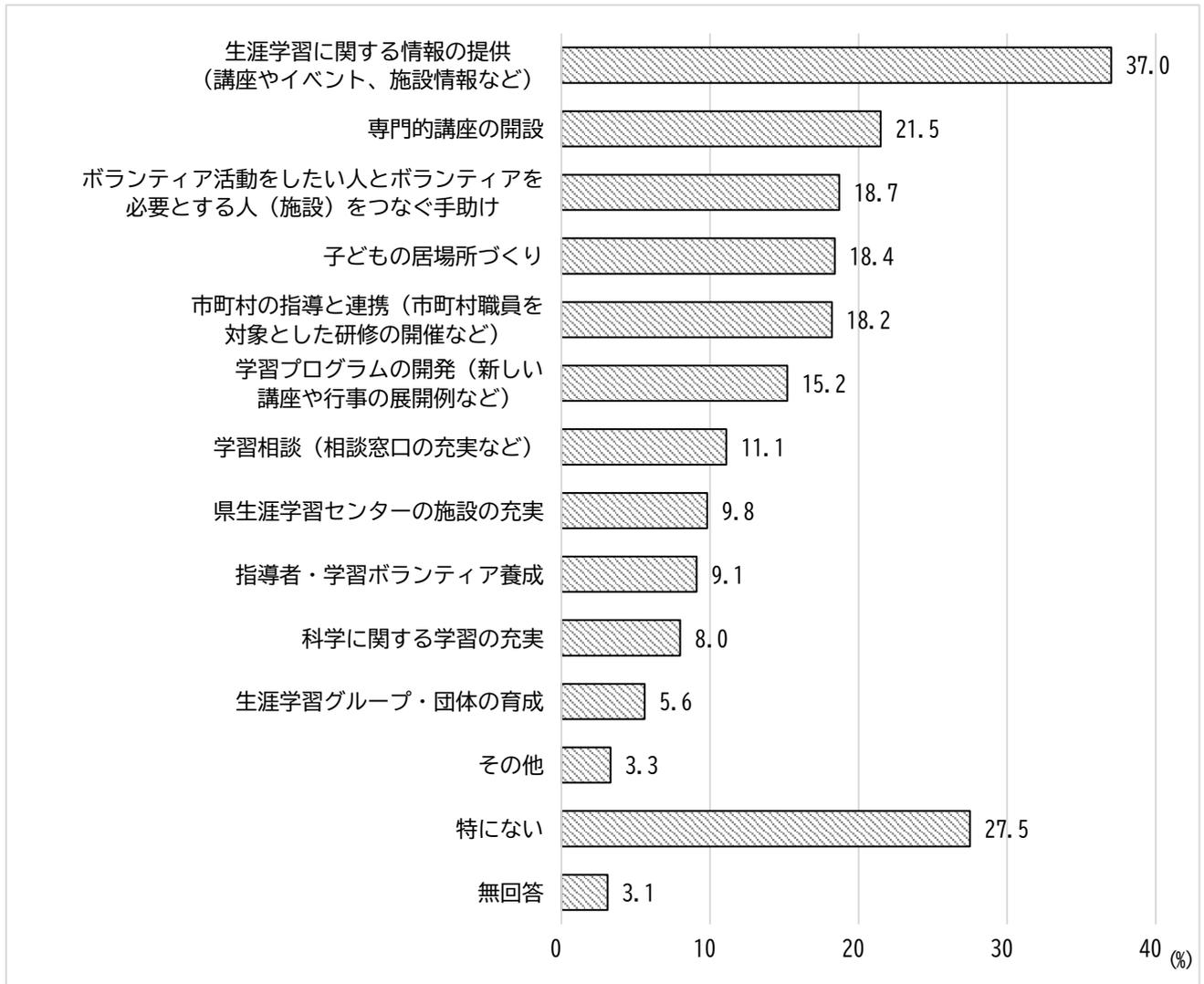
岡山県生涯学習センターを知っているか



問7 (5) あなたは本県の生涯学習を進めていくために、県の中心的な役割を担う施設として岡山県生涯学習センターにどんなことを期待しますか。
 あてはまるものすべてを選んでください。
 (全員の方におたずねします。)

図86 岡山県生涯学習センターに期待すること (n=702) (複数回答可)

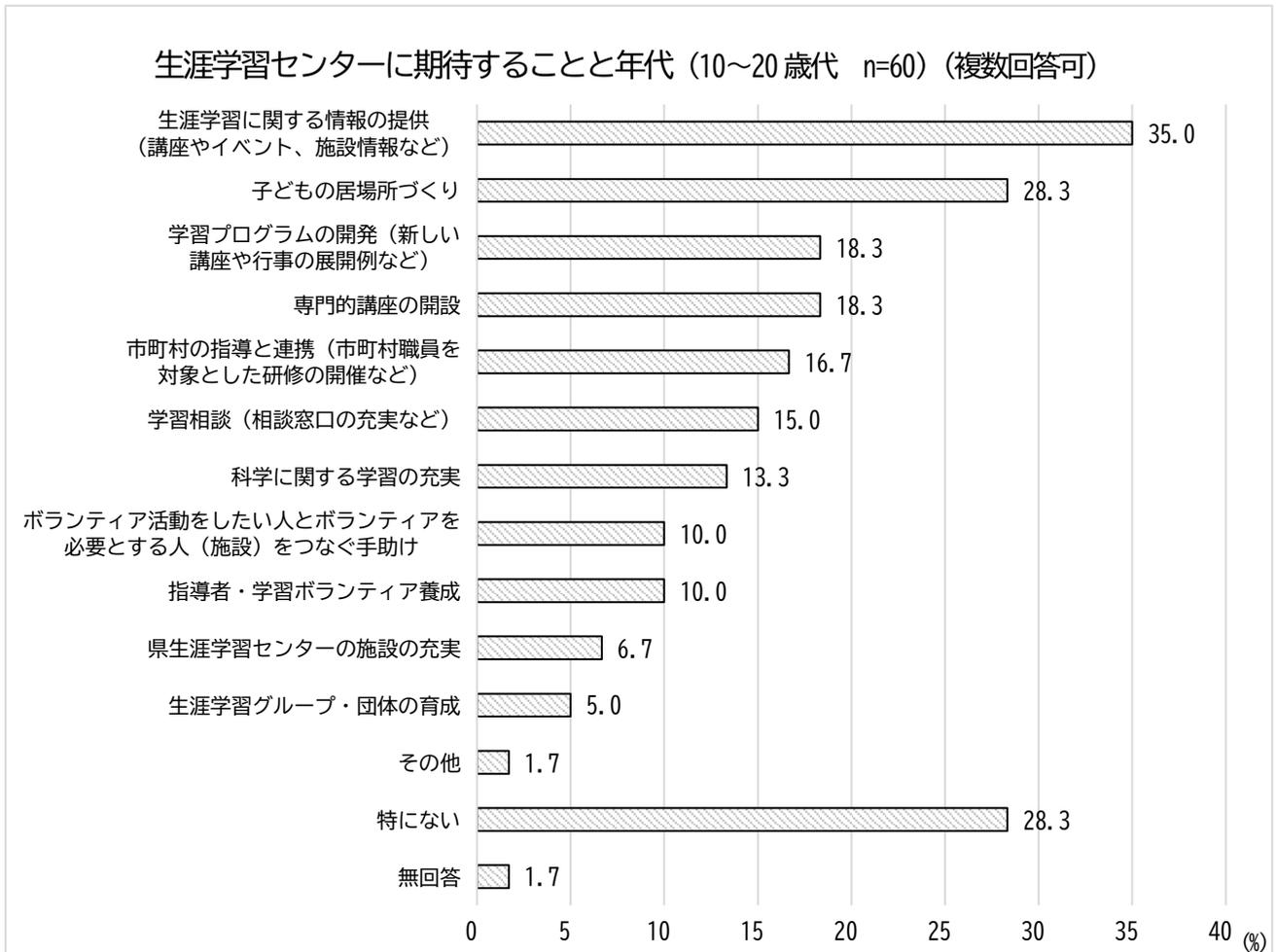
「岡山県生涯学習センターに期待すること」についての回答をまとめたグラフである。「生涯学習に関する情報の提供(講座やイベント、施設情報など)」が約37%と最も高く、次いで「専門的講座の開設」約22%、「ボランティア活動をしたい人とボランティアを必要とする人(施設)をつなぐ手助け」約19%と続く。「特にない」の回答が約28%と高くなっている。



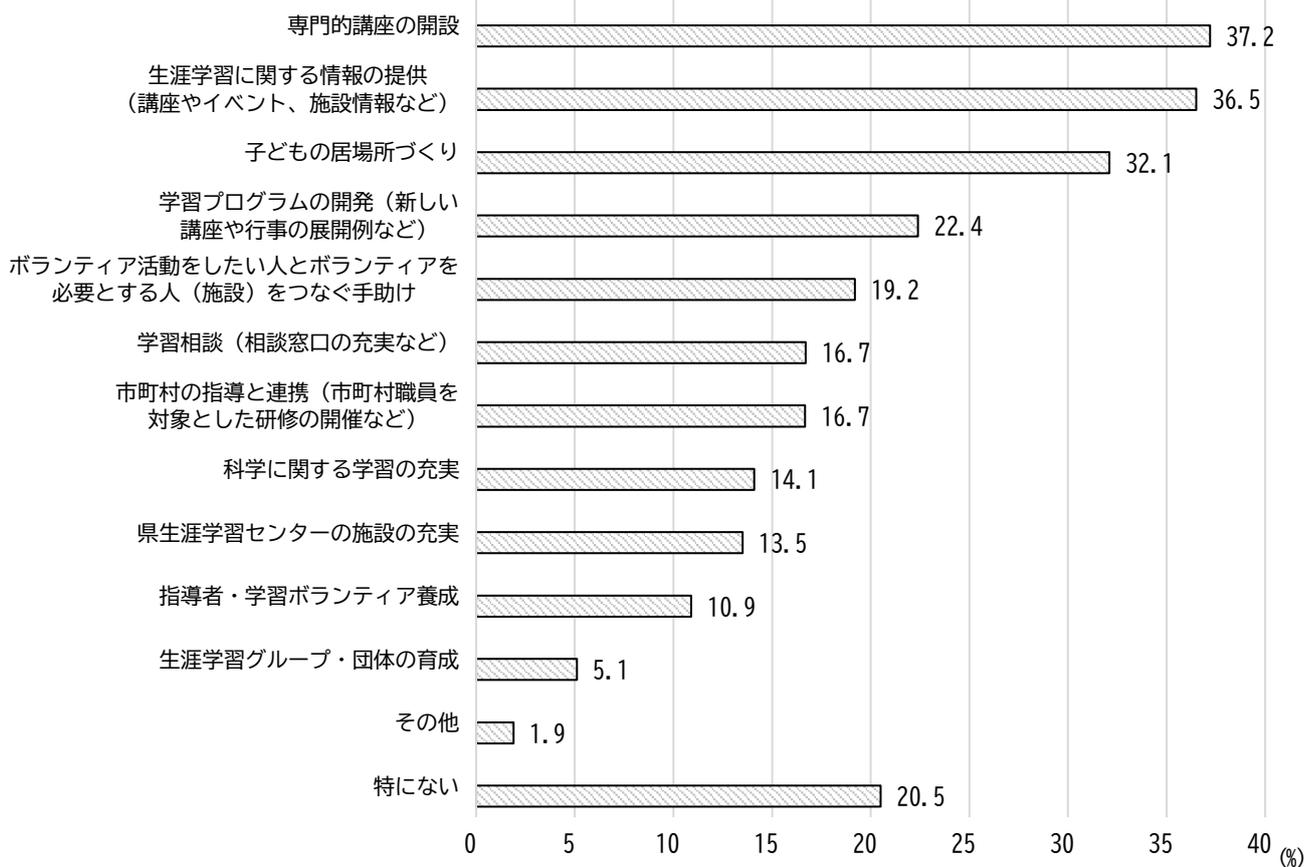
その他・・・○県北会場での出前講座 ○困っている方への手助け
 ○センターに近い人が行きやすく、遠い人は行きにくい 他

図 87 岡山県生涯学習センターに期待することと年代

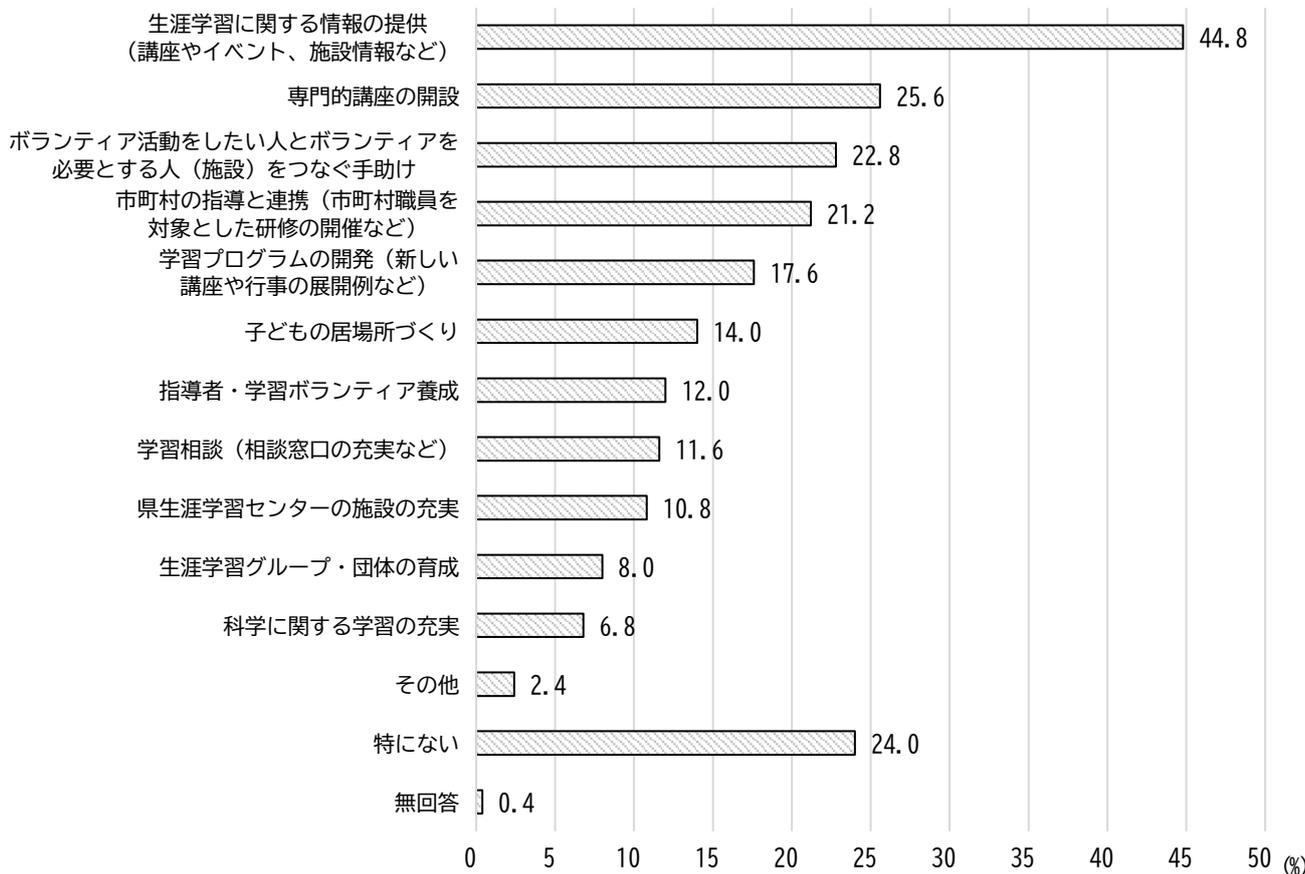
問 7 (5) 「岡山県生涯学習センターに期待すること」についての回答を、年代別に集計した。どの年代でも「生涯学習に関する情報の提供（講座やイベント、施設情報など）」の回答が30%以上と高かった。10～20歳代では、「子どもの居場所づくり」が約29%で、30～60歳代では、「専門的講座の開設」が26%以上で上位に入っていた。



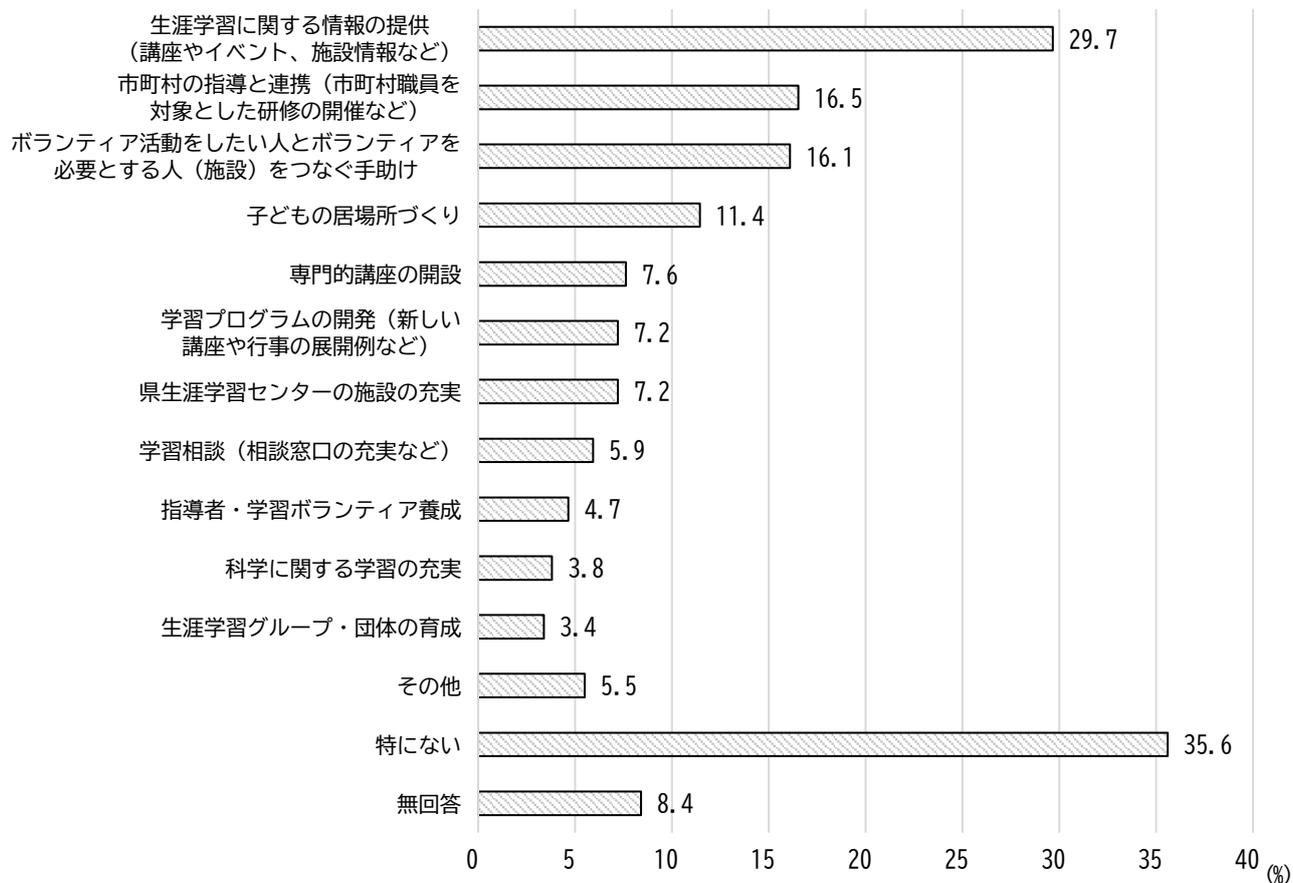
生涯学習センターに期待することと年代 (30~40歳代 n=156) (複数回答可)



生涯学習センターに期待することと年代 (50~60歳代 n=250) (複数回答可)



生涯学習センターに期待することと年代（70～80歳以上 n=236）（複数回答可）



問7 (6) 岡山県生涯学習センターが行っている研修やイベントに参加したことがあるものがありますか。あてはまるものすべてを選んでください。
(全員の方におたずねします。)

図 88 岡山県生涯学習センターの研修やイベントに参加したものがあるか (n=702)

「岡山県生涯学習センター研修やイベントに参加したものがあるか」について回答をまとめたグラフである。「参加したものがあるか」約13%、「参加したものがあるか」約79%であった。

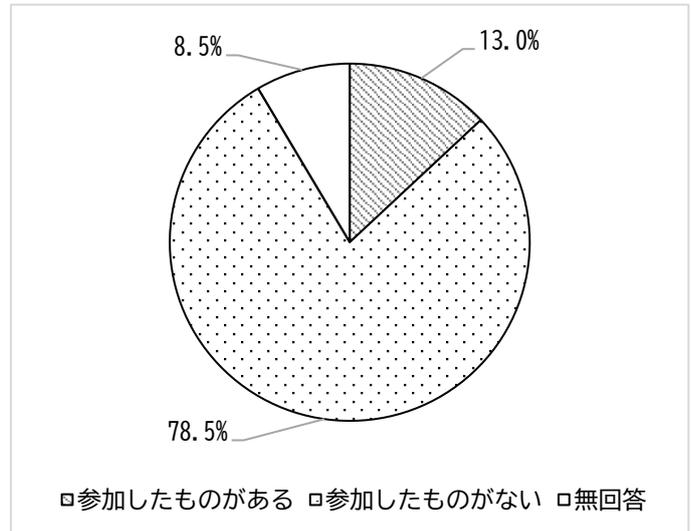
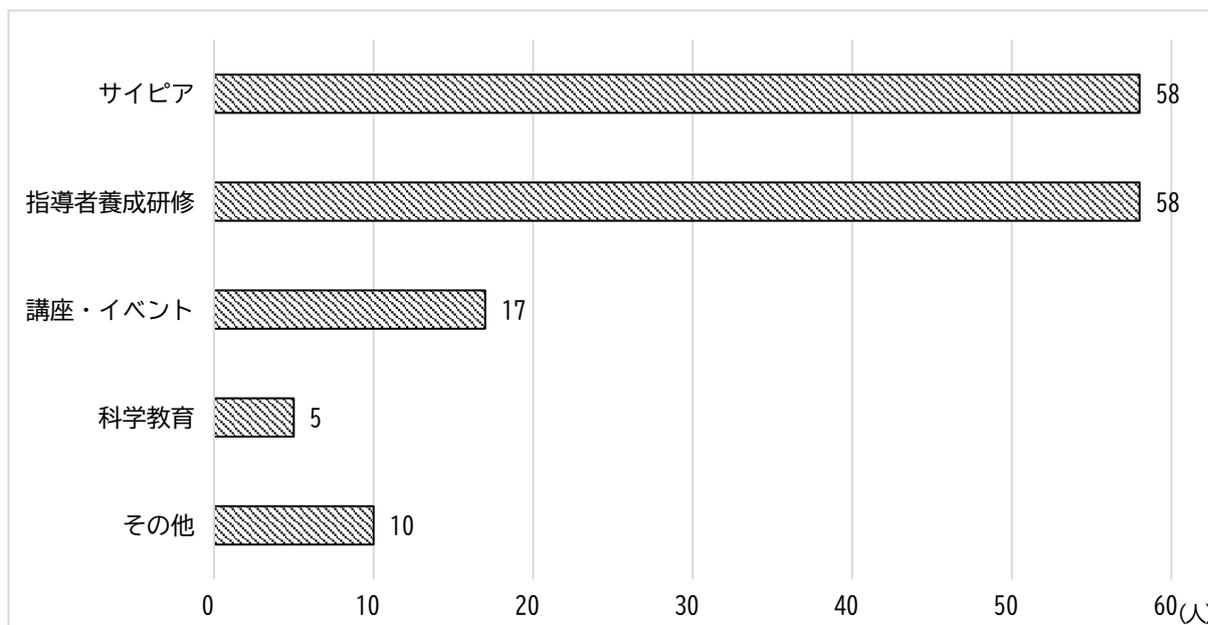


図 89 「参加したものがあある」の内訳（複数回答可）

図 90 は、図 89 「岡山県生涯学習センター研修やイベントに参加したものがああるか」で「参加したものがあある」と回答されたものをまとめたグラフである。「サイピア」「指導者養成研修」が 58 人と最も多く、次いで「講座・イベント」が 17 人であった。

岡山県生涯学習センターの研修やイベントへの参加人数



※回答項目の研修やイベントを下記のようにまとめて表している

サイピア・・・人と科学の未来館サイピア プラネタリウム
人と科学の未来館サイピア 科学イベント

指導者養成研修・・・生涯学習・社会教育関係職員研修講座 初任者研修
ファシリテーション・コーディネーション スキルアップ講座
主体的に参画する住民を育てる事業づくり
若者発！まちプロ
高校生×地域 ー思いをカタチにするお手伝いをしますー
地域と学校の連携・協働へ向けた研修会ー基礎・発展ー
(旧 地域学校協働活動推進員等レベルアップ講座)
就学前の非認知能力育成のための人材養成研修会
家庭教育支援者スキルアップ講座～すこやか家庭教育相談員養成講座～
岡山県公民館連合会 研修会

講座・イベント・・・生涯学習大学 主催講座「きつず☆ユニバ」
生涯学習大学 連携講座
生涯学習大学 生涯学習の集い
ぱるボランティア・企画Lab
日ようび子ども大学 in 京山祭
科学キッズフェスティバル in 京山祭
学び ing ぱる教室

科学教育・・・「宇宙の学校」指導者セミナー
岡山県「宇宙の学校」
コスミックカレッジ

考 察

岡山大学大学院教育学研究科 副研究科長
教授 熊谷 愼之輔

1. 本調査研究における3つの視点～現在・過去・未来～

本調査研究を概観すると、問2の「あなたは『学習』が必要だと思いますか。」、問4(1)の「あなたは最近1年間に学習を行ったことがありますか。」、問3(1)の「あなたは自ら進んで学習を行いたいと思いますか。」という3つの問いを中心に構成されていることがわかる。つまり、「学習の必要性」、「最近1年間の学習行動」、「今後の自主的な学習希望」の現在・過去・未来という視点を重視した調査研究であると言ってよい。

同じような視点をもった先行研究としては、NHK放送文化研究所が全国規模で成人の学習の実態やニーズを探った「学習関心調査」の結果が有名である¹⁾。少々古いものであるが、1982年から1998年まで5回にわたって継続的に学習関心率と学習行動率を調査している。その調査結果は、成人のおよそ9割が今後学んでみたいという学習関心をもっており、4割以上の成人が過去1年間になんらかの学習を行っていることを示していた。

調査項目等の違いから単純に比較することはできないが、本調査結果でも、9割近くの回答者が現在、学習の必要性を感じており(図5)、7割以上が今後も進んで学習したいと回答していた(図28)。「学習関心調査」の結果と同様に、本県における学習の必要性や学習関心の高さをうかがい知ることができる。さらに、興味深いことに、「学習関心調査」における学習行動率が4割以上であったのに対して、本調査結果では、56%(美作地域では67%)もの人が「最近1年間に学習を行ったことがある」と回答していた(図10、14)。これは、本県において生涯学習の機会が整備されてきたからこそその結果であり、本県の生涯学習振興の成果と捉えることもできるだろう。

ただそうはいつでも、学習関心と学習行動のギャップという問題はどうしても残る。すなわち、ここまでの調査結果から、いくら旺盛な学習関心をもっていても、それらの人々のすべてが学習行動を起こしているわけではないのである。とくに、成人の場合、様々な学習阻害要因によって学習行動に結びつかないことも多く、これまでの調査研究においても指摘がなされてきた。なかでも、学習阻害要因の第1位はどの調査結果の場合でも仕事や家事で忙しく「時間」がとれないであり、それに「費用」や「情報」、「機会や場所」といった阻害要因が続いている²⁾。やはり本調査結果においても同様に、「忙しくて、時間がとれない」が36.5%ともっとも高い数値を示していた(図38)。このように、成人の場合、彼・彼女らをとるべく生活の状況や学習機会を提供する側の問題、つまり外的で状況的な要因に回答が集中しやすい傾向がある。たしかに、職業人、親、市民など、様々

な社会的役割をもつ成人には、生活していくうえでの制約が多いため、こうした要因に回答が集中するのもうなずける。その一方で、様々な責任をもつ成人だからこそ、学習に参加しない理由を社会的に容認されやすい項目に集めたとみることもできる³⁾。

2. 学習経験のふくらみ～公民館の利用と地域活動への参加～

そうした点も考慮に入れながら、本調査研究の「学習を行いたくない理由」の結果を分析してみると、「公民館利用の有無」との関連において興味深い傾向がみられた。その結果を示したのが、図 42 の「学習を行いたくない理由と公民館利用の有無」である。図をみると、「一緒に学習する仲間がいない」を回答したなかでは、62.5%の人が「公民館を利用したことがない」と回答しており、公民館不利用の高さが目立つのである。この結果をみると、公民館を利用したかどうかの経験も学習行動に影響を与えていそうだ。

そこで、公民館利用の有無（図 43）に着目して本調査結果をみてみると、公民館を利用したことがあると回答した方が、学習の必要性を感じて（図 47：91.4%）、過去にも学習を行っており（図 48：65.3%）、今後の学習意欲も高い（図 49：82.0%）のである。こうしてみると、公民館への参加による学習経験が、個人の内面に影響を与えて、さらなる学習への好循環を生んでいると考えられる。ちなみに、地域活動への参加の有無（図 67）との関連でも、同様に、地域活動に参加したことがあると回答した方が、学習の必要性を感じて（図 68：90.3%）、過去にも学習を行っており（図 69：63.0%）、今後の学習意欲も高い（図 70：81.1%）という傾向を示していた。

こうした学習行動の連鎖については、矢野眞和による調査研究が参考になる⁴⁾。彼の研究によると、過去5年間に学習したことのある者のうち、66.3%が現在も学習活動を行っていた。その一方で、過去に学習を行っていない人のじつに94.7%は現在も学習していないことが示されていた。矢野は、こうした学習経験が次の新しい学習や将来の学習希望をいっそう強めることを「学習経験のふくらみ」と名づけている。本調査研究にひきつけてみると、公民館の利用や地域活動への参加という経験がまさに次の学習へのふくらみとなって連鎖していることがうかがえる。さらに、公民館を利用したことがあると回答した人の方が地域活動への参加も高いという結果（図 71）を考えあわせると、公民館利用を促していくことが人々の学習活動を充実させ、さらなる生涯学習の推進につながるということを、本調査研究の結果から、あらためて読み取ることができるだろう。

3. 学習経験のちぢみと無関心層への支援～公民館を利用したことがない人々への注目～

ただし、ここで注意しなければならないのは、矢野が「学習経験のふくらみ」の法則との対比において指摘した、学習の途中で学習を放棄したり意欲を失ってしまったりする「学習経験のちぢみ」という傾向のことだ。「学習経験のふくらみ」傾向の人々は積極的な学習者であり、誤解を恐れずに言うと、あまり支援をしなくても継続的に学習していく

ことができるだろう。しかし、「学習経験のちぢみ」傾向にある人々に対しては、積極的な支援を講じなければ学習行動が継続せず、ふくらみ傾向のある人々との学習格差がますます拡大することになる。さらに、ちぢみ傾向以上に気をつけなければならないのは、過去も現在も学習経験がない「未経験」の人たちである。しかも、将来の学習希望も弱いとなれば、学習の「無関心層」と位置づけた方がいいかもしれない。そういう意味では、本調査研究で「公民館を利用したことがない」と回答した人々に注目することが重要になってくる。

まず、彼・彼女らの特徴を確認してみると、年代としては「10～20歳代（55.0%）」と「30～40歳代（51.9%）」に多く（図44）、職業では「会社員、会社役員（54.5%）」、「パート・アルバイト（50.5%）」、「学生、訓練生（50.0%）」に多い傾向がある（図45）。地域別では、美作地域には少なく（図46：32.9%）、この傾向が美作地域における本調査への肯定的な回答が多くなっている要因につながっているのかもしれない。また、公民館を利用したことがない人たちは、上述した利用したことがある人たちに比べ、相対的に学習の必要性を感じておらず（図47：15.5%）、過去の学習経験も少なく（図48：55.7%）、今後の学習意欲も低い（図49：36.1%）。こうしてみると、やはり彼・彼女らに焦点をあてた学習支援が重要だということに気づかされるだろう。

さらに、彼・彼女らの特徴を探ってみると、図50にみられるように、公民館が「なにをやっているかわからない」と回答した率の高さが気になる（39.7%）。しかも、若い世代になるほど、公民館が「なにをやっているかわからない」の回答率が高くなる傾向もみられた。もちろん、本県の公民館が厳しい状況のなかで、しっかりとした活動を行っていることは言うまでもないが、こうした彼・彼女らの特徴や傾向をふまえてのさらなる改善や積極的な学習支援の必要性が、本調査研究の結果から浮かび上がってくるだろう。

【注】

- 1) NHK 放送文化研究所編『日本人の学習—成人の学習ニーズをさぐる—』第一法規、1990年。
- 2) 熊谷慎之輔「学習行動の多様性と特性」鈴木真理・松岡廣路編『社会教育の基礎』学文社、2006年、pp.118-129。
- 3) 佐々木正治編『21世紀の生涯学習』福村出版、2000年、p.99。
- 4) 矢野眞和「生涯学習における参加と不参加の構造—学習希望は顕在化するか—」『大学論集』第12集、広島大学 大学教育研究センター、1983年、pp.39-54。

生涯学習に関する意識調査票

※ここで挙げる「学習」とは、一般には人々が生涯に行うあらゆる学習の中で、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行うことを言います。ただし、今回の調査では、この部分の「学習」については学校教育を除いてお考えください。

あなたの性別・年齢・職業・居住地について
おうかがいします

あてはまる番号に直接○をつけてください。

問1 (1) あなたの性別はいずれですか。

- | | |
|-------|----------|
| 1 男性 | 2 女性 |
| 3 その他 | 4 答えたくない |

問1 (2) あなたのお歳は、満年齢でおいくつですか。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 10歳代
(18歳～19歳) | 2 20歳代
(20歳～29歳) |
| 3 30歳代
(30歳～39歳) | 4 40歳代
(40歳～49歳) |
| 5 50歳代
(50歳～59歳) | 6 60歳代
(60歳～69歳) |
| 7 70歳代
(70歳～79歳) | 8 80歳以上 |

問1 (3) あなたの現在のご職業は何ですか。

(兼業の方は主たる収入源の方でお答え
ください)。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 自営業 | 2 会社員、会社役員 |
| 3 団体職員、公務員 | 4 専業主婦・主夫 |
| 5 パート、アルバイト | 6 学生、訓練生 |
| 7 無職 | 8 その他 () |

問1 (4) あなたの居住地はどこですか。市町村名を
選んでください。

- | | | | |
|----------|---------|---------|--------|
| 1 岡山市 | 2 倉敷市 | 3 津山市 | 4 玉野市 |
| 5 笠岡市 | 6 井原市 | 7 総社市 | 8 高梁市 |
| 9 新見市 | 10 備前市 | 11 瀬戸内市 | |
| 12 赤磐市 | 13 真庭市 | 14 美作市 | 15 浅口市 |
| 16 和気町 | 17 早島町 | 18 里庄町 | 19 矢掛町 |
| 20 新庄村 | 21 鏡野町 | 22 勝央町 | 23 奈義町 |
| 24 西粟倉村 | 25 久米南町 | 26 美咲町 | |
| 27 吉備中央町 | | | |

問2 あなたは「学習」が必要だと思いますか。
あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 必要である
- 2 必要ではない

自主的な学習についておうかがいします

問3 (1) あなたは自ら進んで学習を行いたいと思いま
すか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 思う → 問3-(2)をお答えください。
- 2 思わない → 問3-(3)へ進んでください。

問3 (2) (問3-(1)で「1 思う」と答えた方におたずねします。)

自ら進んで学習を行いたいと思う理由につい
て、あてはまるものすべてに○をつけてくだ
さい。

- 1 仕事や就職・転職に生かせるから
- 2 子育てや家庭での教育に生かせるから
- 3 健康の維持・増進に役立つから
- 4 仲間を得ることができるから
- 5 地域での活動に生かせるから
- 6 その他 ()

問3 (3) (問3-(1)で「2 思わない」と答えた方におたずねします。)

学習を行いたくないと思う理由について、
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 忙しくて、時間がとれない
- 2 身近に利用できる施設や場所がない
- 3 学習費用の負担が大きい
- 4 一緒に学習する仲間がない
- 5 やりたいことがない
- 6 学ぶことがめんどろ
- 7 必要を感じない
- 8 その他 ()

過去の学習についておうかがいします

問4 (1) あなたは最近1年間に学習を行ったことがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 ある → 問4-(2)～(6)をお答えください。
- 2 ない → 問4-(6)へ進んでください。

問4 (2) (問4-(1)で「1 ある」と答えた方におたずねします。) あなたが学習を行った目的や動機は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 仕事や就職・転職に生かせるから
- 2 子育てや家庭での教育に生かせるから
- 3 健康の維持・増進に役立つから
- 4 仲間を得ることができから
- 5 地域での活動に生かせるから
- 6 家族や友人に勧められたから
- 7 仕事上やらざるを得なかったから
- 8 余暇を活用するため
- 9 その他 ()

問4 (3) (問4-(1)で「1 ある」と答えた方に引き続きおたずねします。) あなたは学習を行ったときにどのような場所や形態で学びましたか。また、学んでいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 公民館や生涯学習センターなどの公的な機関における講座等
- 2 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)における公開講座等
- 3 病院・福祉施設における講座等
- 4 図書館、博物館、美術館
- 5 カルチャーセンターやスポーツクラブ
- 6 同好会、サークル、自主的に行っている集まり等での活動
- 7 テレビやラジオ
- 8 インターネット、オンライン講座、情報端末
- 9 書籍など
- 10 ボランティア活動などの地域での活動を通しての学習
- 11 職場での研修
- 12 その他 ()

問4 (4) (問4-(1)で「1 ある」と答えた方に引き続きおたずねします。) あなたが行った学習の情報は何から得ましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 県・市町村(行政機関)の広報誌、パンフレット、回覧板など
- 2 専門誌や情報誌など
- 3 テレビ、ラジオなど
- 4 新聞紙・チラシ・フリーペーパーなど
- 5 インターネット、メール配信、SNS(Facebook、Instagramなど)など
- 6 友人や家族のロコミ
- 7 学習について相談する窓口や相談員の方の紹介
- 8 職場からの案内
- 9 その他 ()

問4 (5) (問4-(1)で「1 ある」と答えた方に引き続きおたずねします。) 学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験はあなたの生活にどのように役立っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 仕事や就職・転職に生かしている
- 2 子育てや家庭での教育に生かしている
- 3 健康の維持・増進に役立っている
- 4 仲間を得ている
- 5 地域での活動に生かしている
- 6 他の人の学習活動の指導に生かしている
- 7 特に役立っていない
- 8 その他 ()

問4 (6) (全員の方におたずねします。) あなたが学習を行うにあたって、困ったことがありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 時間がない
- 2 身近に学習できる施設が少ない
- 3 仲間がない
- 4 学習費用の負担が大きい
- 5 学びたいものがない
- 6 学習や活動に関する情報の入手先がわからない
- 7 必要を感じない
- 8 困ったことはない
- 9 その他 ()

公民館についておたずねします

問5 (1) あなたは公民館を利用したことがありますか。
あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 ある → 問5-(2)、(3)をお答えください。
- 2 ない → 問5-(3)へ進んでください。

問5 (2) (問5-(1)で「1 ある」と答えた方におたずねします。)
あなたは公民館をどのようなときに利用しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 公民館の主催講座・イベントなど
- 2 自主的なサークル活動
- 3 市民活動(例:町内会の会合、愛育委員の会、市主催のイベントなど)
- 4 読書や自習
- 5 その他 ()

問5 (3) (全員の方におたずねします。)
あなたが公民館を利用するにあたって、困ったことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 身近に利用できる公民館が少ない
- 2 託児室やプレイルームなどが準備されていない
- 3 バリアフリーなど施設が充実していない
- 4 駐車場が少ない
- 5 Wi-Fiが使えない
- 6 開館時間に利用できない
- 7 希望する内容にあった学習や魅力ある内容の学習がない
- 8 何をやっているのかわからない
- 9 身近に仲間がない
- 10 利用する必要を感じない
- 11 困ったことはない
- 12 その他 ()

地域とのつながりについておたずねします

問6 (1) あなた自身との地域のつながりは、10年前と比べてどのようになっているとお考えですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 強くなっている → 問6-(3)へ進んでください。
- 2 やや強くなっている → 問6-(3)へ進んでください。
- 3 やや弱くなっている → 問6-(2)、(3)をお答えください。
- 4 弱くなっている → 問6-(2)、(3)をお答えください。

問6 (2) (問6-(1)で「3 やや弱くなっている」「4 弱くなっている」と答えた方におたずねします。)
あなた自身との地域のつながりが弱くなっていると思う理由はなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 近所の人々と関係が希薄化しているから
- 2 地域活動に参加することが減った(少ない)から
- 3 集合住宅の普及や他の地域の転出入者が増えたから
- 4 自分自身が地域とつながる必要性を感じないから
- 5 その他 ()

問6 (3) (全員の方におたずねします。)
あなたは地域活動に参加していますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 参加している → 問6-(4)、(5)をお答えください。
- 2 参加していない → 問6-(5)へ進んでください。

問6(4) (問6-(3)で「1 参加している」と答えた方におたずねします。)

あなたは、地域のどのような活動に参加していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 子どもに関する活動
(例：子どもの健全育成活動、PTA活動、子育て支援活動、学校支援活動など)
- 2 町内会、自治会、消防団などの地域での活動
- 3 地域づくり、まちづくりに関する活動
(例：地域のお祭りや行事など)
- 4 安全、防災に関する活動
(例：防犯、交通安全、災害救援など)
- 5 福祉に関する活動
(例：高齢者、障害者、生活困窮者などへの支援)
- 6 文化、芸術、伝統芸能、観光、スポーツ、レクリエーションに関する活動
- 7 男女共同参画、人権に関する活動
- 8 国際交流、国際協力、親善活動
- 9 清掃、環境保護、保全活動
- 10 その他 ()

問6(5) (全員の方におたずねします。)

あなたが地域活動に参加するにあたって、困ったことがありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 時間がない
- 2 きっかけがない
- 3 参加したいと思う行事や活動がない
- 4 活動や行事に関する情報の入手先がわからない
- 5 知り合いがいない
- 6 健康面の問題
- 7 特にない
- 8 その他 ()

これからの学習について

問7(1) あなたが今後したいと思う学習は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 生活に役立つ技能
(料理、和洋裁、日曜大工、ICTなど)
- 2 幼児教育、家庭教育など子育てに関すること
- 3 健康や福祉に関すること
- 4 ボランティア活動
- 5 一般教養や社会情勢に関わること
(文学、歴史、外国語、政治、経済、国際理解など)
- 6 地域課題
(高齢化、環境、人権、障害者、認知症、外国人に関することなど)
- 7 スポーツやレクリエーション、芸術や文化活動(音楽、美術、書道など)、趣味やお稽古ごと(囲碁、園芸、茶道、華道など)
- 8 特にない
- 9 その他 ()

問7(2) (全員の方におたずねします。)

これからあなたが学習を進めていくとしたら、どのような情報がほしいと思いますか。あなたがほしいと思う情報であてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 講座・講演の情報
- 2 行事や催し物の情報
- 3 施設の情報
(利用時間、バリアフリー化、アクセスの仕方など)
- 4 講師や指導者の情報
- 5 ボランティア活動の情報
- 6 学習活動をしている団体・グループの情報
- 7 取得したい資格や免許の情報
- 8 情報は必要ない
- 9 その他 ()

問7 (3) (全員の方におたずねします。)

あなたは今後どのような場所や形態で学習をしたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 公民館や生涯学習センターなどの公的な機関における講座等
- 2 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)における公開講座等
- 3 病院・福祉施設における講座等
- 4 図書館、博物館、美術館
- 5 カルチャーセンターやスポーツクラブ
- 6 同好会、サークル、自主的にやっている集まり等での活動
- 7 テレビやラジオ
- 8 インターネット、オンライン講座、情報端末
- 9 書籍など
- 10 ボランティア活動などの地域での活動を通しての学習
- 11 職場での研修
- 12 特にない
- 13 その他()

問7 (4) (全員の方におたずねします。)

あなたは岡山県生涯学習センターを知っていますか。あてはまる番号に○をつけください。

- 1 知っている
- 2 知らない

問7 (5) (全員の方におたずねします。)

あなたは本県の生涯学習を進めていくために、県の中心的な役割を担う施設として岡山県生涯学習センターにどんなことを期待しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 専門的講座の開設
- 2 学習相談(相談窓口の充実など)
- 3 生涯学習に関する情報の提供(講座やイベント、施設情報など)
- 4 指導者・学習ボランティア養成
- 5 ボランティア活動をしたい人とボランティアを必要とする人(施設)をつなぐ手助け
- 6 学習プログラムの開発(新しい講座や行事の展開例など)
- 7 県生涯学習センターの施設の充実
- 8 生涯学習グループ・団体の育成
- 9 市町村の指導と連携(市町村職員を対象とした研修の開催など)
- 10 子どもの居場所づくり
- 11 科学に関する学習の充実
- 12 特にない
- 13 その他()

問7 (6) (全員の方におたずねします。)

岡山県生涯学習センターが行っている研修やイベントに参加したことがあるものがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 生涯学習・社会教育関係職員研修講座 初任者研修
- 2 ファシリテーション・コーディネーションスキルアップ講座
- 3 主体的に参画する住民を育てる事業づくり
- 4 若者発! まちプロ
- 5 高校生×地域 一思いをカタチにするお手伝いをしますー
- 6 地域と学校の連携・協働へ向けた研修会ー基礎・発展ー(旧 地域学校協働活動推進員等レベルアップ講座)
- 7 就学前の非認知能力育成のための人材養成研修会
- 8 家庭教育支援者スキルアップ講座 ～すこやか家庭教育相談員養成講座～
- 9 生涯学習大学 主催講座「きつず☆ユニバ」
- 10 生涯学習大学 連携講座
- 11 生涯学習大学 生涯学習の集い
- 12 岡山県公民館連合会 研修会
- 13 ぱるボランティア・企画Lab
- 14 京山祭 日ようび子ども大学
- 15 京山祭 科学キッズフェスティバル
- 16 学びing ぱる教室
- 17 岡山県「宇宙の学校」指導者セミナー
- 18 岡山県「宇宙の学校」
- 19 コズミックカレッジ
- 20 人と科学の未来館サイピア プラネタリウム
- 21 人と科学の未来館サイピア 科学イベント
- 22 参加したことがない
- 23 その他()

質問は以上です。

ご回答いただきありがとうございました。」